

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査

調査結果報告書

令和 6 年 3 月

目黒区

- 目次

第1章 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査対象および方法、回収状況	2
3. 報告書の見方	3
第2章 小学校入学前児童の保護者調査	6
1. 宛名のお子さんご家族の状況	6
2. 子育てをめぐる環境について	10
3. お子さんのご両親の就労状況について	12
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	19
5. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	29
6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	33
7. お子さんの病気の際の対応について	39
8. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	44
9. お子さんの普段の過ごし方について	49
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	53
11. 育児休業や短時間勤務制度など子育てと職場の両立支援制度について	59
12. 子育てについて	70
第3章 小学校児童の保護者調査	89
1. 宛名のお子さんご家族の状況	89
2. 子育てをめぐる環境について	93
3. お子さんのご両親の就労状況について	95
4. 公設学童保育クラブの利用について	103
5. お子さんの放課後の過ごし方について	110
6. お子さんの病気の際の対応について	113
7. お子さんの不定期な一時預かり等の利用について	118
8. 地域の子育て支援事業について	123
9. 子育てについて	125
第4章 小学校の子ども調査	144
1. 子ども本人のことにについて	144
2. 日常生活	147

3. 家庭	156
4. 人権	157
5. 不安や悩み	162
6. 目黒区について	170
7. 将来について	172

第5章 中高生世代の子ども調査.....176

1. 子ども本人のことについて.....	176
2. 日常生活について.....	179
3. 家庭について	189
4. 人権について	191
5. 不安や悩みについて	197
6. 活動について	204
7. 目黒区について	209

資料編.....215

1. 入学前児童の保護者調査票.....	215
2. 小学生児童の保護者調査票.....	243
3. 小学生調査票	263
4. 中高生調査票	278

第1章

調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度に行う、『目黒区子ども総合計画』の策定に向けて、さまざまな地域の子ども・子育て支援事業や学童保育クラブの充実等のため、保護者や子ども本人の現在の目黒区の子育て環境や生活状況の実態やニーズを把握し、次期計画策定に必要な基礎資料を作成するため、調査を実施しました。

2. 調査対象および方法、回収状況

① 保護者調査

対象地域：目黒区に居住する18歳以下の子どもを持つ保護者

抽出方法：調査区分に該当する母集団から無作為抽出法

調査期間：令和5年10月11日（水）～令和5年11月1日（水）

調査方法：郵送配布、郵送もしくはWEB回収

調査種別による対象者の考え方、回収数は下記の表の通り

番号	調査票名称	対象者の考え方	対象数	回収数	回収率
01	小学校入学前保護者調査	就学前のお子さんを持つ保護者【標本調査】	3,000人	1,136人	37.9%
02	小学生保護者調査	小学生のお子さんを持つ保護者【標本調査】	3,000人	1,114人	37.1%
合計			6,000人	2,250人	37.5%

② 子ども調査

対象地域：目黒区に居住する18歳以下の子ども

抽出方法：調査区分に該当する母集団に対する全数調査

調査期間：令和5年10月11日（水）～令和5年11月1日（水）

調査方法：郵送配布、WEB回収

調査種別による対象者の考え方、回収数は下記の表の通り

番号	調査票名称	対象者の考え方	対象数	回収数	回収率
03	小学生調査	小学校2・4・6年生【全数調査】	6,224件	1,544人	24.8%
04	中高生調査	中学校1・3年生および令和6年4月1日時点で16歳から18歳の方【全数調査】	9,494件	1,581人	16.7%
合計			15,718件	3,125人	19.9%

3. 報告書の見方

【共通事項】

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0％にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0％を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が 0 の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。

第2章

小学校入学前児童の保護者調査

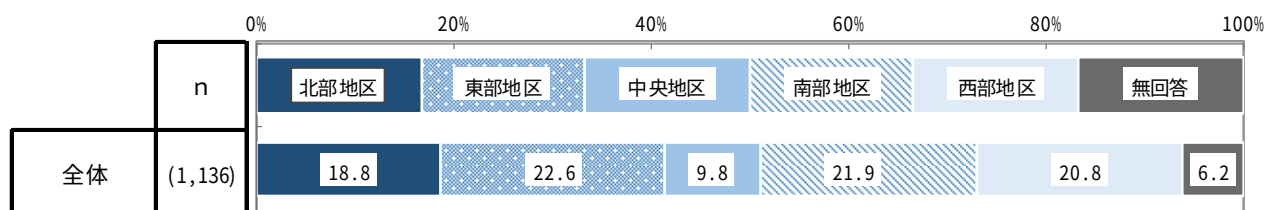
第2章 小学校入学前児童の保護者調査

1. 宛名のお子さんご家族の状況

(1) お住いの地区

問1 宛名のお子さんがお住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

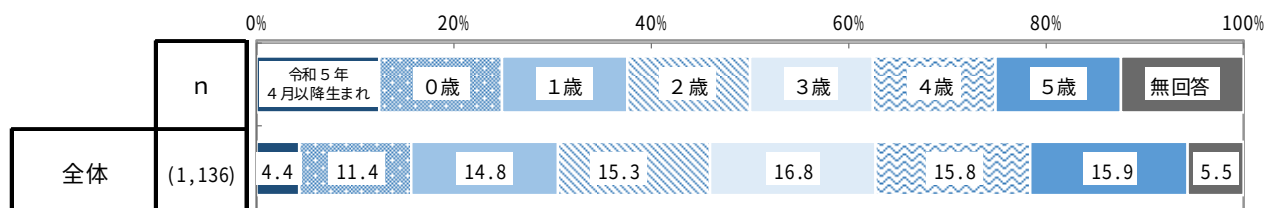
お住いの地区について、「東部地区」が22.6%となっており、「南部地区」が21.9%、最も少ない「中央地区」は9.8%となっている。



(2) お子さんの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。
(数値を記入)

あて名のお子さんの年齢について、「3歳」が16.8%となっており、「5歳」が15.9%、最も少ない「令和5年4月以降生まれ」は4.4%となっている。



(3) 子どもの数と末子の年齢

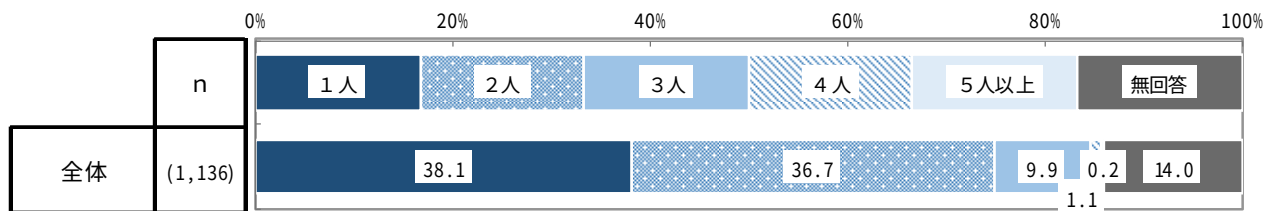
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(数値を記入)

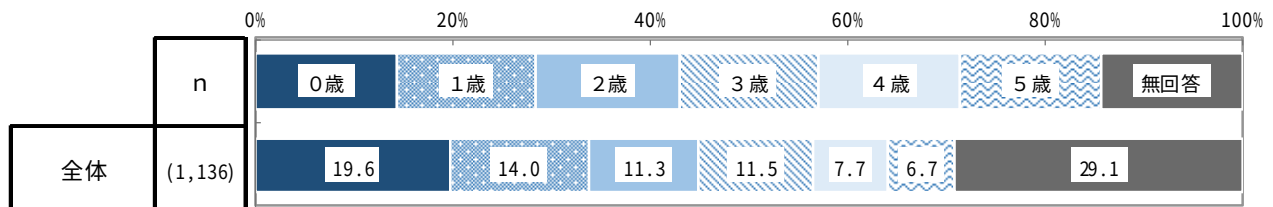
あて名の子どもを含む子どもの数について、「1人」が38.1%と最も多く、次いで「2人」が36.7%となっている。『3人以上』は11.2%となっている。

末子の年齢は「0歳」が19.6%と最も多く、次いで「1歳」が14.0%となっている。

<子どもの人数>



<末子の年齢>

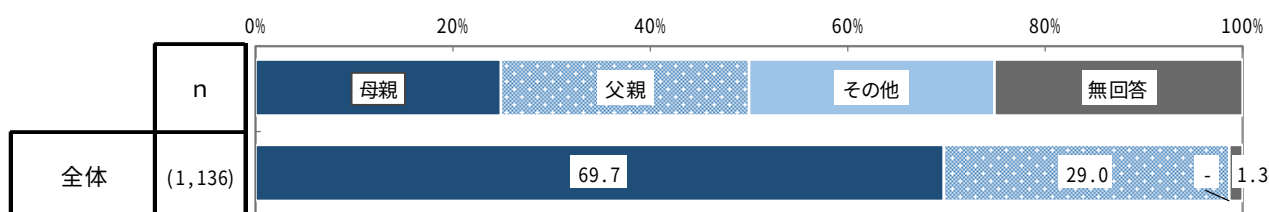


(4) 調査票の回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

調査票の回答者について、「母親」が69.7%と最も多く、次いで「父親」が29.0%となっている。

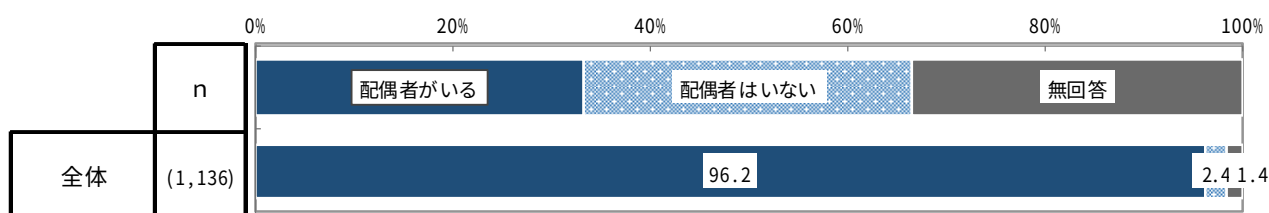


(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

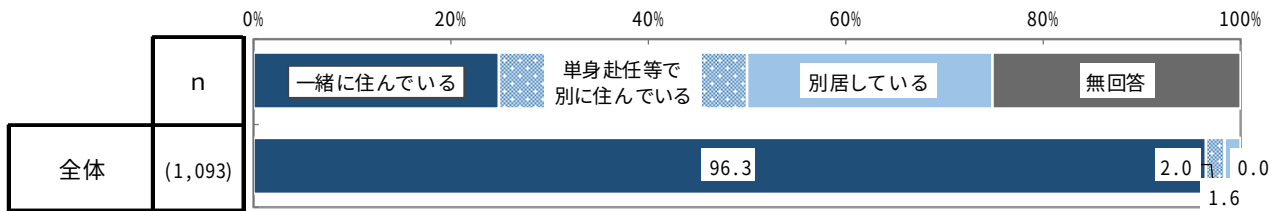
回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が96.2%となっており、「配偶者がいない」は2.4%となっている。



(6) 同居・別居状況

問5-1 配偶者の方との現在の同居の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問5で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

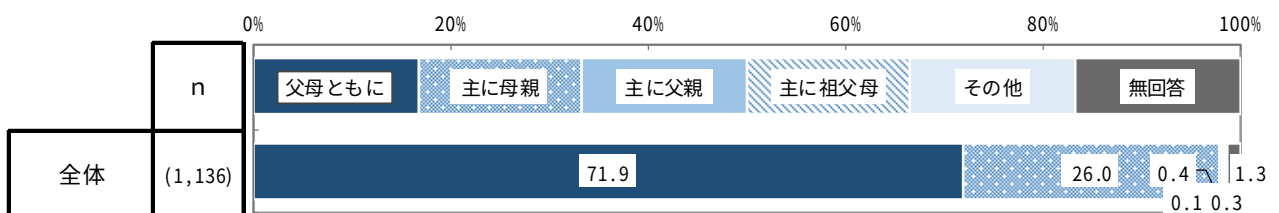
配偶者との同居・別居について、「一緒に住んでいる」が96.3%となっており、「単身赴任等で別に住んでいる」「別居している」の合計は3.6%となっている。



(7) 子育てや教育を主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

子育て等を主に行っている人について、「父母ともに」が71.9%と最も多く、次いで「主に母親」が26.0%となっている。なお「主に父親」は0.4%、「主に祖父母」は0.1%となっている。



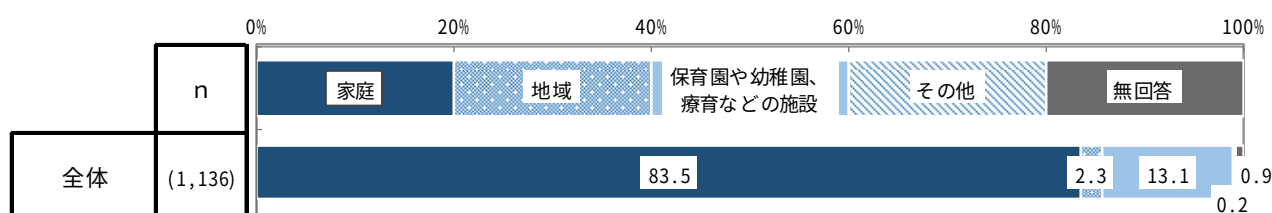
2. 子育てをめぐる環境について

(1) 子育てや教育にもっとも影響すると思われるもの

問7 宛名のお子さんの子育てや教育に、もっとも影響すると思われるもの1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子育て等に最も影響することについて、「家庭」が83.5%と最も多く、次いで「保育園や幼稚園、療育などの施設」が13.1%となっている。

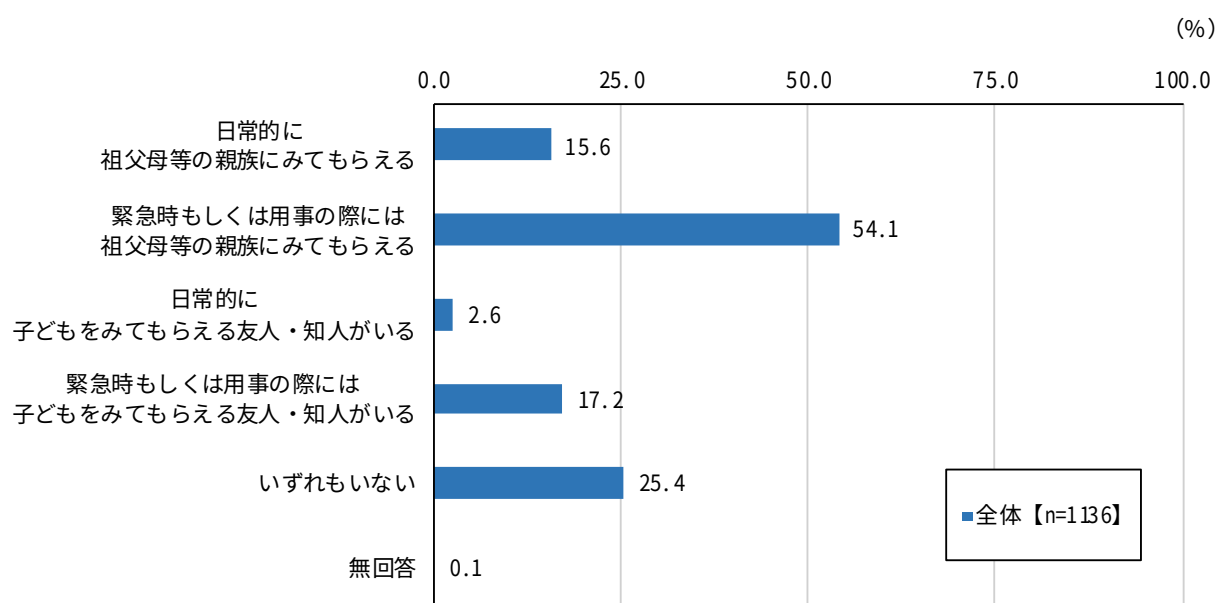


(2) 子どもをみてもらえる人

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

日頃子どもをみてもらえる人について、「緊急時等に祖父母などの親族にみてもらえる」が54.1%と最も多く、次いで「緊急時等に友人・知人にみてもらえる」が17.2%となっている。
なお、「いずれもない」は25.4%となっている。



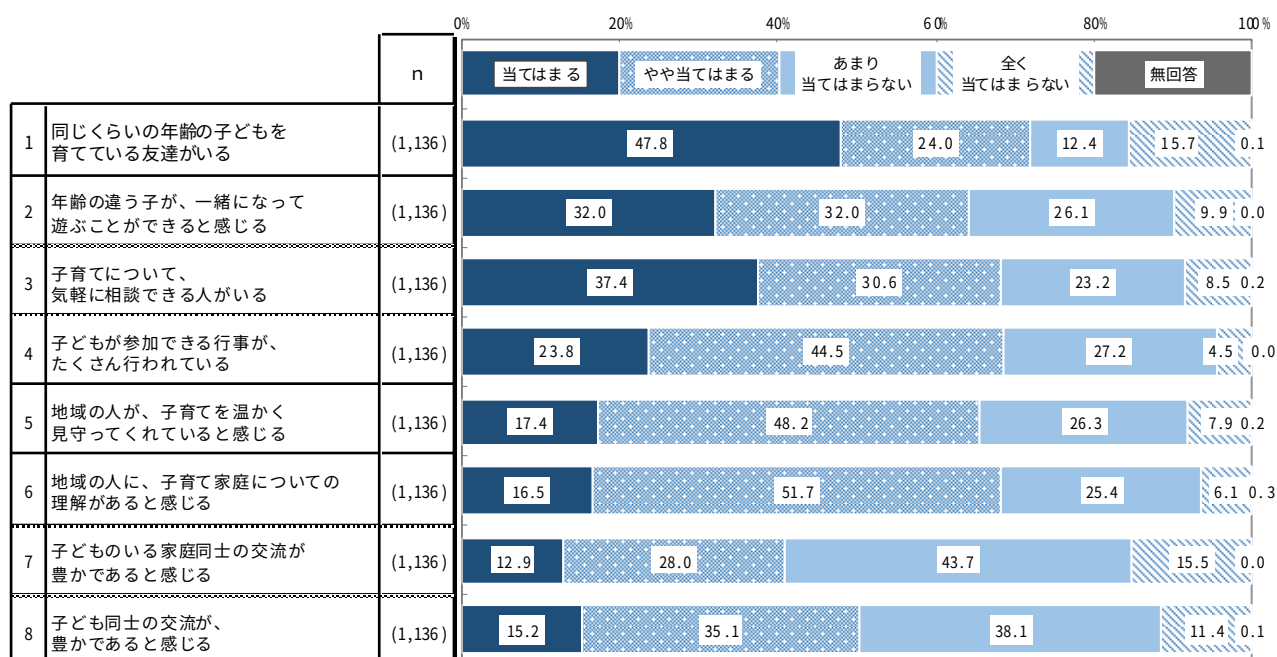
(3) 子育てに関する地域の印象

問9 子育てについて、あなたのお住まいの地域の①～⑧について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

子育てに関する地域に対する印象について、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が最も多いものは「同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる」で71.8%となっている。

一方で、合計が最も少ないものは「子どものいる家庭同士の交流が豊かであると感じる」で40.9%となっており、「当てはまらない」「あまり当てはまらない」の合計である59.2%を下回っている。



3. お子さんのご両親の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

※ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

問10 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）うかがいます。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

保護者の就労状況について、母親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が46.8%となっており、「フルタイムで産休・育休等を取得中」との合計は62.5%となっている。

父親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が90.4%となっており、「フルタイムで産休・育休等を取得中」との合計は92.7%となっている。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の合計は、母親で20.4%、父親で0.5%となっている。

n		フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、 現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	%
母親	1,136	46.8	15.7	13.6	1.6	20.2	0.2	2.0	
父親	1,136	90.4	2.3	0.7	0.1	0.5	-	6.0	

(2) 就労日数・時間

問10-1 週の「就労日数」と「就労時間（残業がある場合はその時間も含む）」などを数字でご記入ください。通常の時間を超えた残業がある場合は、月にどのくらいあるか時間をご記入ください。また、休日出勤がある場合は、月に何日くらいあるかをご記入ください。

※問10で選択肢1～4（就労している）を選んだ場合のみ（数値を記入）

保護者の就労状況の詳細について、就労日数は母親・父親ともに「週5日」が8割以上を占めている。母親では『週4日以下』が14.0%となっている反面、父親では『週6日以上』が12.2%となっている。

1日あたりの就労時間について、母親・父親ともに「8時間」が最も多いものの、母親では『7時間以下』が41.0%となっている反面、父親では『9時間以上』が40.4%となっている。

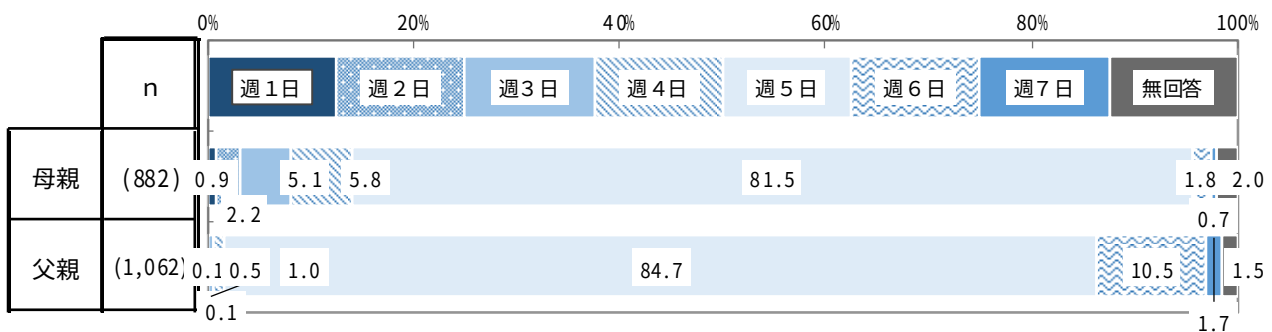
残業の有無について、残業が「ある」は、母親では46.3%、父親では78.7%となっている。

1月あたりの残業時間について、母親では「10時間～20時間未満」が25.5%となっており、父親では「50時間以上」が21.8%となっている。

休日出勤の有無について、休日出勤が「ある」は、母親では21.3%、父親では38.9%となっている。

1月あたりの休日出勤日数について、母親・父親ともに「1日」が最も多いものの、『4日以上』は、母親では17.0%、父親では29.0%となっている。

< 1週間の就労日数 >

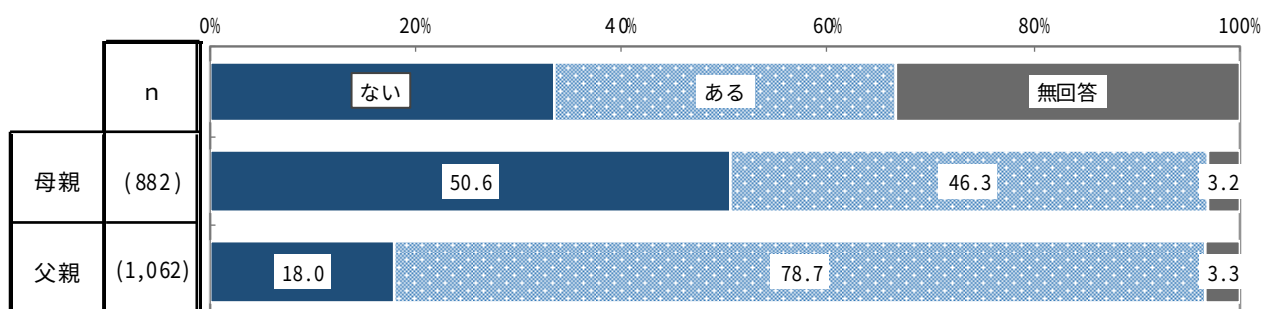


< 1日の就労時間 >

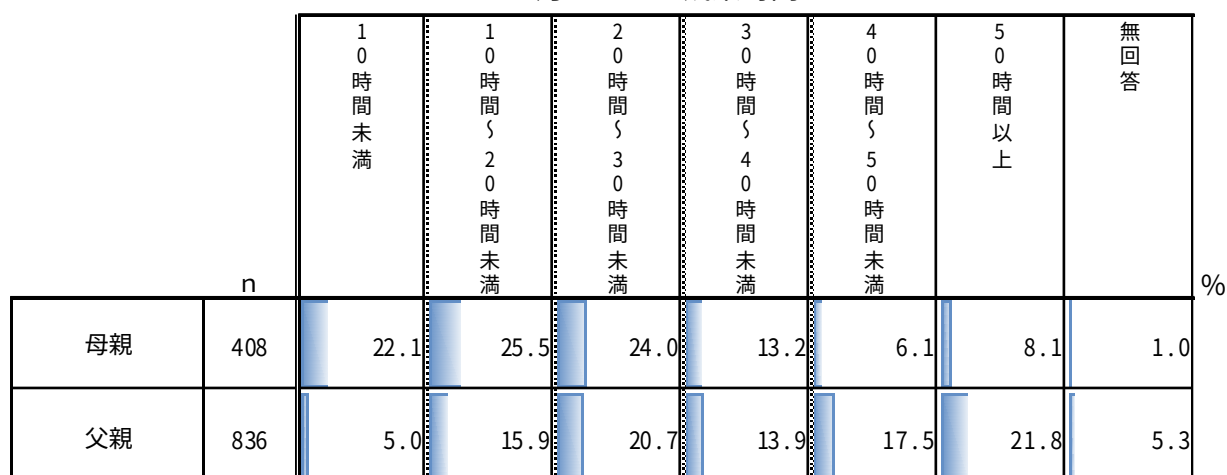
	n	3時間未満	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答	%
母親	882	0.8	1.5	2.9	5.4	13.3	17.1	43.2	6.0	4.8	0.5	0.8	3.7	
父親	1,062	0.3	0.1	0.1	0.7	0.3	4.2	50.6	9.6	18.5	2.8	9.5	3.3	

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

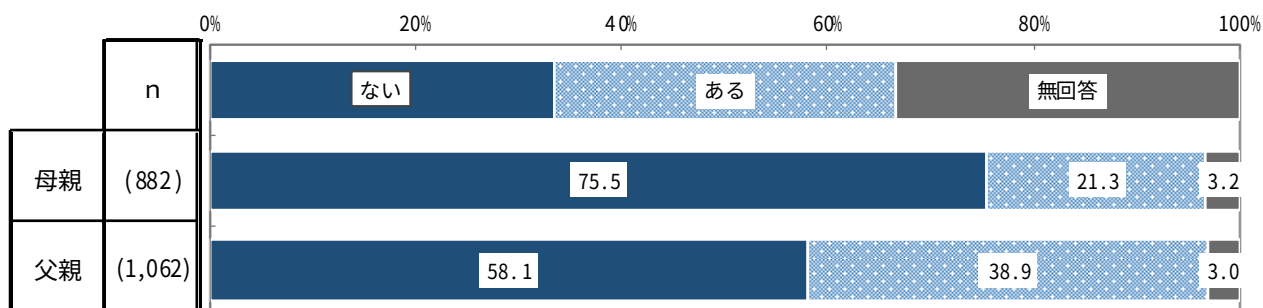
＜残業の有無＞



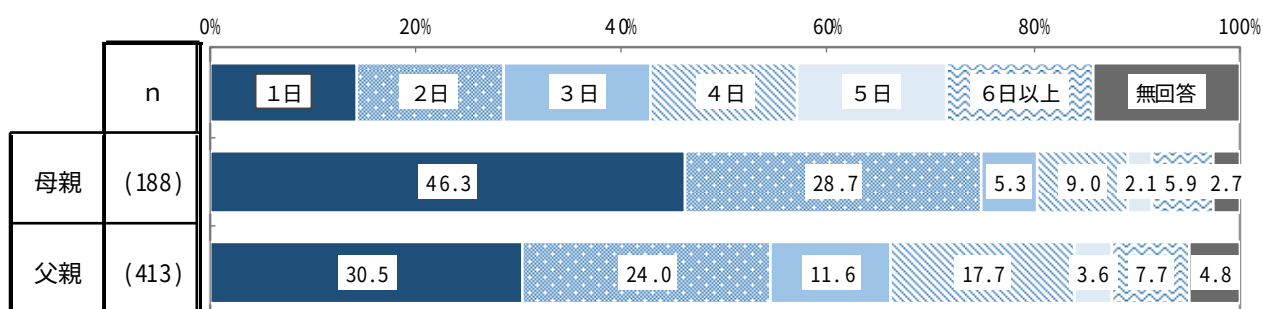
＜1月あたりの残業時間＞



＜休日出勤の有無＞



＜1月あたりの休日出勤日数＞



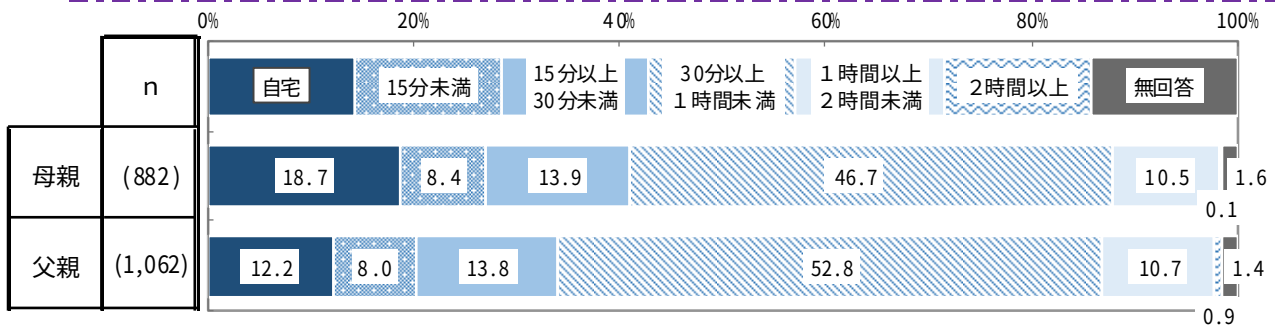
(3) 自宅から勤務先までの通勤時間

問10-2 自宅から主たる勤務先までの通勤時間について当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢1～4（就労している）を選んだ場合のみ（○はひとつ）

自宅から勤務先までの通勤時間について、母親・父親ともに「30分位以上1時間未満」が最も多く半数を占めている。勤務先が「自宅」となっているのは、母親では18.7%、父親では12.2%となっている。

一方で、『1時間以上』の通勤時間を要する人は、母親では10.6%、父親では11.6%となっている。

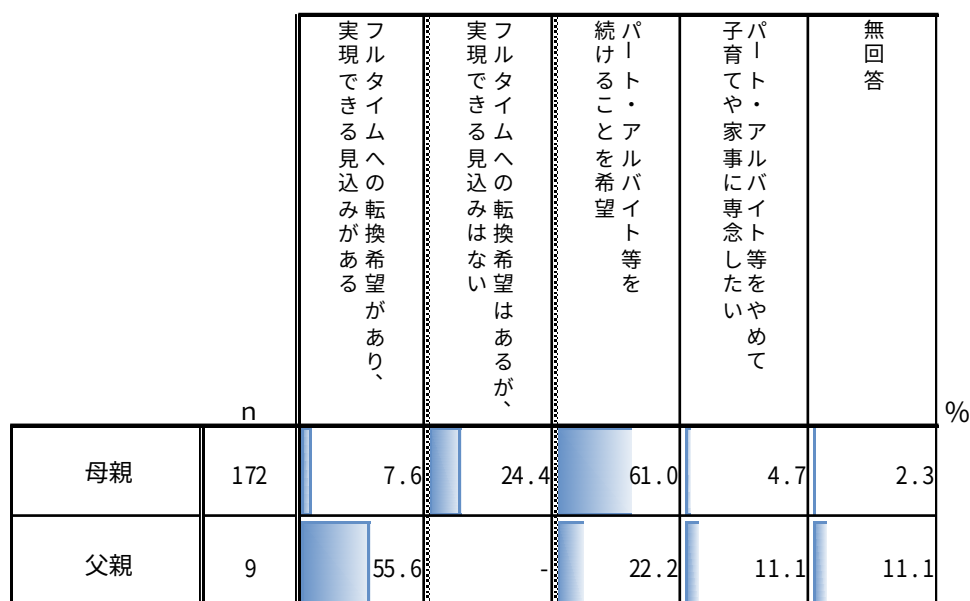


(4) パート・アルバイトからのフルタイムへの転換希望

問11 フルタイムへの転換希望等がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢3か4（パート・アルバイト等で就労している）を選んだ場合のみ（○はひとつ）

フルタイムへの転換希望について、「転換希望があり、実現の見込みがある」は、母親では7.6%、父親では55.6%となっている。母親では「パート・アルバイト等を継続したい」が61.0%となっている。



(5) 無職からの就労意向

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢5か6（現在就労していない）を選んだ場合のみ（○はひとつ）

無職からの就労意向について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は、母親では18.6%、父親では33.3%となっている。

母親では「1年より先、1番年少の子どもが特定の年齢になったところに就労したい」が55.8%と最も多くなっている。

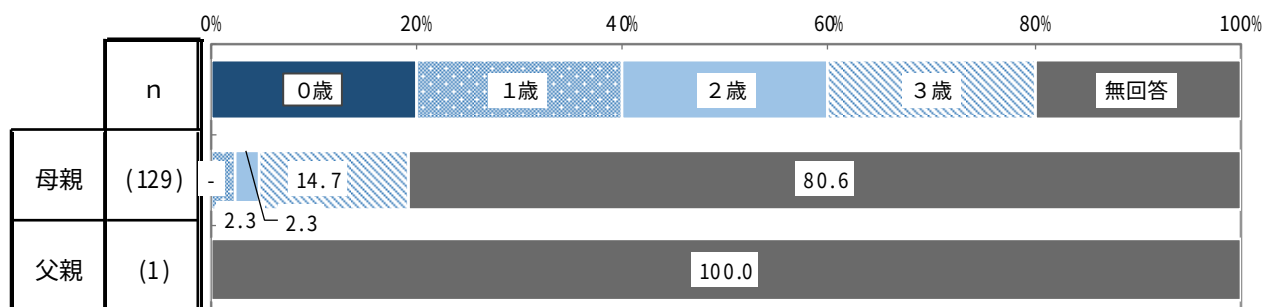
	n	就労は希望しない 子育てや家事などに専念したいので	1年より先、一番年少の子どもが特定の年齢になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答	%
母親	231	22.1	55.8	18.6	3.5	
父親	6	16.7	16.7	33.3	33.3	

(6) 就労希望時のお子さんの年齢

問12-1 就労を希望するときのお子さんの年齢をご記入ください。

(数値を記入)

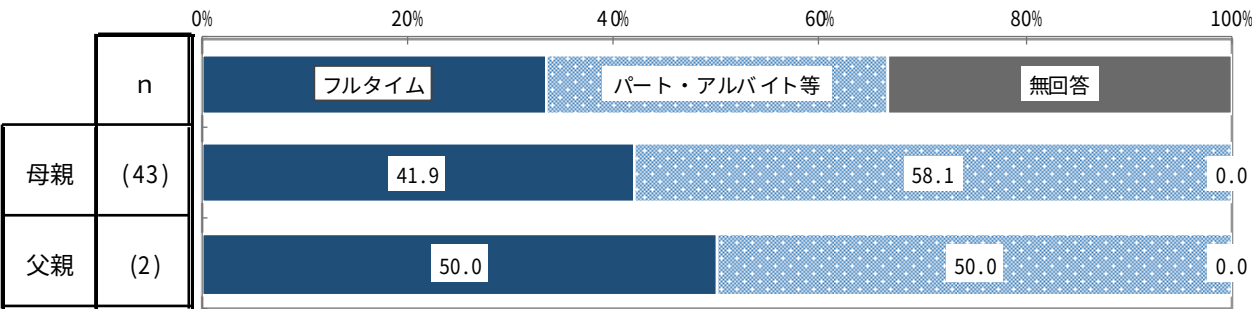
就労を希望する際の一番年少の子どもの年齢について、「3歳」が14.7%と最も多くなっている。
なお、「無回答」が多いため、結果は参考値とする。



(7) 希望する就労形態

問 1 2 - 2 希望する就労形態に当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
※問 1 2 で選択肢 3 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

無職から就労する際に希望する就労形態について、「フルタイム」は母親では 41.9%、父親では 50.0%となっており、母親では「フルタイム」に比べて「パート・アルバイト等」の希望が多くなっている。



(8) 希望する就労日数と時間

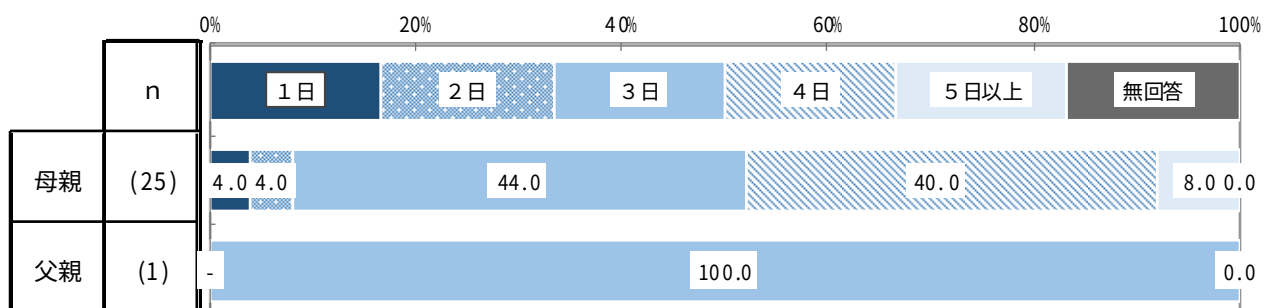
問 1 2 - 2 - 1 希望する就労日数と時間を数字でご記入ください。

※問 1 2 - 2 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（数値で記入）

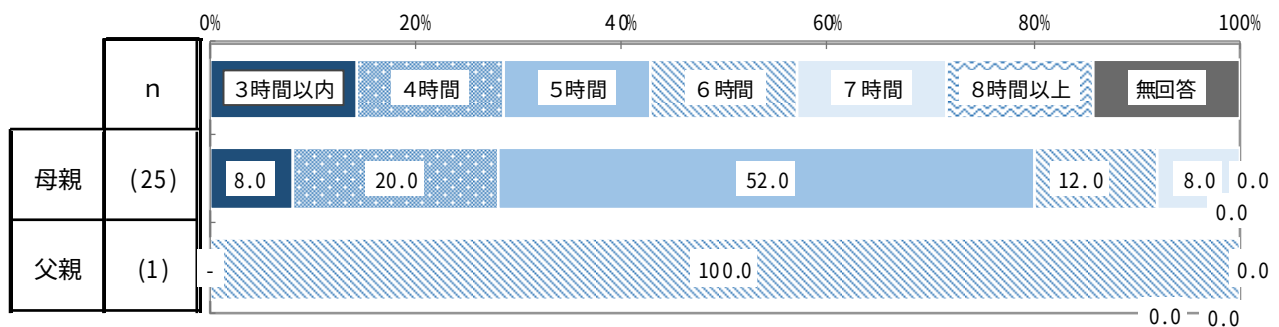
パート・アルバイト等での就労時の日数・時間について、母親では就労日数を「3日」が44.0%、「4日」が40.0%となっており、1日あたりの就労時間を「5時間」が52.0%、「4時間」が20.0%となっている。

父親については回答件数が少ないため参考値とする。

<希望する就労日数>



<1日の就労時間>



4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

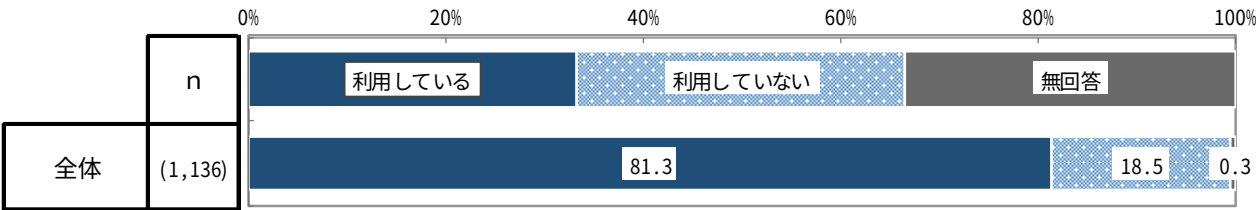
※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問 13- 1 に示した事業のことです。

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問 1 3 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。どちらか 1 つに○をつけてください。

(○はひとつ)

定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」は 81.3%、「利用していない」は 18.5%となっている。

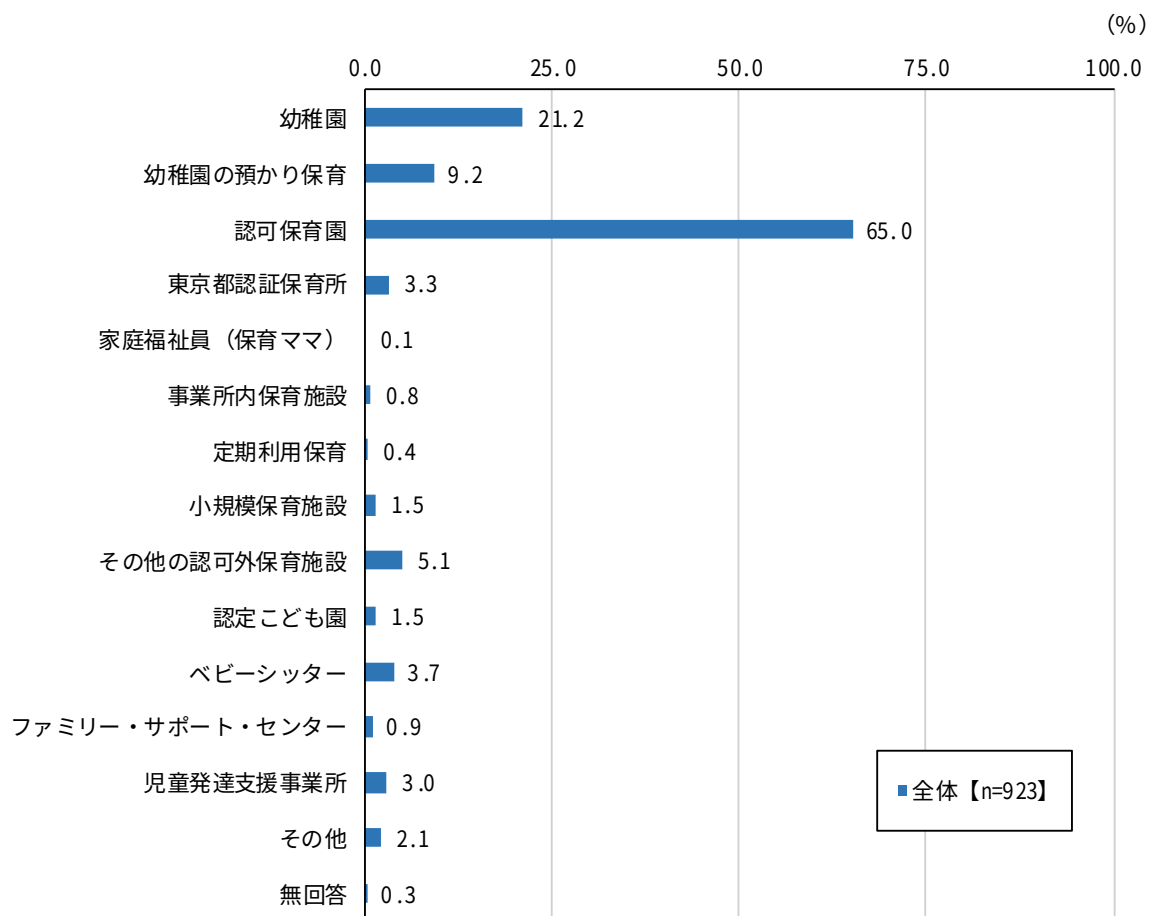


(2) 定期的に利用している事業

問 1 3 - 1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業の番号すべてに○をつけてください。

※問 1 3 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

定期的に利用している事業について、「認可保育園」が65.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が21.2%となっている。



(3) 利用状況

問13-2 問13-1で選ばれた事業や施設について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(1)(2)それぞれについて、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。複数利用している場合には、通算した時間でご記入ください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ(数値を記入)

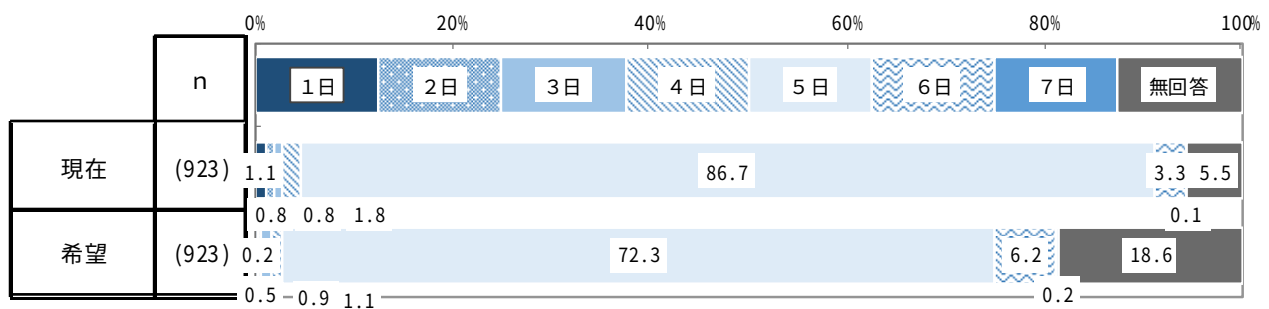
定期的に利用している日数について、現在は「5日」が86.7%と最も多く、希望についても「5日」が72.3%と最も多くなっている。

1日の利用時間について、現在は「9時間」が24.1%と最も多く、希望についても「9時間」が19.2%と最も多くなっている。

利用開始時間について、現在は「9時台」が54.2%と最も多く、希望についても「9時台」が43.8%と最も多くなっている。

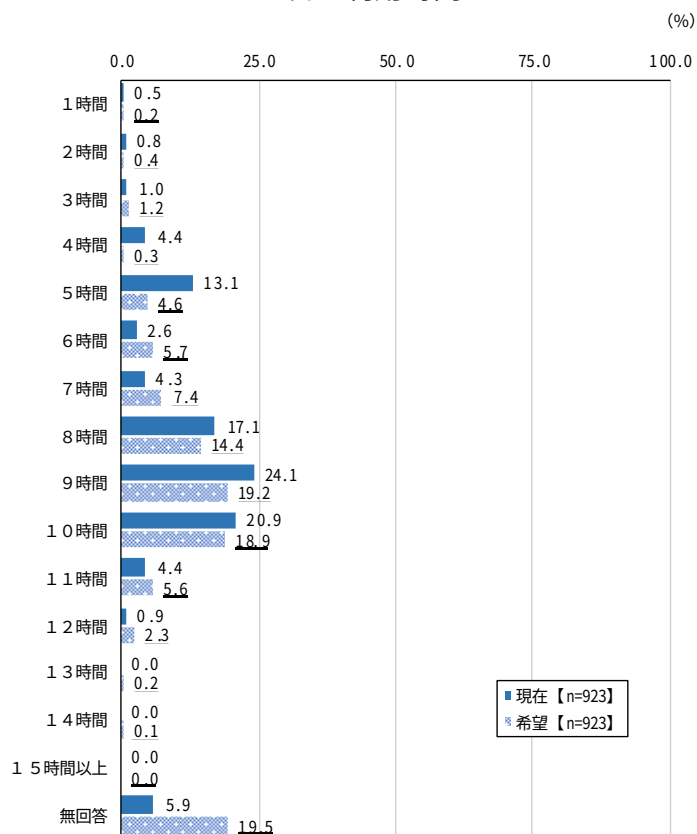
利用終了時間について、現在は「18時台」が37.1%と最も多く、希望についても「18時台」が28.9%と最も多くなっている。

<利用日数(現在・希望)>

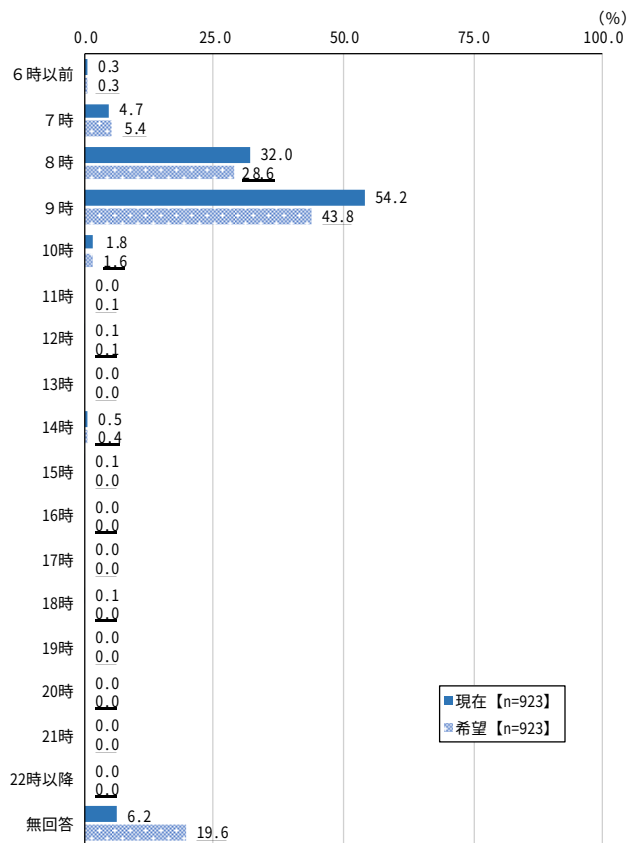


目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査 調査結果報告書

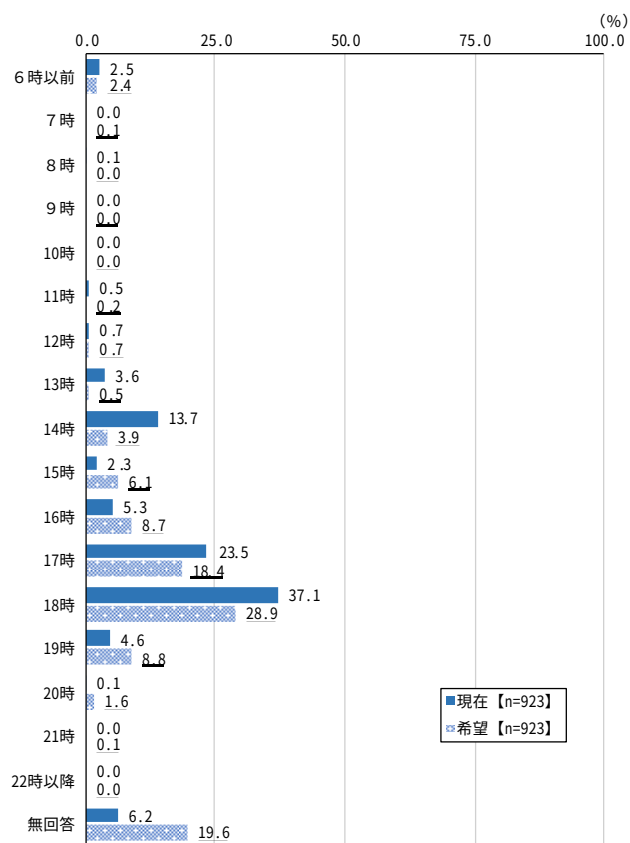
< 1日の利用時間 >



< 利用開始時間 >



< 利用終了時間 >

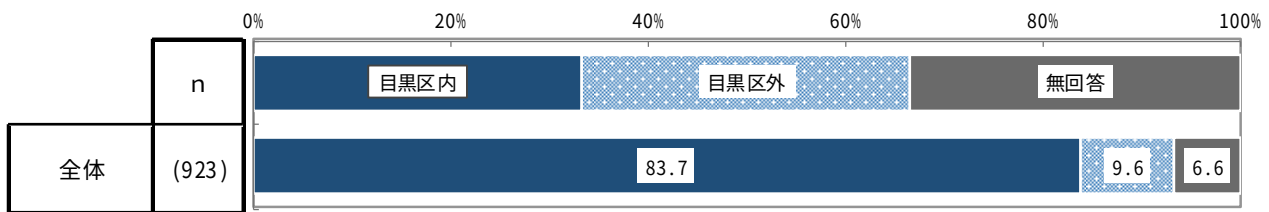


(4) 事業・施設の場所

問13-3 現在、利用している問13-1で選ばれた事業や施設はどこにありますか。どちらか1つに○をつけてください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

利用している事業・施設の場所について、「目黒区内」が83.7%となっており、「目黒区外」が9.6%となっている。



(5) 区外施設を利用している理由

問13-3-1 目黒区外の施設を利用している理由として当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問13で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ）

区外の施設を利用している理由について、「教育や保育、療育に対する考え方に共感したから」が48.3%と最も多くなっており、「目黒区の認可保育園に入れなかったから」は7.9%となっている。

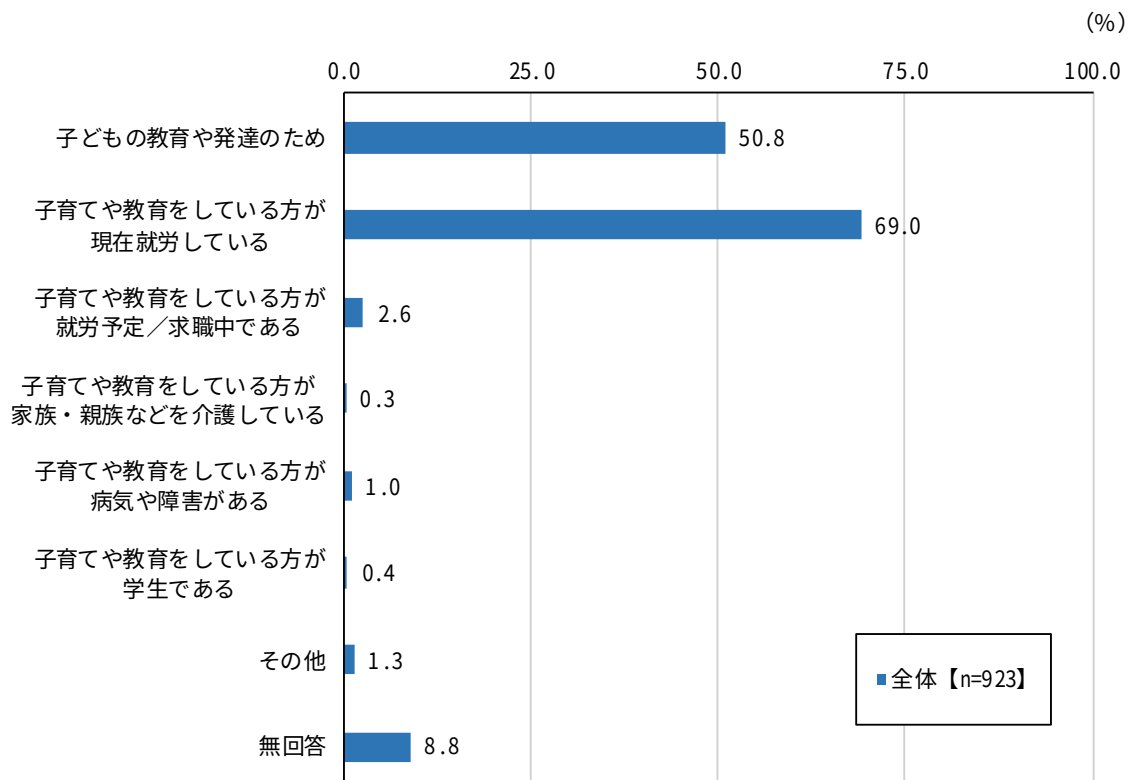


(6) 平日に定期的に利用する主な理由

問 1 3 - 4 平日に定期的に利用されている主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 1 3 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

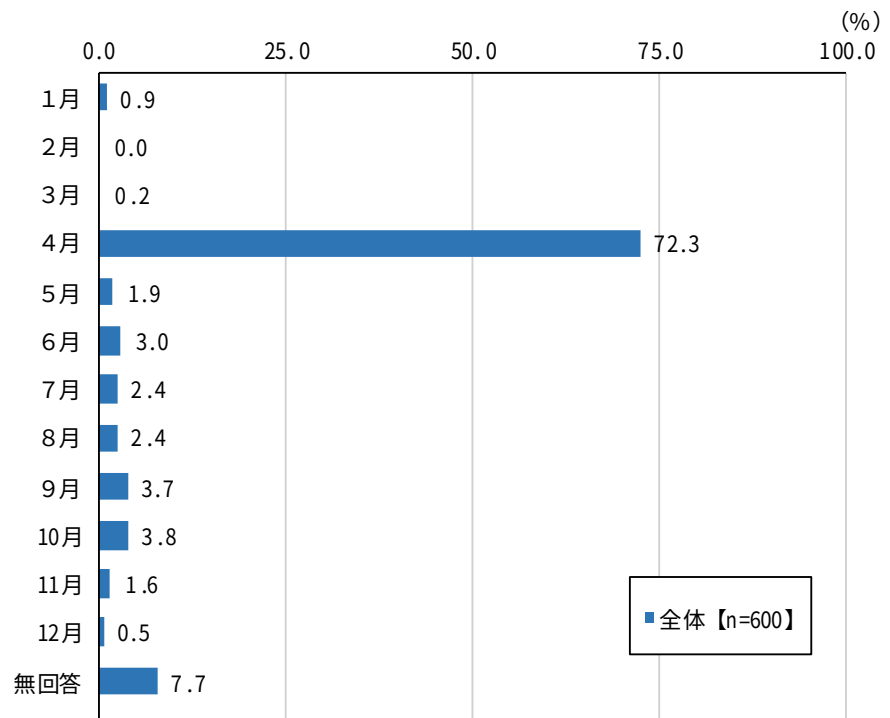
平日に事業を利用する主な理由について、「現在就労しているため」が 69.0% と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 50.8% となっている。



(7) 認可保育園の利用開始年月

問13-5 認可保育園の利用を開始した年月を数字でご記入ください。**※問13-1で選択肢3を選んだ場合のみ（数値を記入）**

認可保育園の利用開始年月について、「4月」が72.3%と最も多く、次いで「10月」が3.8%となっている。



(8) 利用していない理由

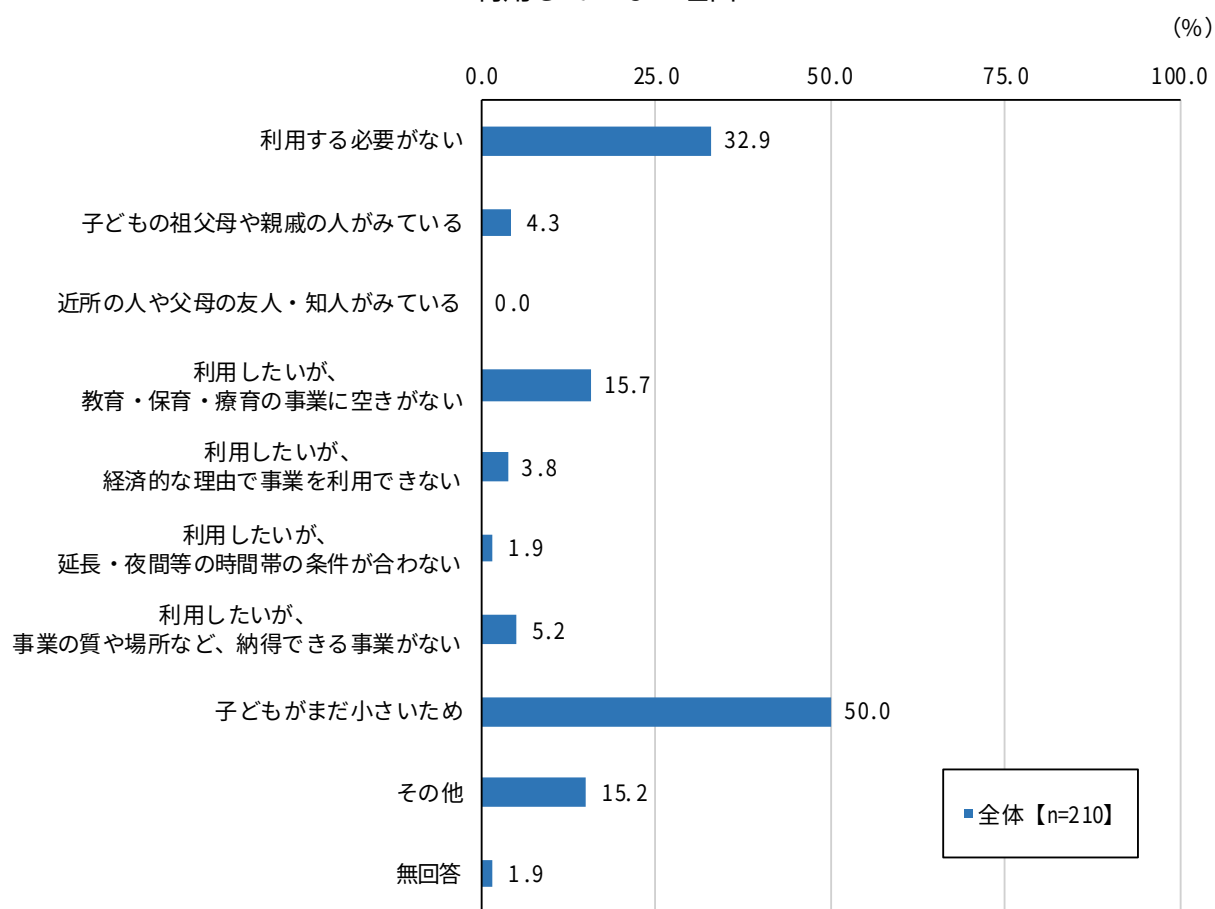
問13-6 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問13で選択肢2を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

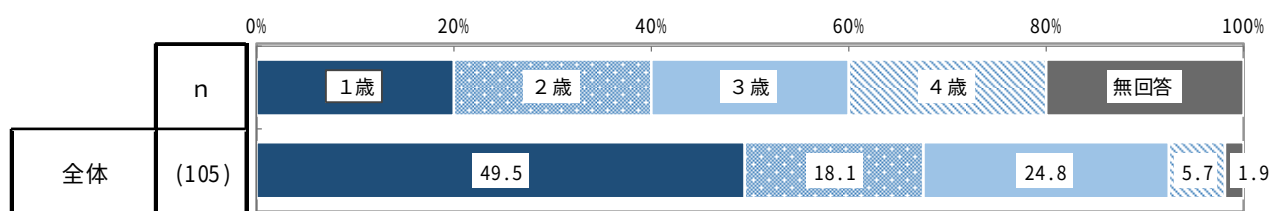
平日の定期的な事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が50.0%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が32.9%となっている。

「子どもがまだ小さいため」と回答した人が利用を開始したい子どもの年齢については、「1歳」が49.5%と最も多く、次いで「3歳」が24.8%となっている。

<利用していない理由>



<利用を開始したい年齢>

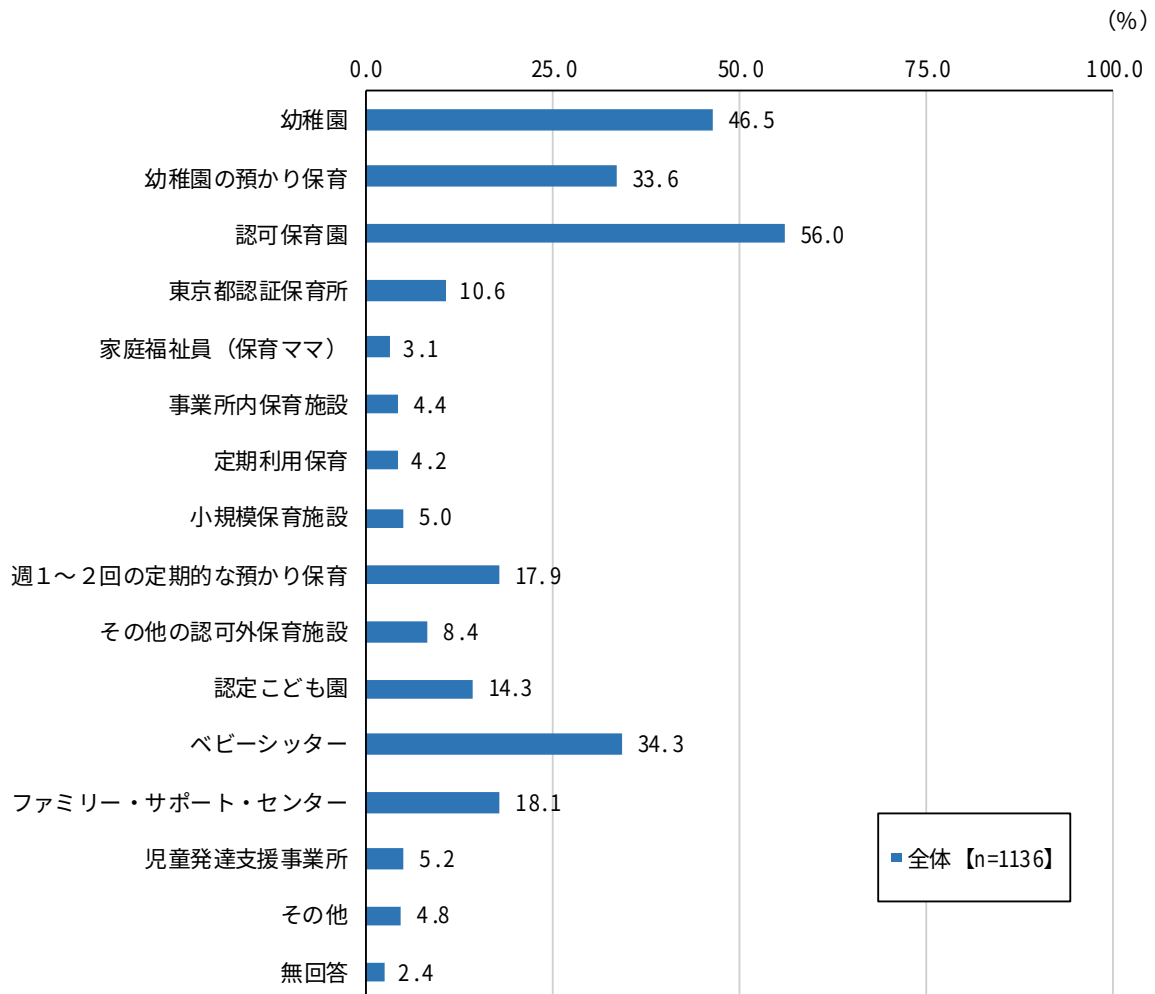


(9) 利用したい平日の事業

問14 現在の利用の状況にかかわらず、宛名のお子さんのために利用したいと希望する事業について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

利用したい平日の事業について、「認可保育園」が56.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が46.5%となっている。

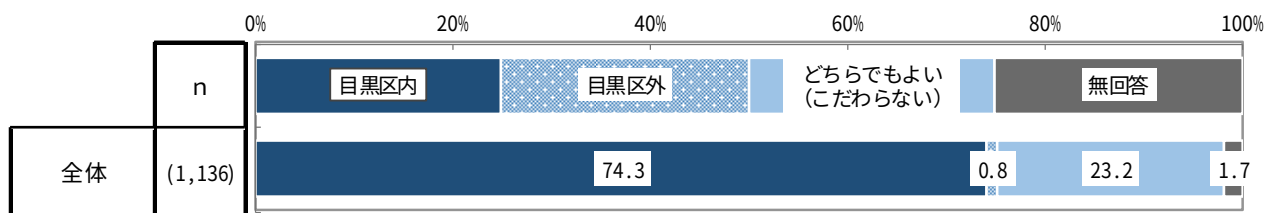


(10)教育・保育・療育事業を利用したい場所

問 1 5 教育・保育・療育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

平日の事業を利用したい場所について、「目黒区内」が74.3%となっており、「目黒区外」は0.8%、「どちらでもよい」は23.2%となっている。

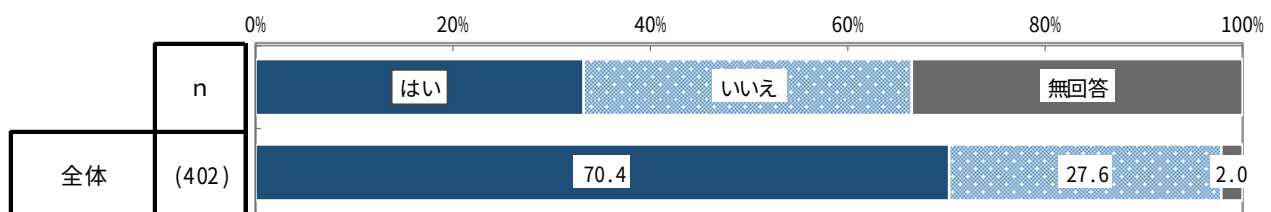


(11)幼稚園利用の強い希望

問 1 6 特に幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。どちらか1つに○をつけてください。

※問 1 4 で選択肢 1 または 2 を選び、かつ 3 ～ 1 4 も選んだ場合のみ (○はひとつ)

幼稚園の利用希望者のニーズについて、強く希望する(「はい」)は70.4%、「いいえ」は27.6%となっている。



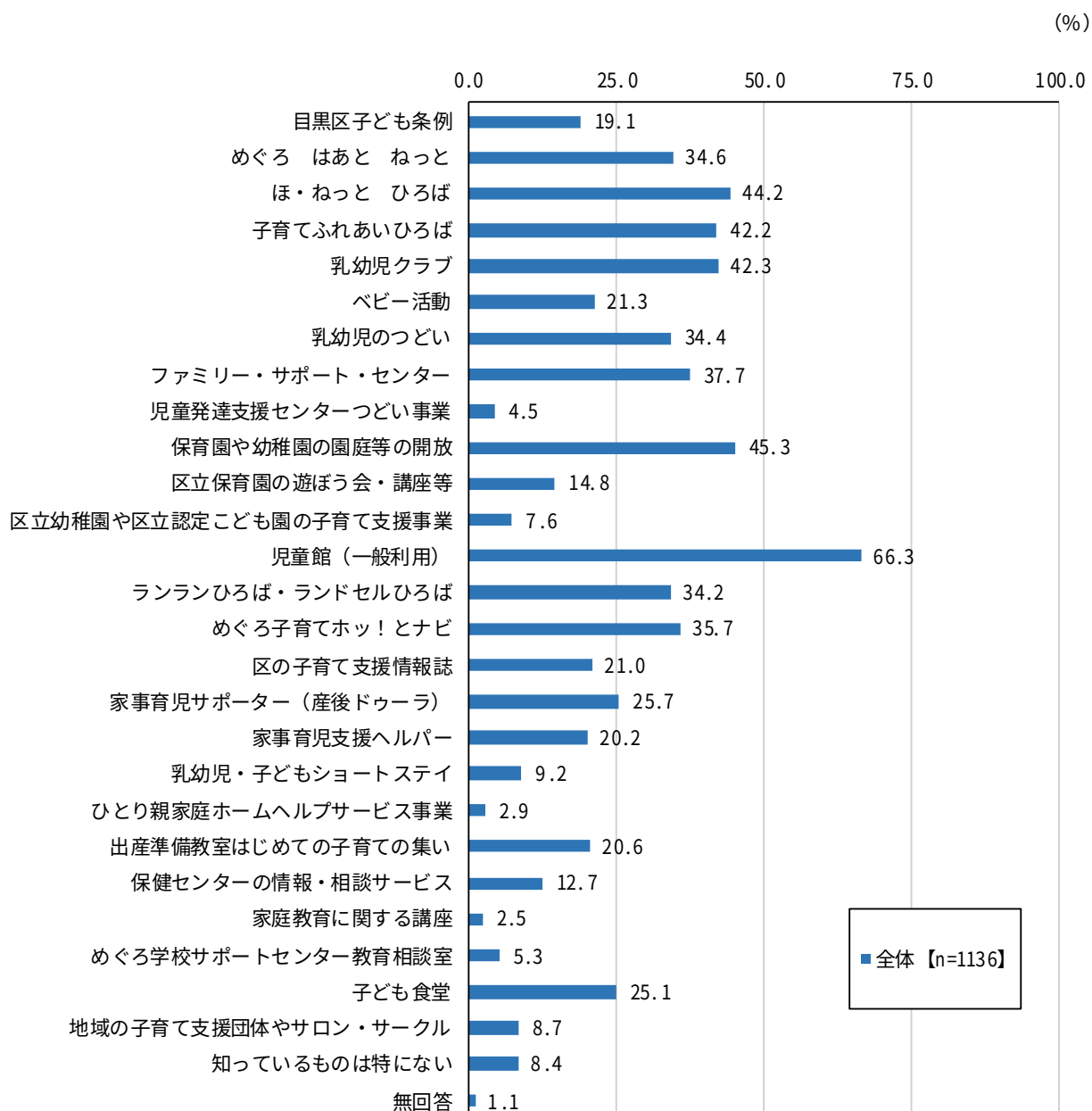
5. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援サービスの認知度

**問17 下記のサービス等について知っているもののすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)**

子育て支援サービスの認知度について、「児童館」が66.3%と最も多く、次いで「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が45.3%となっている。

一方で、「知っているものは特になし」は8.4%となっている。



(2) 子育て支援事業の利用状況

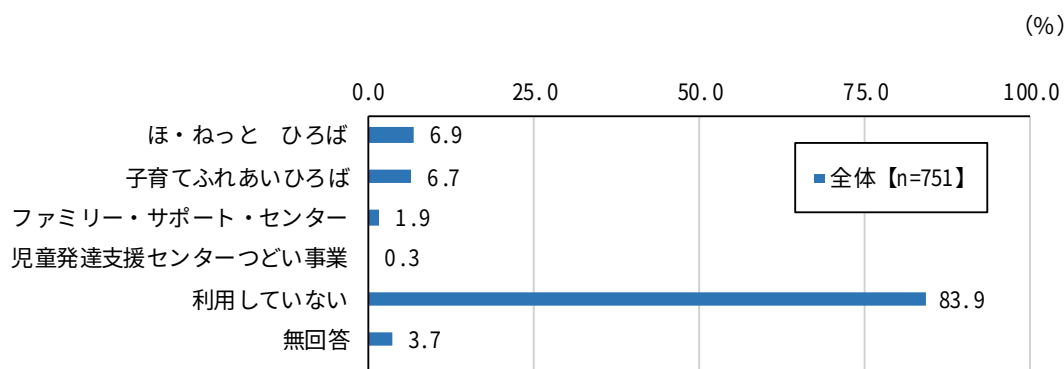
問 1 8 現在、利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、利用している場合は週もしくは月の利用回数を数字でご記入ください。

※問 1 7 で選択肢 3, 4, 8, 9 を選んだ場合のみ（○はひとつ、数値記入）

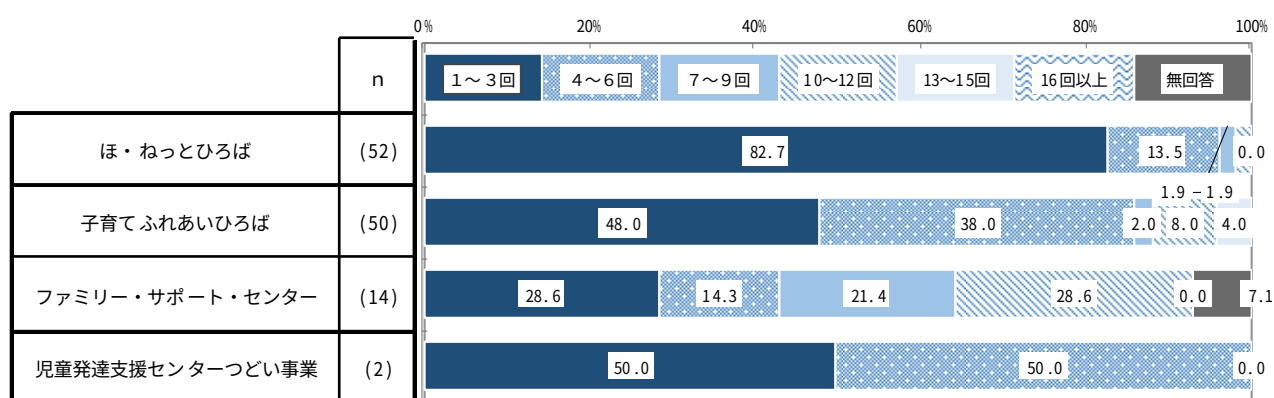
子育て支援事業の利用状況について、利用率は“ほ・ねっと ひろば”で 6.9%、“子育てふれあいひろば”で 6.7%、“ファミリー・サポート・センター”で 1.9%、“児童発達支援センターつどい事業”で 0.3%となっている。一方で、“利用していない”は 83.9%となっている。

1 月の利用回数について、“ほ・ねっと ひろば”“子育てふれあいひろば”“児童発達支援センターつどい事業”では「1～3 回」が最も多くなっている。“ファミリー・サポート・センター”では「1～3 回」と「10～12 回」がともに 28.6%となっている。

<利用状況>



<月の利用回数>

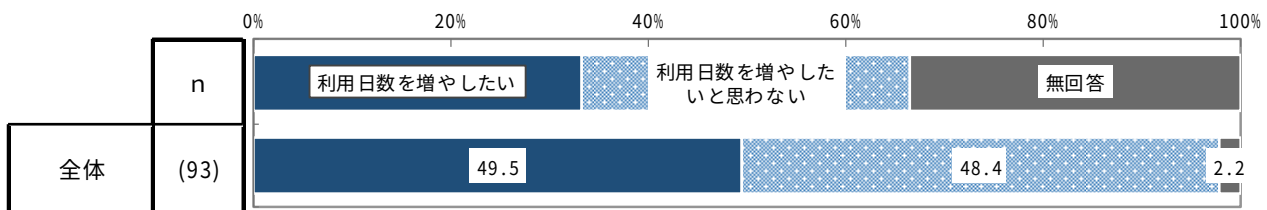


(3) 利用日数を増やす意向の有無

問18-1 問18にある地域の子育て事業について、今後利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問18で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

子育て支援事業の利用回数増のニーズについて、「利用日数を増やしたい」は49.5%、「利用日数を増やしたいと思わない」は48.4%となっている。

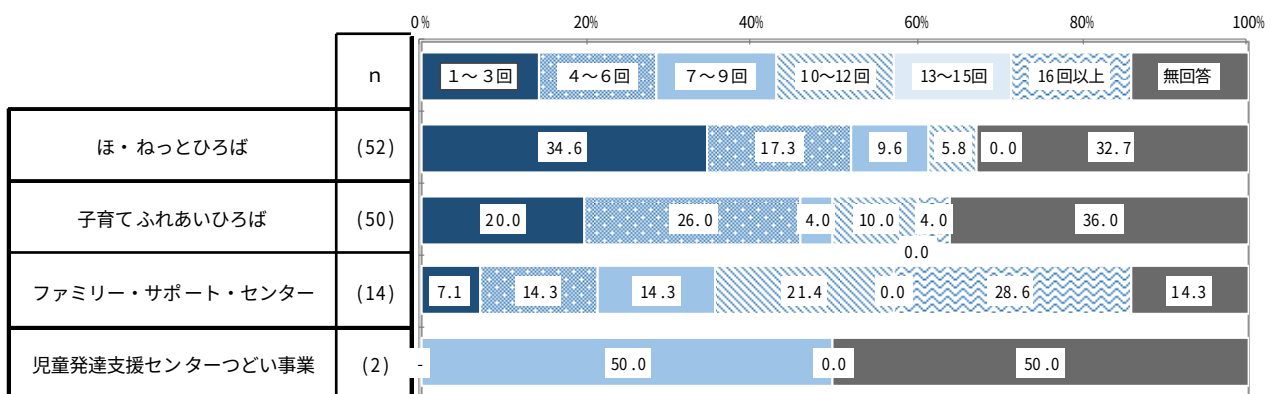


(4) 希望する利用回数

問18-2 希望するおおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

※問18で選択肢1を選んだ場合のみ（数値を記入）

希望する地域子育て支援事業の月の利用回数について、“ほ・ねっと ひろば”では「1～3回」が34.6%と最も多くなっており、“子育てふれあいひろば”では「4～6回」、「ファミリー・サポート・センター」では「16回以上」となっている。



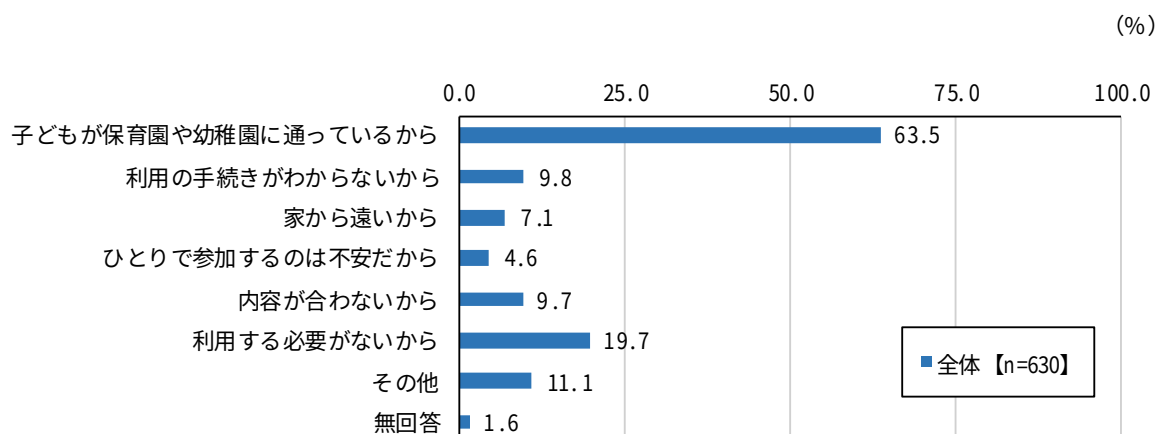
(5) 子育て支援事業を利用しない理由

問18-3 その理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問18で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ）

子育て支援事業を利用しない理由について、「子どもが保育園や幼稚園に通っているから」が63.5%と最も多く、次いで「利用する必要があるから」が19.7%となっている。

なお、「利用の手続きがわからない」「家から遠い」「ひとりで参加するのは不安」「内容が合わない」の合計は31.2%となっている。



6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土日祝日の定期的な保育事業の利用希望の有無、利用希望の時間帯

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（○はひとつ、数値を記入）

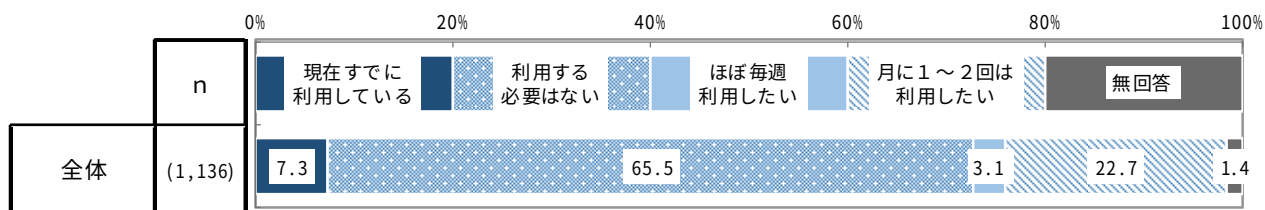
土曜日の定期的な事業の利用状況について、「現在すでに利用している」は7.3%となっており、「利用する必要はない」は65.5%、「ほぼ毎週利用したい」は3.1%、「月に1～2回は利用したい」は22.7%となっている。

土曜日の利用時間について、開始は「9時」が60.4%と最も多く、終了は「17時」が28.0%と最も多くなっている。

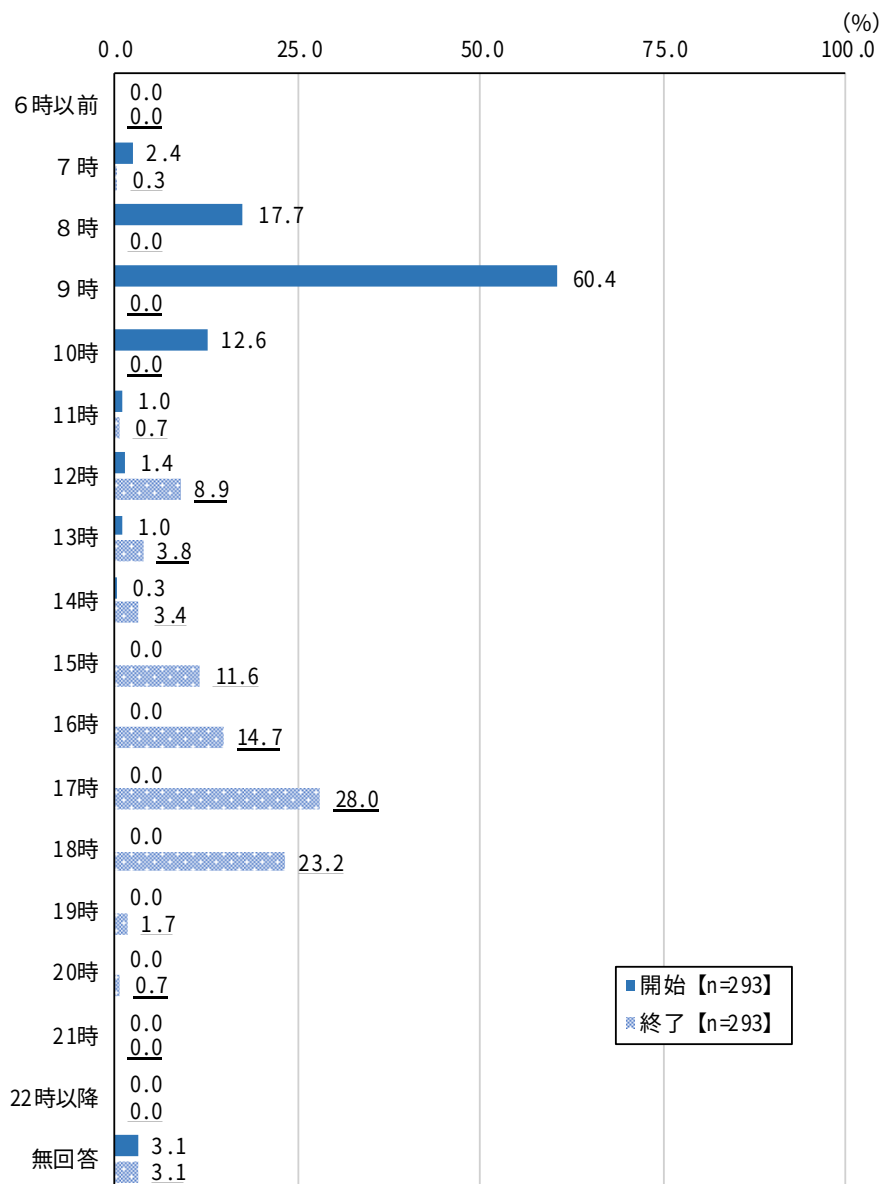
日曜・祝日の利用状況について、「利用する必要はない」が75.7%となっており、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%、「月に1～2回は利用したい」が19.8%となっている。

日曜・祝日の利用時間について、開始は「9時」が58.4%と最も多く、終了は「17時」が31.2%と最も多くなっている。

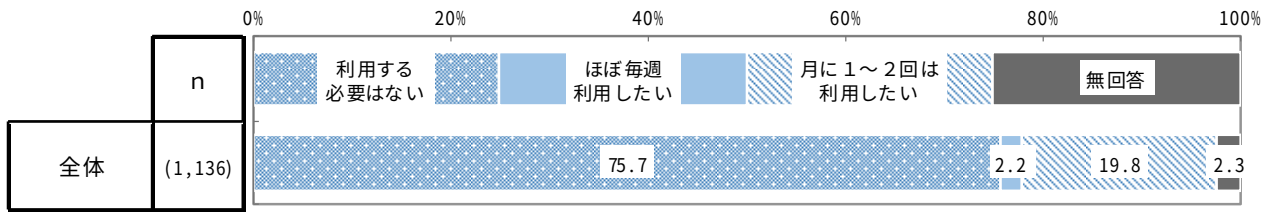
<土曜日の利用状況>



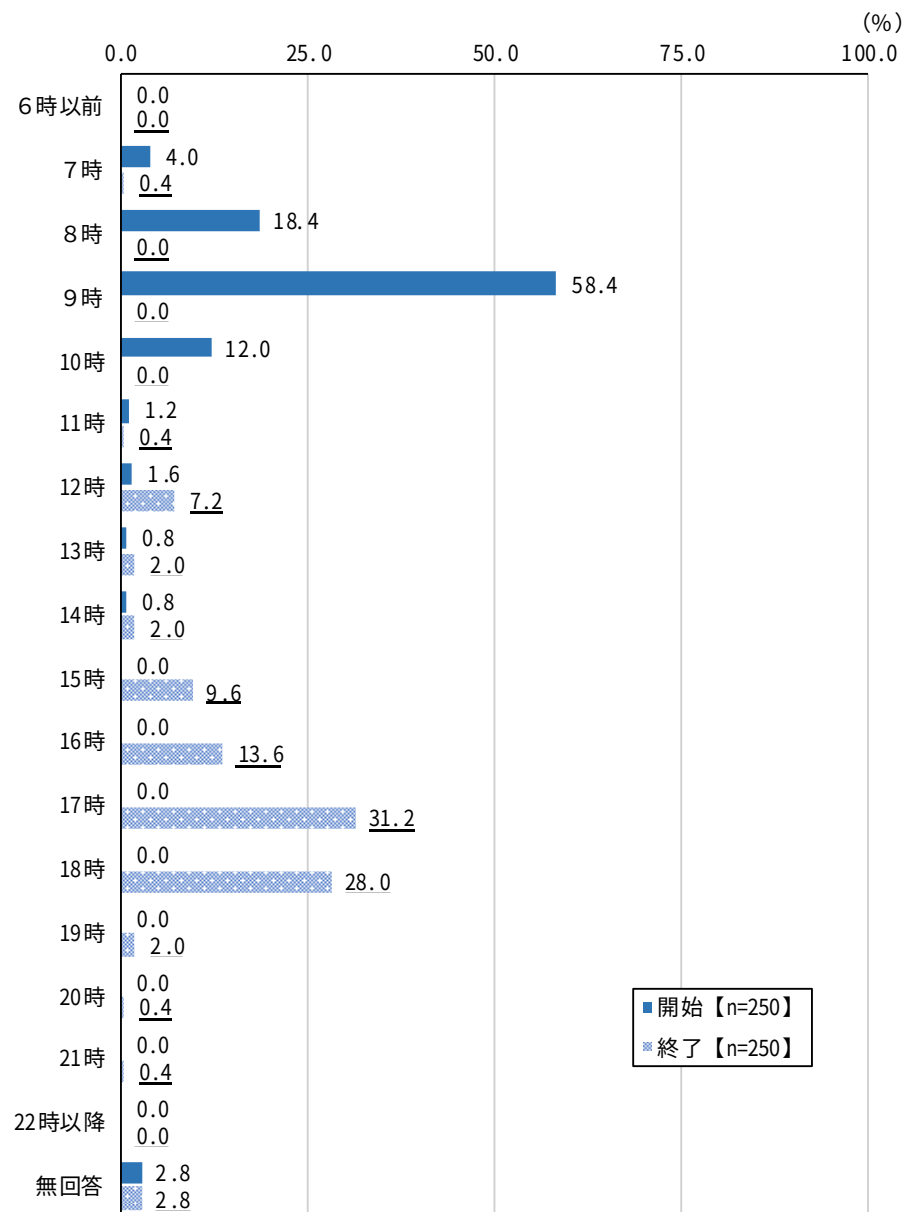
<土曜日の利用時間>



<日曜・祝日の利用状況>



<日曜・祝日の利用時間>

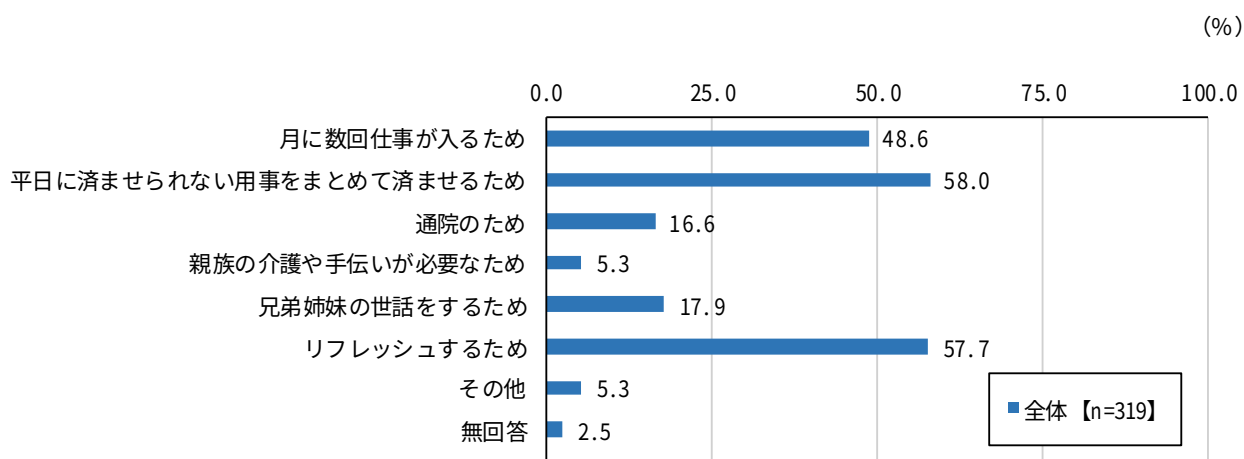


(2) 月 1～2 回利用したい理由

問 19-1 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 19 (1) で選択肢 4 もしくは (2) で選択肢 3 を選んだ場合のみ (○はひとつ)

月に1～2回の利用希望の理由について、「平日に済ませられない用事をまとめてするため」が58.0%と最も多く、次いで「リフレッシュするため」が57.7%、「月に数回仕事が入るため」が48.6%となっている。



(3) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用意向

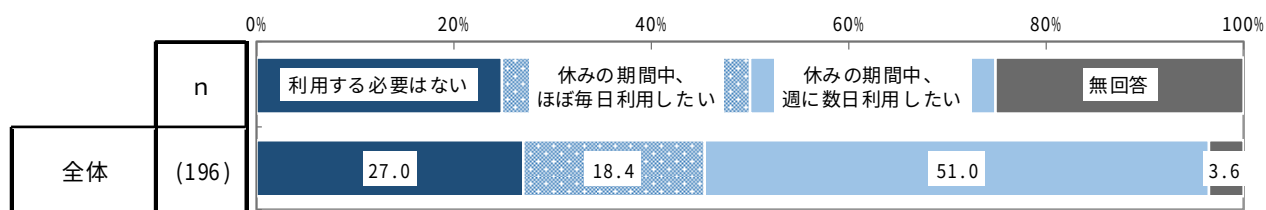
問 20 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、現在一定の利用者負担が発生します。

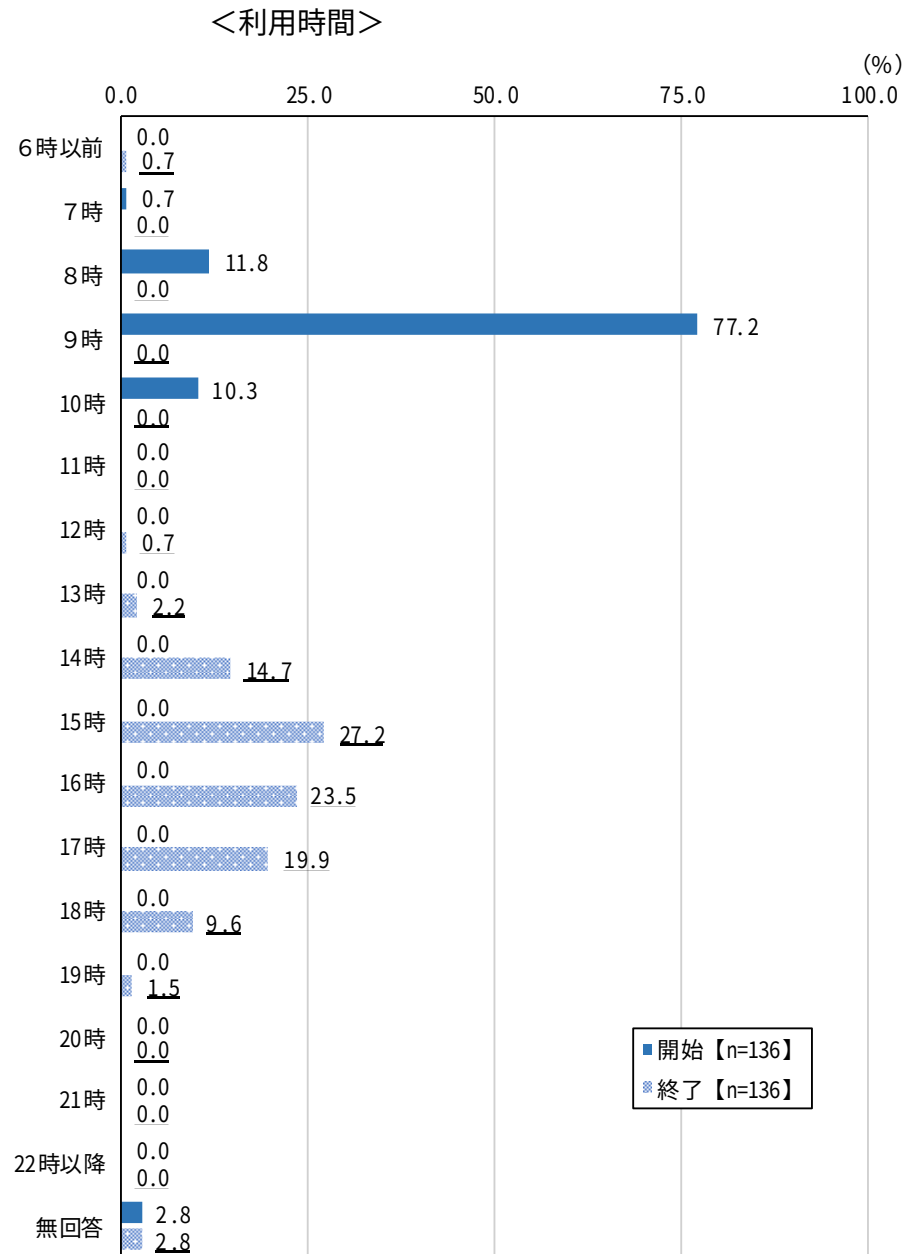
※幼稚園を利用されている場合のみ (○はひとつ、数値を記入)

長期休暇中の事業の利用意向について、「利用する必要はない」は27.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は18.4%、「休みの期間中、週に数日利用したい」は51.0%となっている。

利用時間について、開始は「9時」が77.2%と最も多く、終了は「15時」が27.2%となっている。

<利用意向>



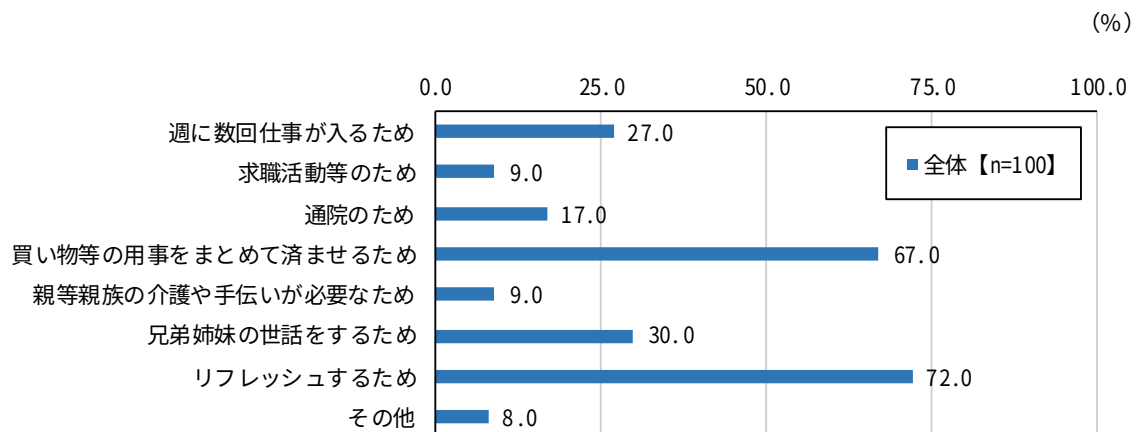


(4) 週に数日利用したい理由

問20-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問20で選択肢3を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

長期休暇期間中の利用を週に数日とする理由について、「リフレッシュするため」が72.0%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が67.0%となっている。



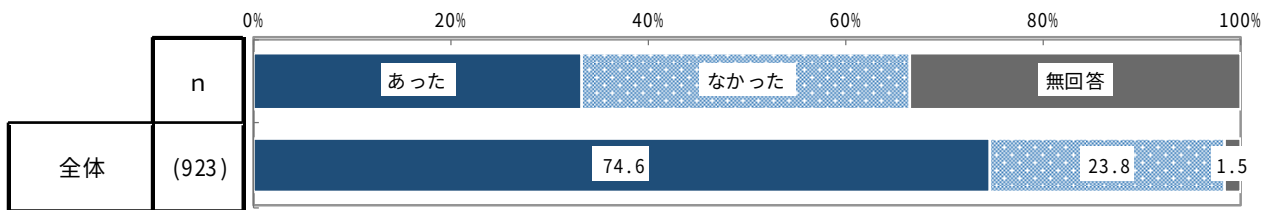
7. お子さんの病気の際の対応について

(1) この1年間に病気やケガで通常事業が利用できなかったこと

問21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験について、「あった」が74.6%、「なかった」が23.8%となっている。



(2) 通常事業が利用できなかった際の対応

問21-1 その際どのように対応しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間における、それぞれの日数も数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

※問21で選択肢1を選んだ場合のみ（○はいくつでも、数値を記入）

通常の事業が利用できなかった時の対応について、「母親のみが休んだ」が67.1%と最も多く、次いで「父親のみが休んだ」が34.7%となっている。

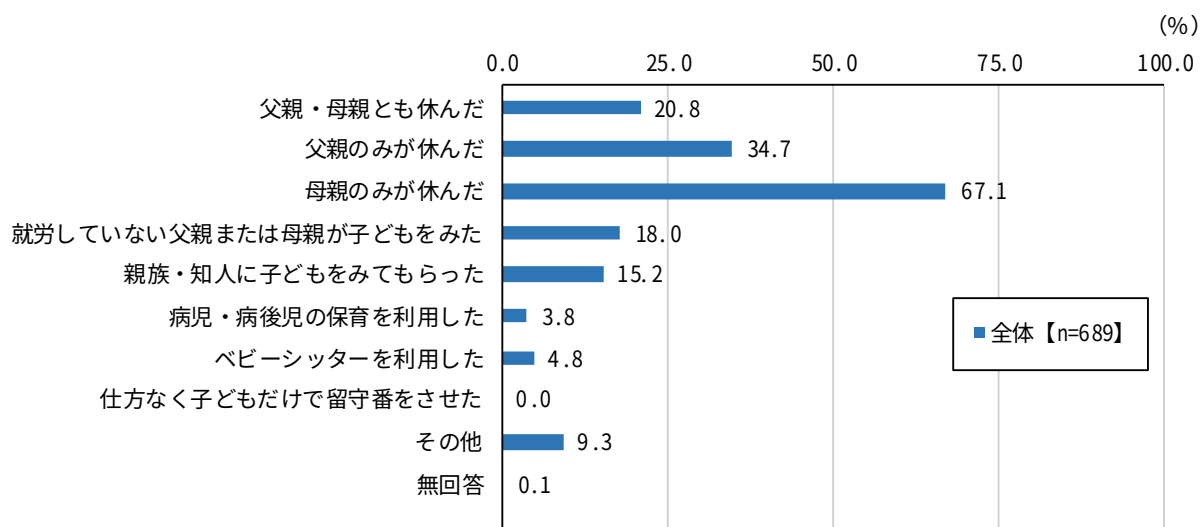
なお、「病児・病後児の保育を利用した」は3.8%、「ベビーシッターを利用した」は4.8%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は0%となっている。

対応方法別の年間の日数について、「母親のみが休んだ」では「5～9日」が30.5%と最も多く、「父親のみが休んだ」では「1～4日」が58.6%となっている。

なお、「病児・病後児の保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」とともに、「1～4日」が最も多く半数を占めている。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

<対応方法>



<年間の対応日数>

	n	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	%
父親・母親とも休んだ	143	42.0	28.0	21.0	4.9	1.4	0.7	0.7	1.4	
父親のみが休んだ	239	58.6	25.5	12.1	1.3	1.3	-	-	1.3	
母親のみが休んだ	462	28.4	30.5	28.6	7.6	2.6	0.4	0.9	1.1	
就労していない父親または母親が子どもをみた	124	16.1	24.2	36.3	15.3	3.2	1.6	1.6	1.6	
親族・知人に子どもをみてもらった	105	46.7	30.5	18.1	2.9	1.0	-	1.0	-	
病児・病後児の保育を利用した	26	50.0	30.8	11.5	3.8	3.8	-	-	-	
ベビーシッターを利用した	33	63.6	12.1	21.2	-	-	-	-	3.0	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	64	17.2	21.9	37.5	9.4	4.7	4.7	3.1	1.6	

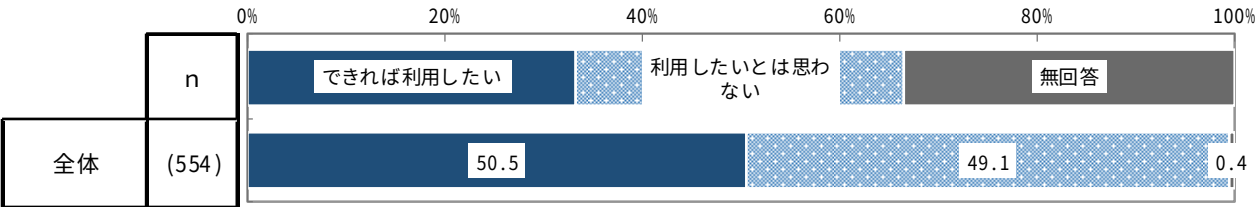
(3) 病児・病後児保育施設等の利用意向

問 2 1－1－1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。どちらか 1 つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。）
※問 2 1－1 で選択肢 1～3 を選んだ場合のみ（○はいくつでも、数値を記入）

病児・病後児保育の利用意向について、「できれば利用したい」は 50.5%、「利用したいと思わない」は 49.1%となっている。

利用を希望する年間の日数について、“病児保育” “病後児保育” とともに「1～4 日」が最も多く約 3 割を占めている。

＜利用意向＞



＜年間の利用希望日数＞

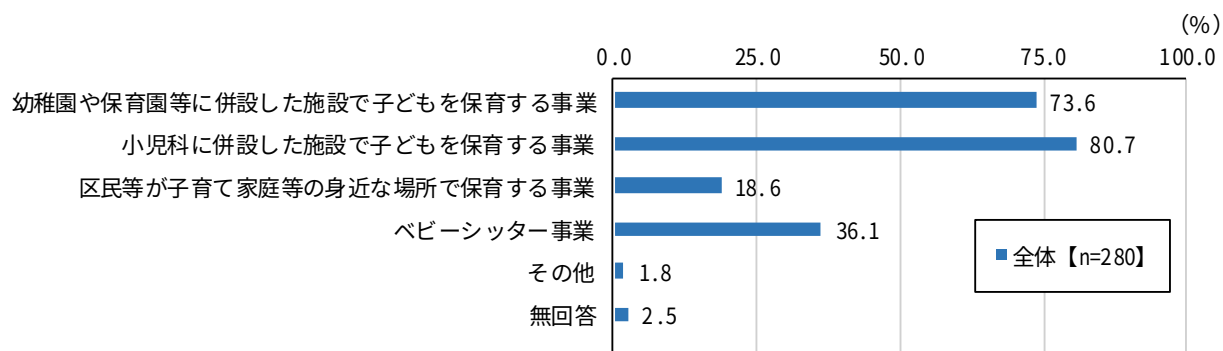
		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
n										%
病児保育施設	280	38.6	26.4	16.4	2.1	1.8	0.4	-		14.3
病後児保育施設	280	30.4	20.7	12.9	1.8	0.4	-	-		33.9

(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態

問 2 1 - 1 - 1 - 1 病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 2 1 - 1 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

病児・病後児保育の事業形態への希望について、「小児科に併設した施設での実施」が80.7%と最も多く、次いで「幼稚園や保育園等に併設した施設での実施」が73.6%となっている。

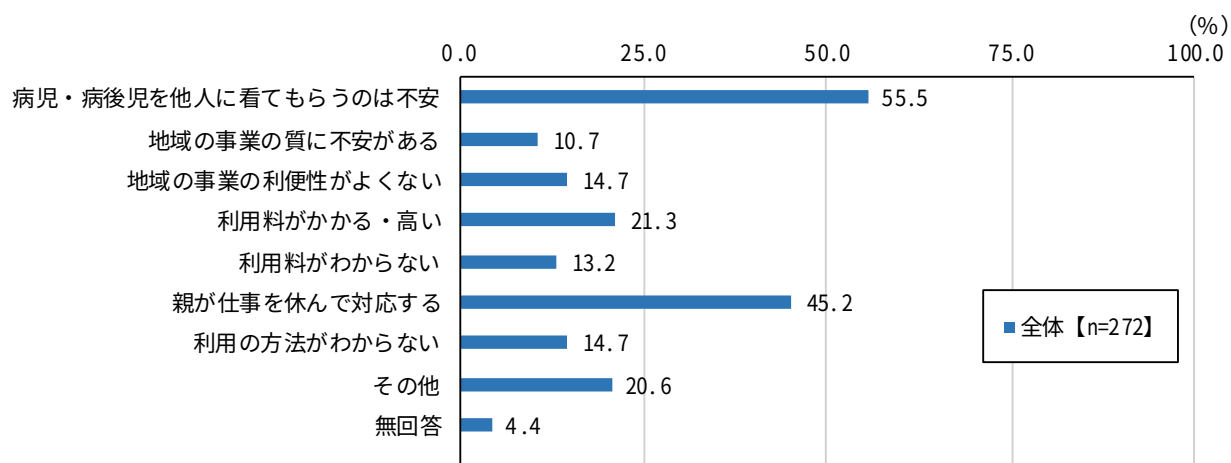


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 2 1 - 1 - 1 - 2 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 2 1 - 1 - 1 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由について、「病児・病後児を他人に診てもらうのは不安」が55.5%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が45.2%となっている。

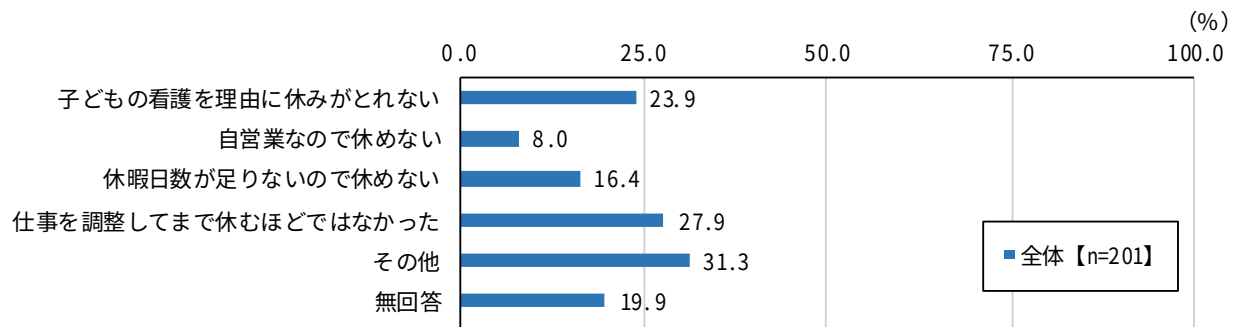


(6) 父母いずれも休めなかった理由

問21-1-2 その理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問21-1で選択肢5～9を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

子どもが病気やケガの際に父母いずれも休めなかった理由について、「仕事を調整してまで休むほどではなかった」が27.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が23.9%となっている。



8. お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不規則な一時預かり等の利用状況

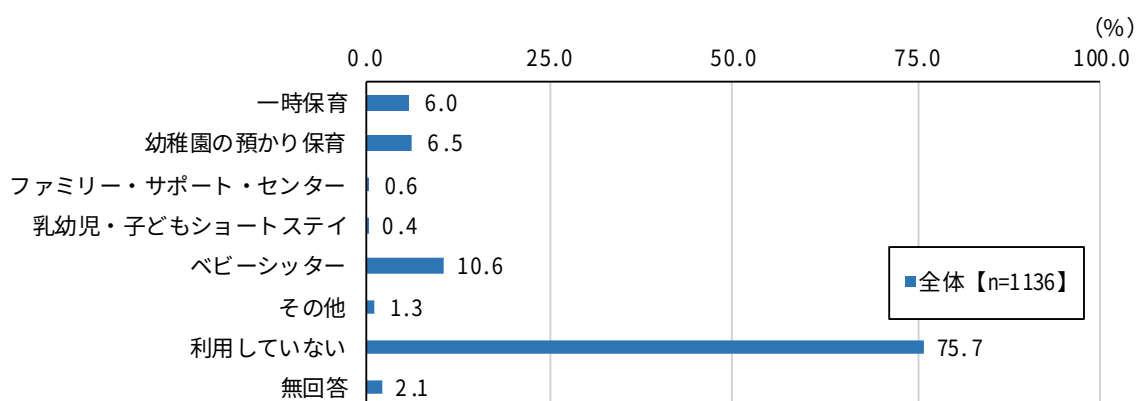
問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等のために不規則で利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も数字でご記入ください。

(○はひとつ)

不規則な一時預かり等の利用状況について、利用率は「一時保育」が6.0%、「幼稚園の預かり保育」が6.5%、「ファミリー・サポート・センター」が0.6%、「乳幼児・子どもショートステイ」が0.4%、「ベビーシッター」が10.6%となっている。なお、「利用していない」は75.7%となっている。

年間の利用日数について、「一時保育」では「1～4日」が30.9%と最も多く、「幼稚園の預かり保育」では「50日以上」が25.7%、「ベビーシッター」では「1～4日」が75.0%となっている。

<利用状況>



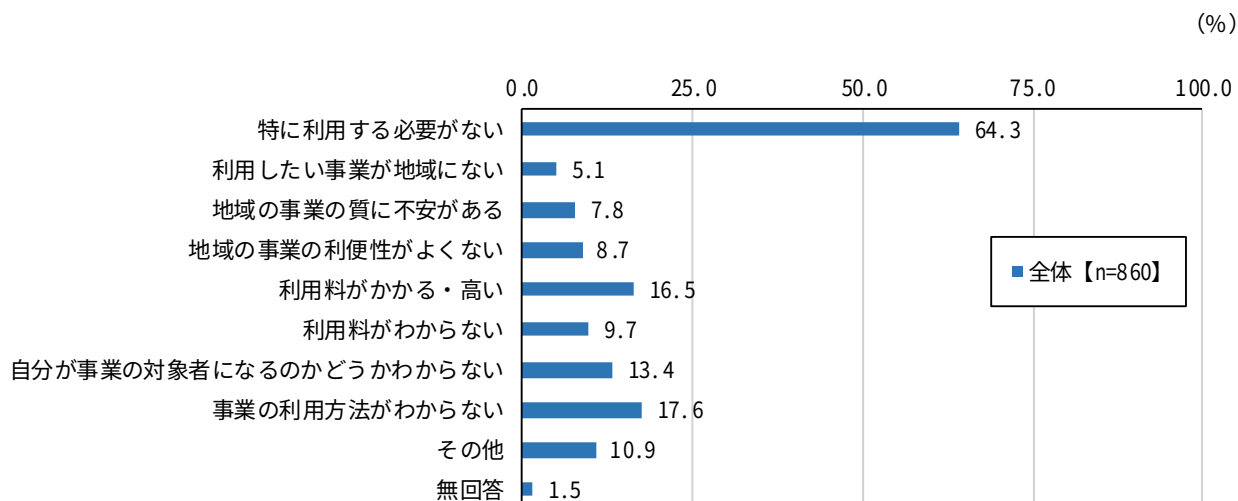
<年間の利用日数>

	n	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以 上	無 回 答	%
一時保育	68	30.9	23.5	19.1	7.4	2.9	-	14.7	1.5	
幼稚園の預かり 保育	74	8.1	10.8	21.6	10.8	12.2	9.5	25.7	1.4	
ファミリー・サ ポート・セン ター	7	14.3	-	14.3	28.6	14.3	28.6	-	-	
乳幼児・子ども ショートステイ	4	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	
ベビーシッター	120	26.7	15.8	18.3	8.3	10.8	5.0	13.3	1.7	
その他	15	40.0	6.7	13.3	6.7	20.0	-	13.3	-	

(2) 一時預かり等を利用していない理由

問22-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問22で選択肢7を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

一時預かりを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が64.3%と最も多く、次いで「事業の利用方法がわからない」が17.6%、「利用料がかかる・高い」が16.5%となっている。



(3) 不定期な一時預かりの利用意向

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等のために、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、現在一定の利用料がかかります。（○はいくつでも、数値を記入）

一時預かりの利用意向について、「利用したい」は57.2%、「利用する必要はない」は41.8%となっている。

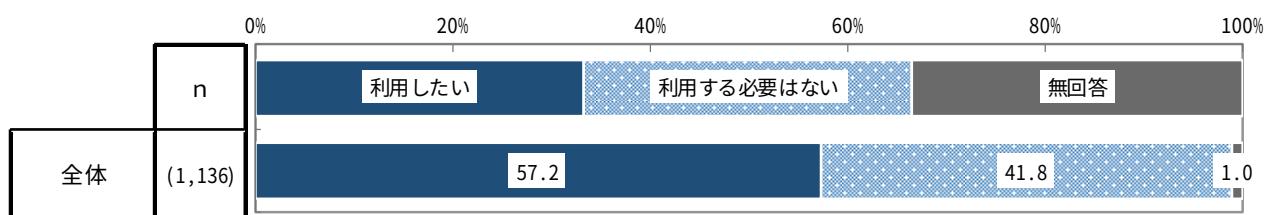
利用を希望する年間の日数について、「10～19日」が28.6%と最も多くなっている。

利用目的について、「私用・リフレッシュ目的」が82.5%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が60.5%、「不特定の就労」が33.4%となっている。

利用目的別の希望日数について、“私用・リフレッシュ目的”では「10～19日」が30.8%と最も多く、“冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等”“不特定の就労”では「1～4日」が最も多くなっている。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

<利用意向>

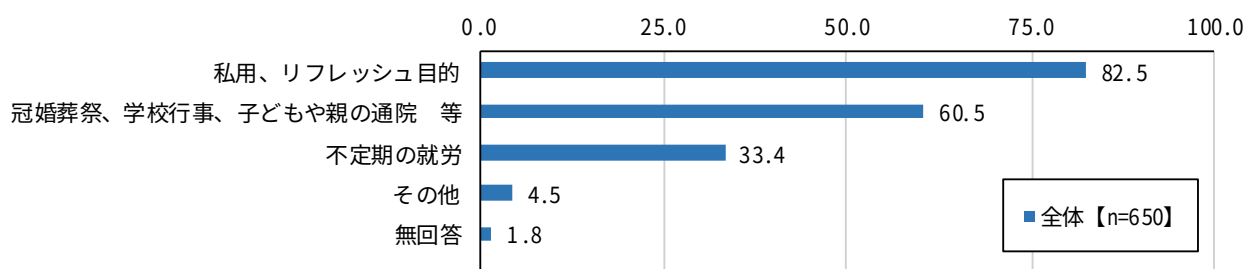


<年間の利用希望日数（全体）>

		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
n										%
全体	650	6.6	14.9	28.6	14.2	7.8	3.1	14.9	9.8	

<利用目的>

(%)



<年間の利用希望日数（利用目的別）>

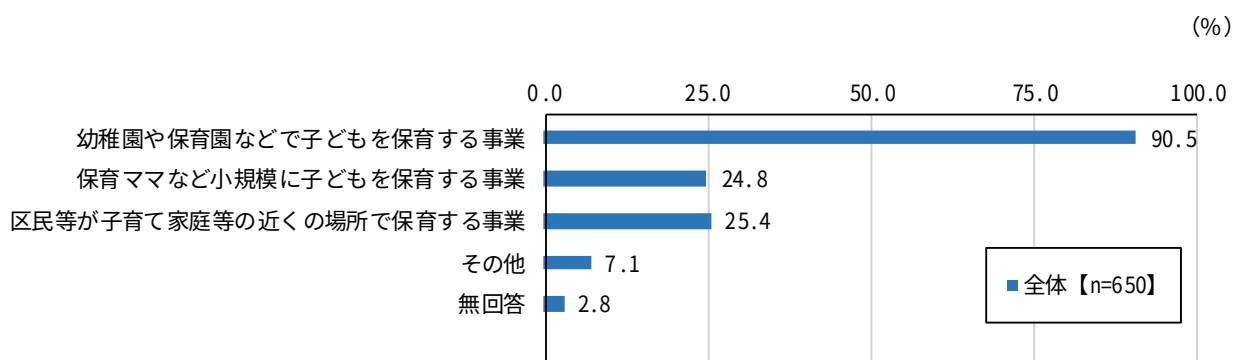
		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
n										%
私用、リフレッ シュ目的	536	20.3	20.5	30.8	11.2	2.8	3.0	9.7	1.7	
冠婚葬祭、学校 行事、子どもや 親の通院 等	393	31.3	28.5	28.0	7.6	0.8	0.8	1.0	2.0	
不定期の就労	217	26.7	21.2	19.4	11.5	6.0	1.4	12.9	0.9	
その他	29	13.8	48.3	17.2	10.3	-	-	10.3		

(4) 不定期な一時預かりの事業形態

問23-1 問23のためにお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問23で選択肢1のア～エを選んだ場合のみ（○はいくつでも）

一時預かりの実施形態について、「幼稚園や保育園などで実施」が90.5%と最も多く、次いで「区民等が子育て家庭等の近くの場所で実施」が25.4%、「保育ママなど小規模に実施」が24.8%となっている。



(5) 宿泊を伴う預かり保育の利用意向

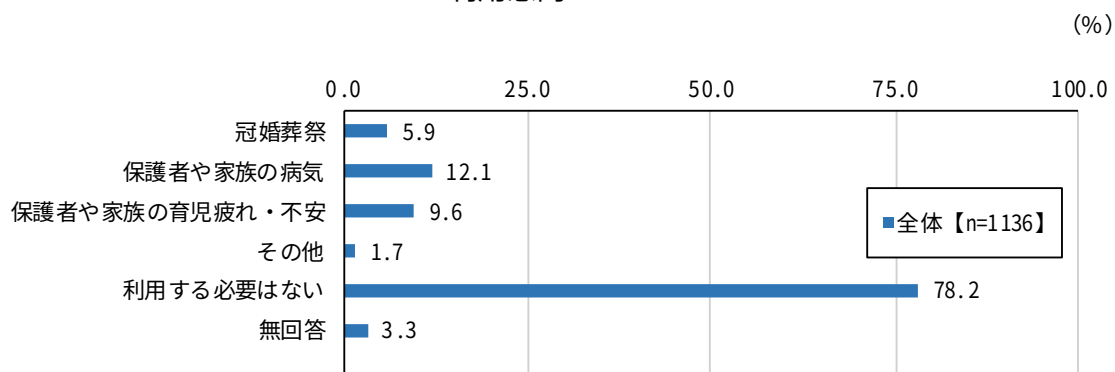
問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時、お子さんを泊りがけで預けることができる子どもショートステイを利用したいと思いましたが。利用したい日数について、保護者の理由別の日数も含めて数字でご記入ください。

（○はひとつ、数値を記入）

宿泊を伴う預かり保育の利用意向について、「冠婚葬祭」での利用が5.9%、「保護者や家族の病気」での利用が12.1%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」での利用が9.6%となっている。なお、「利用する必要はない」は78.2%となっている。

利用目的別の年間の利用日数について、「冠婚葬祭」「保護者や家族の病気」「保護者や家族の育児疲れ・不安」とともに「1～4日」が最も多く半数を上回っている。

<利用意向>



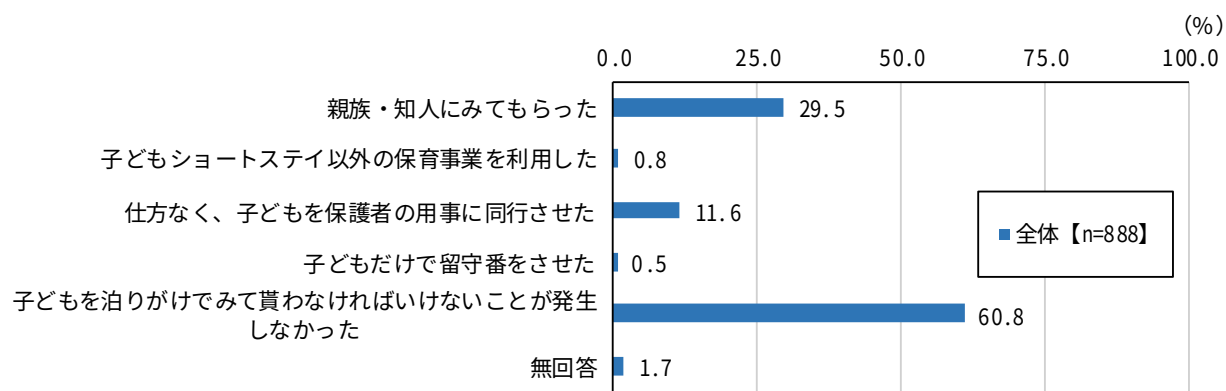
<年間の利用日数（目的別）>

		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
	n									%
冠婚葬祭	67	89.6	7.5	1.5	-	-	-	-	-	1.5
保護者や家族の 病気	137	69.3	20.4	5.8	1.5	-	-	0.7	-	2.2
保護者や家族の 育児疲れ・不安	109	61.5	23.9	8.3	1.8	0.9	0.9	-	-	2.8
その他	19	68.4	15.8	5.3	-	5.3	-	-	-	5.3

(6) 利用する必要がなかった理由

問 2 4 - 1 利用する必要がなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 2 4 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

宿泊を伴う預かり保育を利用する必要がなかった理由について、「子どもを泊りがけで見てもらわなければいけないことが発生しなかった」が 60.8%と最も多く、次いで「親族・知人にみてもらった」が 29.5%となっている。



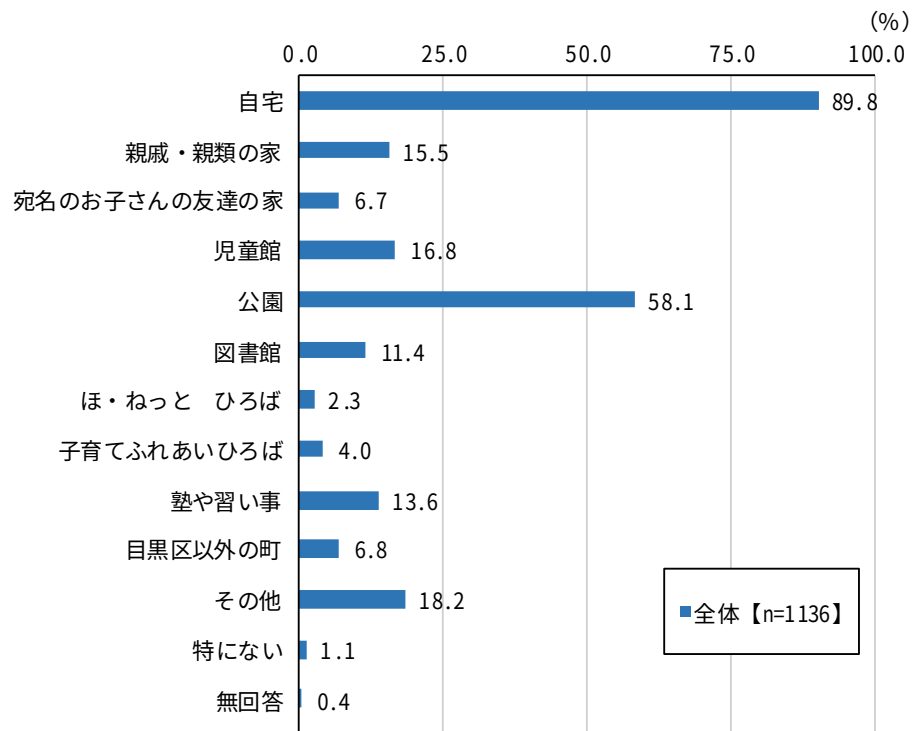
9. お子さんの普段の過ごし方について

(1) お子さんが平日を過ごしている好きな場所

問25 宛名のお子さんは平日どこで過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

平日を過ごす上で子どもが好きな場所について、「自宅」が89.8%と最も多く、次いで「公園」が58.1%となっている。

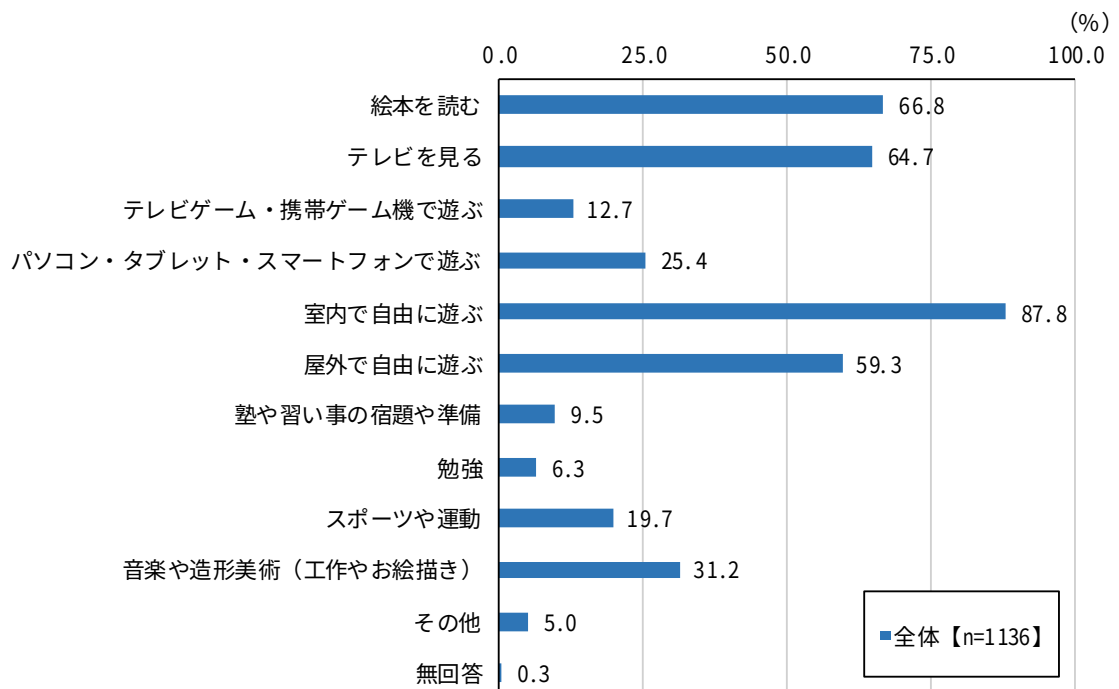


(2) お子さんが平日している好きなこと

問 2 6 宛名のお子さんは平日何をして過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

平日を過ごす上で子どもが好きな過ごし方について、「室内で自由に遊ぶ」が87.8%と最も多く、次いで「絵本を読む」が66.8%となっている。

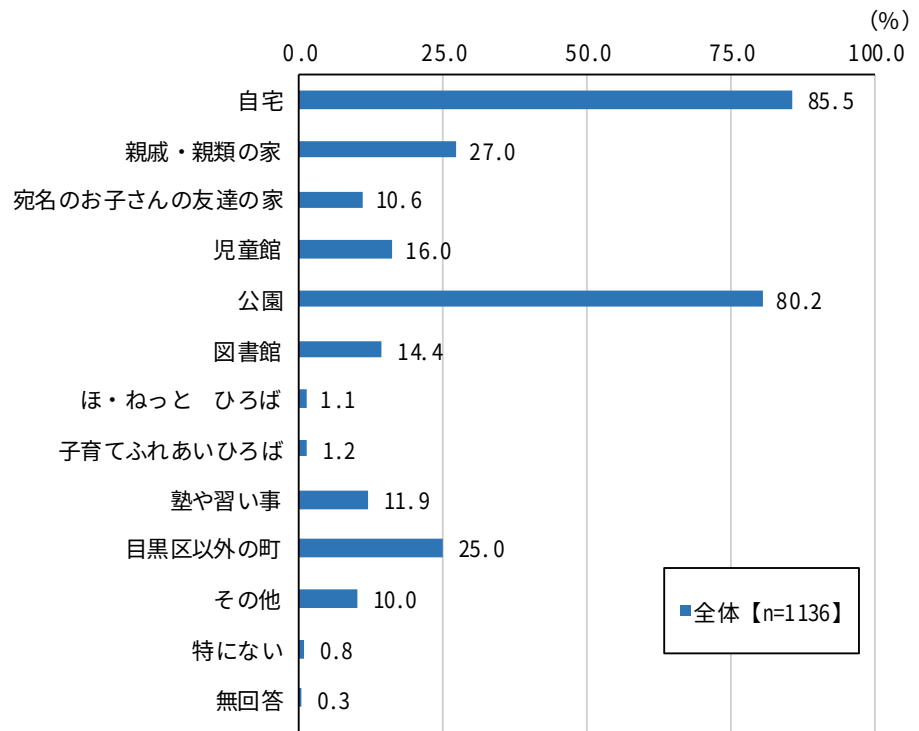


(3) お子さんが休日を過ごしている好きな場所

問27 宛名のお子さんは休日どこで過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

休日を過ごす上で子どもが好きな場所について、「自宅」が85.5%と最も多く、次いで「公園」が80.2%となっている。

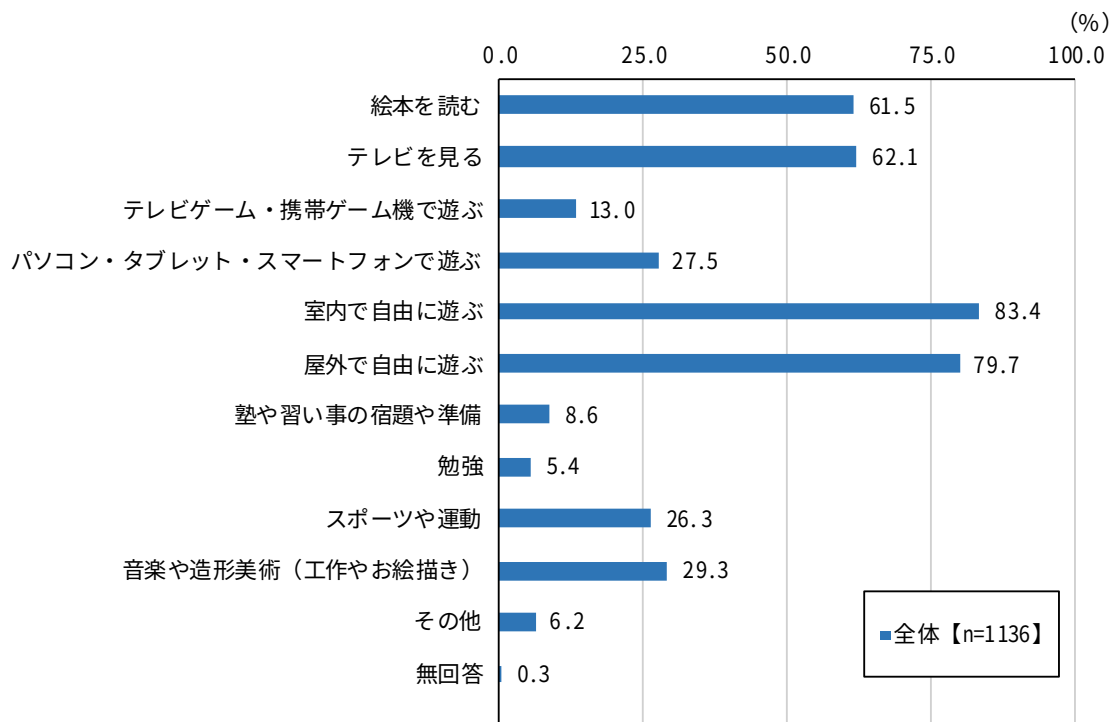


(4) お子さんが休日を過ごしている好きな場所

問 2 8 宛名のお子さんは休日何をして過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

休日を過ごす上で子どもが好きな過ごし方について、「室内で自由に遊ぶ」が83.4%と最も多く、次いで「屋外で自由に遊ぶ」が79.7%となっている。



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年時の希望する放課後の過ごし方

問29 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」、「ランランひろば・ランドセルひろば」、「ランドセル来館」には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

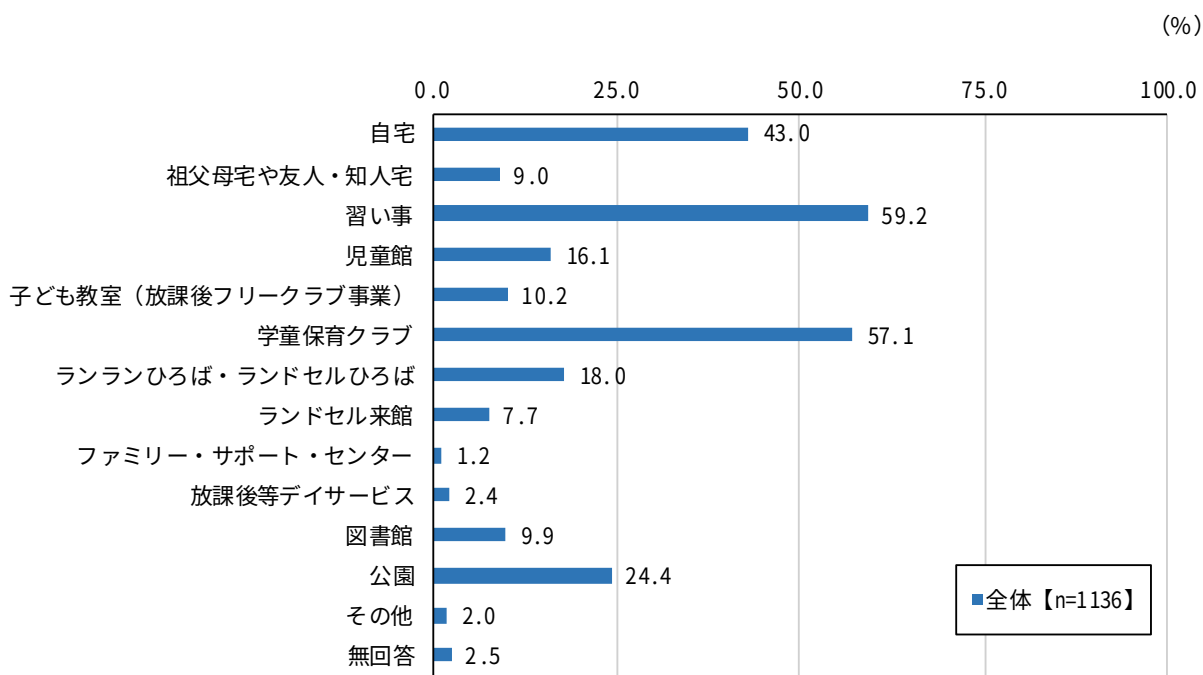
（数値を記入）

小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方について、「習い事」が59.2%と最も多く、次いで「学童保育クラブ」が57.1%、「自宅」が43.0%となっている。

場所別の1週間の希望日数について、「習い事」では「2日」が46.7%と最も多く、「学童保育クラブ」では「5日」が55.2%、「自宅」では「2日」が30.1%となっている。

学童保育クラブ、ランランひろば・ランドセルひろば、ランドセル来館の希望終了時間について、「学童保育クラブ」では「18時」が56.1%と最も多く、「ランランひろば・ランドセルひろば」では「17時」が39.2%、「ランドセル来館」では「18時」が33.3%となっている。

＜放課後を過ごさせたい場所＞



目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

< 1 週の利用希望日数 >

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	%
自宅	489	19.6	30.1	21.5	5.5	16.4	0.8	3.1	3.1	
祖父母宅や友人・知人宅	102	58.8	23.5	8.8	-	2.0	1.0	-	5.9	
習い事	673	27.5	46.7	19.0	2.4	3.6	-	0.1	0.7	
児童館	183	38.8	25.1	15.3	2.2	15.8	0.5	-	2.2	
子ども教室（放課後フリークラブ事業）	116	42.2	25.0	6.9	3.4	19.0	-	0.9	2.6	
学童保育クラブ	649	3.9	10.9	19.3	8.2	55.2	1.8	0.2	0.6	
ランランひろば・ランドセルひろば	204	18.6	29.4	20.1	4.9	24.5	-	-	2.5	
ランドセル来館	87	14.9	17.2	19.5	6.9	37.9	-	-	3.4	
ファミリー・サポート・センター	14	28.6	14.3	14.3	-	42.9	-	-		
放課後等デイサービス	27	37.0	22.2	14.8	-	18.5	3.7	-	3.7	
図書館	112	69.6	14.3	5.4	-	4.5	-	0.9	5.4	
公園	277	24.2	36.1	22.0	1.8	11.9	-	0.7	3.2	
その他	23	43.5	34.8	13.0	-	8.7	-	-		

< 利用希望時間 >

	n	16時以前	17時	18時	19時	20時	21時	それ以降	無回答	%
学童保育クラブ	649	4.5	22.0	56.1	14.6	1.2	0.2	-	1.4	
ランランひろば・ランドセルひろば	204	25.5	39.2	26.5	5.9	1.0	0.5	-	1.5	
ランドセル来館	87	21.8	26.4	33.3	13.8	2.3	1.1	-	1.1	

(2) 小学校高学年時の希望する放課後の過ごし方

問30 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」、「ランランひろば・ランドセルひろば」、「ランドセル来館」には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※宛名のお子さんにとっては、だいふ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

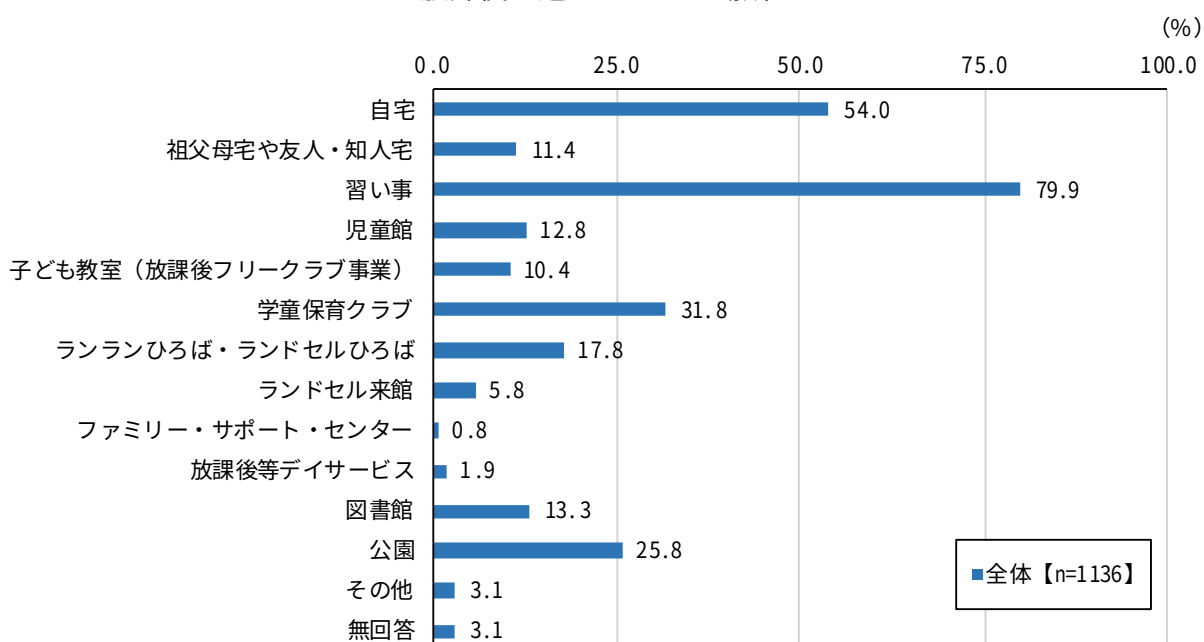
（数値を記入）

小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方について、「習い事」が79.9%と最も多く、次いで「自宅」が54.0%、「学童保育クラブ」が31.8%となっている。

場所別の1週間の希望日数について、「習い事」では「2日」が38.5%と最も多く、「自宅」では「2日」が32.9%、「学童保育クラブ」では「2日」が31.9%となっている。

学童保育クラブ、ランランひろば・ランドセルひろば、ランドセル来館の希望終了時間について、「学童保育クラブ」では「18時」が53.5%と最も多く、「ランランひろば・ランドセルひろば」では「17時」が45.5%、「ランドセル来館」では「18時」が37.9%となっている。

＜放課後を過ごさせたい場所＞



目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

< 1 週の利用希望日数 >

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	%
自宅	614	22.3	32.9	18.6	2.6	17.8	0.3	2.3	3.3	
祖父母宅や友人・知人宅	130	59.2	25.4	8.5	0.8	1.5	-	-	4.6	
習い事	908	12.2	38.5	34.7	7.5	5.6	0.1	0.3	1.0	
児童館	145	36.6	29.7	14.5	0.7	15.2	-	-	3.4	
子ども教室（放課後フリースクール事業）	118	41.5	25.4	12.7	3.4	13.6	-	0.8	2.5	
学童保育クラブ	361	10.2	25.5	25.5	5.5	31.9	0.6	-	0.8	
ランランひろば・ランドセルひろば	202	20.8	29.7	22.3	3.5	20.8	-	-	3.0	
ランドセル来館	66	24.2	13.6	18.2	7.6	33.3	-	-	3.0	
ファミリー・サポート・センター	9	44.4	-	22.2	-	22.2	-	-	11.1	
放課後等デイサービス	22	36.4	22.7	18.2	-	13.6	4.5	-	4.5	
図書館	151	54.3	24.5	7.9	0.7	5.3	-	-	7.3	
公園	293	32.8	32.4	19.1	1.7	9.9	-	0.7	3.4	
その他	35	42.9	34.3	11.4	-	11.4	-	-	-	

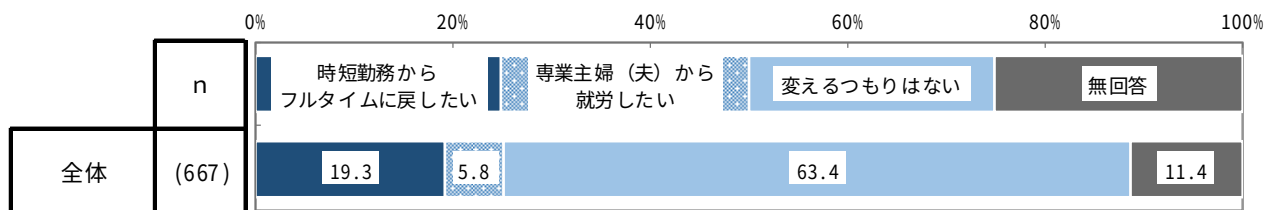
< 利用希望時間 >

	n	16時以前	17時	18時	19時	20時	21時	それ以降	無回答	%
学童保育クラブ	361	2.2	21.1	53.5	18.3	2.8	0.3	-	1.9	
ランランひろば・ランドセルひろば	202	12.9	45.5	31.7	4.5	1.0	0.5	-	4.0	
ランドセル来館	66	12.1	33.3	37.9	10.6	3.0	1.5	-	1.5	

(3) お子さんが小学生になったときの将来の就労意向

問30-1 宛名のお子さんが小学生になった時、どのように働き方を変えたいですか。**※問29または30で選択肢6を選んだ場合のみ（〇はひとつ）**

子どもが小学生になった際の保護者の就労意向について、「時短勤務からフルタイムに戻したい」は19.3%、「専業主婦（夫）から就労したい」は5.8%、「変えるつもりはない」は63.4%となっている。



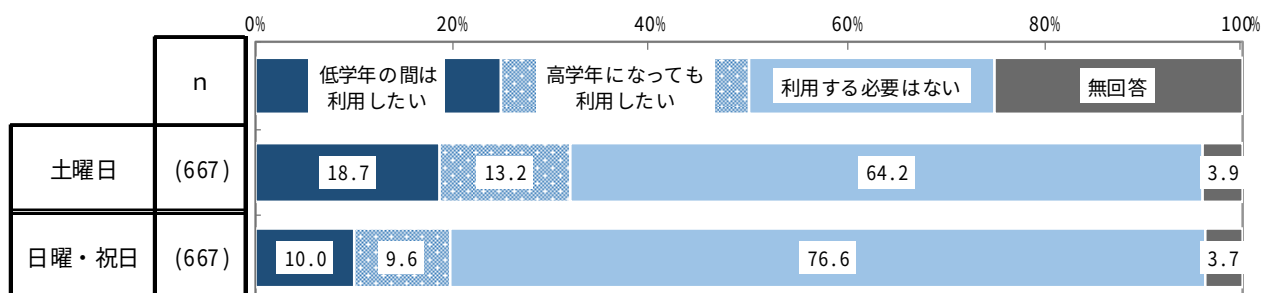
(4) 土日・祝日の学童保育クラブの利用意向

問30-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに〇をつけてください。

※問29または30で選択肢6を選んだ場合のみ（〇はひとつ）

土曜日の学童保育クラブの利用意向について、「低学年の間は利用したい」は18.7%、「高学年になっても利用したい」は13.2%となっている。

日曜・祝日の学童保育クラブの利用意向について、「低学年の間は利用したい」は10.0%、「高学年になっても利用したい」は9.6%となっている。

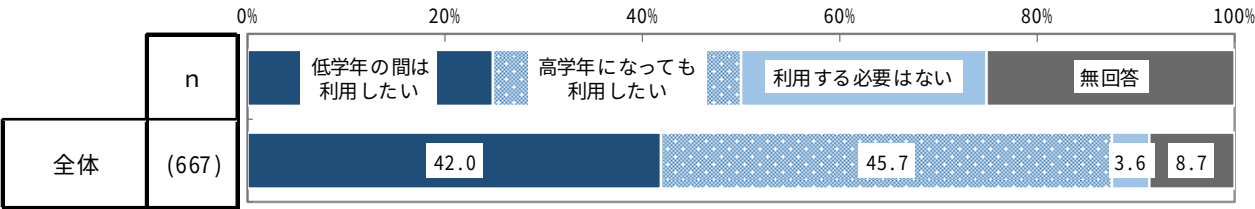


(5) 長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用意向

問 3 1 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問 2 9 または 3 0 で選択肢 6 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

長期休暇中の学童保育クラブの利用意向について、「低学年の間は利用したい」は 42.0%、「高学年になっても利用したい」は 45.7%となっている。



11. 育児休業や短時間勤務制度など子育てと職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

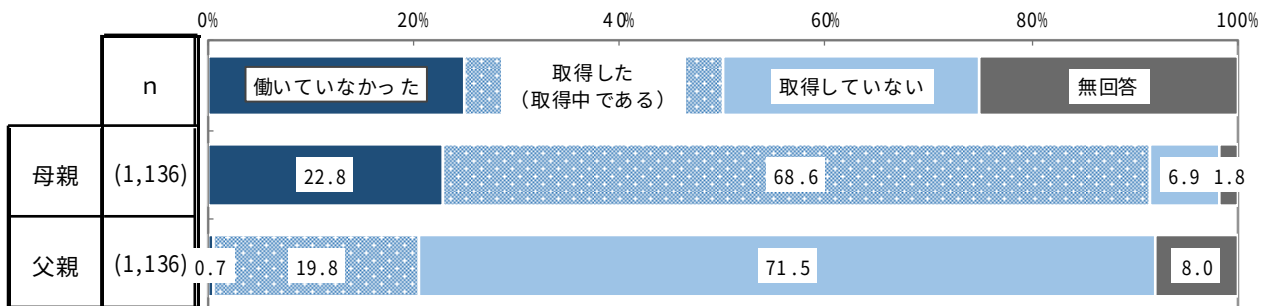
問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

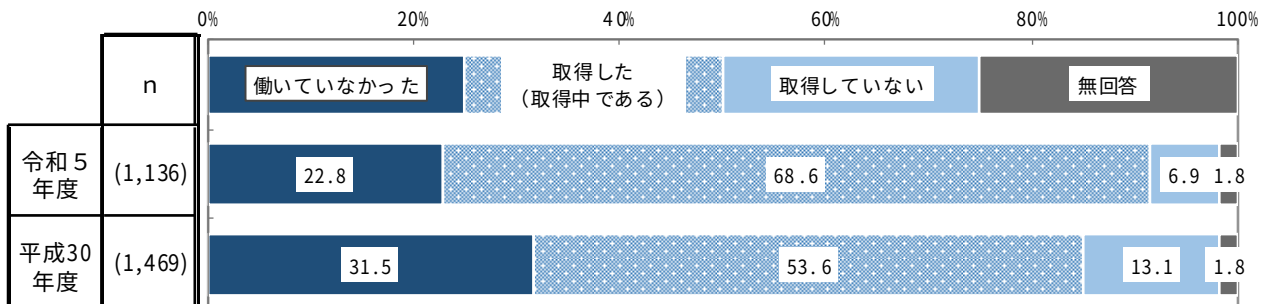
育児休業の取得状況について、母親では「取得した」は68.6%となっており、父親では19.8%となっている。

前回調査実施時（平成30年度）と比較すると、母親では「働いていなかった」の回答が約9ポイント減り、「取得した（取得中である）」が15ポイント増加している。

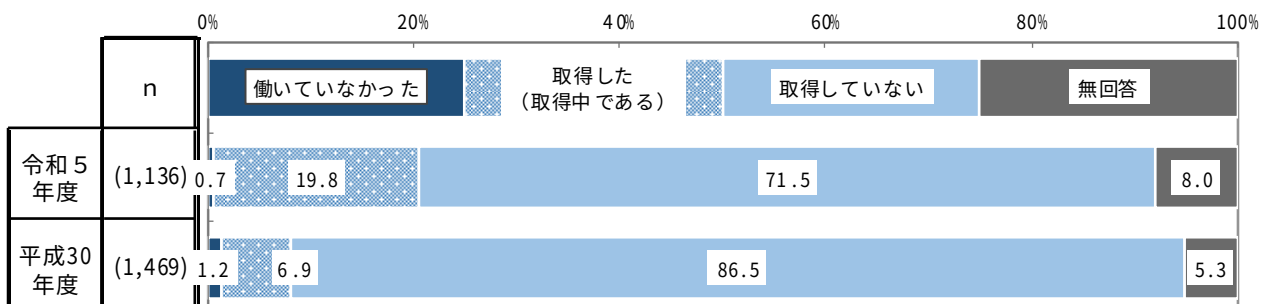
父親では「取得した（取得中である）」が13ポイント増加している。



<母親の前回調査との比較>



<父親の前回調査との比較>



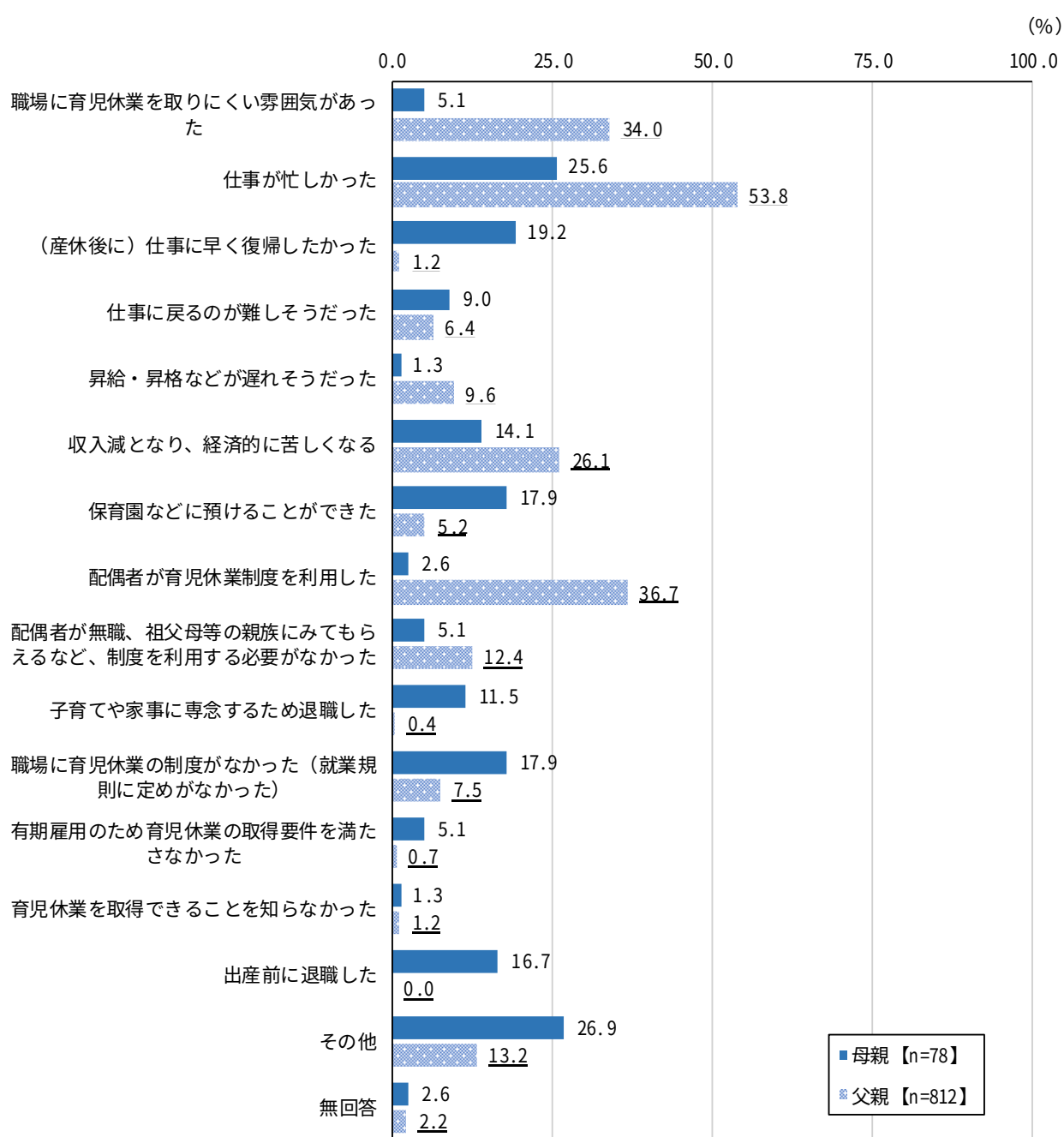
(2) 育児休業を取得していない理由

問 3 2 - 1 育児休業を取得していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 3 2 で選択肢 3 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

育児休業を取得していない理由について、母親では「仕事が忙しかった」が 25.6%と最も多く、次いで「仕事に早く復帰したかった」が 19.2%、「保育園などに預けることができた」「職場に育児休業の制度がなかった」が 17.9%となっている。

父親では「仕事が忙しかった」が 53.8%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業を利用した」が 36.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 34.0%となっている。

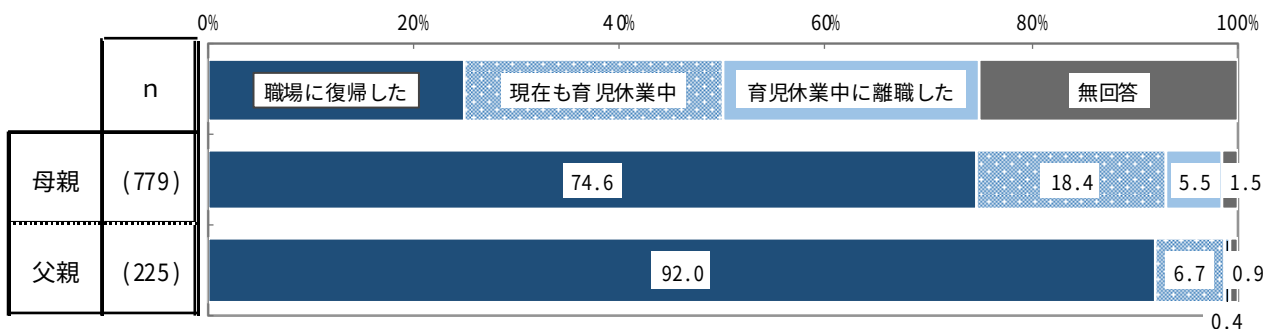


(3) 育児休業を取得後の職場復帰

問3 2-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問3 2で選択肢2を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

育児休業取得後の職場復帰について、母親では「職場に復帰した」が74.6%、「現在も育児休業中」が18.4%、「育児休業中に離職した」が5.5%となっている。

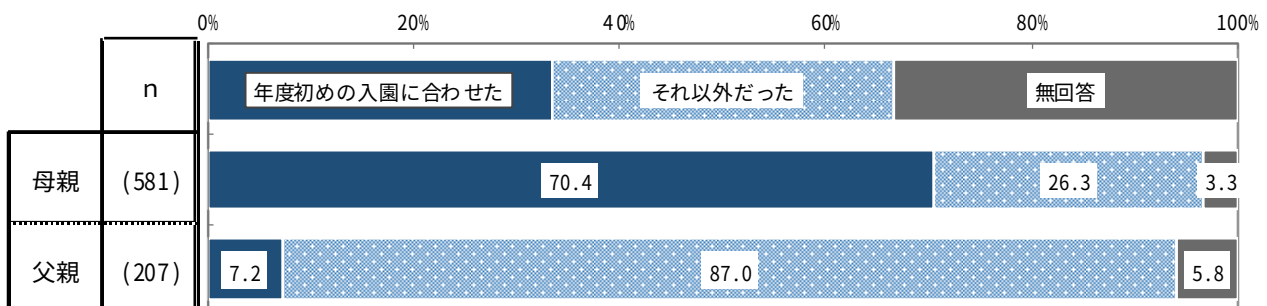
父親では「職場に復帰した」が92.0%、「現在も育児休業中」が6.7%、「育児休業中に離職した」が0.4%となっている。



(4) 育児休業からの職場復帰のタイミング

問3 2-2-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1」を選択してください。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」としてください。
※問3 2-2で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

育児休業からの職場復帰のタイミングについて、母親では「年度初めの入園に合わせた」が70.4%となっている。一方で、父親では「それ以外」が87.0%となっている。



(5) 育児休業取得期間の実際と希望

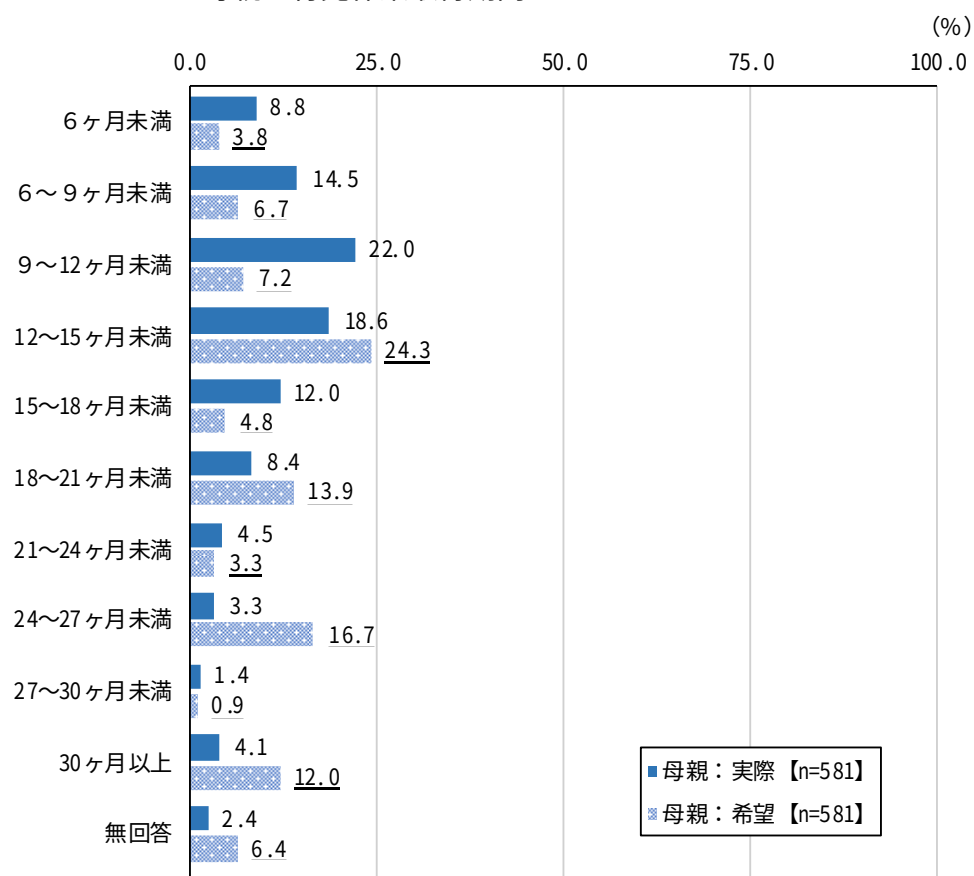
**問 3 2 - 2 - 2 育児休業から職場復帰したのは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときですか？
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」として何歳何ヶ月のときまで取りたかった
ですか。数字でご記入ください。**

※問 3 2 - 2 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（数値を記入）

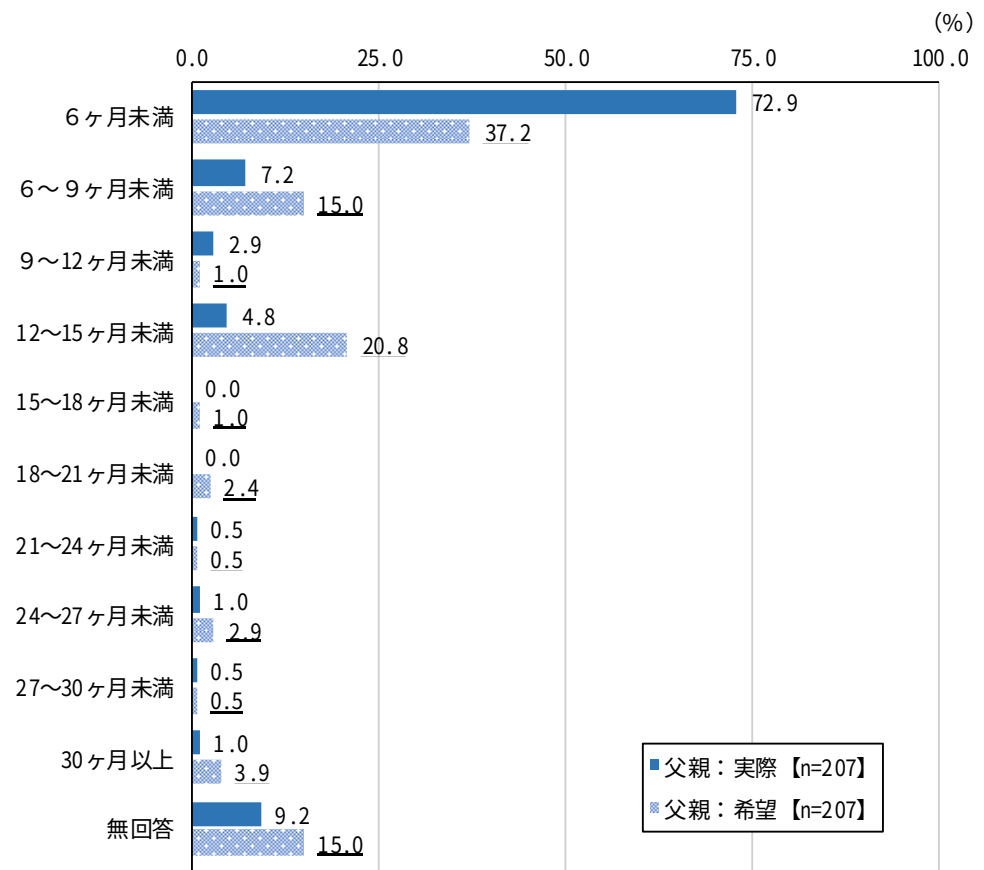
育児休業取得期間について、母親の取得実態は「9～12 ヶ月」が 22.0%と最も多くなっている
反面、取得希望は「12～15 ヶ月」が 24.3%と最も多く、全体的に実態よりも希望の方が長期と
なっており『12 ヶ月以上』の希望割合が 75.9%となっている。

父親の取得実態は「6 ヶ月未満」が 72.9%と最も多く、取得希望についても「6 ヶ月未満」が
37.2%と最も多くなっている。なお『12 ヶ月以上』の希望割合は 32.0%となっている。

<母親の育児休業取得期間>



＜父親の育児休業取得期間＞

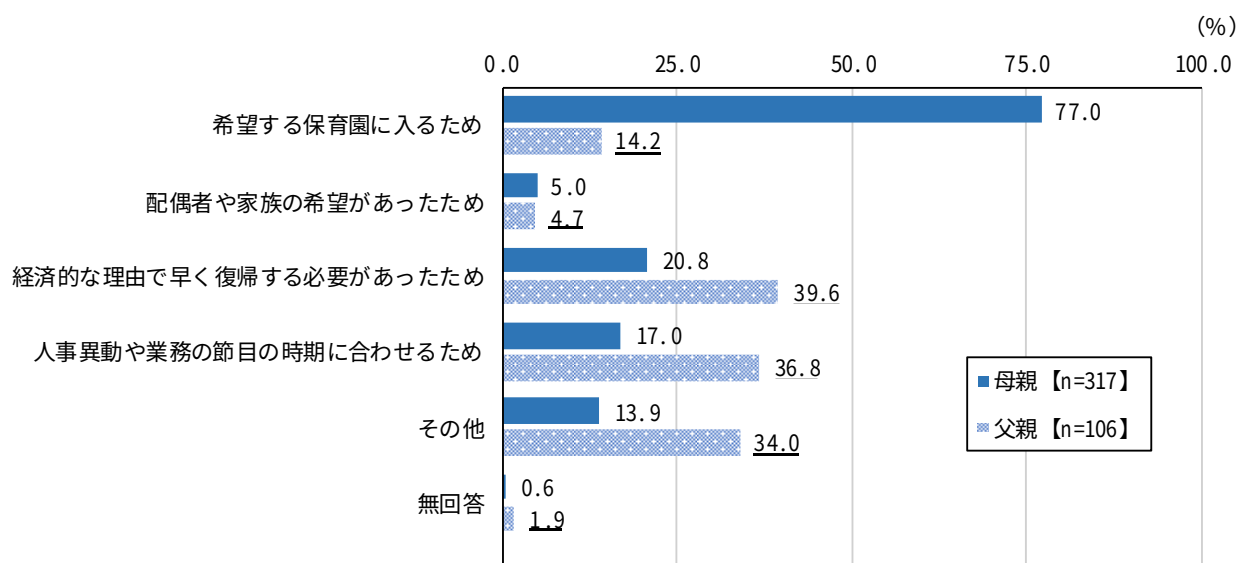


(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問3 2-2-2-1 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、次の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問3 2-2-2で希望より早く復帰した場合のみ（○はひとつ）

希望の時期に職場復帰をしなかった理由について、母親では「希望する保育園に入園するため」が77.0%と最も多く、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が39.6%と最も多くなっている。

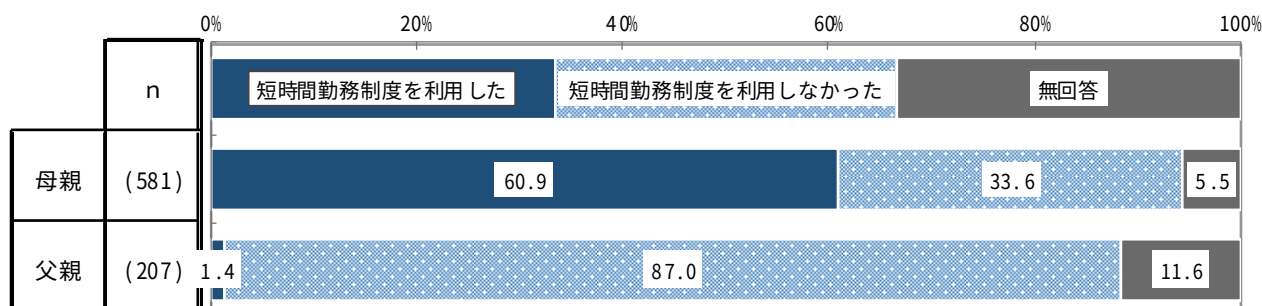


(7) 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問3 2-2-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。どちらか1つに○をつけてください。

※問3 2-2で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

時短勤務の利用状況について、「時短勤務を利用した」は母親では60.9%、父親では1.4%となっている。



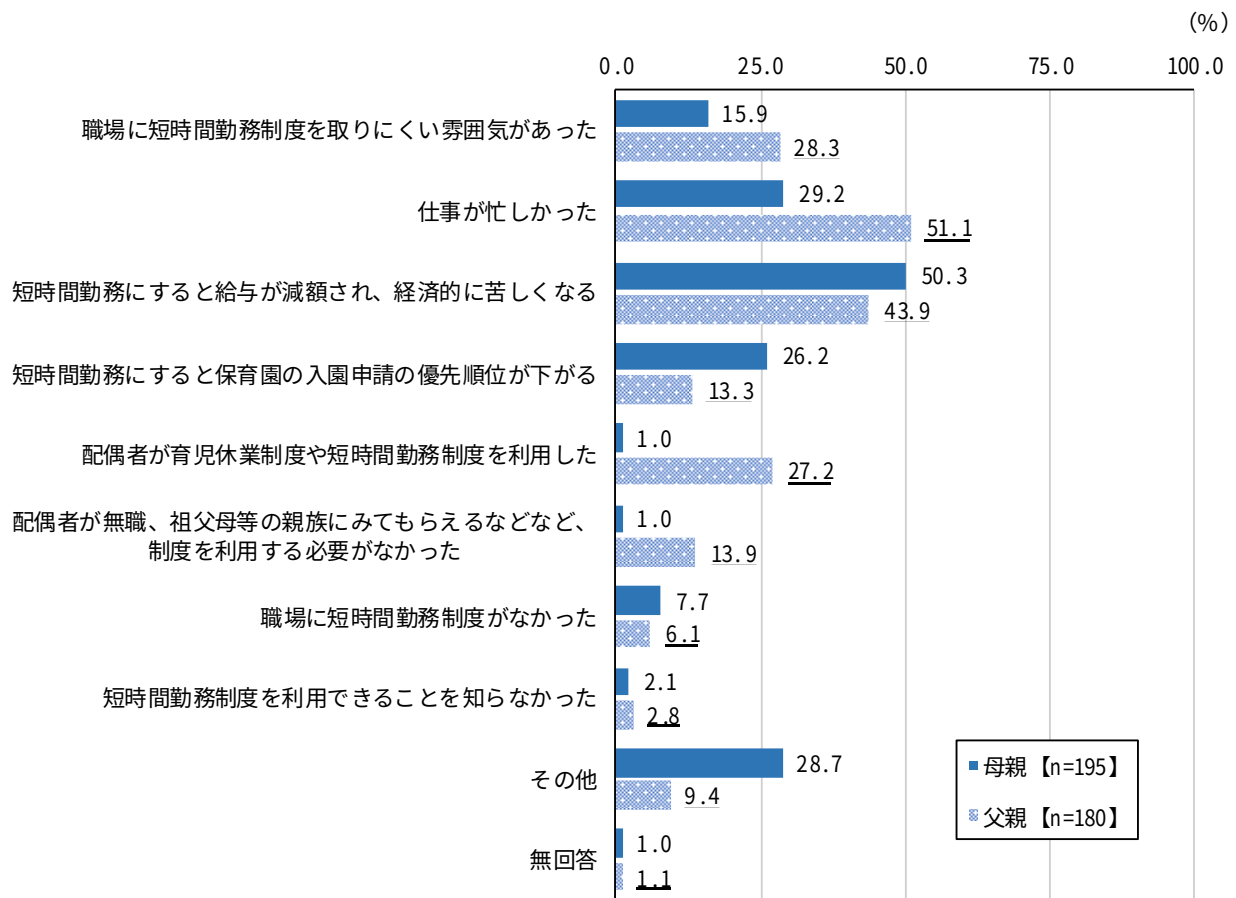
(8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問32-2-3-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問32-2-3で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ）

短時間勤務を利用しなかった理由について、母親では「給与が減額され、経済的に苦しくなる」が50.3%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が29.2%となっている。

父親では「仕事が忙しかった」が51.1%と最も多く、次いで「給与が減額され、経済的に苦しくなる」が43.9%となっている。



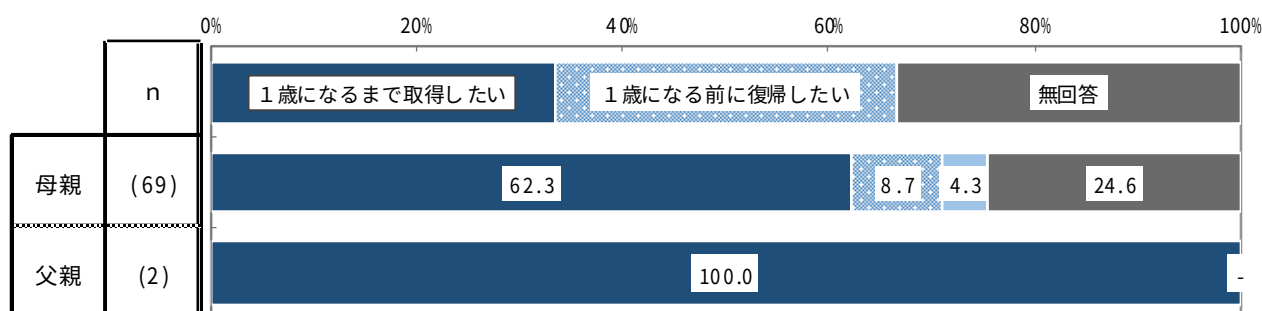
(9) 1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の育児休業取得

問 32-2-4 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

※問32-2で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ）

「1歳児が必ず利用できる保育事業がある場合の育児休業の取得について、「1歳になるまで取得したい」は、母親では62.3%となっている。

なお、父親は回答件数が少ないため参考値とする。

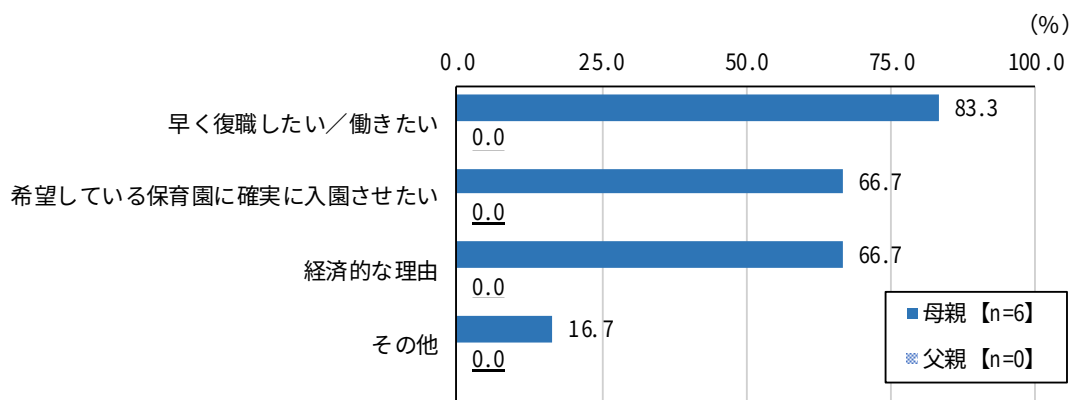


(10) 1歳になる前に復帰したい理由

問 32-2-4-1 宛名のお子さんが1歳になる前に復帰したい理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問32-2-4で選択肢2を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

母親・父親ともに回答件数が少ないため参考値とする。。



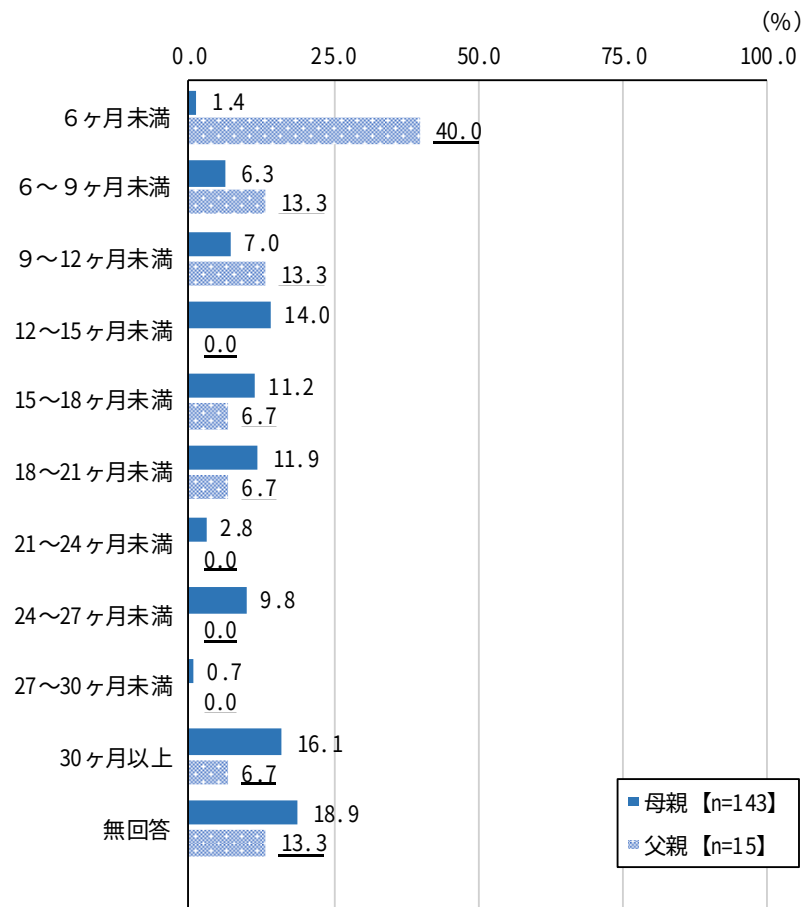
(11)現時点での育児休業の取得予定

問3 2-2-5 現時点で宛名のお子さん何歳何ヶ月になるまで育児休業を取得する予定ですか。数字でご記入ください。

※問3 2-2で選択肢2を選んだ場合のみ（数値を記入）

育児休業の取得予定について、母親では「30ヶ月」が16.1%と最も多く、『12ヶ月以上』が66.5%となっている。

父親では「6ヶ月未満」が40.0%と最も多く、『12ヶ月以上』が20.1%となっている。



(12) 育児休業給付、保険料免除制度の認知状況

問 3 3 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最大 2 歳）になるまで育児休業給付金が支給される制度と、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度があります。この 2 つの制度をご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（○はひとつ）

育児休業に関する制度の認知について、「育児休業給付金制度、保険料免除制度のいずれも知っていた」は 51.7%となっており、「いずれも知らなかった」は 20.8%となっている。

	n	育児休業給付金制度、保険料免除制度のいずれも知っていた	育児休業給付金制度のみ知っていた	保険料免除制度のみ知っていた	育児休業給付金制度、保険料免除制度のいずれも知らなかった	無回答	%
全体	1,136	51.7	24.4	1.4	20.8	1.8	

(13)改正後の育児休業制度のうち効果的な支援になると思うもの

問 3 4 改正された育児休業制度のうち、子育て家庭への支援になると思う育児休業の取り方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

改正後の育児休業制度のうち効果的な支援と思うものについて、「子どもの出生後8週間以内に、4週間の「産後パパ育休」を育児休業とは別途取得可能」は59.0%、「育児休業制度を分割して2回まで取得可能（原則、子が1歳になるまでの取得）」は50.2%となっている。

一方で、「特に子育て支援になると思わない」は25.4%となっている。

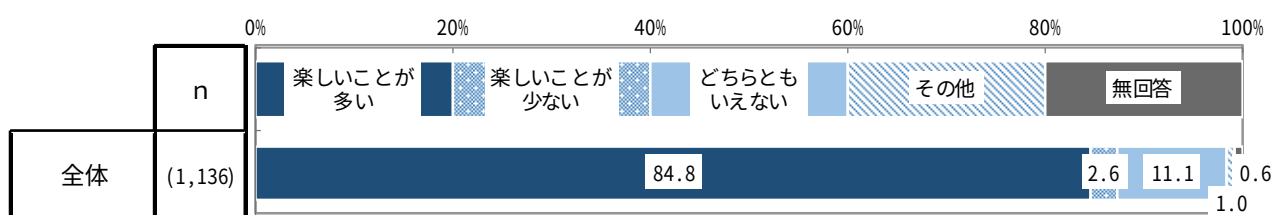
n		途の子ども 取得産後の 可能パパ育休 を育児休業 とは週別間	得可能 (育児休業制 度、子を分 割して1歳 になるま での取得)	特に子育て 支援になる と思わない	無回 答	%
全体	1,136	59.0	50.2	25.4	3.0	

12. 子育てについて

(1) 子育てへの意識

問35 あなたは子育てが楽しいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

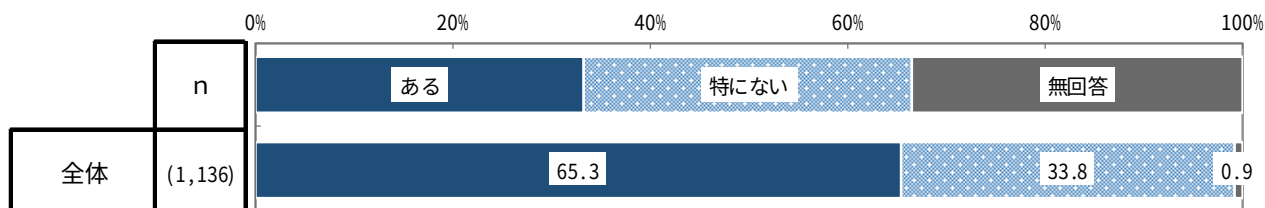
子育てへの意識について、「楽しいことが多い」は84.8%、「楽しいことが少ない」は2.6%となっている。



(2) 日頃悩んでいることや困っていることの有無

問36 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはありますか。どちらか1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

悩みや困りごとについて、「ある」は65.3%、「特にない」は33.8%となっている。

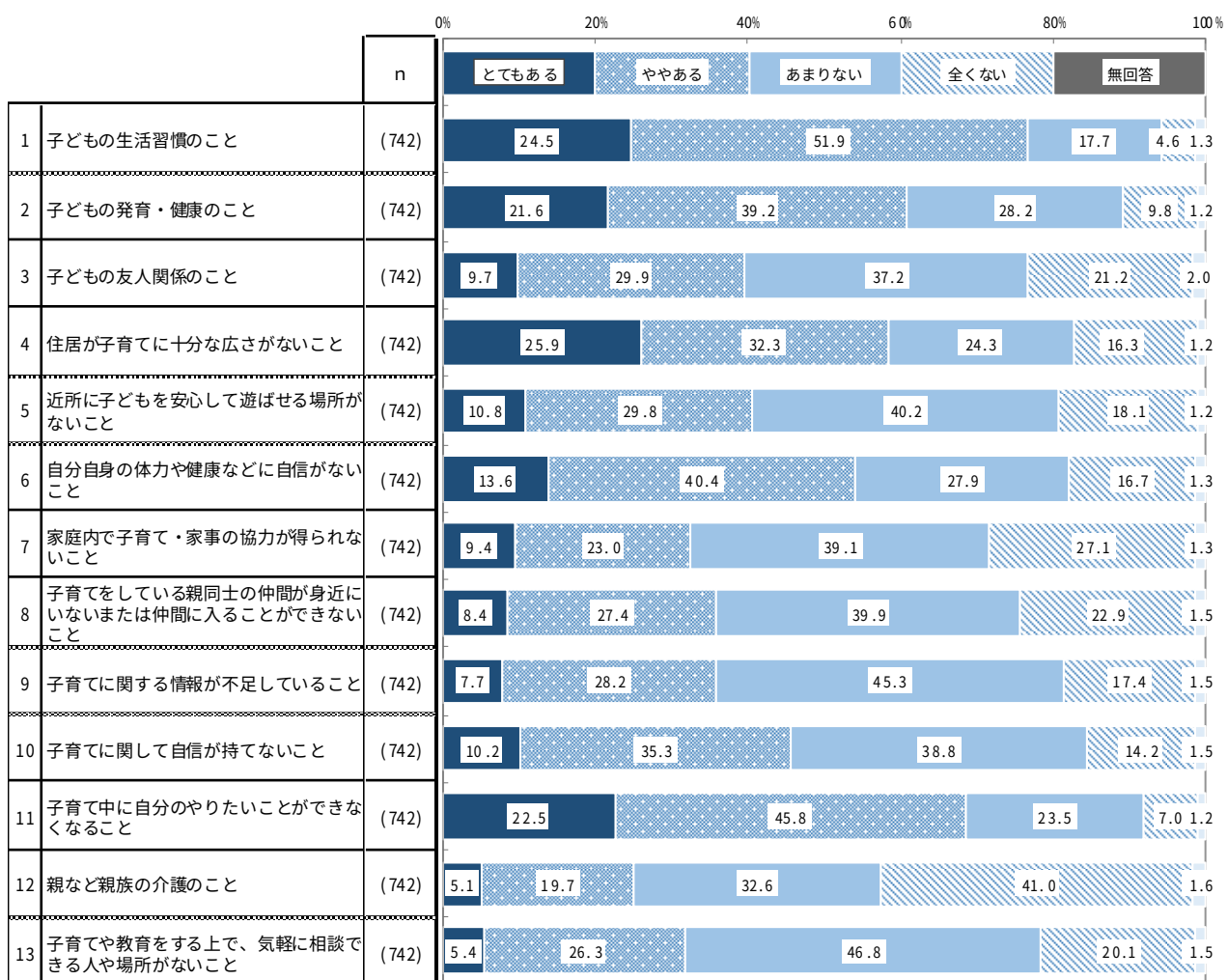


(3) 子育て中の不安や悩み

問36-1 宛名のお子さんを育てている間に、どのようなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりすることがありますか。①～⑬の事柄について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

※問36で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

子育ての不安や悩みの内容について、「とてもある」「ややある」の合計は、“子どもの生活習慣のこと”で76.4%と最も多く、次いで“子育て中に自分のやりたいことができなくなる”が68.3%、“子どもの発育・健康のこと”が60.8%となっている。

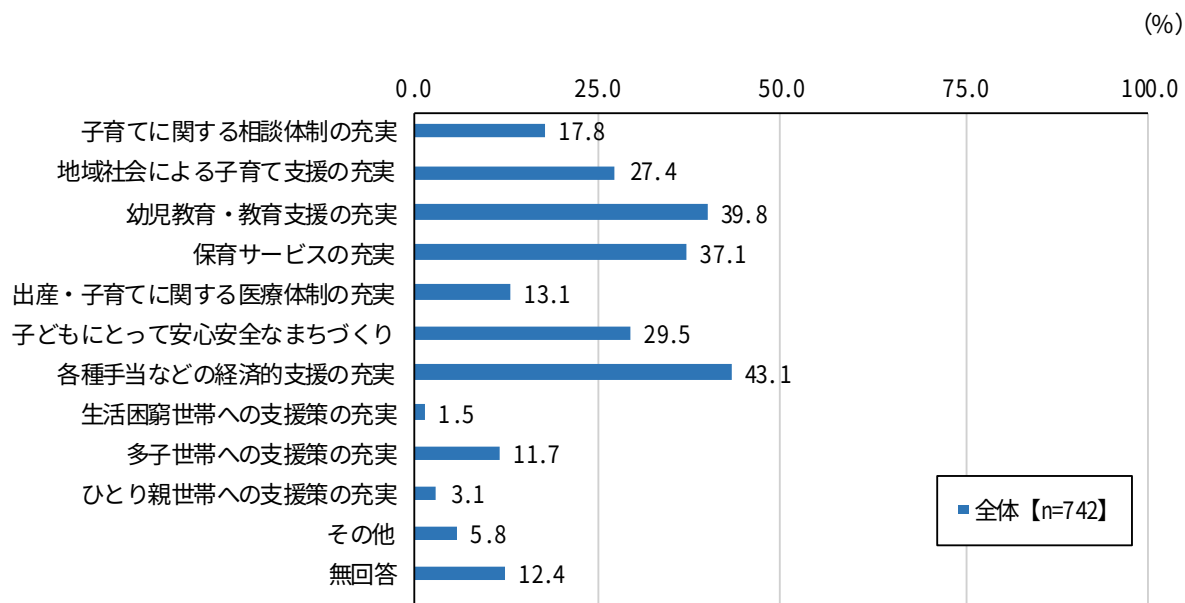


(4) 悩みなどを解決するために必要な支援・対策

問36-2 悩みなどを解決するために、どのような支援・対策があるとよいですか。当てはまる番号の上位3つに○をつけてください。

※問36で選択肢1を選んだ場合のみ（○は3つまで）

悩みを解決するための支援等について、「各種手当などの経済的支援の充実」が43.1%と最も多く、次いで「幼児教育・教育支援の充実」が39.8%となっている。

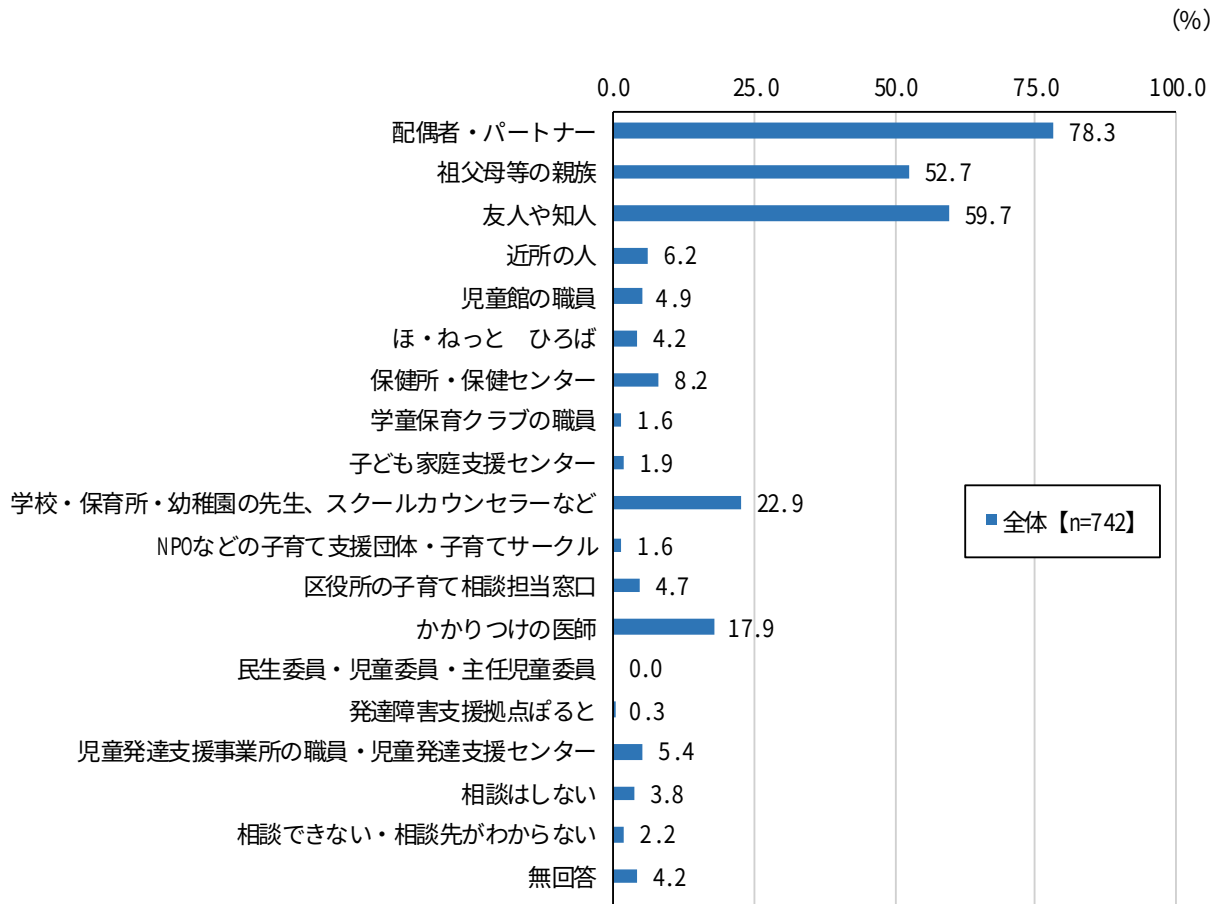


(5) 相談した相談窓口等

問36-3 悩みなどを解決するために、どの相談窓口等に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問36で選択肢1を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

悩みを相談した相談窓口等について、「配偶者・パートナー」が78.3%と最も多く、次いで「友人や知人」が59.7%となっている。

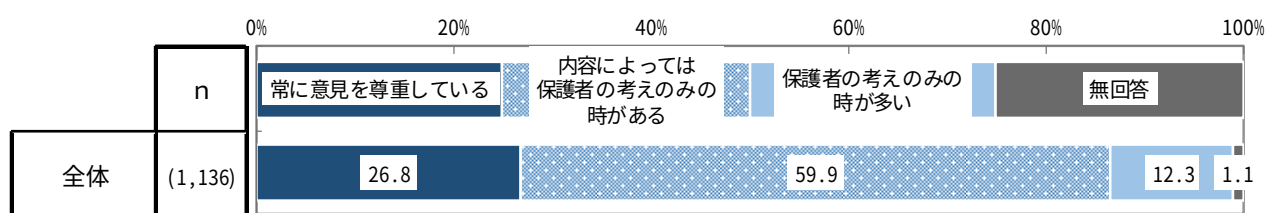


(6) お子さんの意見の尊重状況

問37 あなたは宛名のお子さんについて決めるときに、子ども自身の意見や考えをどれくらい尊重していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子どもの意見の尊重状況について、「常に意見を尊重している」は26.8%、「内容によっては保護者の考えのみの時がある」は59.9%、「保護者の考えのみの時が多い」は12.3%となっている。

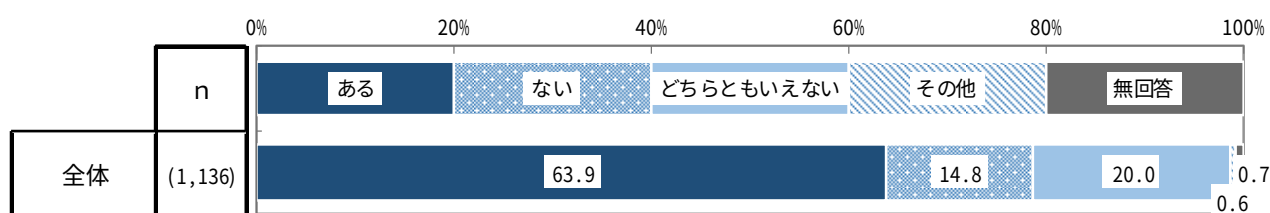


(7) 子育てにおけるストレスの有無

問38 あなたは子育てでストレスを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子育てにおけるストレスについて、「ある」は63.9%、「ない」は14.8%となっている。



(8) 子育てにおけるストレスの具体的な解消方法

問38-1 どのような方法で解消していますか。具体的にご記入ください。

※（自由記述）

区 分	件数
趣味を楽しむ	75 件
自分の時間をつくる	73 件
人に話す	47 件
寝る	23 件
夫婦で育児・家事を分担する	20 件
子育て支援サービス等を活用する	8 件
子どもと距離をおく	5 件
その他	21 件
解消しない・できない	10 件
全体	228 件

<代表的な意見の抜粋>

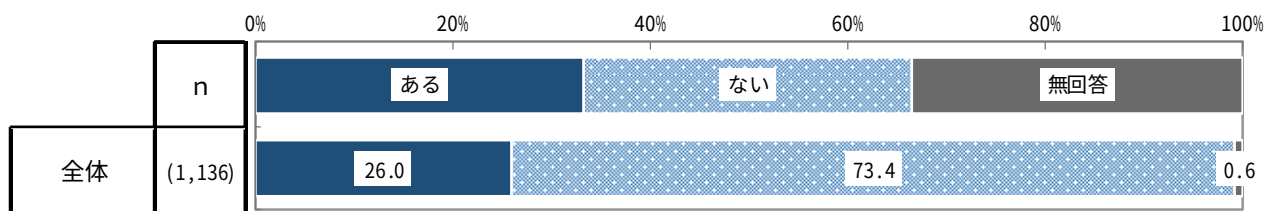
区分	意見
趣味を楽しむ	・月に1回程度趣味に没頭させてもらっている。 ・よく寝る。美味しいものを食べる。1人になる。 ・子どもが寝ている時に自分の好きなことをする。 ・「しんどいな～」と声に出す。1人きりで映画館へ行って映画を観る。深夜にNetflixを観る。
自分の時間をつくる	・無理が溜まらないように、ストレスを感じてきたら家事など手抜きをしたり、自分の時間を作ったりしている。 ・自分の時間を持ち、休ませてもらう。 ・夫婦で分担し、お互いに自由時間を作る。
人に話す	・配偶者や両親、ママ友に相談する。 ・夫婦でイライラした出来事を共有する（話をしてすっきりする）。 ・誰かに話す。
寝る	・寝て気持ちが切り替わるのを待つ。 ・子育ての悩みは一晩経てば忘れていく気がする。
夫婦で育児・家事を分担する	・気分転換に交代で外に出かける。 ・夫や実母の協力を得て、リフレッシュのため一人になる時間や友達と遊ぶ時間を作る。子供が寝たあとなど夫婦で会話する時間を増やす。

(9) 発育について気になることの有無

問39 宛名のお子さんの発育について気になることがありますか。

(○はひとつ)

子どもの発育で気になることについて、「ある」は26.0%、「ない」は73.4%となっている。

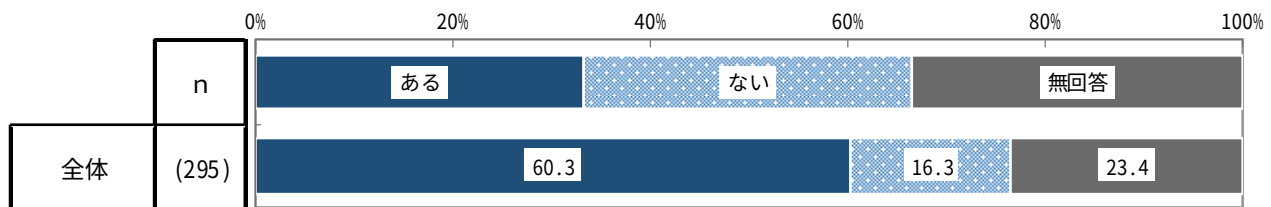


(10) 発育について、安心して相談できる場所の有無

問39-1 お子さんの発育について、あなたが、安心して相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

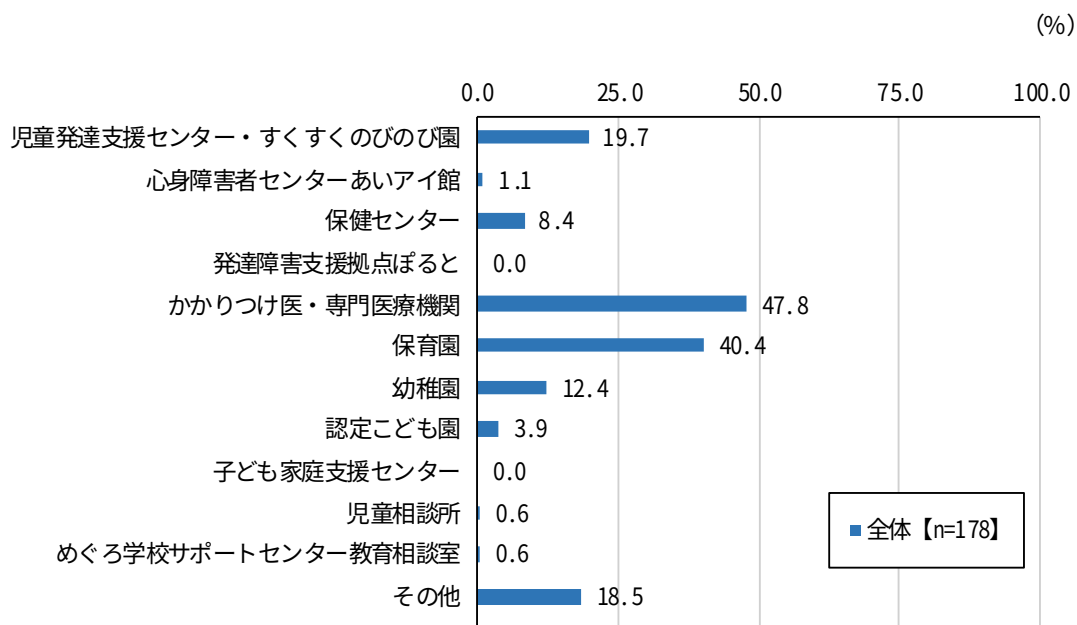
子どもの発育を相談できる場所について、「ある」は60.3%、「ない」は16.3%となっている。



(11) 発育についての相談先

問39-1-1 それはどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

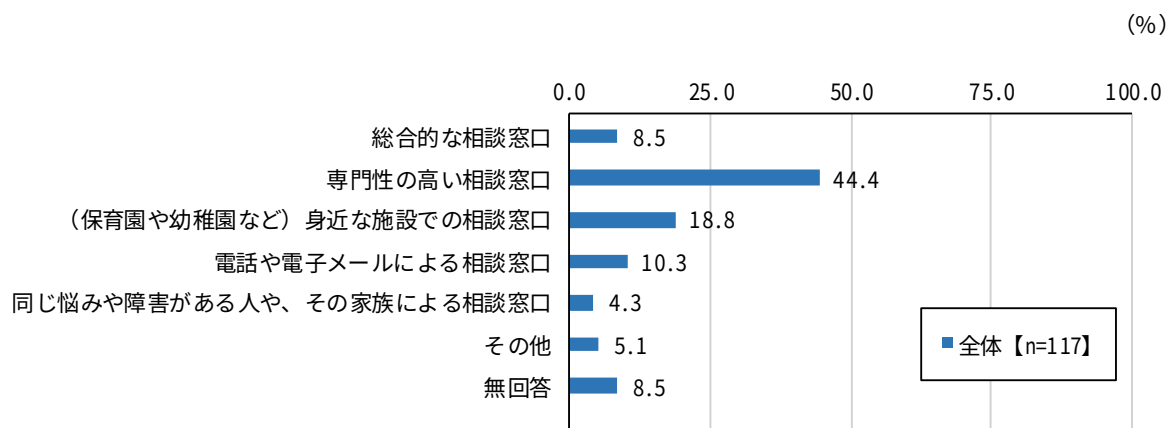
子どもの発育を相談できる場所について、「かかりつけ医・専門医療機関」が47.8%と最も多く、次いで「保育園」が40.4%となっている。



(12) 発育について、希望する相談窓口

問39-1-2 どのような窓口があるとよいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問39-1で選択肢2または3を選んだ場合のみ (○はいくつでも)

発育に関する相談窓口への希望について、「専門性の高い相談窓口」が44.4%と最も多く、次いで「身近な施設での相談窓口」が18.8%となっている。

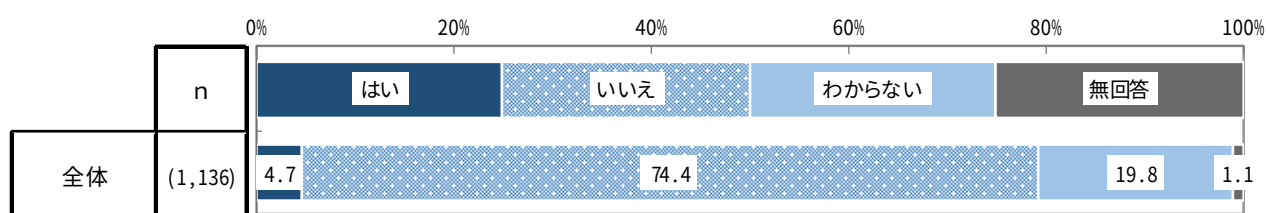


(13)子どもの障害の有無

問 4 0 宛名のお子さんは発達の遅れや障害がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子どもの発達の遅れや障害について、ある(「はい」)は4.7%、ない(「いいえ」)は74.4%、「わからない」は19.8%となっている。

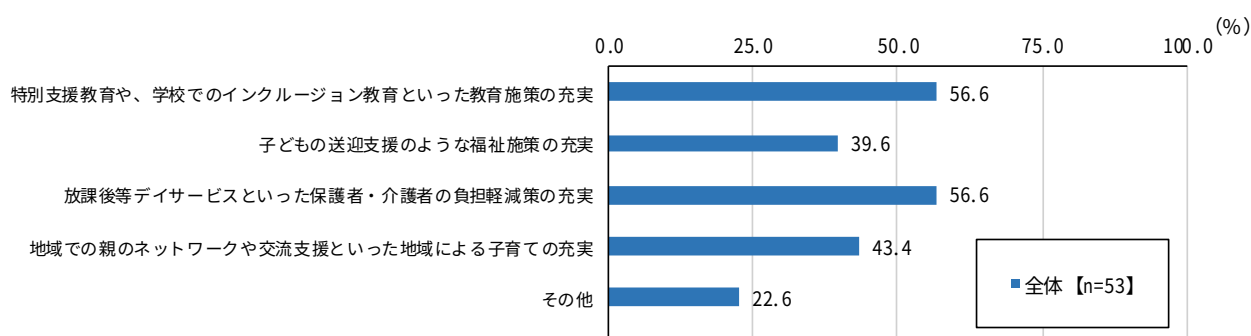


(14)障害をもつ子どもの保護者が充実してほしい子育て支援

問 4 0 - 1 発達の遅れや障害があるお子さんを育てている保護者への子育て支援として、充実してほしいと思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 4 0 で選択肢 1 を選んだ場合のみ (○はいくつでも)

発達の遅れや障害がある子どもへの支援について、「特別支援教育や、学校でのインクルージョン教育といった教育施策の充実」「放課後等デイサービスといった保護者・介助者の負担軽減策の充実」が56.6%と最も多く、次いで「地域での親のネットワークや交流支援といった地域による子育ての充実」が43.4%となっている。

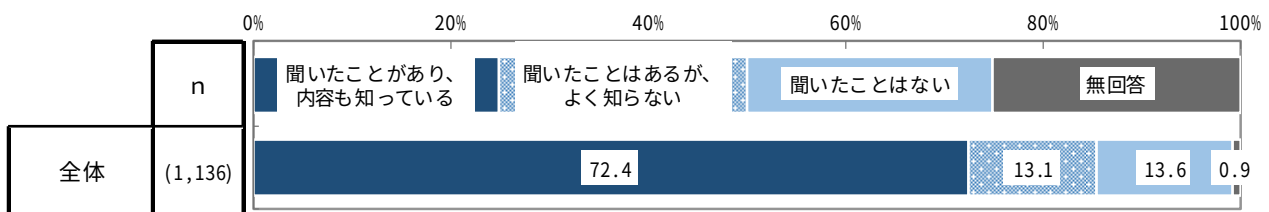


(15) ヤングケアラーの認知

問41 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子供をいいます。「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

ヤングケアラーの認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」は72.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は13.1%、「聞いたことはない」は13.6%となっている。

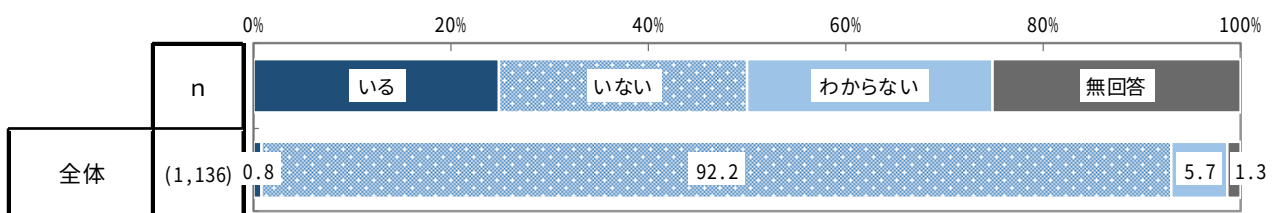


(16) 家族内のヤングケアラーの有無

問42 家族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

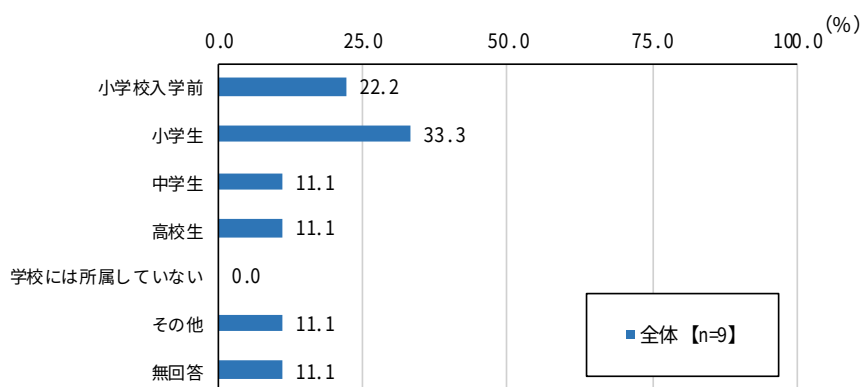
家族内のヤングケアラーの有無について、「いる」は0.8%、「いない」は92.2%、「わからない」は5.7%となっている。



(17)ヤングケアラーのご家族の年齢

問 4 2－1 ヤングケアラーと思われる子どもの年代をお答えください（複数名いる場合は、ご自身に最も関係性が近い方についてお答えください）。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問 4 2 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

ヤングケアラーの年齢について、「小学生」が 33.3%、「小学校入学前」が 22.2%となっている。
なお、回答件数が少ないため参考値とする。

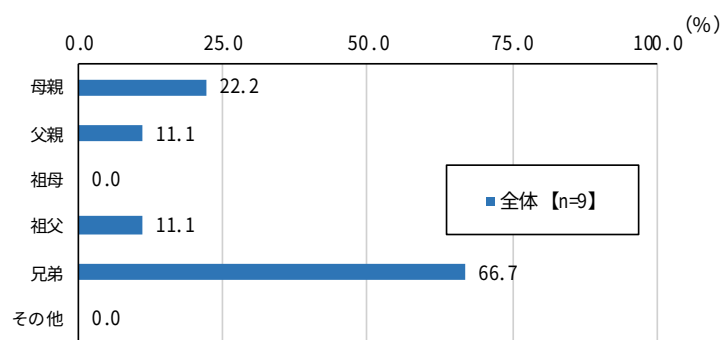


(18)ヤングケアラーのご家族がケアしている人

問 4 2－2 ヤングケアラーと思われる子どもからのお世話を必要としている方を、子どもから見た続柄でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 4 2 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

ヤングケアラーがお世話をしている家族について、「兄弟」が 66.7%と最も多く、次いで「母親」が 22.2%となっている。

なお、回答件数が少ないため参考値とする。

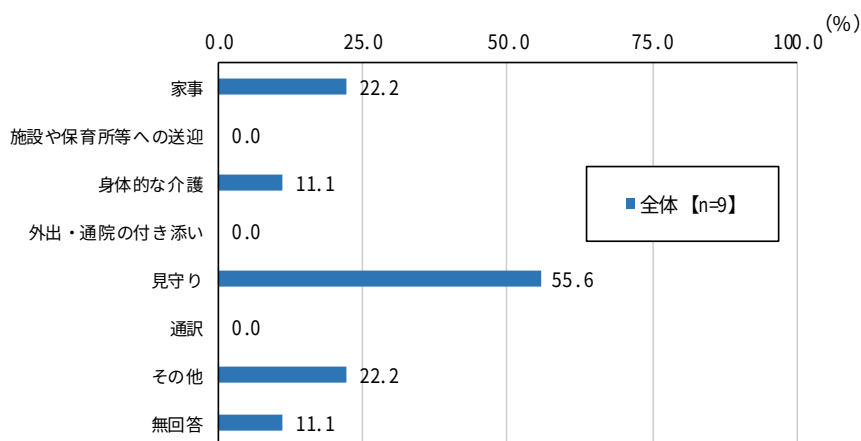


(19) ヤングケアラーのご家族がケアしている内容

問42-3 お世話の内容を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問42で選択肢1を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

ヤングケアラーが実施しているお世話の内容について、「見守り」が55.6%と最も多く、次いで「家事」が22.2%となっている。

なお、回答件数が少ないため参考値とする。

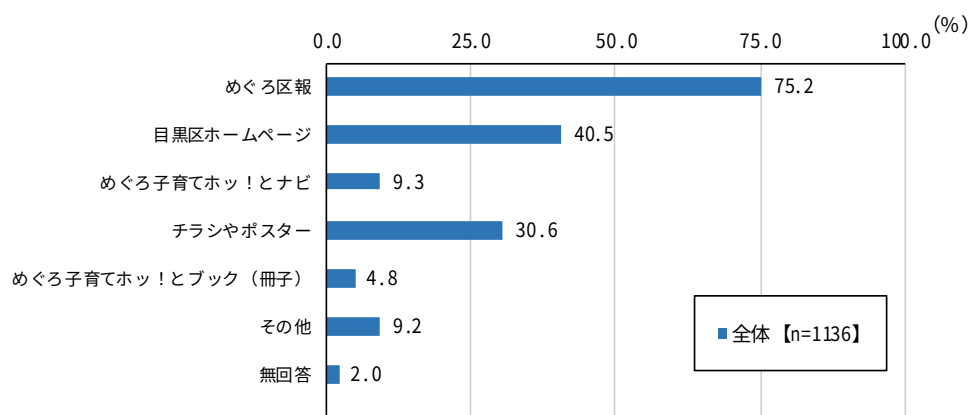


(20) 子育てに関する情報やお知らせの入手方法

問43 あなたは、区の子育てに関する情報やお知らせをどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

子育てに関する情報の入手方法について、「めぐろ区報」が75.2%と最も多く、次いで「目黒区ホームページ」が40.5%となっている。

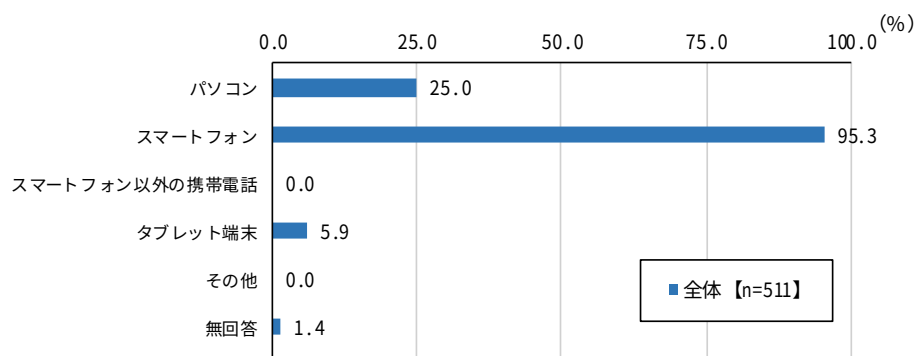


(21)情報検索時に使用している ICT 機器

問 4 3-1 ホームページやめぐろ子育てホッ！とナビで情報を検索する時に使用しているものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 4 3 で選択肢 2 または 3 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

情報検索時に使用している ICT 機器について、「スマートフォン」が 95.3%と最も多く、次いで「パソコン」が 25.0%となっている。

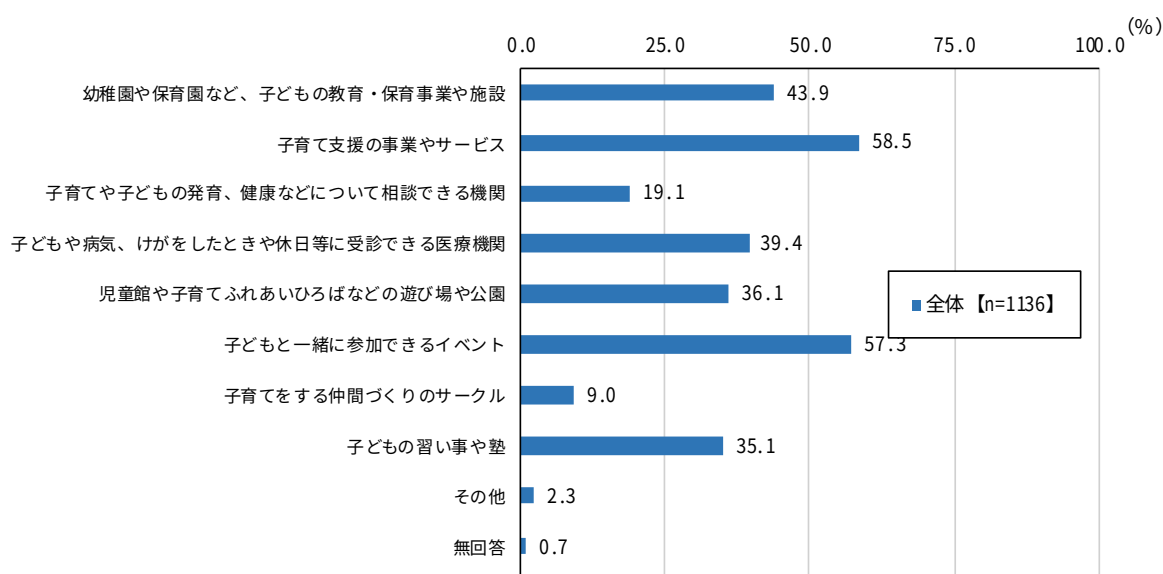


(22)知りたい子育ての情報

問 4 4 子育てする上で、知りたい情報は何ですか。当てはまるものを 3 つまで選んで○をつけてください。

(○は 3 つまで)

知りたい子育て情報について、「子育て支援の事業やサービス」が 58.5%と最も多く、次いで「子どもと一緒に参加できるイベント」が 57.3%となっている。



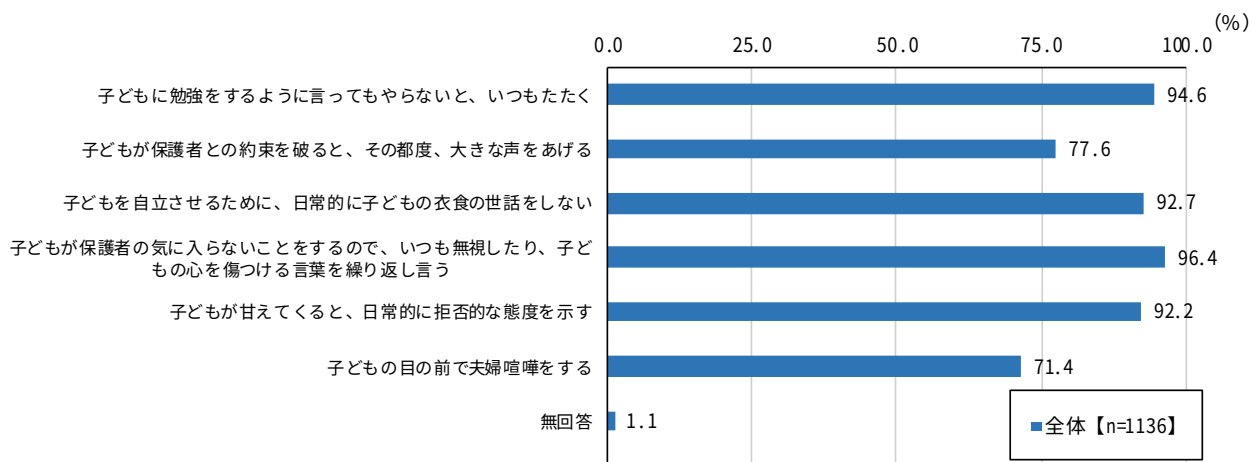
(23)虐待だと思ふ行為

問45 しつけと虐待の違いについてお聞きします。次の項目のうち、あなたが虐待だと思ふ番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

虐待だと思ふ子どもへの行為について、「子どもが保護者の気に入らないことをするので、いつも無視したり、子どもの心を傷つける言葉を繰り返し言う」が96.4%と最も多く、次いで「子どもに勉強をするように言ってもやらないと、いつもたたく」が94.6%となっている。

一方で、「子どもが保護者との約束を破ると、その都度、大きな声をあげる」や「子どもの目の前で夫婦喧嘩をする」は約7割となっている。

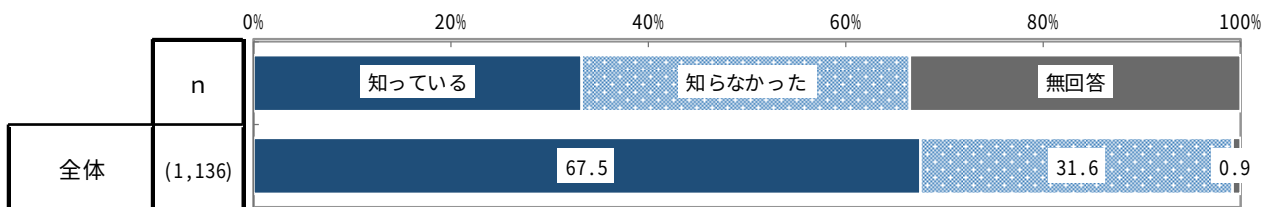


(24)子ども虐待の発見時における通告義務の認知

問46 あなたは、すべての人に、子どもを虐待しているのを発見したときは「通告の義務」があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

虐待発見時の通告の義務の認知度について、「知っている」は67.5%、「知らなかった」は31.6%となっている。

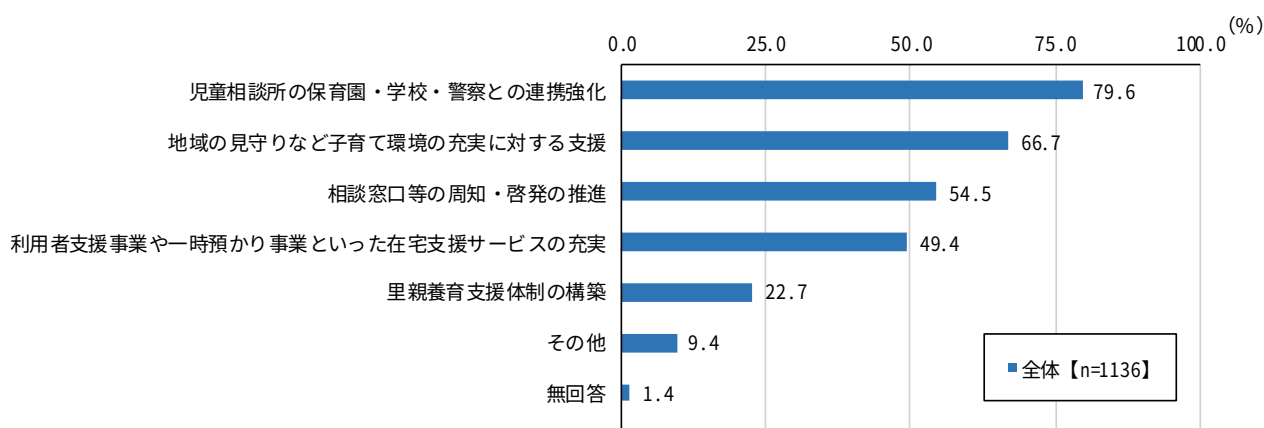


(25)虐待を未然に防ぐために必要なこと

問 4 7 児童虐待を未然に防ぐために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

子どもへの虐待を防ぐために必要なことについて、「児童相談所の保育園・学校・警察との連携強化」が79.6%と最も多く、次いで「地域の見守りなど子育て環境の充実に対する支援」が66.7%となっている。

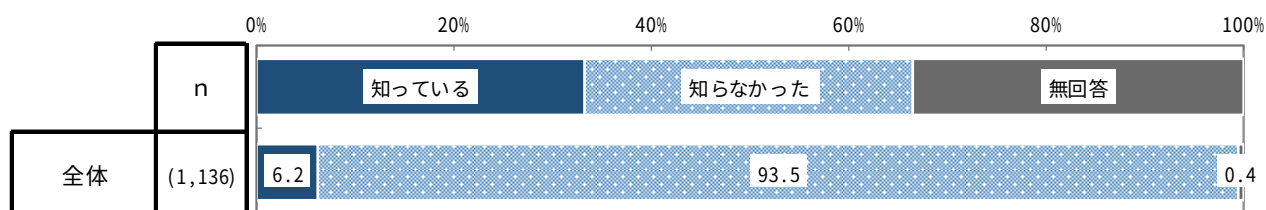


(26)こども家庭センター設立の認知

問 4 8 目黒区は、国の動向を踏まえて、子どもの権利を尊重し、子育て子育てが安全・安心にできるまちを目指して、令和4年12月に「総合的な子ども家庭支援体制の構築と環境整備」の考え方をまとめました。その第一段階として、令和7年度中に妊娠期から思春期・青年期にわたる切れ目のない相談支援の拠点として、鷹番保育園跡地に「こども家庭センター」が設立されることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

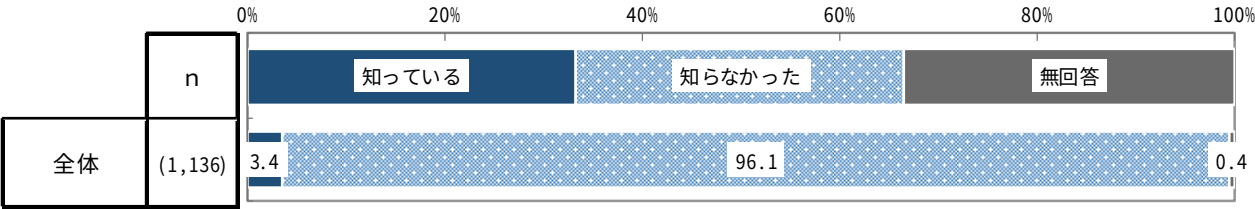
子ども家庭センター設立の認知度について、「知っている」は6.2%、「知らなかった」は93.5%となっている。



(27)総合相談支援拠点整備計画の認知

問 4 9 令和 1 3 年度を目途に第三ひもんや保育園跡地と碑文谷保健センター跡地に総合相談支援拠点を整備する計画があることを知っていますか。どちらか 1 つに○をつけてください。
(○はひとつ)

総合相談支援拠点整備計画の認知度について、「知っている」は 3.4%、「知らなかった」は 96.1% となっている。



(28)子育て支援に関する自由意見

問 5 0 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（スペースが不足する場合は、別紙にご記入ください。）

（自由記述）

区 分	件数
保育園・幼稚園の全般に関すること	21 件
保育園・幼稚園の職員の質に関すること	5 件
保育園・幼稚園の施設環境に関すること	9 件
一時保育に関すること	22 件
病児・病後児保育に関すること	15 件
妊娠・出産に関すること	6 件
子育ての相談に関すること	14 件
地域での子育て支援・イベントに関すること	35 件
学校教育の全般に関すること	12 件
学童保育に関すること	21 件
放課後の居場所に関すること	4 件
学校の教員の質に関すること	1 件
子どもの発達支援に関すること	2 件
区の情報提供・手続きに関すること	15 件
その他	63 件
全体	195 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
保育園・幼稚園の全般に関する こと	・保育園や共働きへの支援は充実してきているのに対し、片親が専業主婦の家や、幼稚園に通っている子どもたちへの支援が少なすぎる。経済的支援も保育園児と比べて、明らかに幼稚園児の方が少ない。園庭のない保育園の増加に伴い、保育園児が公園を占領して、遊べないことがあること。 ・複数の子どもがいても妻が専業主婦なので保育園に行けないのは実際大変すぎる。 ・保育園も学童も好きな時に好きなだけ利用できるような枠作りをしてほしい。また、教職者のレベルアップを促進してほしい。通り一辺倒の教育では無く、ウイットに富んだ授業を行い、楽しいと思える授業をできるような先生を育ててほしい。
一時保育に関すること	・現在 1 歳の子育てをしています。目黒区はベビーシッターの

	制度や産後ドゥーラ制度が充実していると感じます。特に子育てが初めての家庭には、必要な制度だと思うので引き続き、利用できるようにしていただけると嬉しいです。 ・ベビーシッター利用料補助が始まったのは評価できるが、肝心のベビーシッターの需要が高すぎて手配できず、結局利用できていない。この状況を改善すると、より子育てが助かる家庭が多いと思う。
病児・病後児保育に関すること	・病児保育の助成は継続してほしい 放課後デイの枠が少なく入りづらい 病児保育施設は、通所型の場合、利用時間が朝も夜も短すぎて近隣住民以外使えない。 ・共働きで働いています。認可保育園に入っていますが、急な発熱など翌日休まないといけない時にみてる人がいなくて何度も大変な思いをしました。病児保育も全然使いやすくないと感じております。
子育ての相談に関すること	・子どもが癇癪を起こしたり言うことをきかず、どうしようもない怒りの気持ちが湧いた時など、誰かに話を聞いて欲しいと思うのはたいてい夜間なので、相談窓口が夜もやっていてほしいのと思うことがある。 ・夫婦の問題・家庭内の問題に関して、特に金銭的問題に関して、気軽に相談できる場所がほしいです。
地域の子育て支援・イベントに関すること	・大型公園が少なく大型公園があっても遊具が少ない。 ・遊び場に制限があることが多く、遊びの種類が限られるのは改善してほしいと思う。 ・図書館をもっと利用しやすくしてほしい。目黒区民センターの図書館は、子どもだけで行かせるには安全面が気になる。
学校教育の全般に関すること	・小学校に上がった際の給食がないときに、自宅から弁当を持参する必要があると聞いています。共働きでなるべく家庭への負担を減らすような施策を考えてほしいと思っています。 ・保育園から小学校に就学する際の急激な環境の変化に対して、事前に何かしらの準備（子どもたち側の）期間があるとよいと思っています。
学童保育に関すること	・小学校入学後の方が、育児短時間勤務等が無くなるため、放課後子どもを預ける宛がないと休職等の制度も無いため困る方は多いと思う。 ・児童館等を充実させて子どもが集団で楽しめるまたは社会性を学べる環境を充実させてほしい。
区の情報提供・手続きに関すること	・入園料の補助金や給食費の補助金など、他の地区に比べて支援が少ないと感じてしまうので、もう少し拡充して欲しいです。 ・子育て支援等色々あるようだが実際の所あまりよく知らないなと思いました。

第3章

小学校児童の保護者調査

第3章 小学校児童の保護者調査

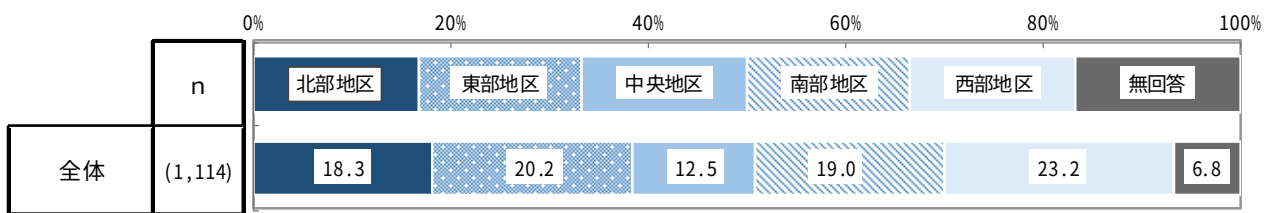
1. 宛名のお子さんご家族の状況

(1) お住いの地区

問1 宛名のお子さんがお住みの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

お住いの地区について、「西部地区」が23.2%となっており、「東部地区」が20.2%、最も少ない「中央地区」は12.5%となっている。

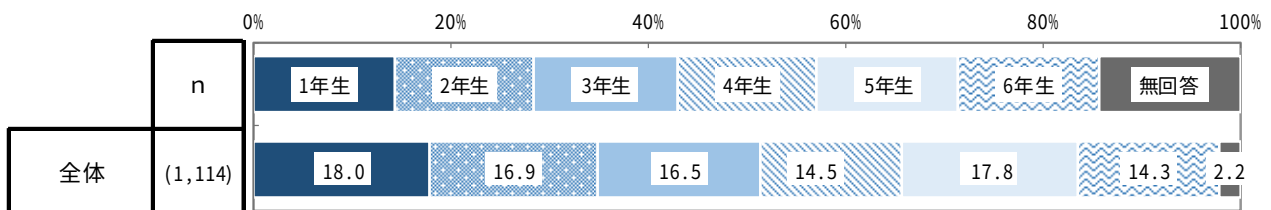


(2) お子さんの学年

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

(数値を記入)

宛名のお子さんの学年について、「1年生」が18.0%となっており、「5年生」が17.8%、最も少ない「6年生」は14.3%となっている。



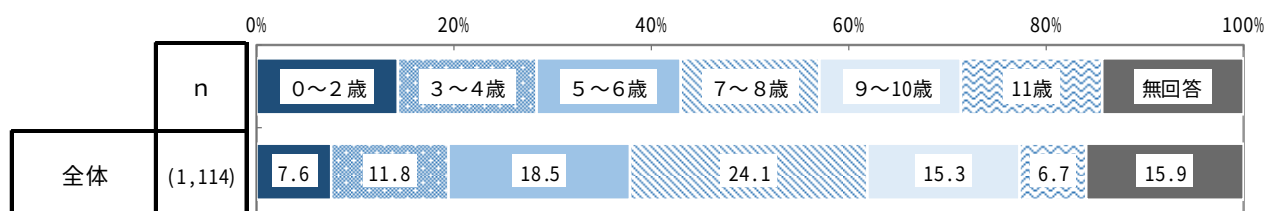
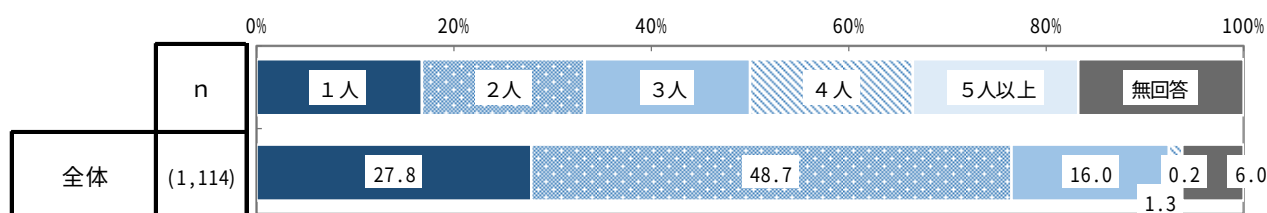
(3) 子どもの数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(数値を記入)

あて名の子どもを含む子どもの数について、「2人」が48.7%と最も多く、次いで「1人」が27.8%となっている。『3人以上』は17.5%となっている。

末子の年齢は「7～8歳」が24.1%と最も多く、次いで「5～6歳」が18.5%となっている。

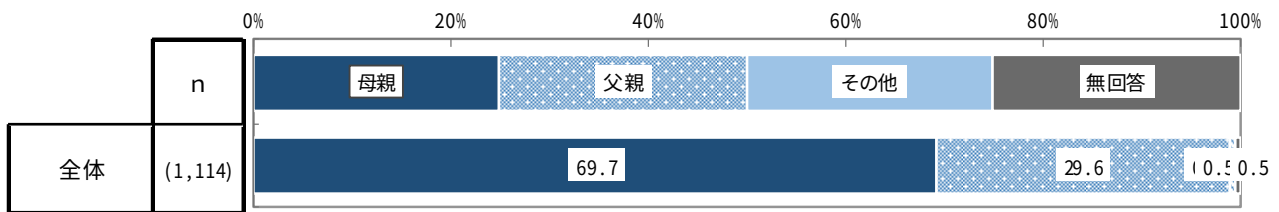


(4) 調査票回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

調査票の回答者について、「母親」が69.7%と最も多く、次いで「父親」が29.6%となっている。

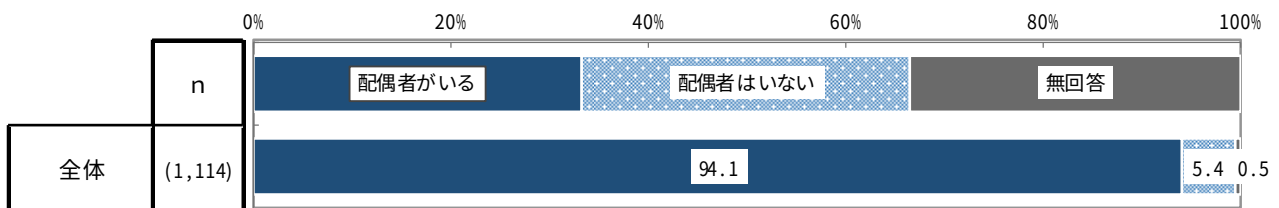


(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

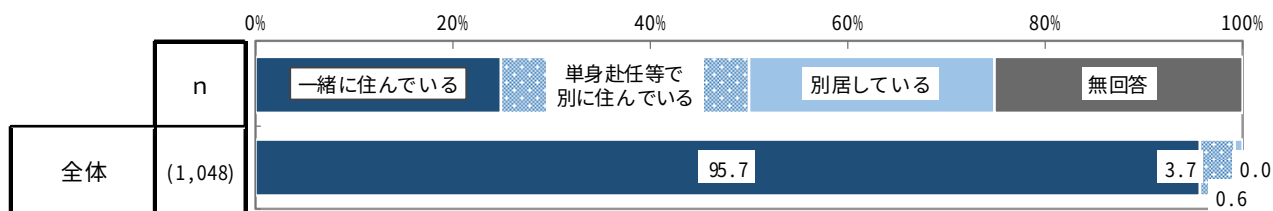
回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が94.1%となっており、「配偶者がいない」は5.4%となっている。



(6) 同居・別居状況

問5-1 配偶者の方との現在の同居の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問5で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

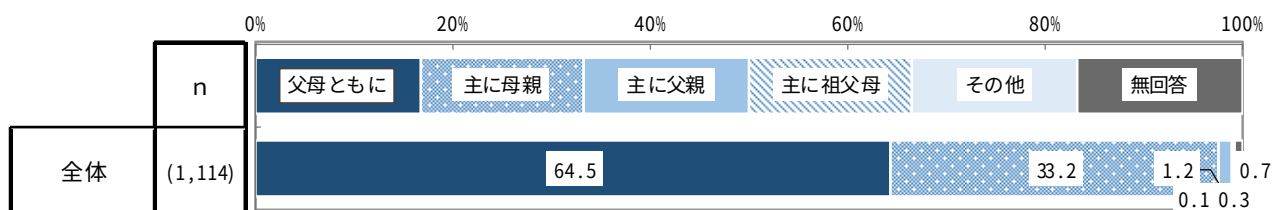
配偶者との同居・別居について、「一緒に住んでいる」が95.7%となっており、「単身赴任等で別に住んでいる」「別居している」の合計は4.3%となっている。



(7) 子育てや教育を主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

子育て等を主に行っている人について、「父母ともに」が64.5%と最も多く、次いで「主に母親」が33.2%となっている。なお「主に父親」は1.2%、「主に祖父母」は0.1%となっている。



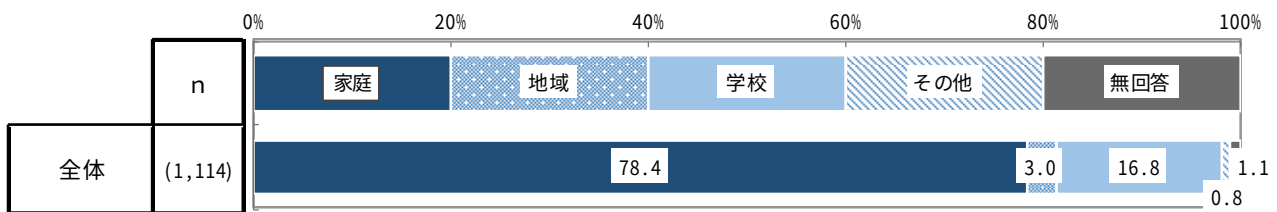
2. 子育てをめぐる環境について

(1) 子育てや教育にもっとも影響すると思われるもの

問7 宛名のお子さんの子育てや教育に、もっとも影響すると思われるもの1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子育て等に最も影響することについて、「家庭」が78.4%と最も多く、次いで「学校」が16.8%となっている。

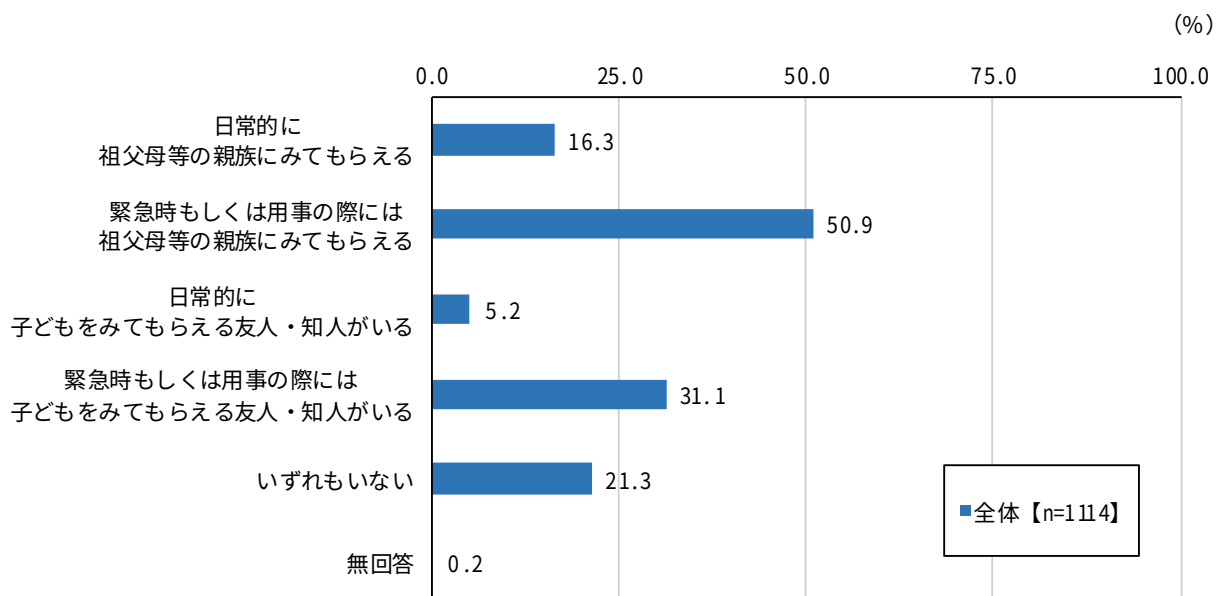


(2) 子どもをみてもらえる人

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

日頃子どもをみてもらえる人について、「緊急時等に祖父母などの親族にみてもらえる」が50.9%と最も多く、次いで「緊急時等に友人・知人にみてもらえる」が31.1%となっている。
なお、「いずれもない」は21.3%となっている。



(3) 子育てする上での地域の状況

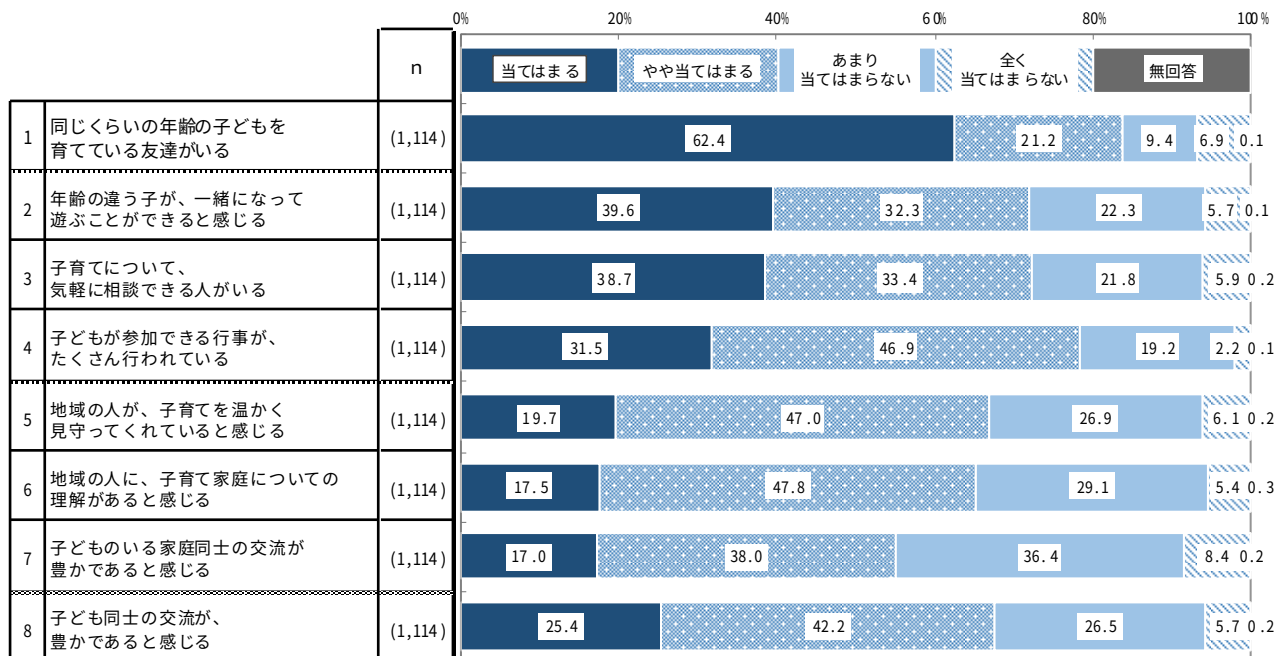
問9 子育てについて、あなたのお住まいの地域の①～⑧について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

子育てに関する地域に対する印象について、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が最も多いのは“同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる”で83.6%となっている。

一方で、合計が最も少ないのは“子どものいる家庭同士の交流が豊かであると感じる”で55.0%となっている。

なお、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が、「当てはまらない」「あまり当てはまらない」の合計を下回った項目はなかった。



3. お子さんのご両親の就労状況について

(1) 現在の就労状況

※ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

問10 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）うかがいます。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

（○はそれぞれひとつ）

保護者の就労状況について、母親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が44.7%となっており、「フルタイムで産休・育休等を取得中」との合計は46.0%となっている。

父親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が89.5%となっており、「フルタイムで産休・育休等を取得中」との合計は89.9%となっている。

なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」の合計は、母親で25.7%、父親で0.8%となっている。

	n	産フル 休・タ イムで 就労し ており、 介護 休業中 ではない	産フル 休・タ イムで 就労し ている が、 介護 休業中 である	産パート・ 育休・アル バイト等 で就労し ており、 介護 休業中 ではない	産パート・ 育休・アル バイト等 で就労し ている が、 介護 休業中 である	以前は 就労し ていた が、 現在は 就労し ていない	これまで 就労し たことが ない	無回答	%
母親	1,114	44.7	1.3	25.0	0.6	24.7	1.0	2.6	
父親	1,114	89.5	0.4	1.2	-	0.8	-	8.2	

(2) 就労日数・時間

問10-1 週の「就労日数」と「就労時間（残業がある場合はその時間も含む）」などを数字でご記入ください。通常の時間を超えた残業がある場合は、月にどのくらいあるか時間をご記入ください。また、休日出勤がある場合は、月に何日くらいあるかをご記入ください。

※問10で選択肢1～4を選んだ場合のみ（数値を記入）

保護者の就労状況の詳細について、就労日数が「週5日」は、母親では66.1%、父親では82.2%となっている。母親では『週4日以下』が28.5%となっている反面、父親では『週6日以上』が14.8%となっている。

1日あたりの就労時間について、母親・父親ともに「8時間」が最も多いものの、母親では『7時間以下』が45.0%となっている反面、父親では『9時間以上』が46.8%となっている。

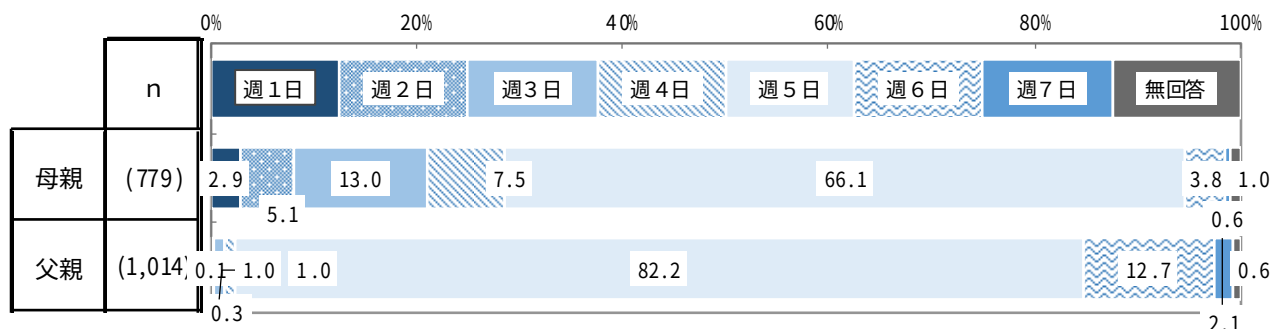
残業の有無について、残業が「ある」は、母親では42.8%、父親では75.3%となっている。

1月あたりの残業時間について、母親では「10時間～20時間未満」が29.8%となっており、父親では「50時間以上」が22.9%となっている。

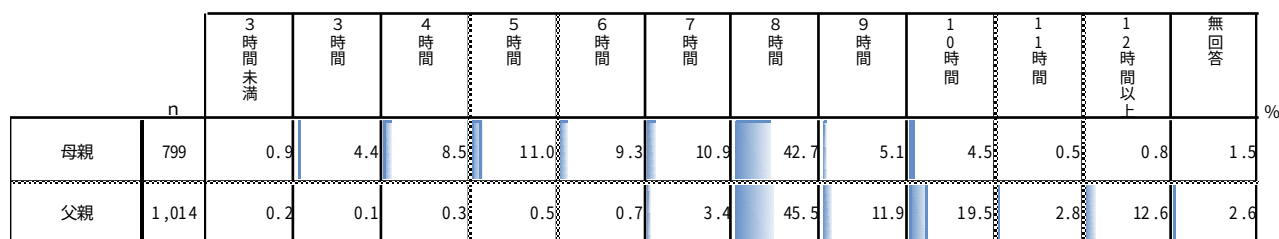
休日出勤の有無について、休日出勤が「ある」は、母親では19.8%、父親では42.4%となっている。

1月あたりの休日出勤日数について、母親・父親ともに「1日」が最も多いものの、『4日以上』は、母親では25.3%、父親では29.6%となっている。

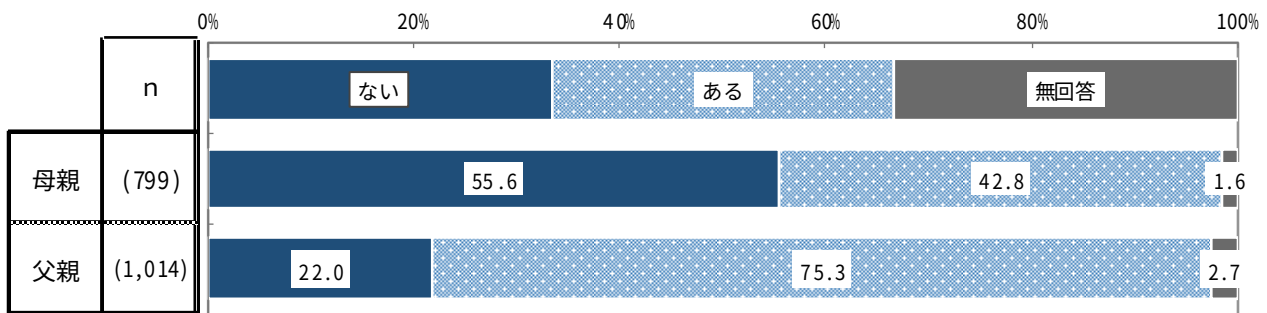
< 1週間の就労日数 >



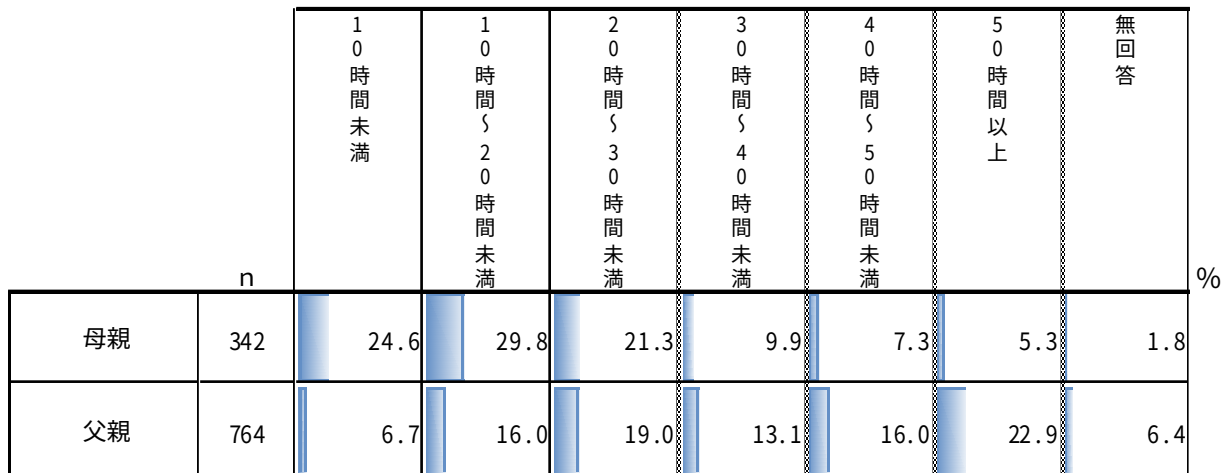
< 1日の就労時間 >



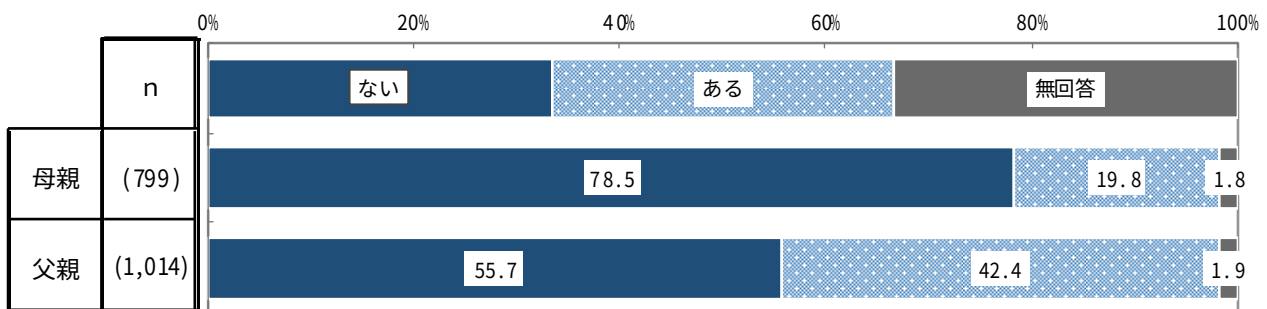
<残業の有無>



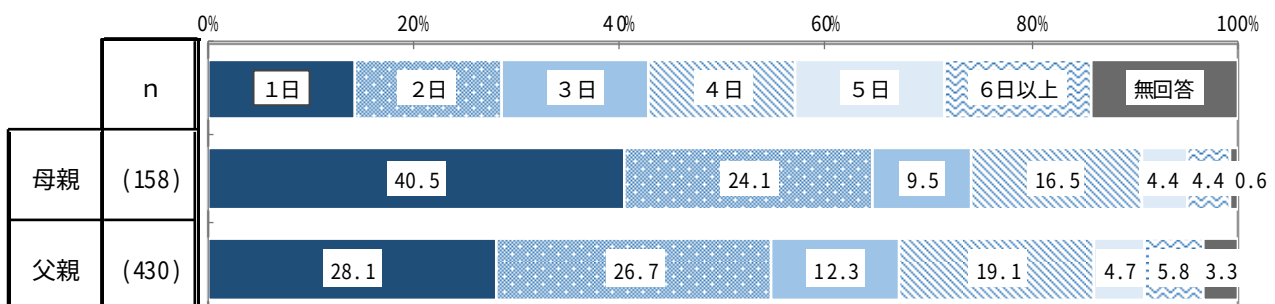
<1月あたりの残業時間>



<休日出勤の有無>



<1月あたりの休日出勤日数>



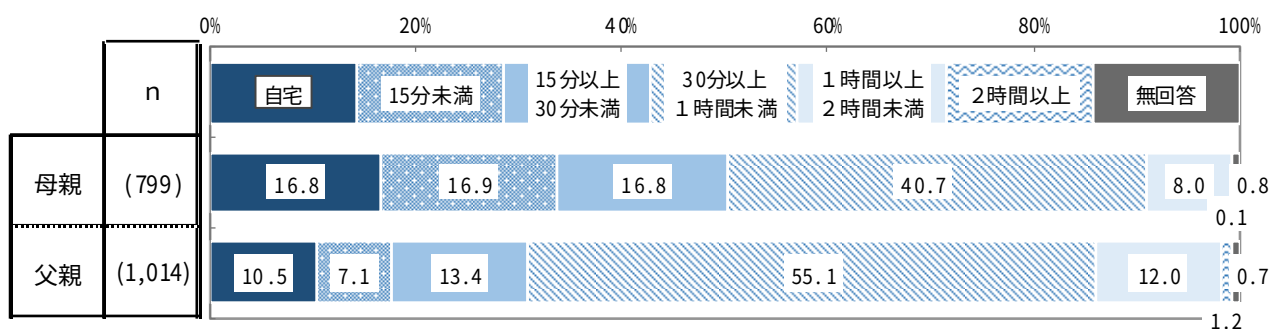
(3) 自宅から勤務先までの通勤時間

問10-2 自宅から主たる勤務先までの通勤時間について当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢1～4を選んだ場合のみ（○はひとつ）

自宅から勤務先までの通勤時間について、母親・父親ともに「30分位以上1時間未満」が最も多く約半数を占めている。勤務先が「自宅」となっているのは、母親では16.8%、父親では10.5%となっている。

一方で、『1時間以上』の通勤時間を要する人は、母親では8.1%、父親では13.2%となっている。

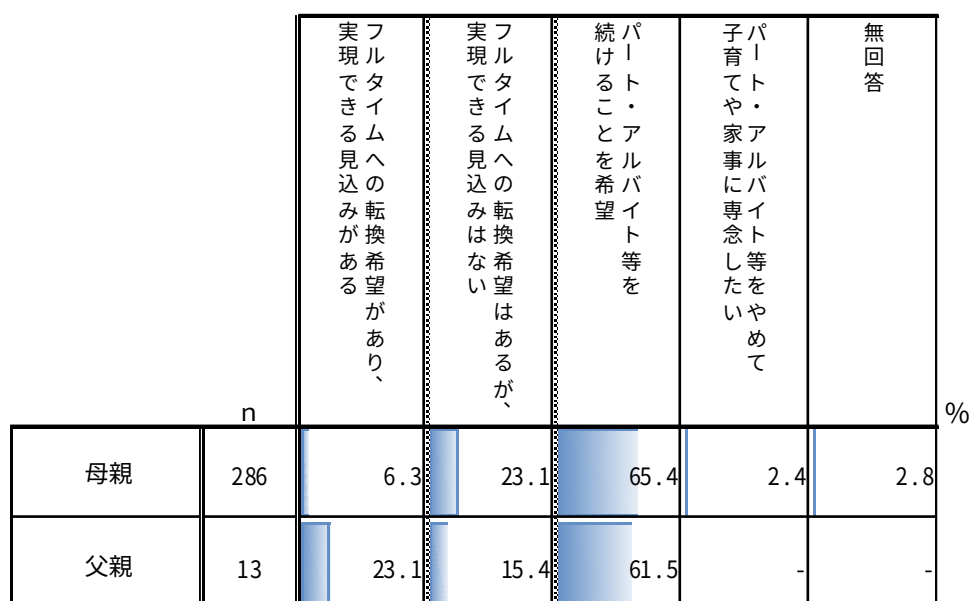


(4) パート・アルバイトからのフルタイムへの転換希望

問11 フルタイムへの転換希望等がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢3または4を選んだ場合のみ（○はひとつ）

フルタイムへの転換希望について、「転換希望があり、実現の見込みがある」は、母親では6.3%、父親では23.1%となっている。母親・父親ともに「パート・アルバイト等を継続したい」が6割を占めている。



(5) 無職からの就労意向

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問10で選択肢5または6を選んだ場合のみ（○はひとつ）

無職からの就労意向について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は、母親では18.2%、父親では44.4%となっている。

母親では「1年より先、1番年少の子どもが特定の年齢になったところに就労したい」が42.7%と最も多くなっている。

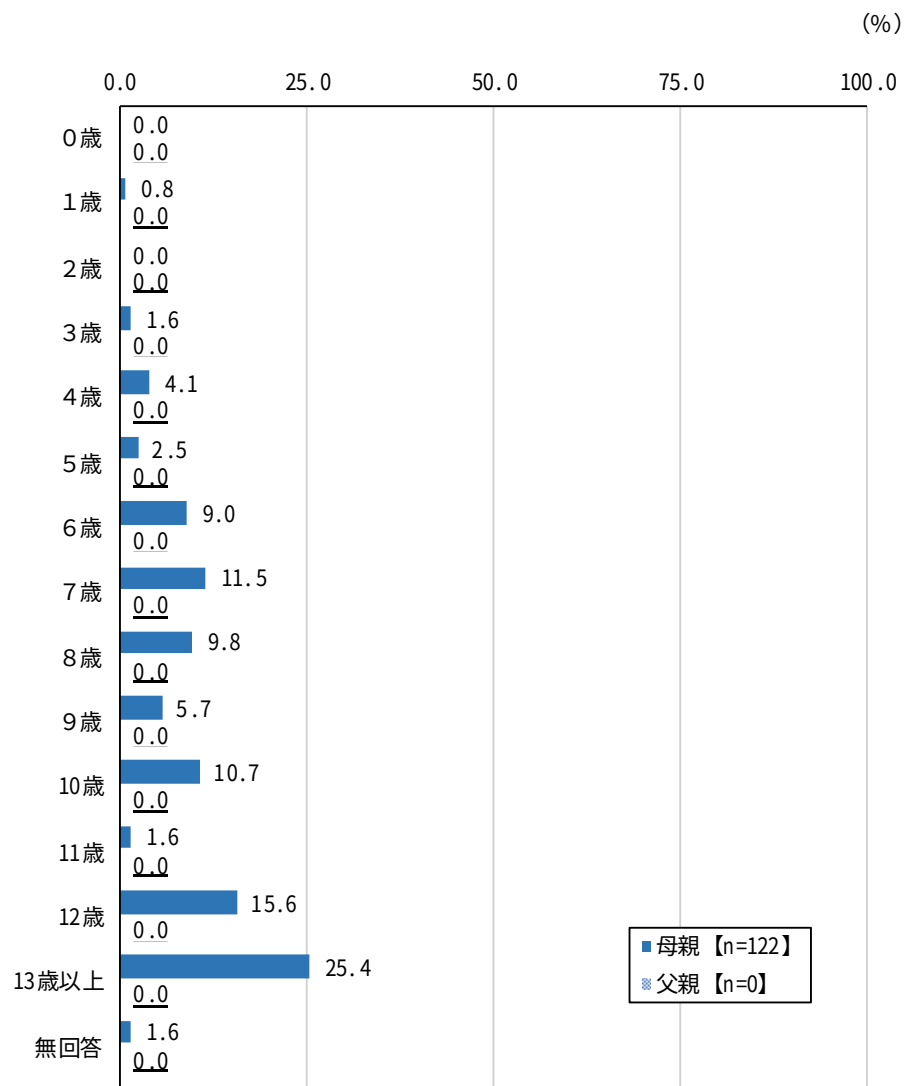
	n	就労は希望しない 子育てや家事などに専念したいので	1年より先、1番年少の子どもが特定の年齢になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答	%
母親	286	36.4	42.7	18.2	2.8	
父親	9	44.4	-	44.4	11.1	

(6) 就労を希望するときのお子さんの年齢

問 1 2 - 1 就労を希望するときのお子さんの年齢をご記入ください。

※問 1 2 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（数値を記入）

就労を希望する際の一番年少の子どもの年齢について、「13 歳以上」が 25.4%と最も多く、次いで「12 歳」が 15.6%となっている。

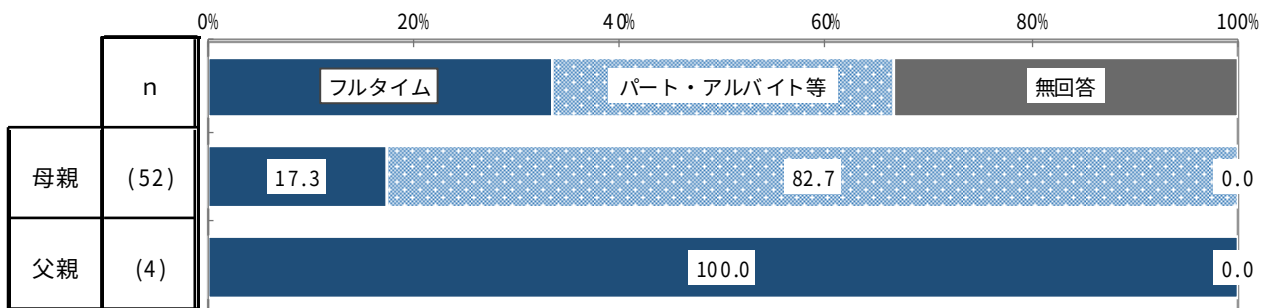


(7) 希望する就労形態

問12-2 希望する就労形態に当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問12で選択肢3を選んだ場合のみ（○はひとつ）

無職から就労する際に希望する就労形態について、「フルタイム」は母親では17.3%、父親では100.0%となっており、母親では「フルタイム」に比べて「パート・アルバイト等」の希望が多くなっている。



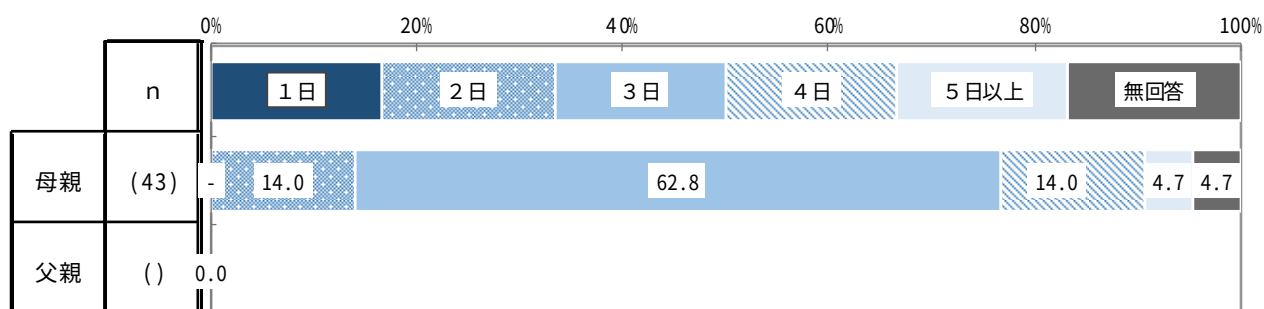
(8) 希望する就労日数と時間

問12-2-1 希望する就労日数と時間を数字でご記入ください。

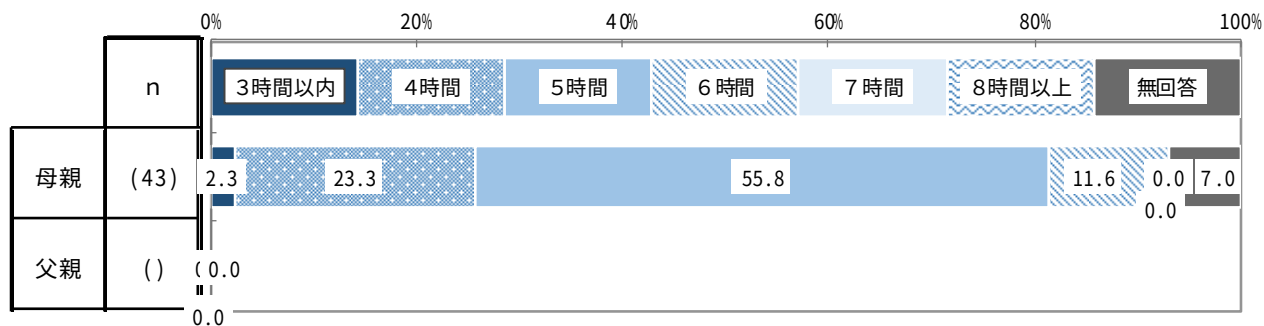
※問12-2で選択肢2を選んだ場合のみ（数値を記入）

パート・アルバイト等での就労時の日数・時間について、母親では就労日数を「3日」が62.8%、「2日」「4日」が14.0%となっており、1日あたりの就労時間を「5時間」が55.8%、「4時間」が23.3%となっている。

<希望する就労日数>



<1日の就労時間>



4. 公設学童保育クラブの利用について

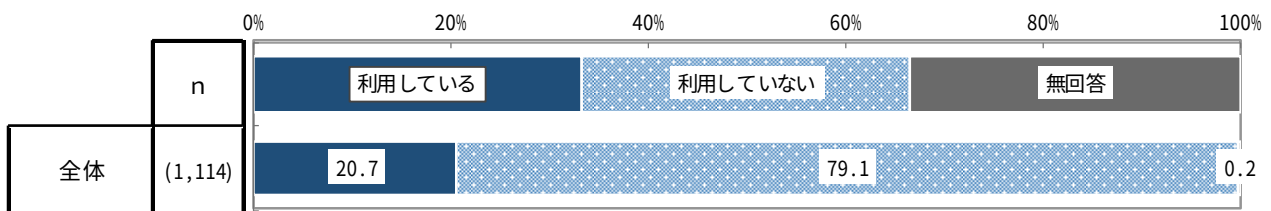
※学童保育クラブとは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、小学生の放課後の生活の場を提供するものです。

(1) 利用状況

問13 宛名のお子さんについて、現在、公設学童保育クラブを利用していますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

公設学童の利用状況について、「利用している」は20.7%、「利用していない」は79.1%となっている。



(2) 利用日数

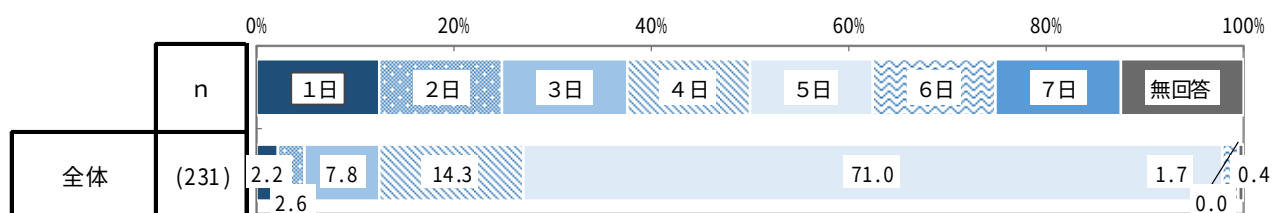
問13-1 宛名のお子さんについて、公設学童保育クラブの利用日数はどれくらいですか。数字でご記入ください。また、土曜日の利用について、どちらか1つに○をつけてください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ（数値を記入、○はひとつ）

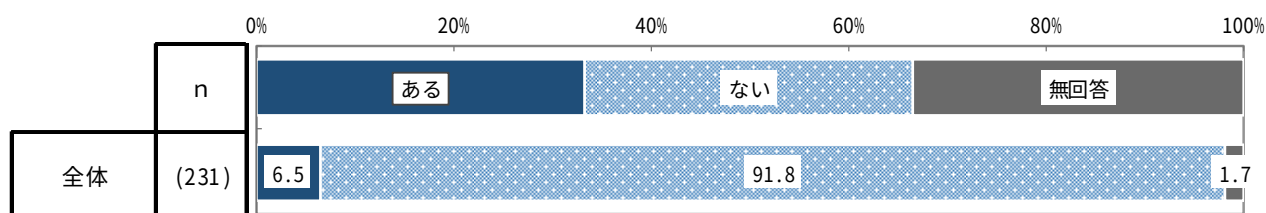
公設学童の週の利用日数について、「5日」が71.0%と最も多く、次いで「4日」が14.3%となっている。

土曜日の利用の有無について、「ある」が6.5%、「ない」が91.8%となっている。

<週の利用日数>



<土曜日の利用実態>

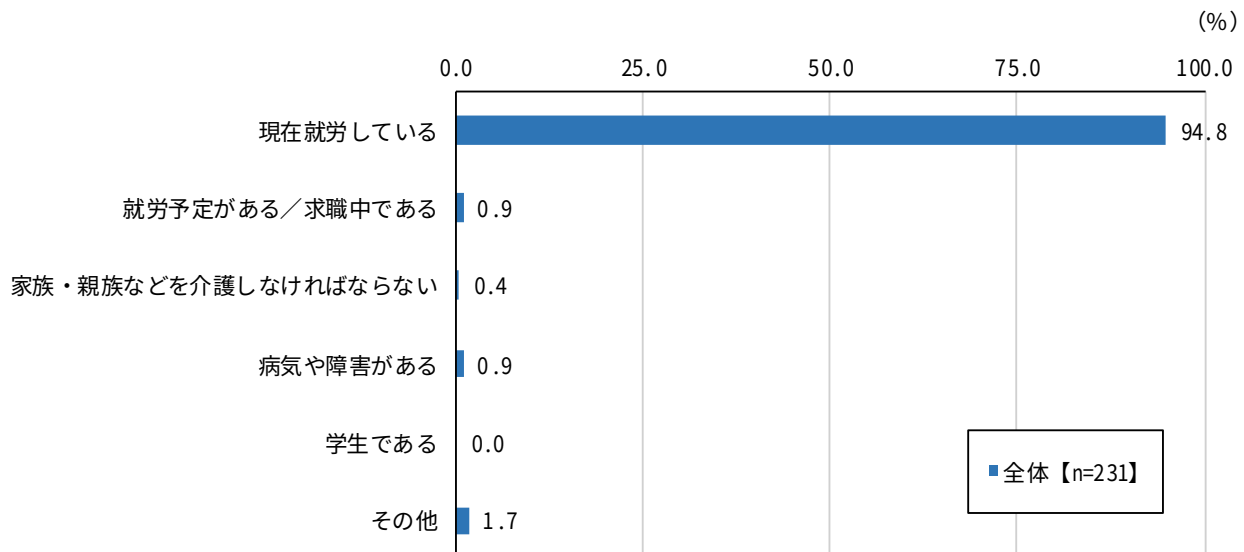


(3) 利用している理由

問13-2 公設学童保育クラブを利用されている理由についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

公設学童を利用している理由について、「現在就労している」が94.8%と最も多く、次いで「就労予定がある／求職中である」「病気や障害がある」が0.9%となっている。

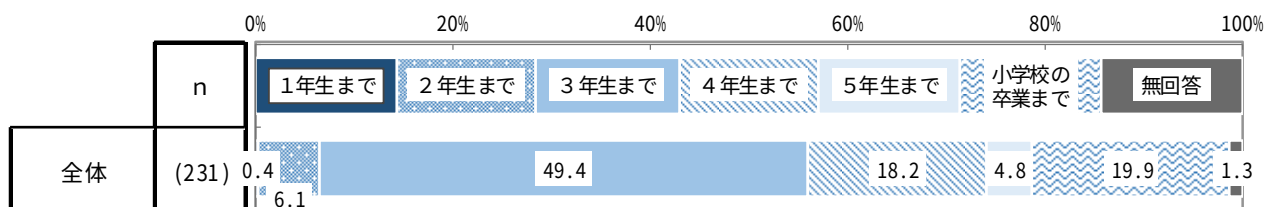


(4) 利用予定学年

問13-3 宛名のお子さまの公設学童保育クラブの利用について、何年生までの利用を予定していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問13で選択肢1を選んだ場合のみ（○はひとつ）

公設学童の利用予定学年について、「3年生まで」が49.4%と最も多く、次いで「小学校の卒業まで」が19.9%となっている。



(5) 利用していない理由

問13-4 利用していない理由についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

※問13で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ）

公設学童を利用していない理由について、「現在就労していないから」が31.6%と最も多く、次いで「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が19.1%となっている。

	n	現在就労していないから	就労しているが、 なかったから	就労しているが、 近くに公設学童保育クラブ	就労しているが、 公設学童保育クラブに空き	就労しているが、 時間が短いから	就労しているが、 利用料がかかるから	就労しているが、 子どもは放課後の習い事を	就労しているが、 放課後の短時間ならば、 子どもだけでも大丈夫と思うから	就労しているが、 他の施設に預けているから	就労しているが、 児童館等の他の居場所があるから	その他	無回答	%
全体	881	31.6	0.6	0.2	2.8	0.5	0.8	19.1	10.8	3.9	5.0	22.2	2.6	

(6) 今後の利用意向

問13-5 宛名のお子さんについて、今後、公設学童保育クラブを利用したいとお考えですか。どちらか1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は利用したい日数はどれくらいですか。数字でご記入ください。土・日の利用希望についてもお答えください。

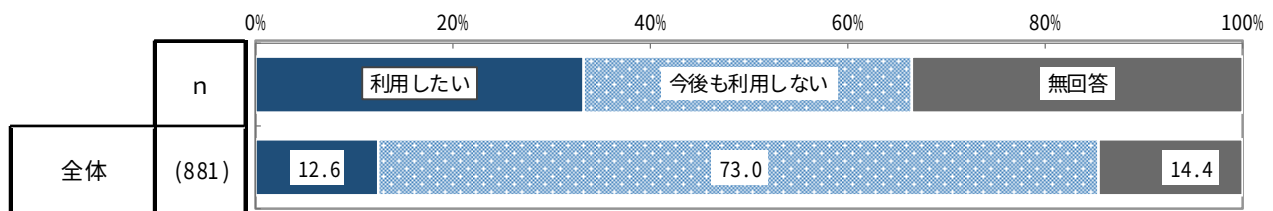
※問13で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ、数値を記入）

今後の利用意向について、「利用したい」は12.6%、「今後も利用しない」は73.0%となっている。

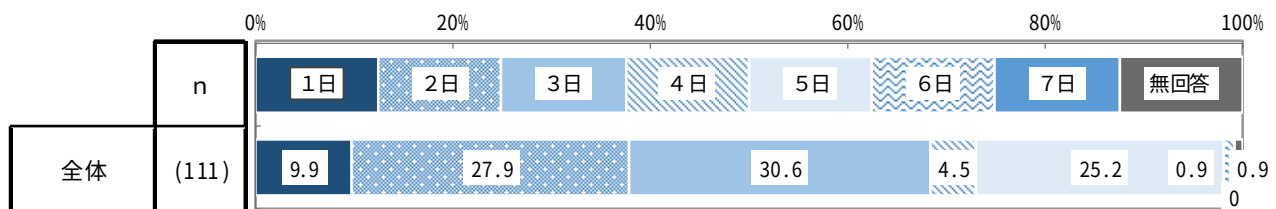
利用を希望する週の日数について、「3日」が30.6%と最も多く、次いで「2日」が27.9%となっている。

土日の利用希望について、「ある」が29.7%、「ない」が60.4%となっている。

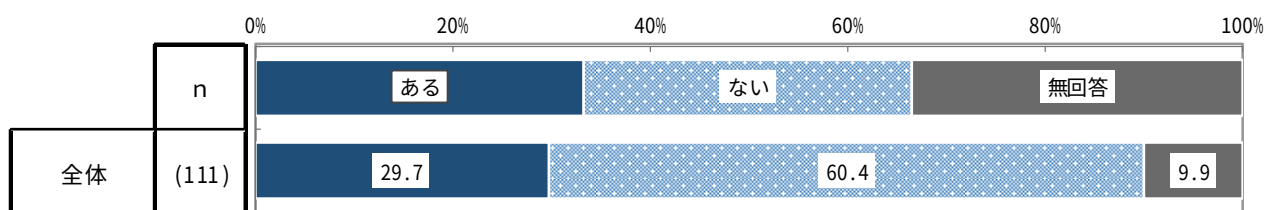
<今後の利用意向>



<週の利用日数>



<土日の利用意向>



(7) 今後利用したい理由

問 1 3 - 5 - 1 今後公設学童保育クラブを利用したい理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※問 1 3 - 1 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

今後利用したい理由について、「現在就労している」が40.5%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」が26.1%となっている。



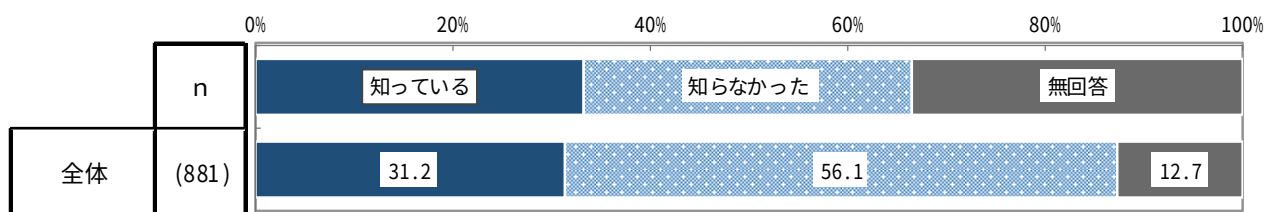
(8) 学童保育クラブ短期入所制度の認知状況

問 1 3 - 6 目黒区の公設学童保育クラブには「学童保育クラブ短期入所」という制度がありますが知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

※学童保育クラブ短期入所は、学校の夏休み等の長期休業日や、保護者の出産や入院等の理由により、通年ではなく短期の利用ができる制度で、入所要件を満たし、2週間以上の利用が条件となります。

※問 1 3 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

学童保育クラブの短期入所制度の認知度について、「知っている」は31.2%、「知らなかった」は56.1%となっている。



(9) 学童保育クラブ短期入所の利用意向

問13-7 宛名のお子さんについて、今後、公設学童保育クラブ短期入所を利用したいとお考えですか。どちらか1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は利用したい日数はどれくらいですか。数字でご記入ください。土・日の利用希望についてもお答えください。

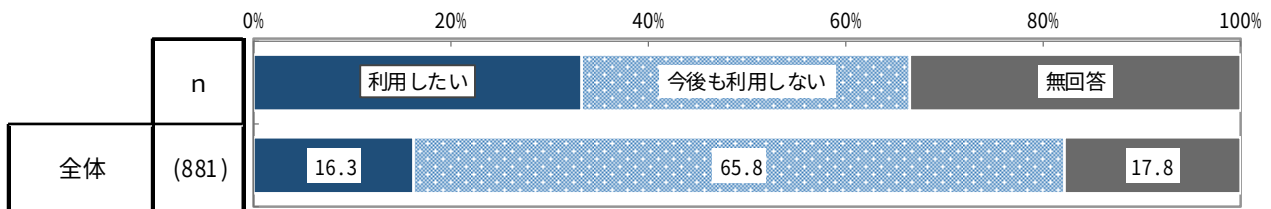
※問13で選択肢2を選んだ場合のみ（○はひとつ、数値を記入）

学童保育クラブの短期入所の利用意向について、「利用したい」は16.3%、「今後も利用しない」は65.8%となっている。

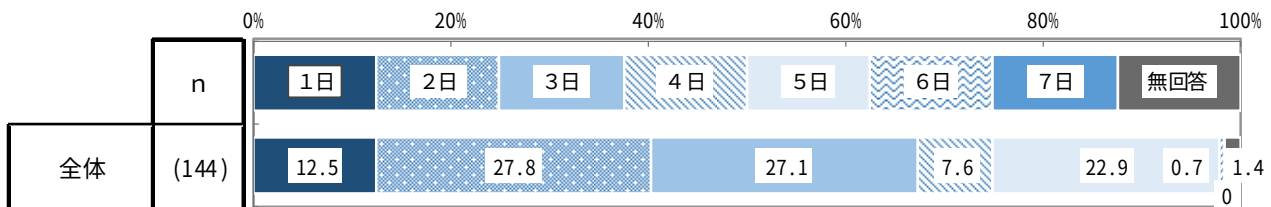
利用を希望する週の日数について、「2日」が27.8%と最も多く、次いで「3日」が27.1%となっている。

土日の利用意向について、「ある」が25.0%、「ない」が63.2%となっている。

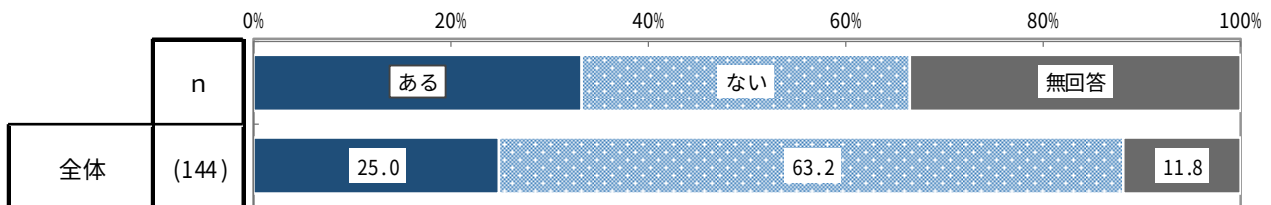
<今後の利用意向>



<週の利用日数>



<土日の利用意向>



5. お子さんの放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方

問 1 4 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、各時間ごとに当てはまるものを 点線枠内からそれぞれ1つずつ選んで下の表に番号をご記入ください。

(数値を記入)

放課後の過ごし方について、“16 時以前”は「学校にいる」が 28.9%と最も多いものの、“16 時から 17 時”“17 時から 18 時”は「学習塾や習い事に行く」が 3 割を占め最も多くなっている。

“18 時から 20 時”“20 時以降”では「保護者や祖父母等の家族・親族と過ごす」が最も多くなるものの、“20 時以降”でも 84.2%となっており、「家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす」「家でひとりで過ごす」の合計が 2.4%となっている、

n = 1,114	16時以前	16時から17時	17時から18時	18時から20時	20時以降	(%)
学校にいる	28.9	5.2	0.4	0.3	0.4	
公設学童保育クラブで過ごす	16.6	15.4	10.6	0.4	0.1	
民間学童保育クラブで過ごす	2.7	4.4	3.5	0.7	0.2	
放課後等デイサービスで過ごす	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	
保護者や祖父母等の家族・親族と過ごす	21.3	20.5	30.9	67.9	84.2	
ベビーシッターなどと過ごす	-	-	0.2	0.3	0.3	
ファミリー・サポート・センター事業を利用する	-	-	-	0.2	0.1	
家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす	2.6	3.1	3.9	2.8	1.7	
家でひとりで過ごす	6.5	5.1	3.6	1.3	0.7	
友達の家にいる	1.5	1.2	0.2	-	-	
公園などで友達と遊ぶ	6.3	7.5	2.4	0.3	-	
児童館にいる	2.7	2.2	0.7	-	-	
図書館などの公共施設にいる	0.2	0.2	-	-	-	
クラブ活動をする	0.6	1.4	1.8	0.8	-	
学習塾や習い事に行く	5.1	29.5	37.5	18.0	4.4	
コンビニエンスストアやスーパーマーケットに行く	-	-	-	-	-	
ゲームセンターで遊ぶ	-	-	-	-	-	
その他	2.6	2.3	2.3	3.5	3.8	
無回答	2.1	1.5	1.7	3.3	3.9	

(2) 放課後対策事業の利用意向

問15 区では放課後対策として次の事業を実施しています。これらの事業についてうかがいます。

(1)～(3) それぞれの項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

放課後対策事業の利用意向について、「子どもが利用したことがある」「子どもが利用したことはないが、今後、子どもに利用させたい」の合計は、“ランドセル来館”では51.3%、“ランランひろば・ランドセルひろば”では72.9%、“子ども教室”では39.9%となっている。

	n	聞いたことがない	子どもが利用したことがある	子どもが利用したことはないが、今後、子どもに利用させたい	子どもに利用させたいと思わない	わからない	無回答	%
ランドセル来館	1,114	15.1	28.5	22.8	19.1	13.5	1.1	
ランランひろば・ランドセルひろば	1,114	9.4	56.7	16.2	9.2	7.1	1.3	

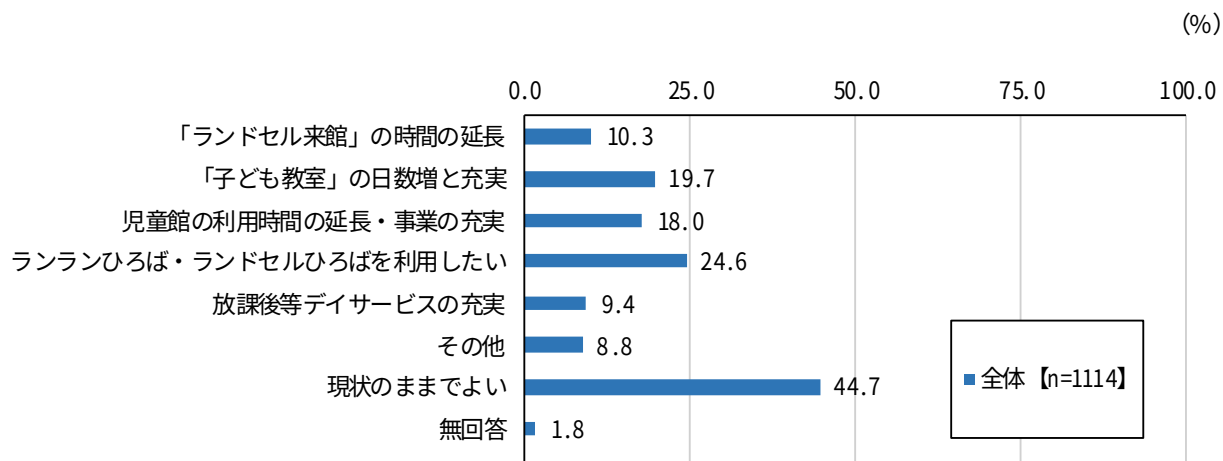
	n	聞いたことがない	子どもが利用したことがある	子どもが利用したことはないが、今後、子どもに利用させたい	子どもに利用させたいと思わない	子どもの学校区域でやっていない	子どもの学校区域での実施の有無はわからない	無回答	%
子ども教室	1,114	37.2	21.0	18.9	4.5	4.6	12.8	1.1	

(3) 放課後の過ごし方の希望

問16 宛名のお子さんについてうかがいます。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はひとつ)

放課後の過ごし方の希望について、「現状のままでよい」が44.7%と最も多く、次いで「ランランひろば・ランドセルひろばを利用したい」が24.6%となっている。



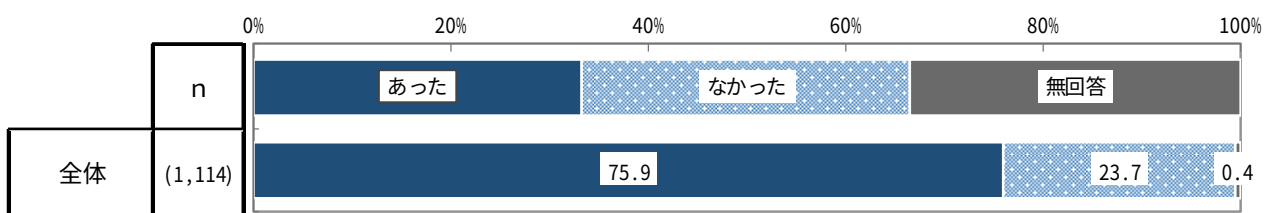
6. お子さんの病気の際の対応について

(1) この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

問17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験について、「あった」が75.9%、「なかった」が23.7%となっている。



(2) 学校を休んだ際の対応

問17-1 その際、どのように対応しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間におけるそれぞれの日数も数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)。

※問17で選択肢1を選んだ場合のみ (○はいくつでも、数値を記入)

通常の事業が利用できなかった時の対応について、「母親のみが休んだ」が51.3%と最も多く、次いで「就労していない父親または母親が子どもをみた」が28.4%となっている。

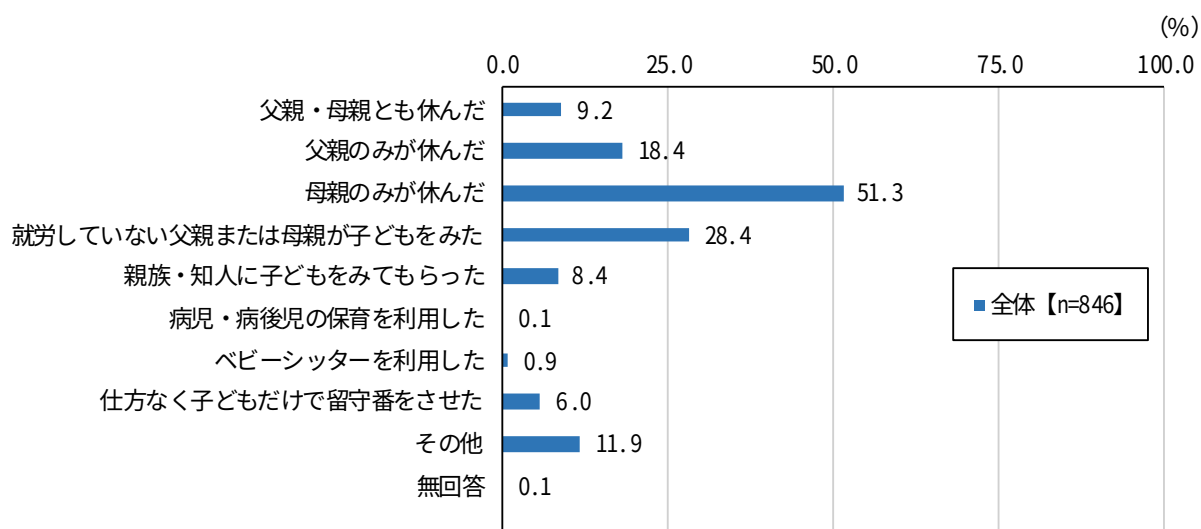
なお、「病児・病後児の保育を利用した」は0.1%、「ベビーシッターを利用した」は0.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は6.0%となっている。

対応方法別の年間の日数について、「母親のみが休んだ」では「1～4日」が61.3%と最も多く、「就労していない父親または母親が子どもをみた」では「5～9日」が36.3%となっている。

なお、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」では、「1～4日」が86.3%、「5～9日」が7.8%となっている。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

<対応方法>



<年間の対応日数>

	n	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答
父親・母親とも休んだ	78	51.3	32.1	12.8	2.6	-	-	-	1.3
父親のみが休んだ	156	81.4	14.7	3.2	-	-	-	-	0.6
母親のみが休んだ	434	61.3	25.1	10.4	1.2	-	-	0.2	1.8
就労していない父親または母親が子どもをみた	240	34.6	36.3	21.7	2.5	0.8	-	0.8	3.3
親族・知人に子どもをみてもらった	71	66.2	19.7	8.5	1.4	-	-	1.4	2.8
病児・病後児の保育を利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	8	100.0	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	51	86.3	7.8	2.0	-	-	-	-	3.9
その他	101	50.5	30.7	8.9	3.0	2.0	-	-	5.0

(3) 病児・病後児保育施設等の利用意向

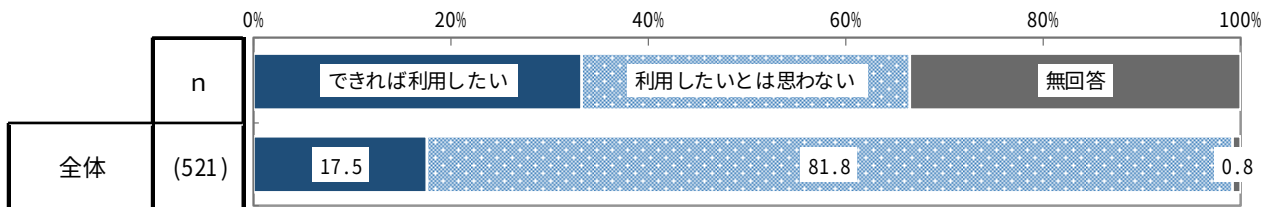
問17-1-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

※問17-1で1～3を選んだ場合のみ（○はひとつ、数値を記入）

病児・病後児保育の利用意向について、「できれば利用したい」は17.5%、「利用したいと思わない」は81.8%となっている。

利用を希望する年間の日数について、“病児保育”“病後児保育”ともに「1～4日」が最も多く約5割を占めている。

<利用意向>



<年間の利用希望日数>

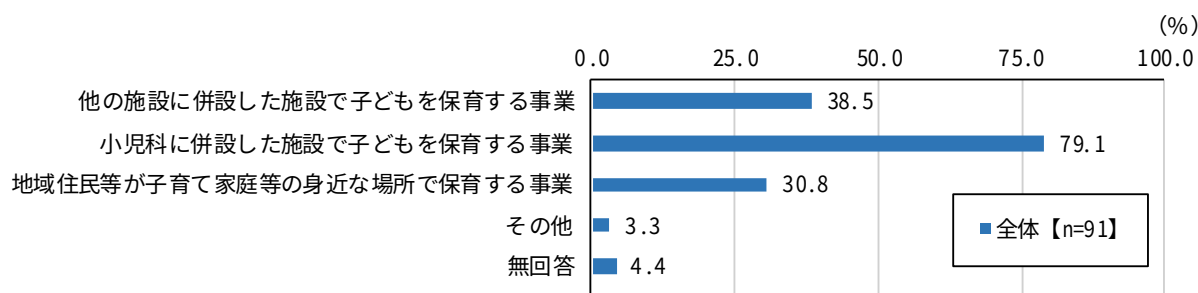
	n	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	%
病児保育施設	91	51.6	24.2	5.5	-	-	-	-	18.7	
病後児保育施設	91	49.5	19.8	3.3	-	-	-	-	27.5	

(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態

問17-1-1-1 病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問17-1-1で選択肢1を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

病児・病後児保育の事業形態への希望について、「小児科に併設した施設での実施」が79.1%と最も多く、次いで「他の施設に併設した施設での実施」が38.5%となっている。

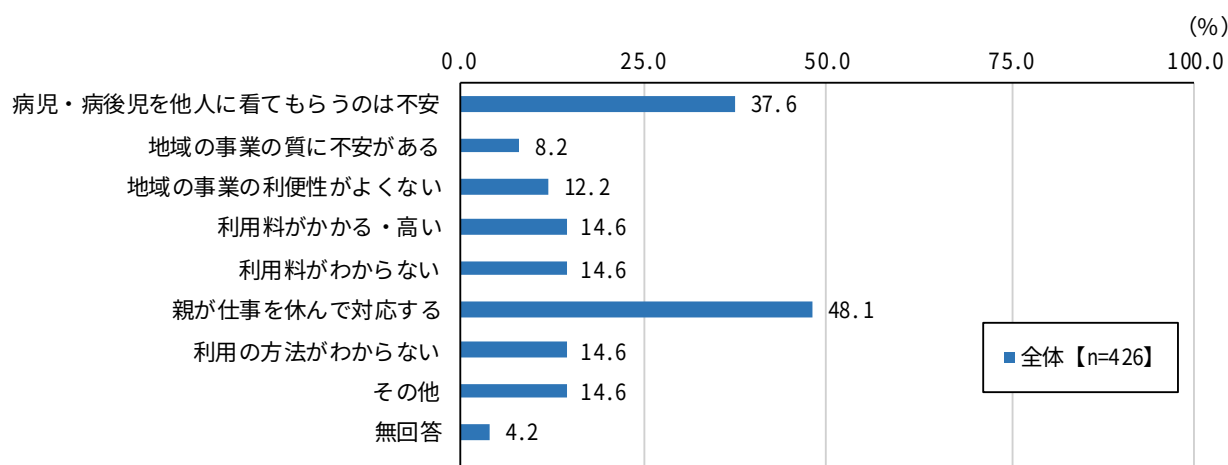


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問17-1-1-2 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問17-1-1で選択肢2を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由について、「親が仕事を休んで対応する」が48.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に診てもらうのは不安」が37.6%となっている。

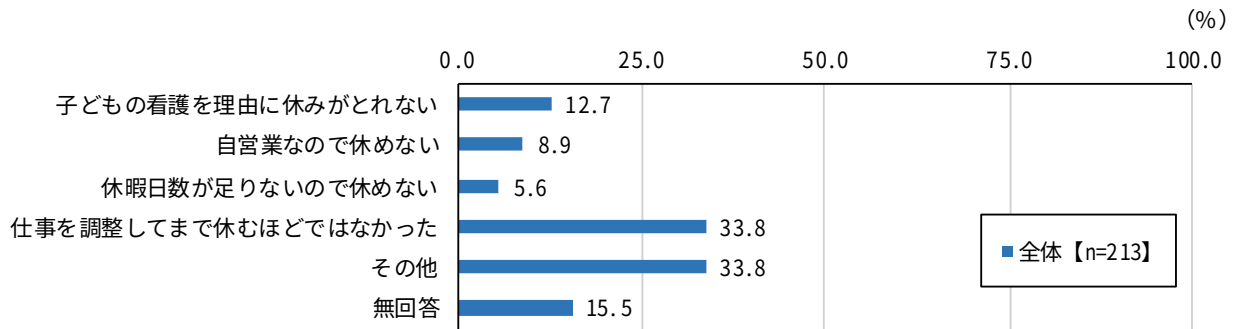


(6) 父母いずれも休めなかった理由

問17-1-2 その理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問17-1で選択肢5～9を選んだ場合のみ（数値を記入）

子どもが病気やケガの際に父母いずれも休めなかった理由について、「仕事を調整してまで休むほどではなかった」が33.8%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が12.7%となっている。



7. お子さんの不規則な一時預かり等の利用について

(1) 不規則な一時預かり等の利用状況

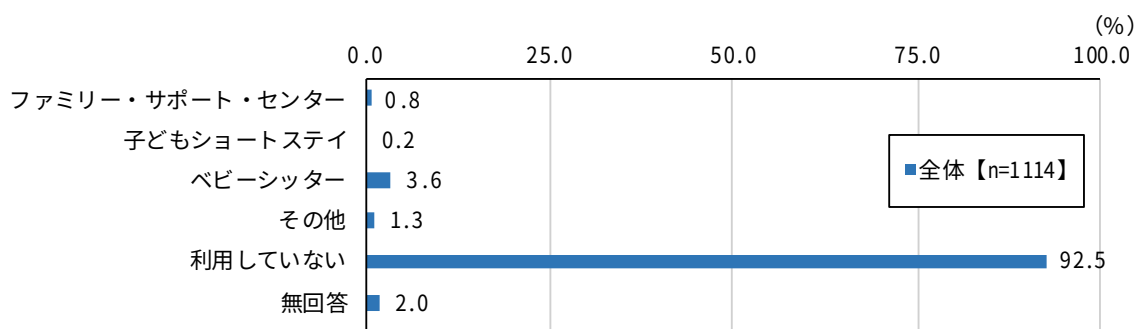
問18 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等のために不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も数字でご記入ください。

(○はいくつでも、数値を記入)

不規則な一時預かり等の利用状況について、利用率は「ファミリー・サポート・センター」が0.8%、「子どもショートステイ」が0.2%、「ベビーシッター」が3.6%となっている。なお、「利用していない」は92.5%となっている。

年間の利用日数について、“ベビーシッター”では「1～4日」が30.0%と最も多い反面、「50日以上」も20.0%となっている。

<利用状況>



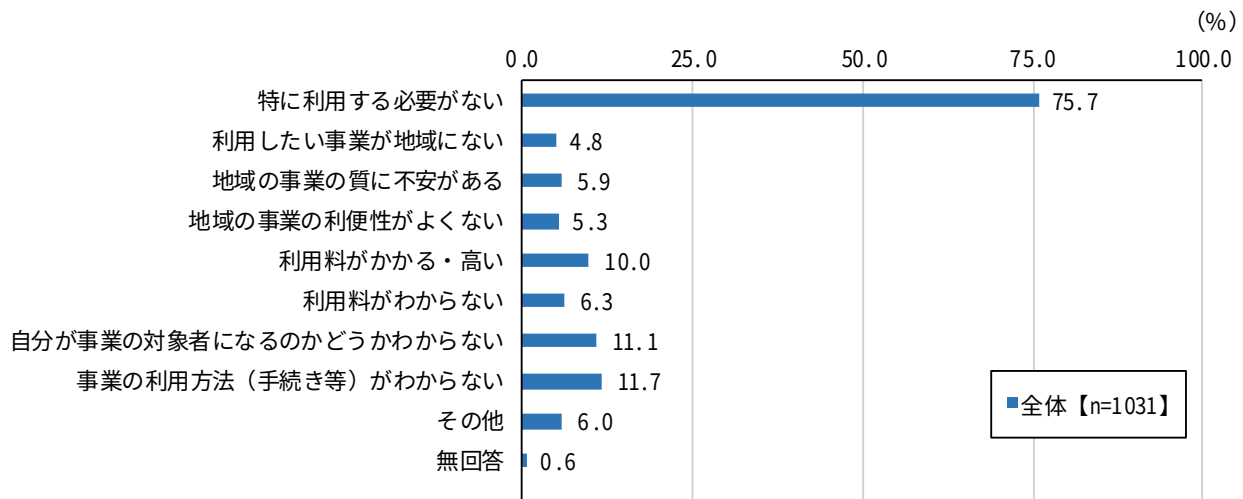
<年間の利用日数>

	n	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	%
ファミリー・サ ポート・セン ター	9	22.2	11.1	22.2	-	-	-	33.3	11.1	
子どもショール ステイ	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
ベビーシッター	40	30.0	12.5	27.5	2.5	-	7.5	20.0	-	
その他	15	26.7	-	46.7	13.3	-	6.7	6.7	-	

(2) 一時預かりを利用していない理由

問18-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問18で選択肢5を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

一時預かりを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が75.7%と最も多く、次いで「事業の利用方法がわからない」が11.7%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が11.1%となっている。



(3) 不定期的な一時預かりの利用意向

問19 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期的就労等のために、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
（○はいくつでも、数値を記入）

一時預かりの利用意向について、「利用したい」は24.6%、「利用する必要はない」は74.4%となっている。

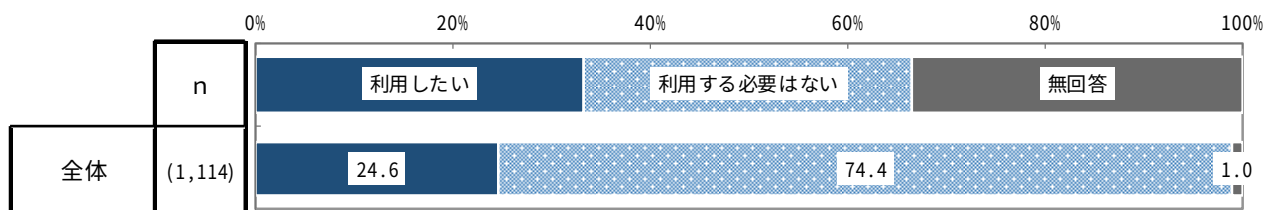
利用を希望する年間の日数について、「10～19日」が28.8%と最も多くなっている。

利用目的について、「私用・リフレッシュ目的」が63.5%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が58.8%、「不定期的就労」が35.0%となっている。

利用目的別の希望日数について、「私用・リフレッシュ目的」では「5～9日」が30.5%と最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では「1～4日」が34.2%、「不定期的就労」では「10～19日」が25.0%となっている。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

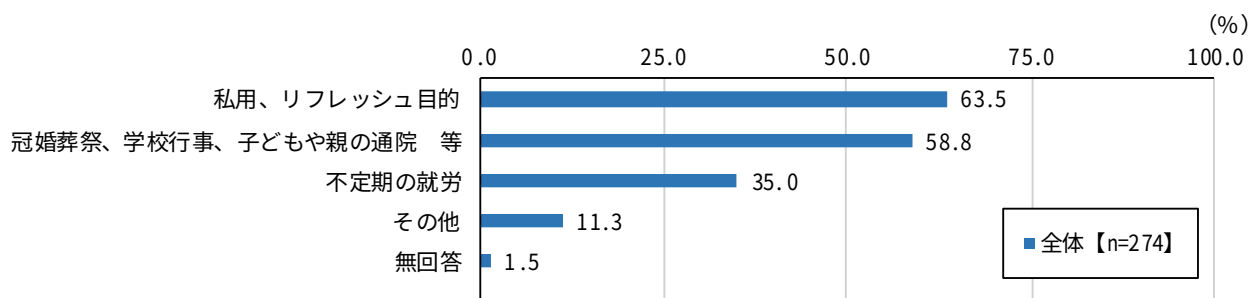
<利用意向>



<年間の利用希望日数（全体）>

		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
n										%
全体	274	10.9	20.8	28.8	9.1	4.7	3.3	9.5	12.8	

<利用目的>



<年間の利用希望日数（利用目的別）>

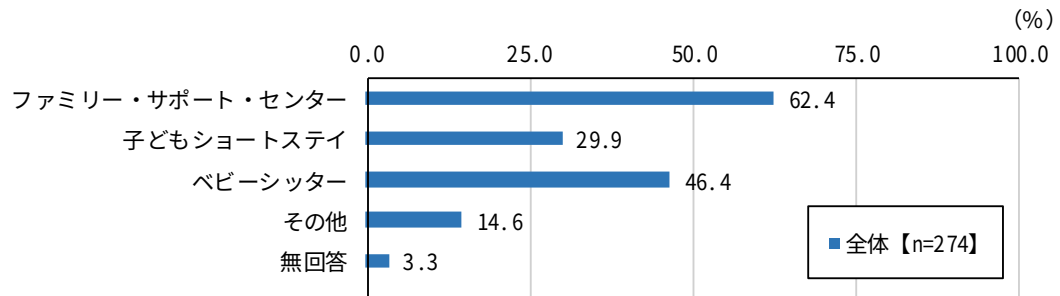
		1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 ～ 2 9 日	3 0 ～ 3 9 日	4 0 ～ 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	
n										%
私用、リフレッシュ目的	174	25.9	30.5	27.0	5.2	3.4	2.3	4.6	1.1	
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等	161	34.2	28.6	26.7	5.0	1.2	1.2	0.6	2.5	
不定期の就労	96	21.9	24.0	25.0	15.6	4.2	3.1	5.2	1.0	
その他	31	32.3	29.0	16.1	6.5	-	9.7	6.5		

(4) 不定期な一時預かりの事業形態

**問19-1 問19のためにお子さんを預ける場合、どのような事業を利用したいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

※問19で選択肢1のア～エを選んだ場合のみ（○はいくつでも）

一時預かりの実施形態について、「ファミリー・サポート・センター」が62.4%と最も多く、次いで「ベビーシッター」が46.4%となっている。



(5) 宿泊を伴う預かり保育の利用意向

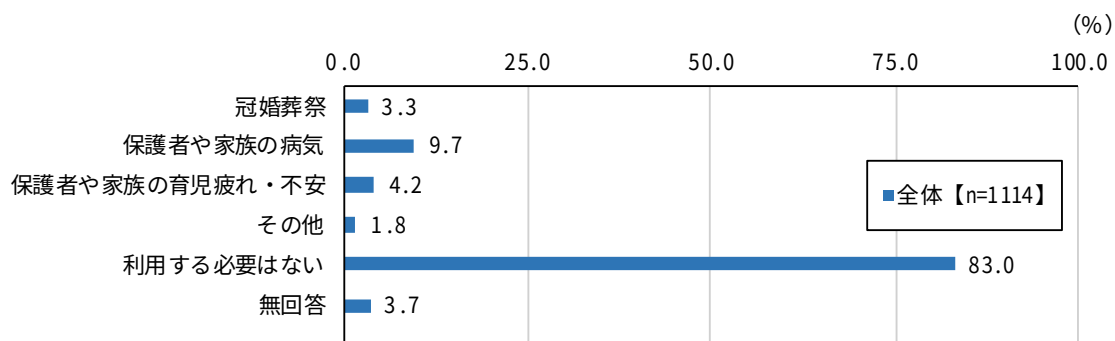
問20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時、お子さんを泊りがけで預けることができる子どもショートステイを利用したいと思いましたか。利用したい日数について、保護者の理由別の日数も含めて数字でご記入ください。

（○はひとつ、数値を記入）

宿泊を伴う預かり保育の利用意向について、「冠婚葬祭」での利用が3.3%、「保護者や家族の病気」での利用が9.7%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」での利用が4.2%となっている。なお、「利用する必要はない」は83.0%となっている。

利用目的別の年間の利用日数について、「冠婚葬祭」「保護者や家族の病気」「保護者や家族の育児疲れ・不安」とともに「1～4日」が最も多く半数を上回っている。

<利用意向>



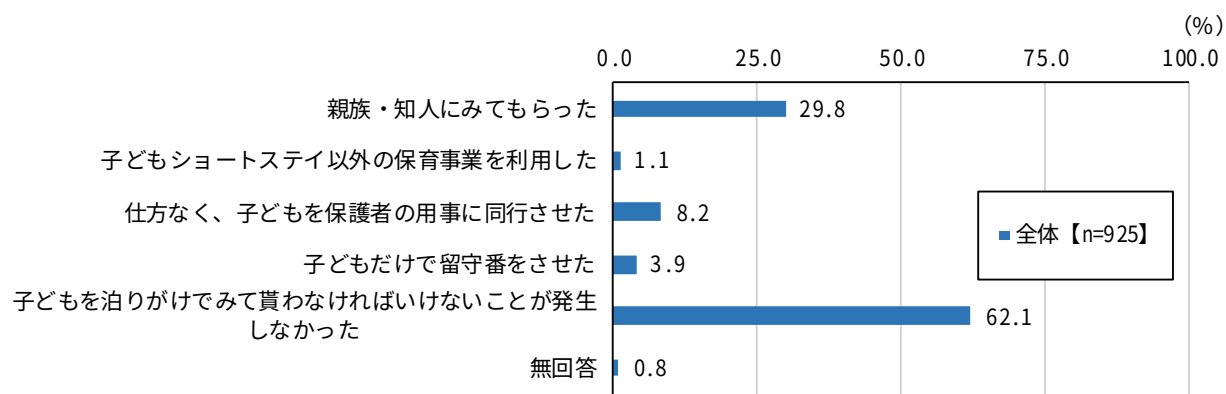
<年間の利用日数（目的別）>

	n	1 5 4 日	5 9 日	1 0 5 1 9 日	2 0 5 2 9 日	3 0 5 3 9 日	4 0 5 4 9 日	5 0 日 以上	無 回 答	%
冠婚葬祭	37	89.2	10.8	-	-	-	-	-	-	-
保護者や家族の 病気	108	75.0	19.4	4.6	-	-	-	-	0.9	-
保護者や家族の 育児疲れ・不安	47	53.2	27.7	17.0	2.1	-	-	-	-	-
その他	20	90.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-

(6) 利用する必要がなかった理由

問 20-1 利用する必要がなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 20 で選択肢 2 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

宿泊を伴う預かり保育を利用する必要がなかった理由について、「子どもを泊りがけて見てもらわなければいけないことが発生しなかった」が 62.1% と最も多く、次いで「親族・知人にみてもらった」が 29.8% となっている。



8. 地域の子育て支援事業について

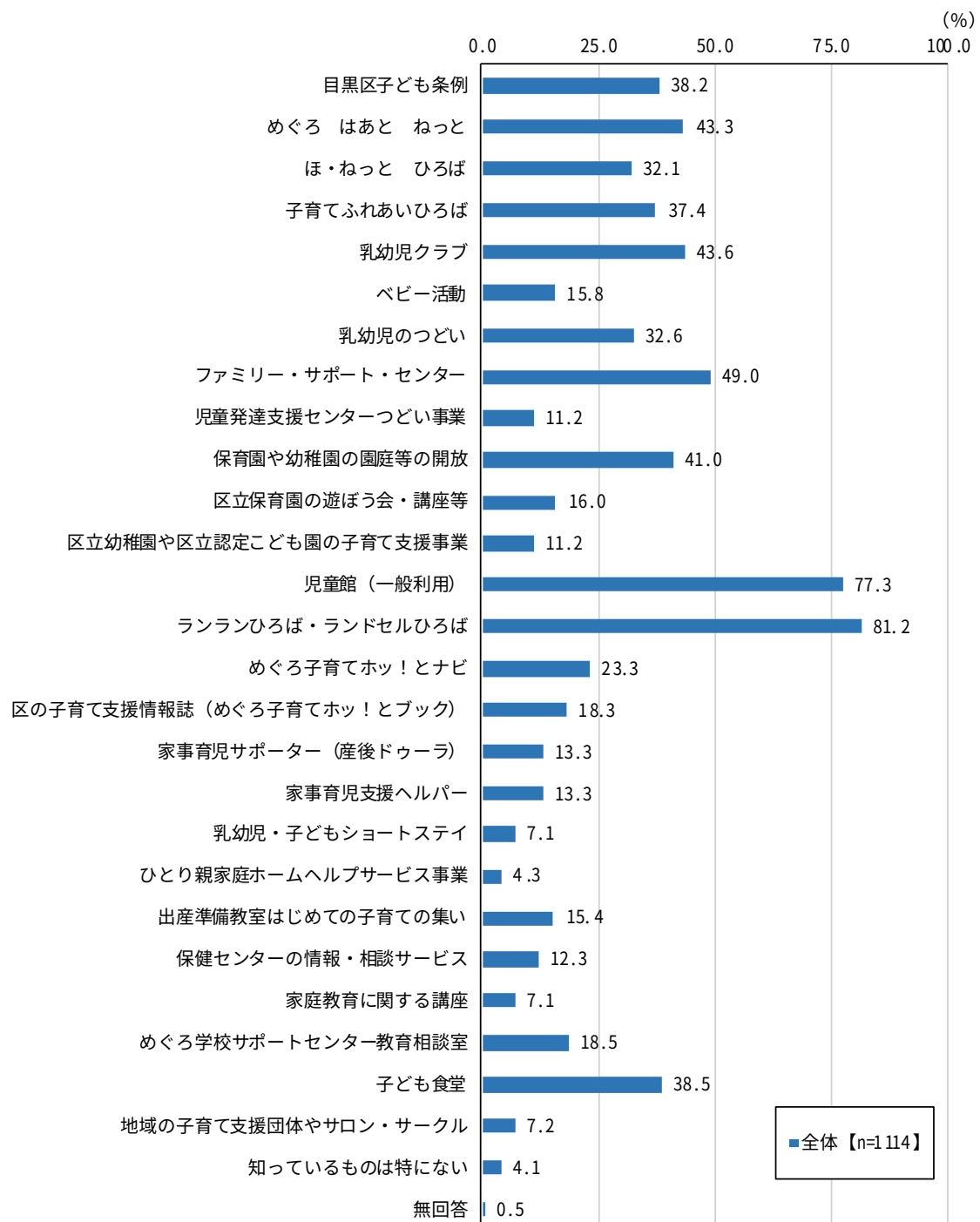
(1) サービスの認知状況

問21 下記のサービス等について知っているもののすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

子育て支援サービスの認知度について、「ランランひろば・ランドセルひろば」が81.2%と最も多く、次いで「児童館」が77.3%となっている。

一方で、「知っているものは特にない」は4.1%となっている。



(2) サービスへの意見・要望

問21-1 上記のサービス等についての意見・要望があれば記入してください。

(自由記述)

区 分	件数
学校に関すること	3 件
相談に関すること	6 件
立地に関すること	3 件
サービスのわかりやすさに関すること	17 件
サービスの利用しやすさに関すること	12 件
遊び場・居場所に関すること	5 件
職員・支援者に関すること	4 件
全体	48 件

<代表的な意見の抜粋>

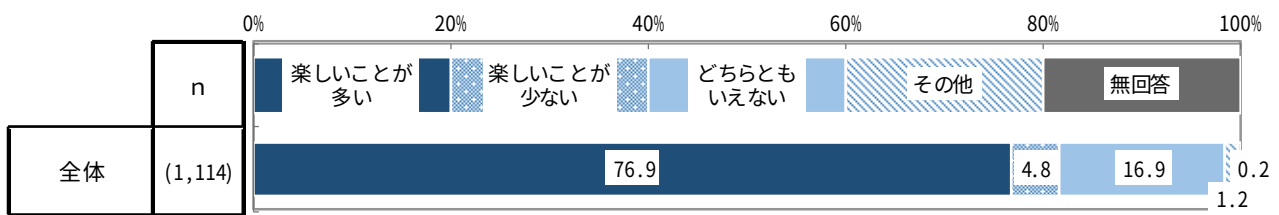
区分	意見
サービスのわかりやすさに関する こと	・窓口がたくさんありすぎて、最初に、どこに相談すれば良いのかがわかりにくい。 ・似たようなサービスが乱立しており、子育て支援事業を体系立てて実施されていないように思う。
サービスの利用しやすさに関する こと	・片親で子供の生活費の為にフルタイム就労だが、色々なサービスが収入制限に引っかかり、利用出来ず、全く意味が無い。 ・家事育児支援ヘルパー等、手続きが複雑そうな上に、条件も厳しそうでハードルが高い。

9. 子育てについて

(1) 子育ての意識

問22 あなたは子育てが楽しいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

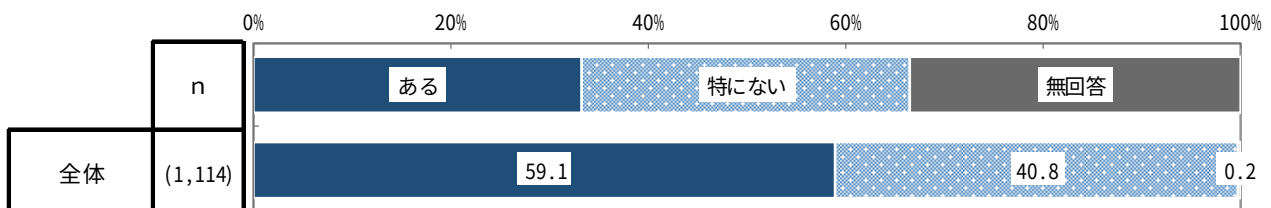
子育てへの意識について、「楽しいことが多い」は76.9%、「楽しいことが少ない」は4.8%となっている。



(2) 日頃悩んでいることや困っていることの有無

問23 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはありますか。どちらか1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

悩みや困りごとについて、「ある」は59.1%、「特にない」は40.8%となっている。

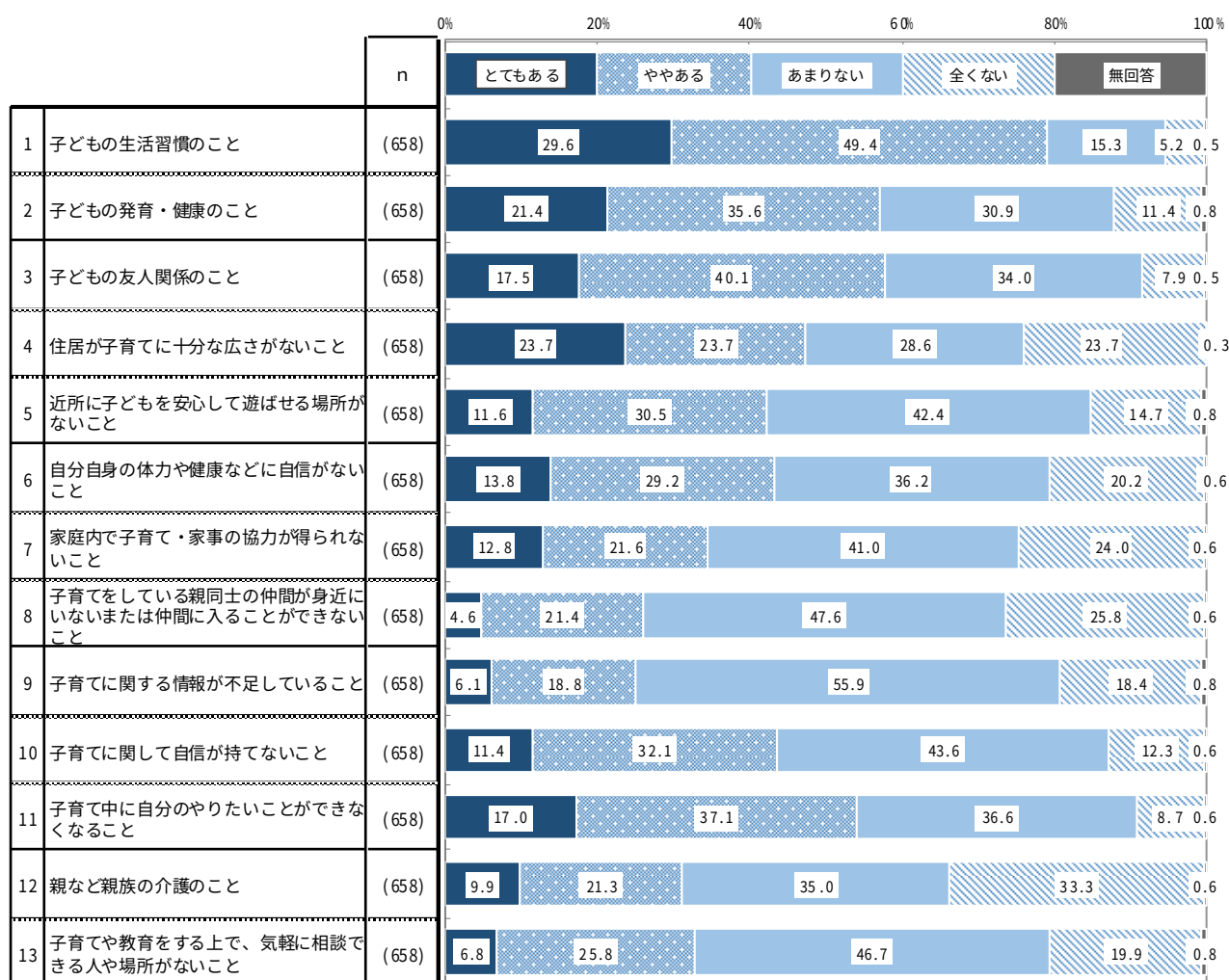


(3) 子育てにおける悩み、不安、困っていることの内容

問 2 3 - 1 宛名のお子さんを育てている間に、どのようなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりすることがありますか。①～⑬の事柄について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

※問 2 3 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はそれぞれひとつ）

子育ての不安や悩みの内容について、「とてもある」「ややある」の合計は、“子どもの生活習慣のこと”で79.0%と最も多く、次いで“子どもの友人関係のこと”が57.6%、“子どもの発育・健康のこと”が57.0%となっている。

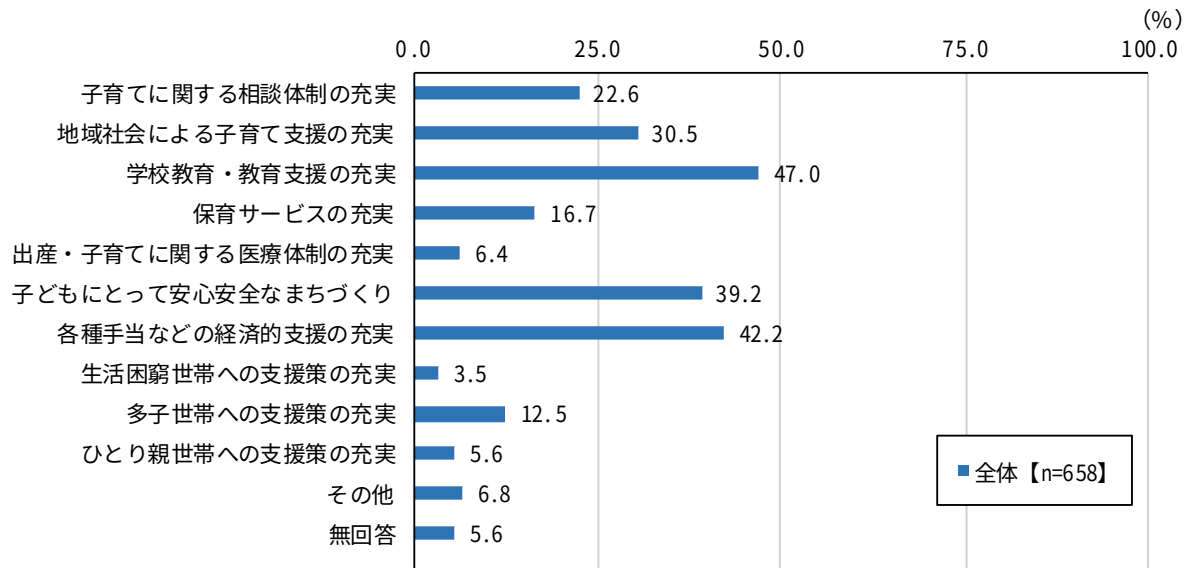


(4) 悩みなどを解決するために必要な支援・対策

問23-2 悩みなどを解決するために、どのような支援・対策があるとよいですか。当てはまるもの上位3つに○をつけてください。

※問23で選択肢1を選んだ場合のみ（○は3つまで）

悩みを解決するための支援等について、「学校教育・教育支援の充実」が47.0%と最も多く、次いで「各種手当などの経済的支援の充実」が42.2%となっている。

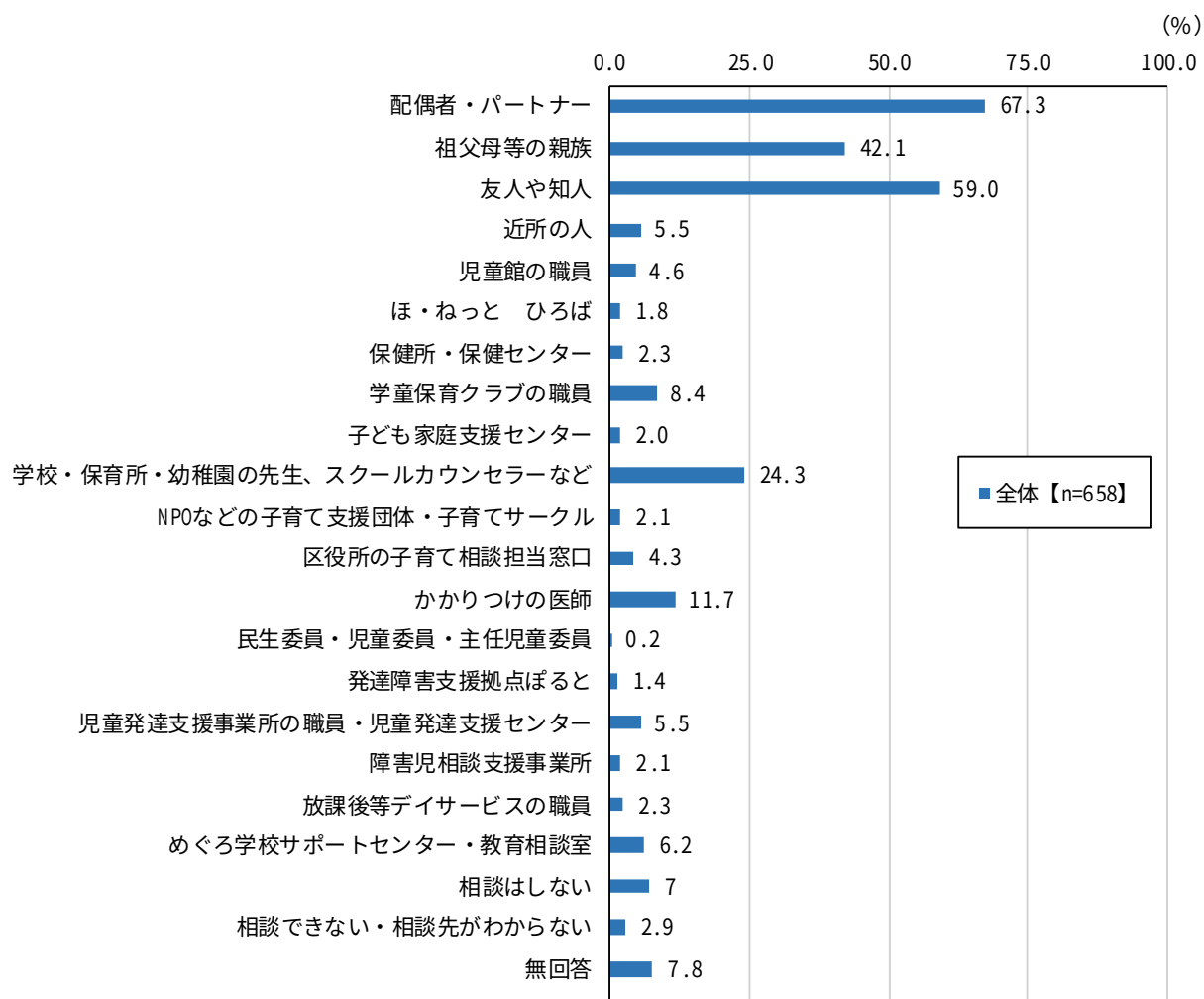


(5) 悩みなどを解決するための相談先

問 2 3 - 3 悩みなどを解決するために、どの相談窓口等に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問 2 3 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

悩みを相談した相談的口等について、「配偶者・パートナー」が67.3%と最も多く、次いで「友人や知人」が59.0%となっている。

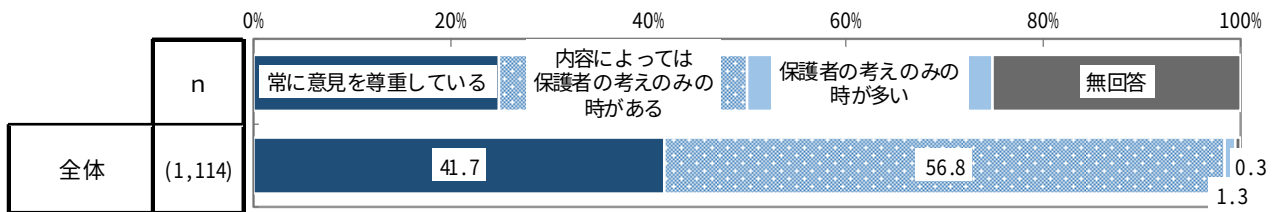


(6) お子さんの意見の尊重度合い

問24 あなたは宛名のお子さんについて決めるときに、子ども自身の意見や考えをどれくらい尊重していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子どもの意見の尊重状況について、「常に意見を尊重している」は41.7%、「内容によっては保護者の考えのみの時がある」は56.8%、「保護者の考えのみの時が多い」は1.3%となっている。

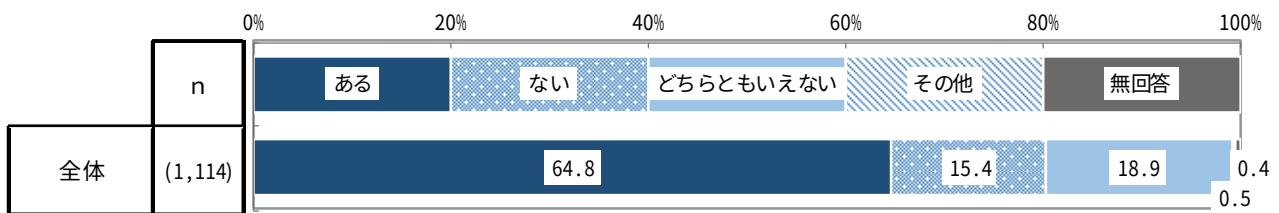


(7) 子育てにおけるストレスの有無

問25 あなたは子育てでストレスを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子育てにおけるストレスについて、「ある」は64.8%、「ない」は15.4%となっている。



(8) 子育てで感じたストレスの解消方法

問25-1 どのような方法で解消していますか。具体的にご記入ください。

※問25で選択肢1を選んだ場合のみ（自由記述）

区 分	件数
趣味を楽しむ	84 件
人に話す	65 件
自分の時間をつくる	41 件
寝る	22 件
子どもと距離をおく	6 件
夫婦で家事を分担する	4 件
解決できない	26 件
その他	16 件
全体	223 件

<代表的な意見の抜粋>

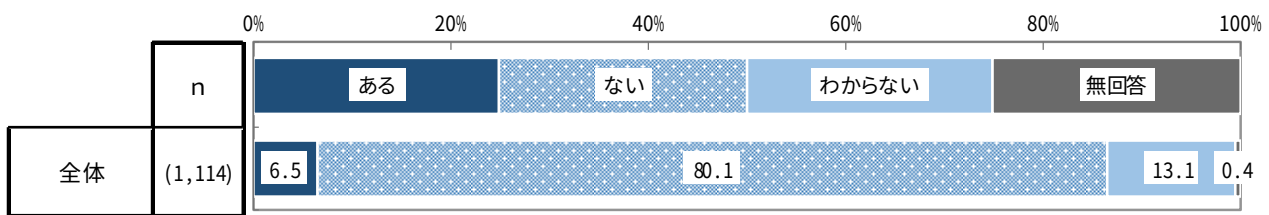
区分	意見
趣味を楽しむ	・ 夜に趣味をする。 ・ 仕事や趣味など自分の時間も適度にもつこと。
人に話す	・ 友人、家族に話を聞いてもらう。 ・ 他の人に相談する 同じ環境の人。 ・ 親同士で情報交換をして、だいたいどこも同じような悩みがあることを知る。
自分の時間をつくる	・ 夫婦それぞれ 1 人の時間を設けるよう工夫している。 ・ 祖父母宅に預ける。 習い事の時間の間に自分の時間を作る。 - 週末はなるべく夫にも子どもを見てもらう。
寝る	・ 眠って忘れる。 ・ 睡眠を十分にとり、自分の妹や両親と話をすること。

(9) 子どもの障害の有無

問26 宛名のお子さんには発達の遅れや障害がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

子どもの発達の遅れや障害について、「ある」は6.5%、「ない」は80.1%、「わからない」は13.1%となっている。

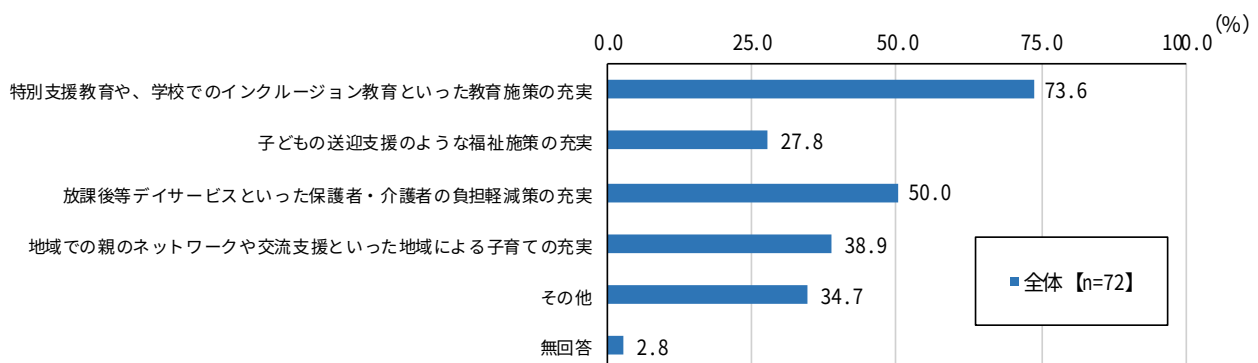


(10) 障害をもつ子どもの保護者が充実してほしい子育て支援

問26-1 発達の遅れや障害があるお子さんを育てている保護者への子育て支援として、充実してほしいと思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※問26で選択肢1を選んだ場合のみ (○はいくつでも)

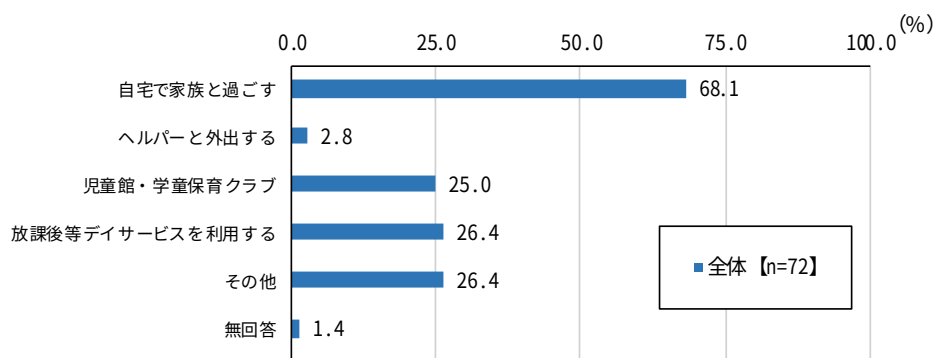
発達の遅れや障害がある子どもへの支援について、「特別支援教育や、学校でのインクルージョン教育といった教育施策の充実」が73.6%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスといった保護者・介護者の負担軽減策の充実」が50.0%となっている。



(11)障害をもつ子どもの放課後の過ごし方

問 2 6 - 2 放課後はどのように過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 2 6 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

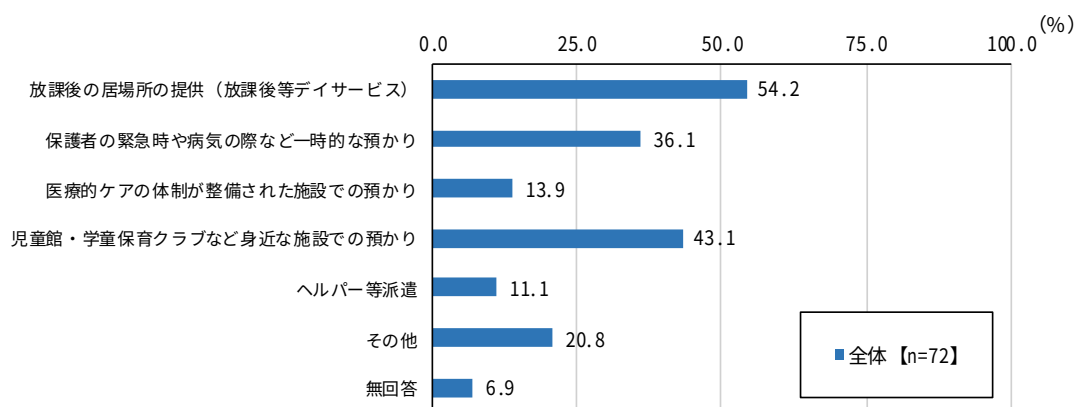
障害等がある子どもの放課後の過ごし方について、「自宅で家族と過ごす」が68.1%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が26.4%となっている。



(12)障害をもつ子どもの放課後支援

問 2 6 - 3 障害のあるお子さんの放課後の過ごし方として、どのようなサービスがあるとよいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 2 6 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

障害等がある子どもの放課後支援について、「放課後の居場所の提供」が54.2%と最も多く、次いで「児童館・学童保育クラブなど身近な施設での預かり」が43.1%となっている。

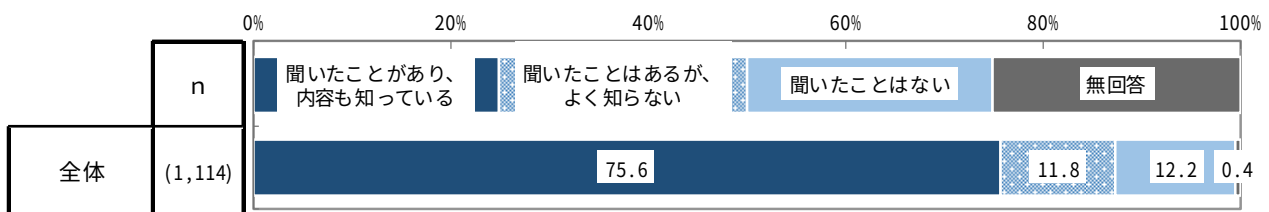


(13) ヤングケアラーの認知

問27 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はいくつでも)

ヤングケアラーの認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」は75.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は11.8%、「聞いたことはない」は12.2%となっている。

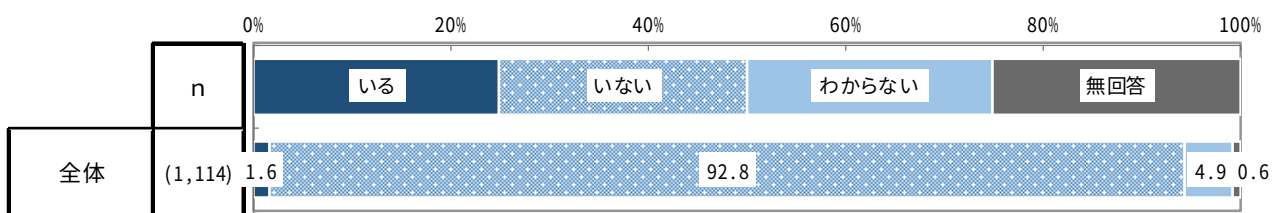


(14) 家族内のヤングケアラーの有無

問28 家族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

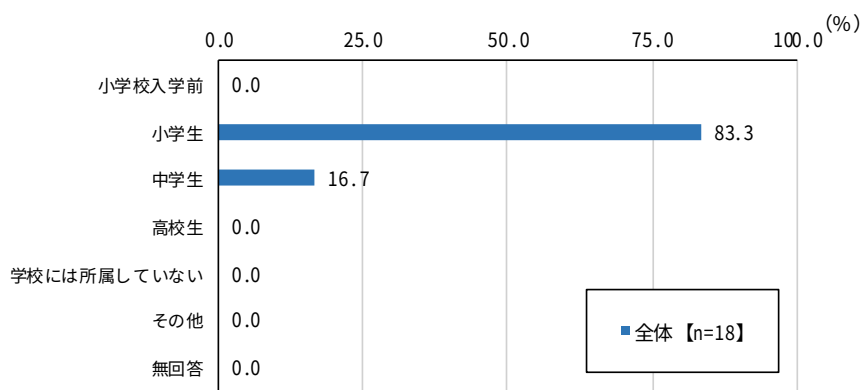
家族内のヤングケアラーの有無について、「いる」は1.6%、「いない」は92.8%、「わからない」は4.9%となっている。



(15)ヤングケアラーのご家族の年齢

問 2 8 - 1 ヤングケアラーと思われる子どもの年代をお答えください（複数名いる場合は、ご自身に最も関係性が近い方についてお答えください）。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※問 2 8 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はひとつ）

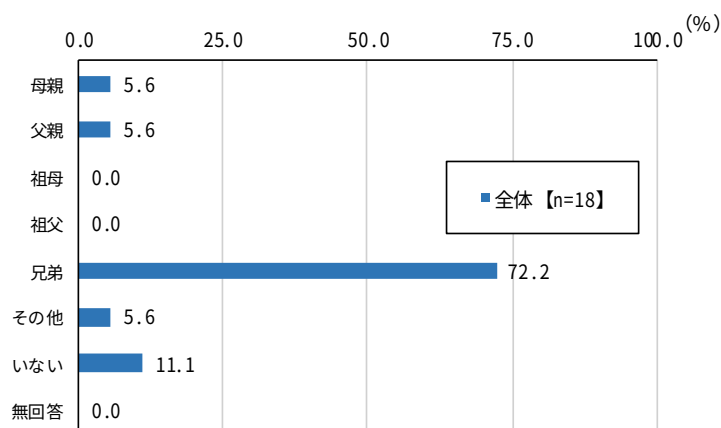
ヤングケアラーの年齢について、「小学生」が 83.3%、「中学生」が 16.7%となっている。



(16)ヤングケアラーのご家族がケアしている人

問 2 8 - 2 ヤングケアラーと思われる子どもからのお世話を必要としている方を、子どもから見た続柄でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問 2 8 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

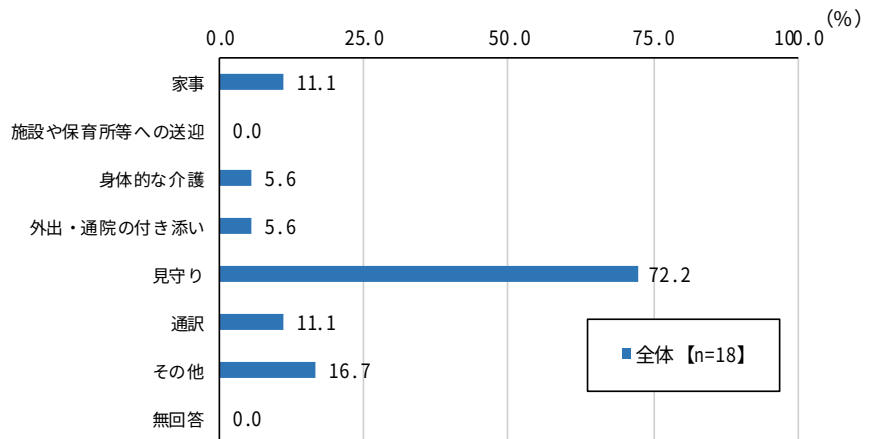
ヤングケアラーがお世話をしている家族について、「兄弟」が 72.2%と最も多く、次いで「母親」「父親」が 5.6%となっている。



(17)ヤングケアラーのご家族がケアしている内容

問28-3 お世話の内容を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
※問28で選択肢1を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

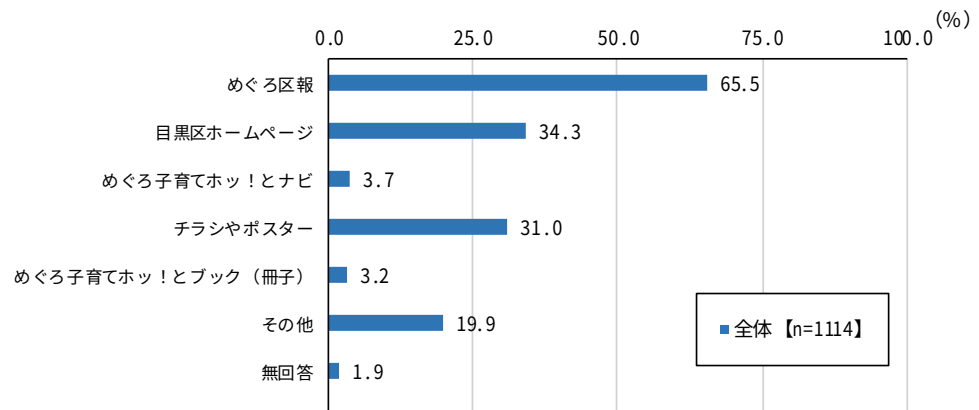
ヤングケアラーが実施しているお世話の内容について、「見守り」が72.2%と最も多く、次いで「家事」「通訳」が11.1%となっている。



(18)子育てに関する情報やお知らせの入手先

問29 あなたは子育てに関する情報やお知らせをどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

子育てに関する情報の入手方法について、「めぐろ区報」が65.5%と最も多く、次いで「目黒区ホームページ」が34.3%となっている。

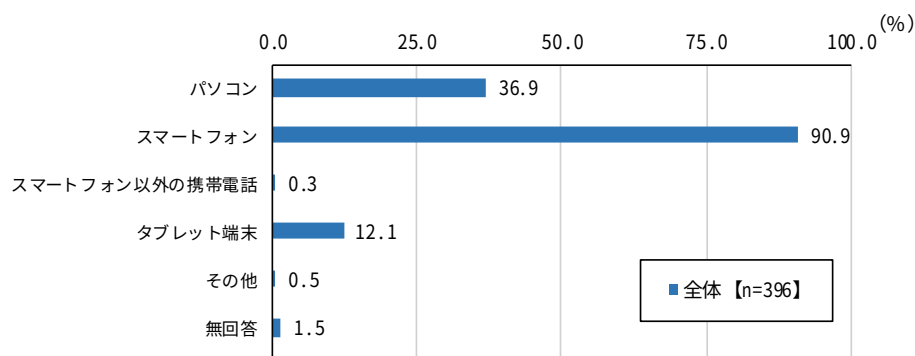


(19)情報検索時に使用している ICT 機器

問 2 9 - 1 ホームページやめぐろ子育てホッ！とナビで情報を検索する時に使用しているものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

問 2 9 で選択肢 2 または 3 を選んだ場合のみ（○はいくつでも）

情報検索時に使用している ICT 機器について、「スマートフォン」が 90.9%と最も多く、次いで「パソコン」が 36.9%となっている。

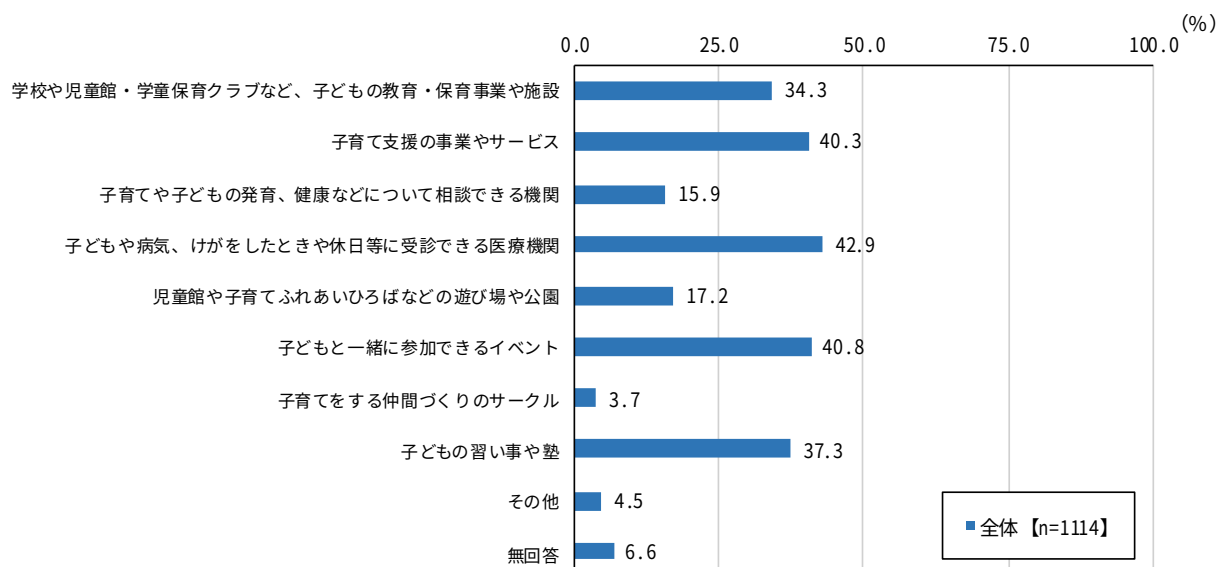


(20)知りたい子育ての情報

問 3 0 あなたは、子育てする上で、知りたい情報は何ですか。当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

(○は3つまで)

知りたい子育て情報について、「子どもが病気や、けがをしたときや休日等に受診できる医療機関」が 42.9%と最も多く、次いで「子どもと一緒に参加できるイベント」が 40.8%、「子育て支援の事業やサービス」が 40.3%となっている。



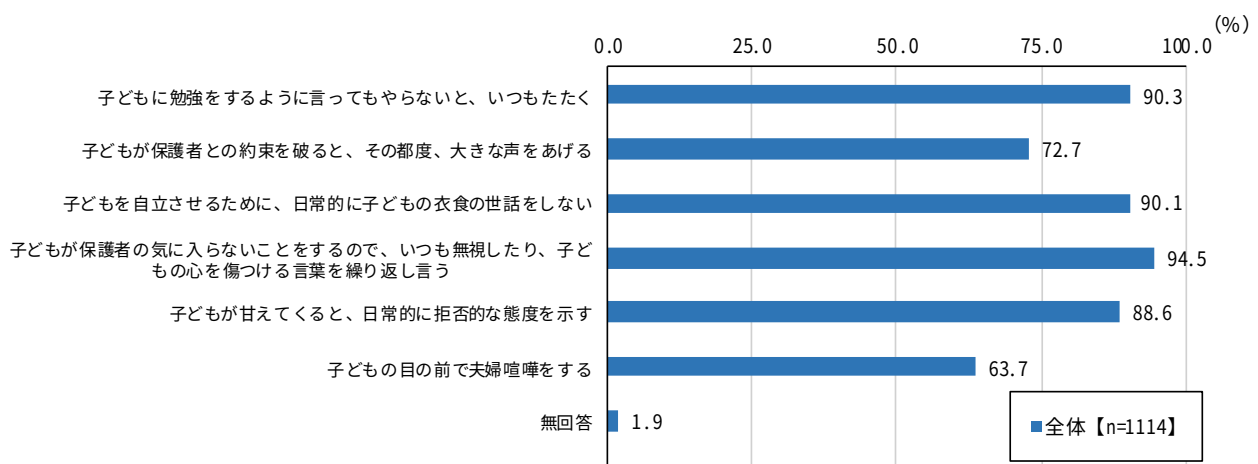
(21)虐待だと思ふ行為

問3 1 しつけと虐待の違いについてお聞きします。次の項目のうちあなたが虐待だと思ふ番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

虐待だと思ふ子どもへの行為について、「子どもが保護者の気に入らないことをするので、いつも無視したり、子どもの心を傷つける言葉を繰り返し言う」が94.5%と最も多く、次いで「子どもに勉強をするように言ってもやらないと、いつもたたく」が90.3%となっている。

一方で、「子どもが保護者との約束を破ると、その都度、大きな声をあげる」は約7割、「子どもの目の前で夫婦喧嘩をする」は約6割となっている。

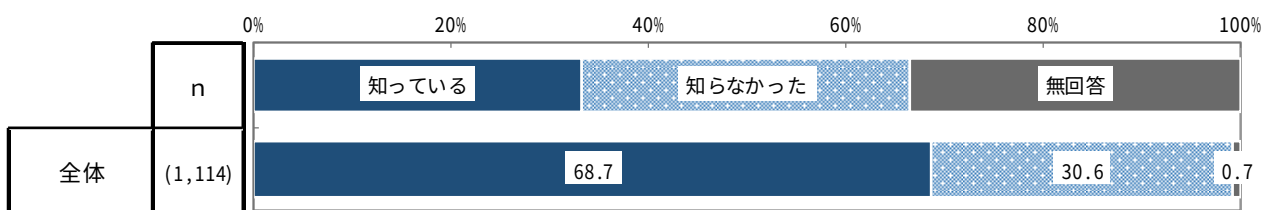


(22)子ども虐待の発見時における通告義務の認知

問3 2 あなたは、すべての人に子どもを虐待しているのを発見したときは、「通告の義務」があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

虐待発見時の通告の義務の認知度について、「知っている」は68.7%、「知らなかった」は30.6%となっている。

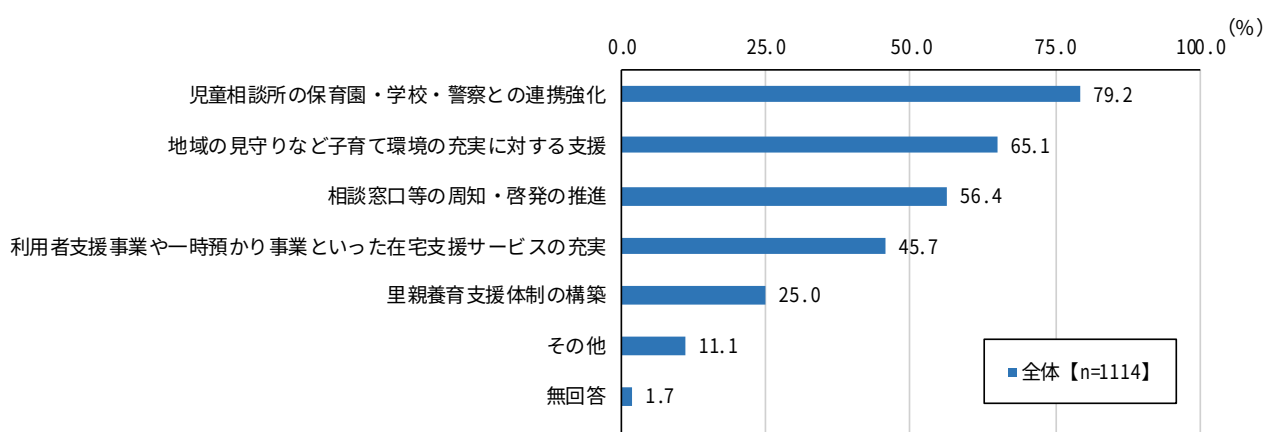


(23)虐待を未然に防ぐために必要なと思うこと

問33 児童虐待を未然に防ぐために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

子どもへの虐待を防ぐために必要なことについて、「児童相談所の保育園・学校・警察との連携強化」が79.2%と最も多く、次いで「地域の見守りなど子育て環境の充実に対する支援」が65.1%となっている。

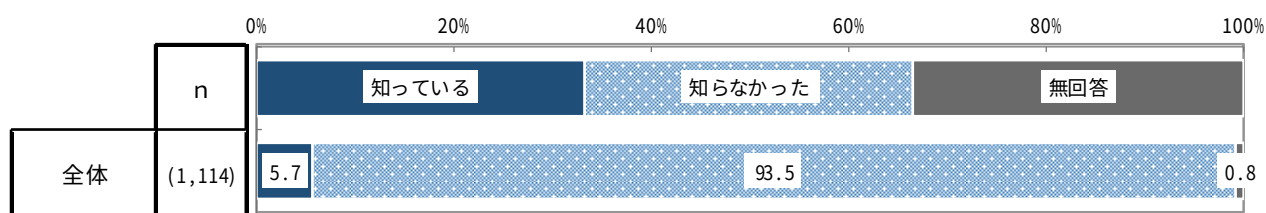


(24)子ども家庭センター設立の認知

問34 目黒区は、国の動向を踏まえて、子どもの権利を尊重し、子育て子育てが安全・安心にできるまちを目指して、令和4年12月に「総合的な子ども家庭支援体制の構築と環境整備」の考え方をまとめました。その第一段階として、令和7年度中に妊娠期から思春期・青年期にわたる切れ目のない相談支援の拠点として、鷹番保育園跡地に「こども家庭センター」が設立されることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

(○はひとつ)

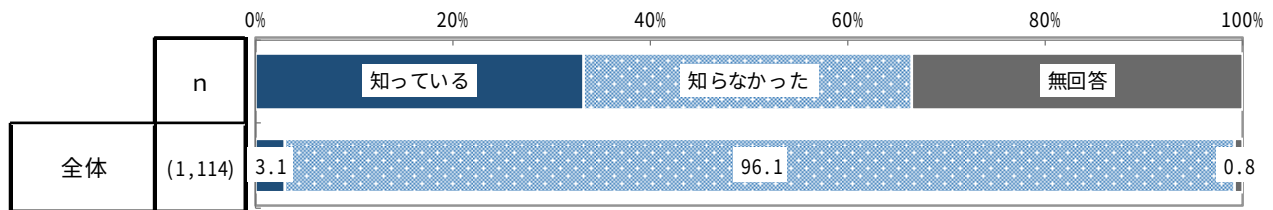
子ども家庭センター設立の認知度について、「知っている」は5.7%、「知らなかった」は93.5%となっている。



(25)総合相談支援拠点整備計画の認知

問35 令和13年度を目途に第三ひもんや保育園跡地と碑文谷保健センター跡地に総合相談支援拠点を整備する計画があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。
(○はひとつ)

総合相談支援拠点整備計画の認知度について、「知っている」は3.1%、「知らなかった」は96.1%となっている。



(26)目黒区の子育て支援に対するご意見・ご要望

問 3 6 目黒区の子育て支援について、ご意見・ご要望などございましたらご記入ください。(スペースが不足する場合は、別紙にご記入ください)。

(自由記述)

区 分	件数
保育園・幼稚園の全般に関すること	15 件
保育園・幼稚園の職員の質に関すること	3 件
保育園・幼稚園の施設環境に関すること	1 件
一時保育に関すること	7 件
病児・病後児保育に関すること	2 件
妊娠・出産に関すること	1 件
子育ての相談に関すること	6 件
地域での子育て支援・イベントに関すること	40 件
学校教育の全般に関すること	17 件
学童保育に関すること	20 件
放課後の居場所に関すること	9 件
学校の教員の質に関すること	2 件
子どもの発達支援に関すること	6 件
区の情報提供・手続きに関すること	16 件
その他	53 件
全体	160 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
保育園・幼稚園の全般に関すること	・概ね満足しているが、保育園は民営化ではなく公立のままの方が質が良かった。 ・共働き世帯で年収も高かったため認定保育園に入園できなかった。今後の世代のために拡充してほしい。
地域での子育て支援・イベントに関すること	・子どもが自発的に遊べるプレーパークを作ってもらいたい。 ・子育てカフェとかで知り合った方と今もママ友ですが、そのカフェも 1 年ちょっとで無くなりました。子どもを実家のような遊ばせておきながら親もお茶飲んだりゆっくりご飯食べたりホッと一息つける場所が増えたらいいなと思います。
学校教育の全般に関すること	・認可保育園の給食は食物アレルギーの園児に対して代替食を用意してくれたが、公立小学校は除去するだけで代替食を持参する必要があり、保護者には大きな負担となっている。 ・子どもが一年生の時に半年ほど不登校になりました。学校の力

	ウンセラーやめぐろ学校サポートセンターは利用しましたが、学校に行けない子供の為のフリースクールや施設が、渋谷区や世田谷区はあるのに、目黒区には全く無いことに驚きました。
学童保育に関すること	・学童の定員について。以前学童保育が定員オーバーで学区外のため追い出された。学区を区切るのはおかしい。学童の対応は数年前からわかっていたのに対応が遅すぎる。保育園も定員オーバー。家庭の負担をあまりにも軽視している。安心出来ない。不安な状態で子育てしていた。他に比較して子育てに無関心な区だと感じる。 ・保育園は待機児童で4才でようやく入園、学童は入れたが3年生から違う学童になり、狭い場所にたくさんの子どもという状況だった。学校施設を利用した学童などはできないのだろうか。学童までの移動時間の削減や安全確保、校庭で体を動かす遊びなど、利点が多いと感じる。正直、教育も含めて子どもに関することは他の区より進んでいると感じることは少なく、むしろ遅れていると感じることが多い。
区の情報提供・手続きに関する こと	・目黒区報以外に、情報を得られる機会が少ない。アンテナを張っているとしても、情報までたどりつかないため、窓口案内のみでも広く発信共有する仕組みがほしい。 ・子どもを預ける場所や制限が多いので簡単に楽な方法で気軽に預けられる環境になるといいと思う。

第4章

小学校の子ども調査

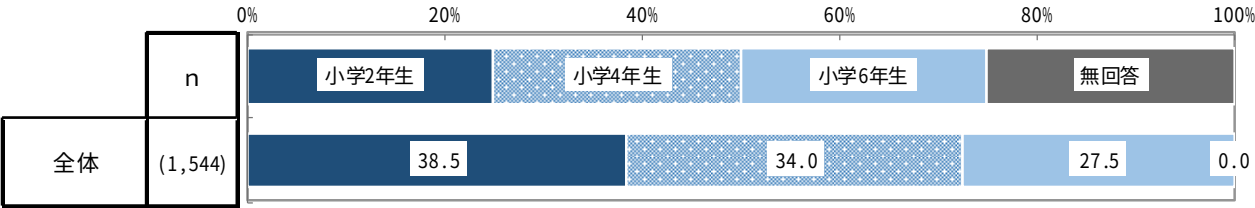
第4章 小学校の子ども調査

1. 子ども本人のことについて

(1) 学年

問1 あなたの学年を教えてください。
(〇はひとつ)

学年について、「小学2年生」が38.5%、「小学4年生」が34.0%、「小学6年生」が27.5%となっている。



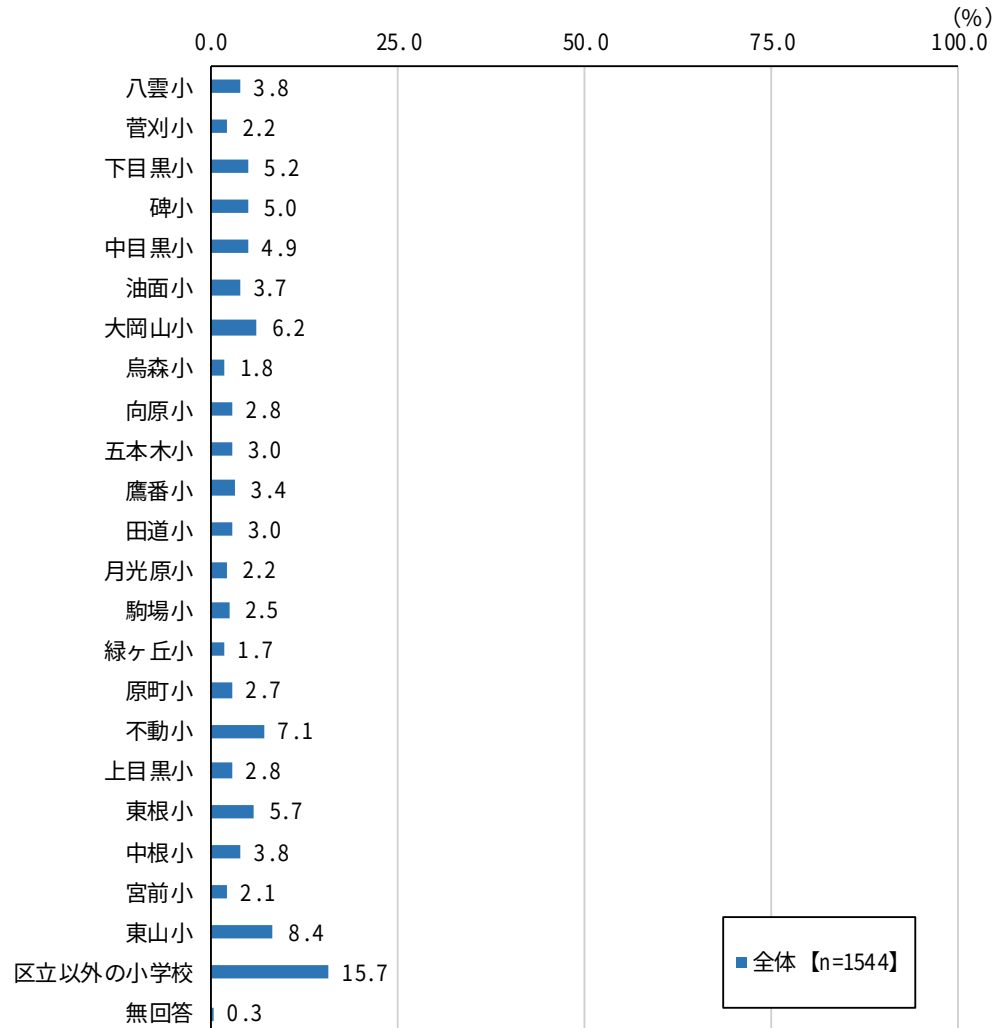
(2) 通っている小学校

問2 あなたはどの小学校に通っていますか。

(〇はひとつ)

通っている小学校について、「東山小」が8.4%、「不動小」が7.1%となっている。

なお、「区立以外の小学校」は15.7%となっている。

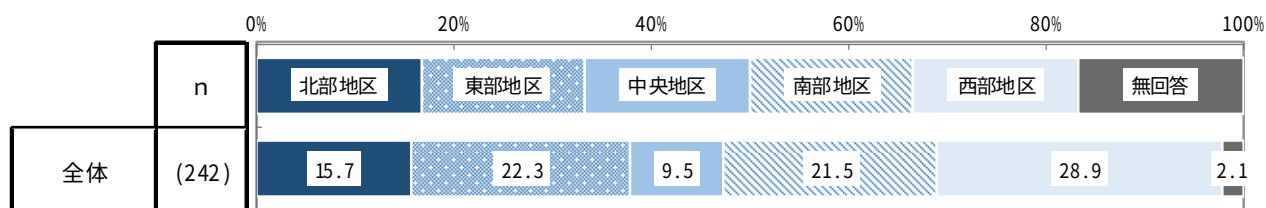


(3) 区外の小学校に通っている子どもの居住地

問2-1 区立以外の小学校に通っているひとに聞きます。あなたが住んでいるところはどこですか。

(〇はひとつ)

区外の小学校に通っている子どもの居住地について、「西部地区」が28.9%、「東部地区」が22.3%となっている。



(4) 同居家族

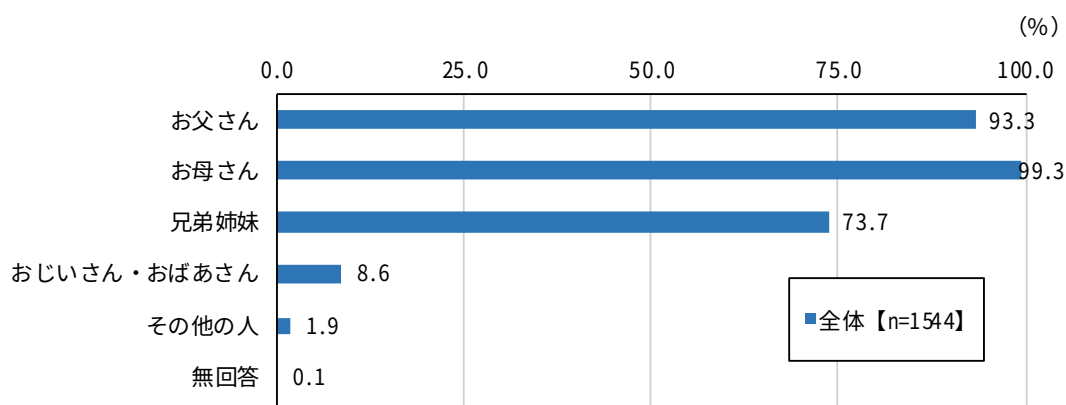
問3 あなたはだれと一緒に住んでいますか。

(〇はいくつでも)

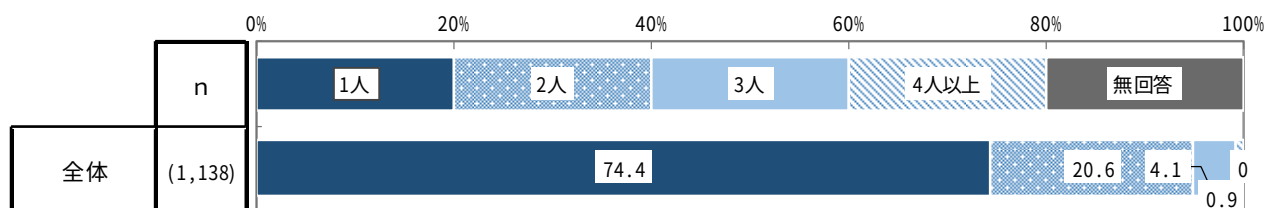
同居している家族について、「お母さん」が99.3%、「お父さん」が93.3%、「兄弟姉妹」が73.7%、「おじいさん・おばあさん」は8.6%となっている。

回答者以外の兄弟姉妹の人数について、「1人」(二人兄弟)が74.4%、「2人以上」(3人兄弟以上)が25.6%となっている。

<同居している家族>



<回答者以外の兄弟の人数>



2. 日常生活

(1) 平日の放課後や休日にだれと過ごしているか

問 4－1 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はあてはまるものすべて)

放課後等に過ごしている人について、すべての時間帯で「お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん」が最も多くなっている。

平日では“16時から18時”では「友だち」が次いで多く、それ以外の時間帯では「兄弟姉妹」が多くなっている。

なお、「ひとりている」は平日の“20時以降”で8.2%、休日の“夜間”で8.3%となっている。

	n	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
		1,544	950	950	1,544	950
ひとりている		22.3	13.3	8.2	10.1	8.3
お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん		50.5	81.3	90.9	84.3	93.5
兄弟姉妹		28.6	48.7	54.0	51.0	57.6
友だち		48.4	13.1	4.4	31.7	5.4
その他		19.0	14.6	5.9	8.8	2.7
無回答		0.7	1.2	0.6	0.4	0.6

※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

(2) 平日の放課後や休日にどこで過ごしているか

問4-2 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はあてはまるものすべて)

放課後等を過ごす場所について、すべての時間帯で「自分の家」が最も多く、次いで「塾や習い事」となっている。

	n	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
		1,544	950	950	1,544	950
自分の家		65.3	87.5	94.7	80.1	95.3
友だちの家		13.1	1.8	0.5	13.9	2.1
学校		11.6	1.3	0.2	2.5	0.2
塾や習い事		48.1	42.9	14.8	35.8	8.8
児童館		8.7	0.8	0.1	6.1	0.1
学童保育クラブ		18.2	0.4	-	0.7	-
放課後等デイサービス		2.9	0.1	0.1	0.9	-
公園		17.2	1.6	0.4	29.0	0.5
図書館		2.3	0.4	0.1	8.1	-
コンビニやファミレスなどのお店		1.2	0.6	0.5	5.9	3.5
目黒区以外の町		1.6	1.2	0.7	18.6	3.7
その他		2.8	1.8	0.7	16.4	4.5
無回答		0.5	1.1	1.1	0.6	1.2

※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

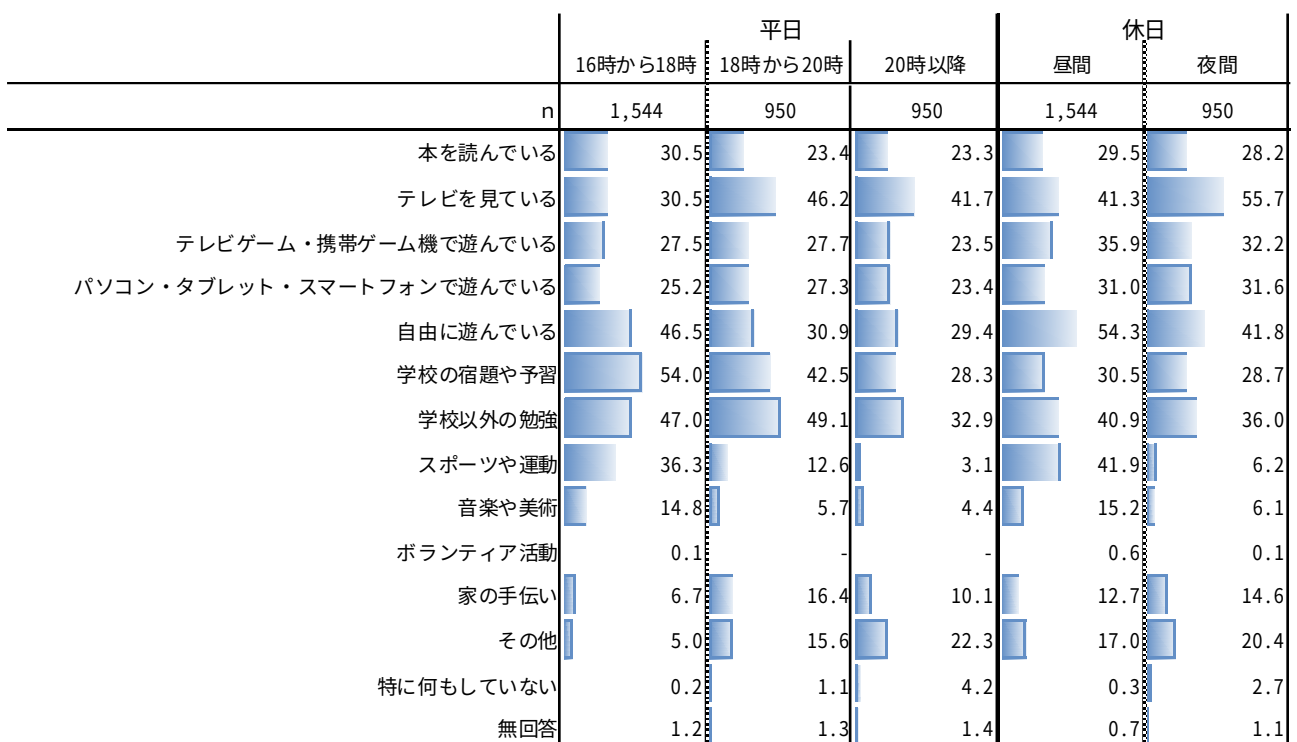
(3) 平日の放課後や休日になにをして過ごしているか

問4-3 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はあてはまるものすべて)

放課後等の過ごし方について、平日の“16時から18時”では「学校の宿題や予習」が54.0%と最も多く、“18時から20時”では「学校以外の勉強」が49.1%、“20時以降”では「テレビを見ている」が41.7%となっている。休日の“昼間”では「自由に遊んでいる」が54.3%と最も多く、“夜間”では「テレビを見ている」が55.7%となっている。

なお、「家の手伝い」は平日の“16時から18時”を除く時間帯で約1割を占めている。



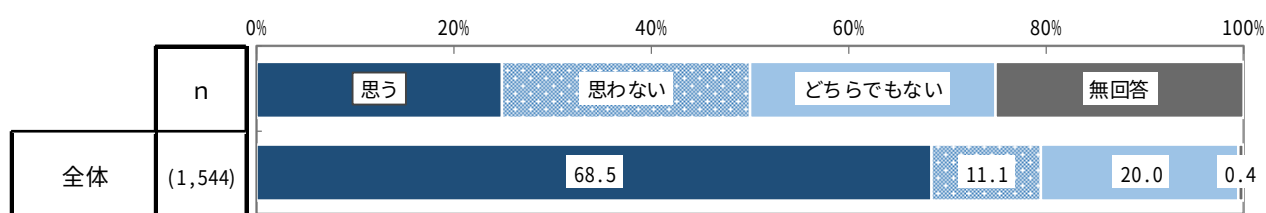
※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

(4) 放課後を学校で過ごせるとよいと思うか

問5 あなたは放課後、学校の校庭の他に体育館、図書室などで過ごすことができるとよいと思いますか。

(○はひとつ)

放課後を学校で過ごせるとよいと思うかについて、「思う」が68.5%、「思わない」が11.1%となっている。

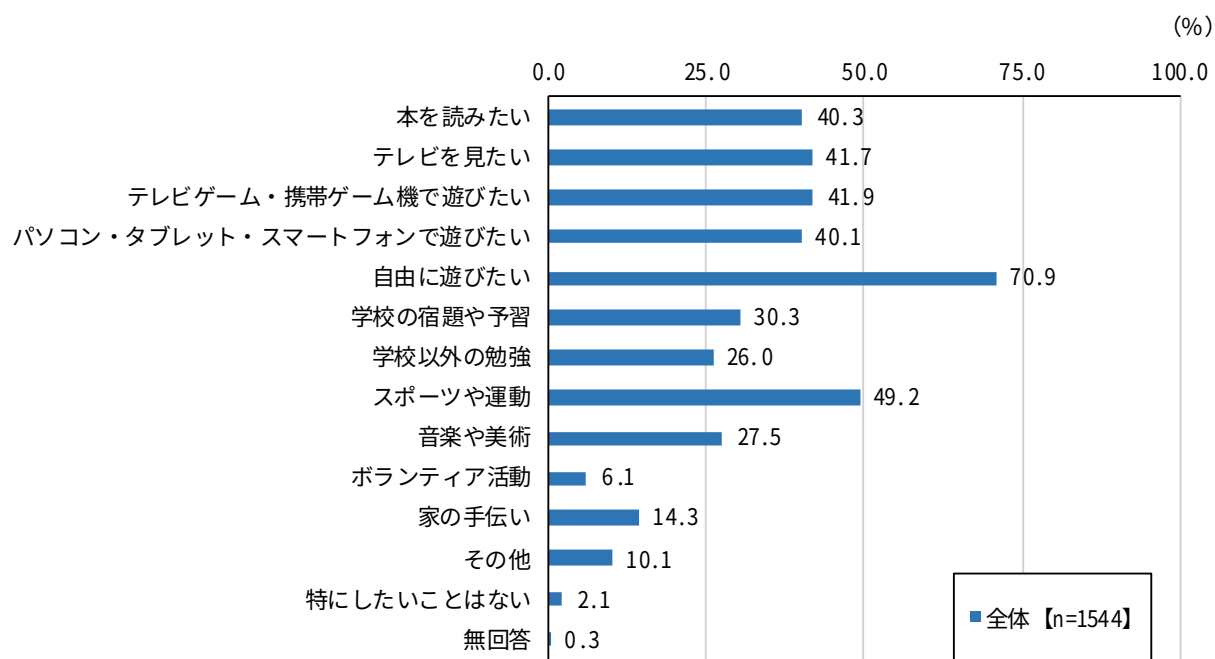


(5) 放課後に出来るとよいこと

問6 あなたは放課後、どんなことができるとよいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

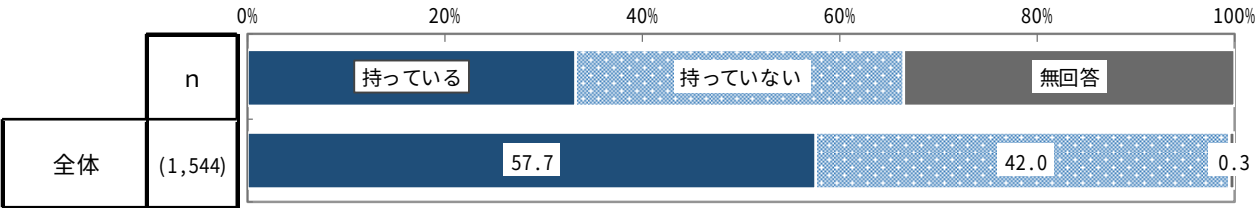
放課後にできるとよいことについて、「自由に遊びたい」が70.9%と最も多く、次いで「スポーツや運動」が49.2%となっている。



(6) 携帯電話・スマートフォンの保有状況

問 7 あなたは携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。
(○はひとつ)

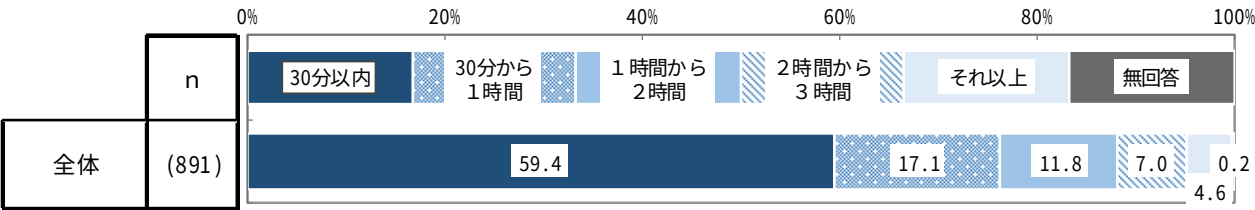
携帯電話やスマートフォンの保有状況について、「持っている」が 57.7%、「持っていない」が 42.0%となっている。



(7) 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間

問 7-1 1日におよそどのくらいの時間使いますか。
※問 7 で選択肢 1 を選んだ場合のみ (○はひとつ)

携帯電話やスマートフォンの使用時間について、「30 分以内」が 59.4%と最も多く、次いで「30 分から 1 時間」が 17.1%となっている。
なお『1 時間以上』は 23.4%となっている。



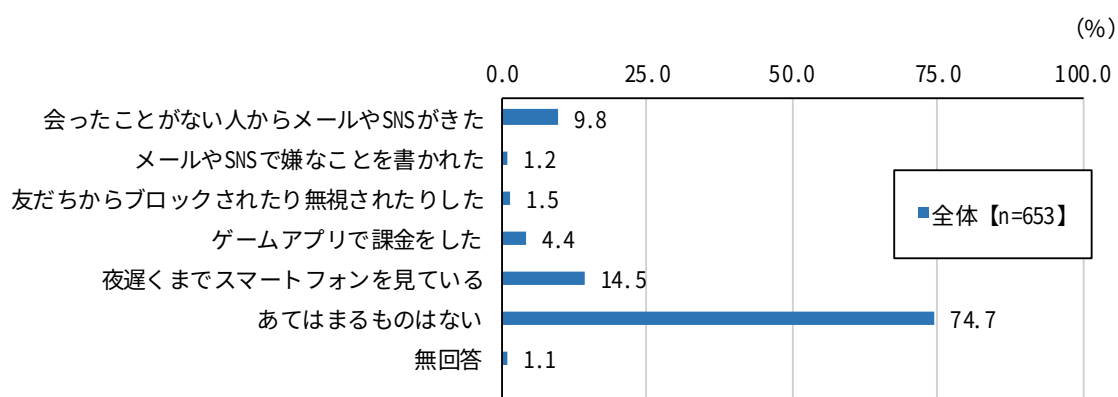
(8) 携帯電話・スマートフォンを使っていて経験したこと

問 7-2 これまでに携帯電話やスマートフォンを使っていて、つぎのようなことを経験したことはありますか。

※問 7 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（〇はあてはまるものすべて）

携帯電話やスマートフォンを使って経験したこととして、「夜遅くまでスマートフォンを見てい
る」が 14.5%と最も多く、次いで「会ったことがない人からメールや SNS がきた」が 9.8%となっ
ている。

なお、「あてはまるものはない」は 74.7%となっている。



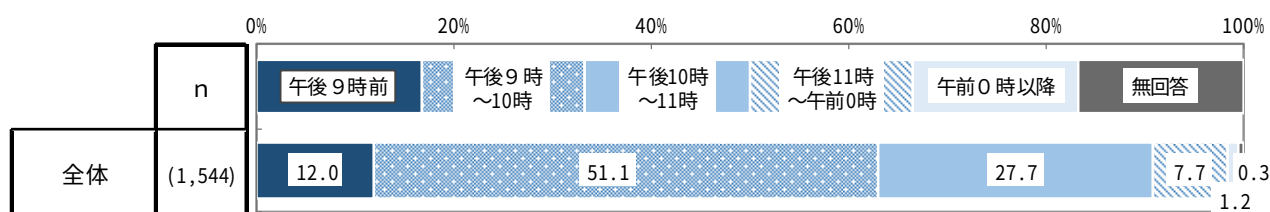
(9) 就寝時間

問 8 ふだん、あなたが寝る時間は何時ですか。

(〇はひとつ)

ふだんの就寝時間について、「午後 9 時～10 時」が 51.1%と最も多く、次いで「午後 10 時～
11 時」が 27.7%となっている。

なお、『11 時以降』は 8.9%となっている。

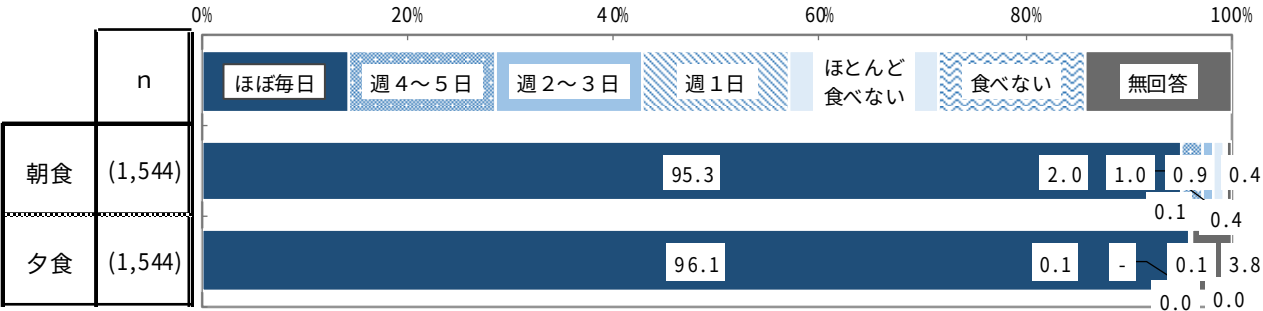


(10)朝食・夕食の摂取状況

問 9 あなたは、朝食や夕食を食べていますか。

(○はそれぞれひとつ)

朝食・夕食の摂取状況について、「ほぼ毎日」は“朝食”“夕食”ともに9割以上を占めている。
「ほとんど食べない」「食べない」の合計は、“朝食”では1.3%、“夕食”では0.1%となっている。

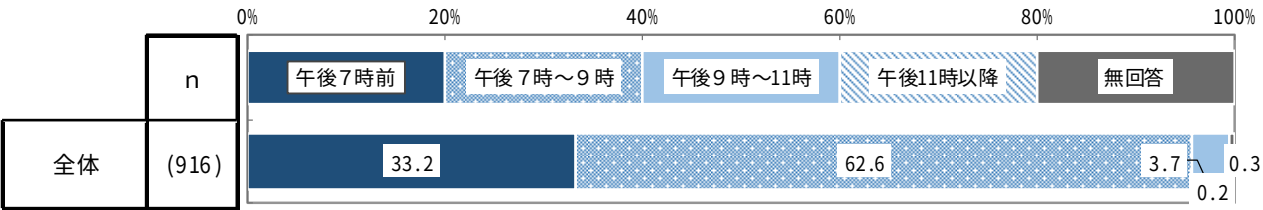


(11)夕食の時間

問 9-1 あなたは夕食を何時頃食べますか。

※問 9 <夕食>で選択肢 1~4 を選んだ場合のみ (○はひとつ)

夕食の時間について、「午後7時~9時」が62.6%と最も多く、『午後9時以降』は3.9%となっている。



(12)朝食・夕食を食べない理由

問9-2 その理由は何ですか。

※問9＜朝食＞＜夕食＞で選択肢5または6を選んだ場合のみ（〇はそれぞれひとつ）

朝食・夕食を食べない理由について、“朝食”“夕食”ともに「食べたい気分じゃないから」が最も多くなっている。

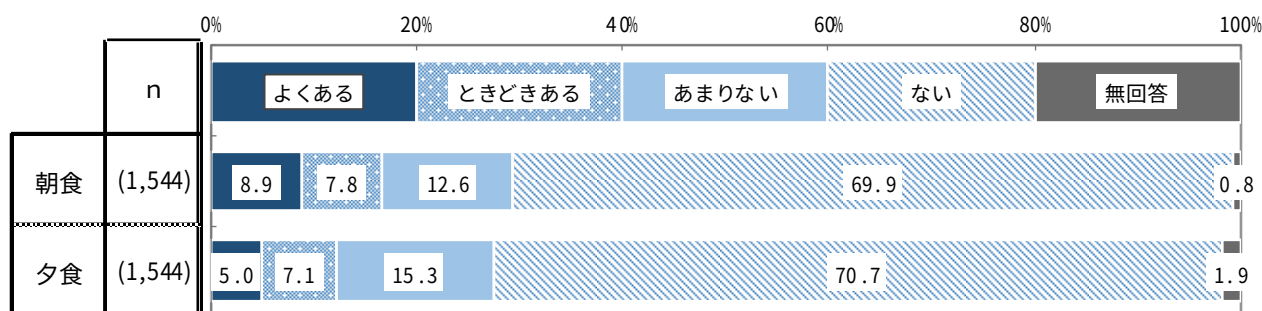
	n	食事を する時間 がないから	食べ たい気分 じゃないから	嫌 いな食べ ものがで るから	食 事が用意 されてい ないから	食 べるもの がないから	無 回答	%
朝食	15	33.3	60.0	-	-	-	6.7	
夕食	1	-	100.0	-	-	-	-	

(13)子どもだけで食事をする頻度

問10 あなたは、自分の家で「ひとり」や「兄弟姉妹だけ」で、朝食や夕食を食べることがあります

（〇はそれぞれひとつ）

子どもだけで食事をする頻度について、「よくある」「ときどきある」の合計は、“朝食”では16.7%、“夕食”では12.1%となっている。

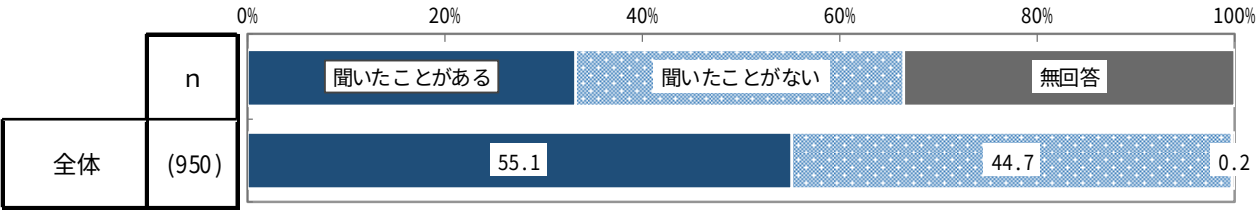


(14)子ども食堂の認知度

問 1 1 あなたは、「子ども食堂」を聞いたことがありますか。

(○はひとつ)

子ども食堂の認知度について、「聞いたことがある」は 55.1%、「聞いたことがない」は 44.7% となっている。

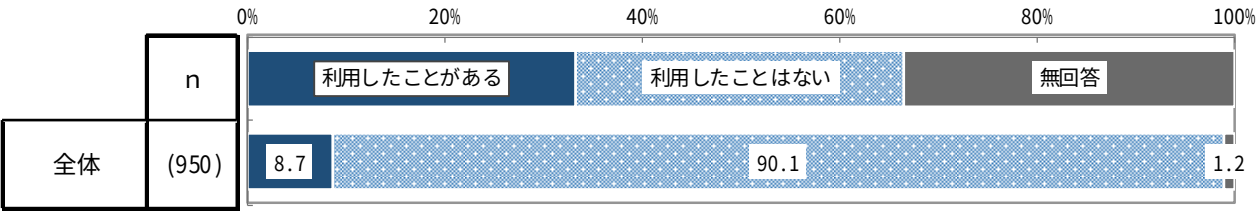


(15)子ども食堂の利用状況

問 1 2 あなたは、「子ども食堂」を利用したことがありますか。

(○はひとつ)

子ども食堂の利用状況について、「利用したことがある」は 8.7%、「利用したことはない」は 90.1% となっている。



3. 家庭

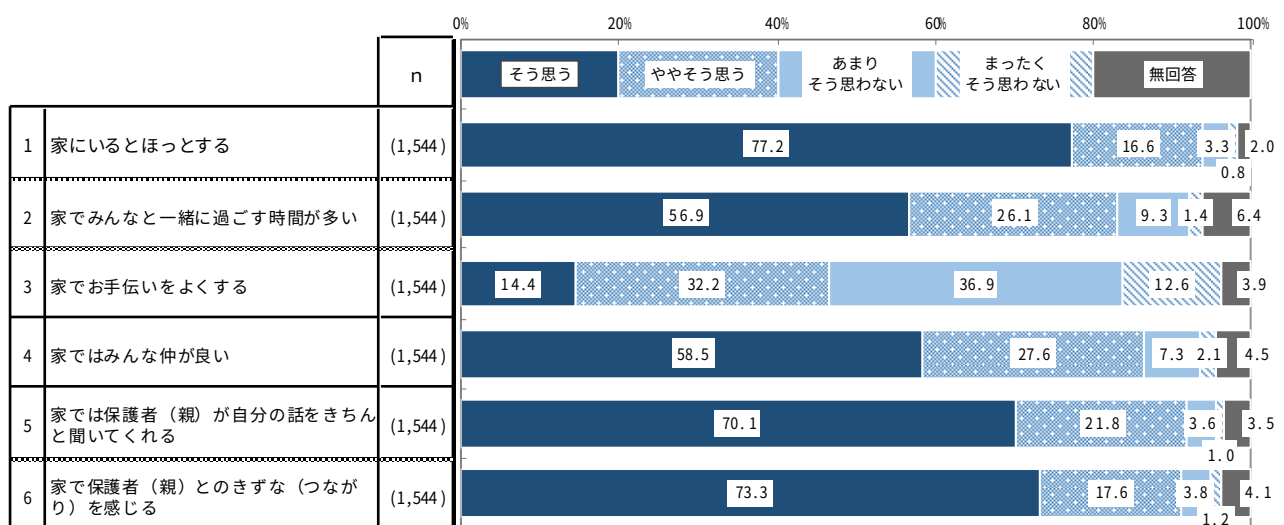
(1) 家での生活

問 13 あなたの家での生活についておたずねします。次のア～カについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

(○はひとつ)

家での生活について、「そう思う」「ややそう思う」の合計は、“家にいるとほっとする”で93.8%と最も多く、次いで“家では保護者が自分の話をきちんと聞いてくれる”で91.9%となっている。

一方で、“家でお手伝いを良くする”では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の合計を下回っている。



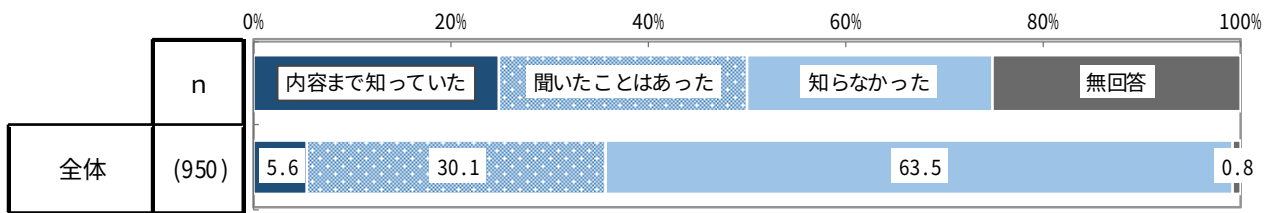
4. 人権

(1) 目黒区子ども条例の認知状況

問14 あなたは、「目黒区子ども条例」を知っていましたか。

(○はひとつ)

目黒区子ども条例の認知度について、「内容まで知っていた」は5.6%、「聞いたことはあった」は30.1%、「知らなかった」は63.5%となっている。



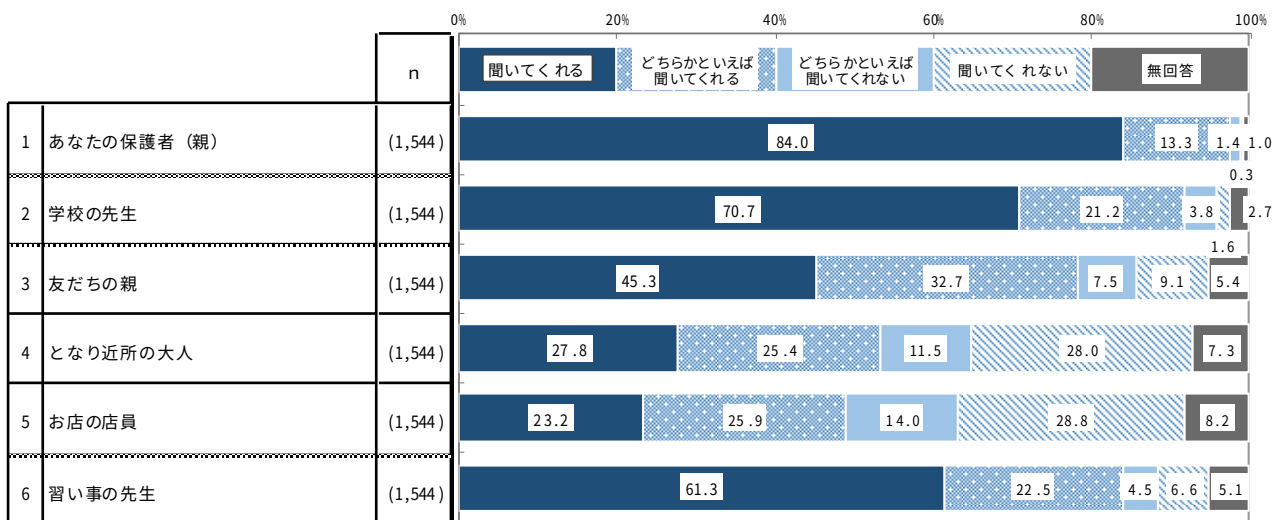
(2) まわりの大人が自分の話を聞いてくれるか

問15 あなたのまわりの大人は、あなたの話を聞いてくれますか。次のア～カについて、それぞれ1つつ○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

まわりの大人が自分の話を聞いてくれるかについて、「聞いてくれる」「どちらかといえば聞いてくれる」の合計は、“あなたの保護者”“学校の先生”で9割を上回り、“友だちの親”“習い事の先生”で約8割となっている。

一方で、“となり近所の大人”“お店の店員”では約5割となっている。



(3) 話を聞いてくれて嬉しかった・楽しかった時の様子

問15 あなたの話を聞いてくれたときのことについて、嬉しかったことや楽しかったことがあれば、そのときのようすを教えてください。

(自由記述)

区 分	件数
困ったことを話したら相談に乗ってくれた・解決してくれた	71 件
言葉で返してくれた	64 件
興味を示してくれた	45 件
嫌だったこと・困った事話を聞いてくれた	42 件
自分の好きなことを話したら聞いてくれた	38 件
気持ちを分かってくれた	37 件
笑ってくれた、楽しそうに聞いてくれた	33 件
真剣に聞いてくれた	31 件
学校の話聞いてくれた	26 件
楽しかった話を聞いてくれた	11 件
頷いてくれた	8 件
友達の話聞いてくれた	5 件
心配して聞いてくれた	5 件
目を見て聞いてくれた	3 件
その他	51 件
特にない	59 件
全体	321 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
困ったことを話したら相談に乗ってくれた・解決してくれた	・自分が悩んでいることの話をしたら、悩みを解決するための方法を一緒に考えてくれた。リアクションをしてくれた。真剣に相談に乗ってくれた。 ・悩み事があった時にお母さんやお父さんが聞いてくれてほっとしました。
言葉で返してくれた	・学校で嫌なことがあったときに、親に帰って話したら、「話してくれてありがとう」と言ってくれて、問題が解決したこと。 ・「私もそう思うよ。」と、言ってくれた時嬉しかった。「辛かったね。」と、寄り添ってくれた時嬉しかった。
興味を示してくれた	・自分の話を聞いてくれて、それは楽しかったね、とか、共感してくれると、嬉しくなる。 ・ちゃんと聞いてくれることが嬉しかったです。さらに父が昔

	の話をしてくれると楽しいです。
嫌だったこと・困った事の話 聞いてくれた	・嫌だったことを話したら、大丈夫！！と、たくさん励ましてくれた。 ・嫌なことがあって学校に行けなくなった時、母は先生と話しに行ってくれて、幼馴染のお母さんは私を預かってくれて話を聞いてくれた。
自分の好きなことを話したら 聞いてくれた	・今日何があったか聞いてくれたら嬉しい。 ・聞いてほしい話を聞いてもらえたこと。
気持ちを分かってくれた	・楽しかった話をするときは、一緒に楽しそうにしてくれる。悲しかった話をするときは、はげましてくれる。 ・話を聞いてもらえて、気持ちをわかってくれる人がいるんだ、と思うと前向きになれます。
笑ってくれた、楽しそうに聞いてくれた	・自分の話を聞いてくれて嬉しかったり、笑ってくれたり、興味を示したりしてくれるのも、とても嬉しい。 ・自分と同じように喜んでくれて、嬉しかった。
真剣に聞いてくれた	・しっかりと話を最後まで聞いてくれるので、楽しかったことも悲しかったこともスラスラと話せる。 ・最近読んだ本の内容を話したとき、それを真剣に聞いてくれて質問してくれたことがうれしかったです。
学校の話聞いてくれた	・学校でのことについて話したかったときがあった。でも、タイミングが難しく、いえっていなかったんですけど、真剣にきいてくれそうだなとおもったときはなしたらスッキリした。 ・お友達のお母さんにお友達の学校での様子を話したら、笑ってくれて楽しかった。
楽しかった話を聞いてくれた	・面白い事があると家族で爆笑する時が面白い。 ・学校で楽しかったことや悔しかったこと、面白かったことをお母さんが聞いてくれて嬉しかった。

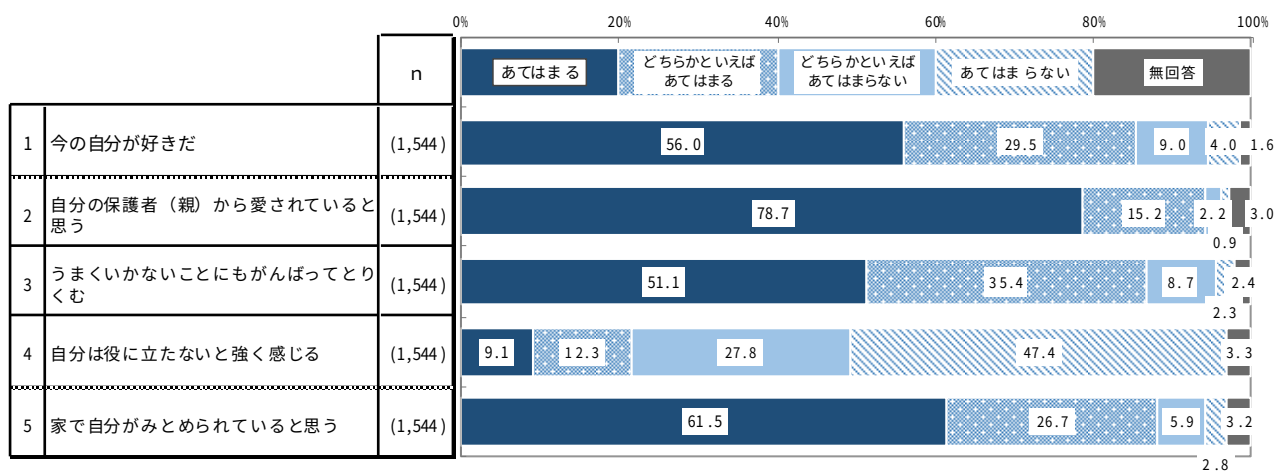
(4) 自分自身について

問16 あなたのことについておたずねします。次のア～オについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

自分自身について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計は、“自分の保護者から愛されていると思う”で93.9%と最も多く、次いで「家で自分がみとめられていると思う」で88.2%となっている。

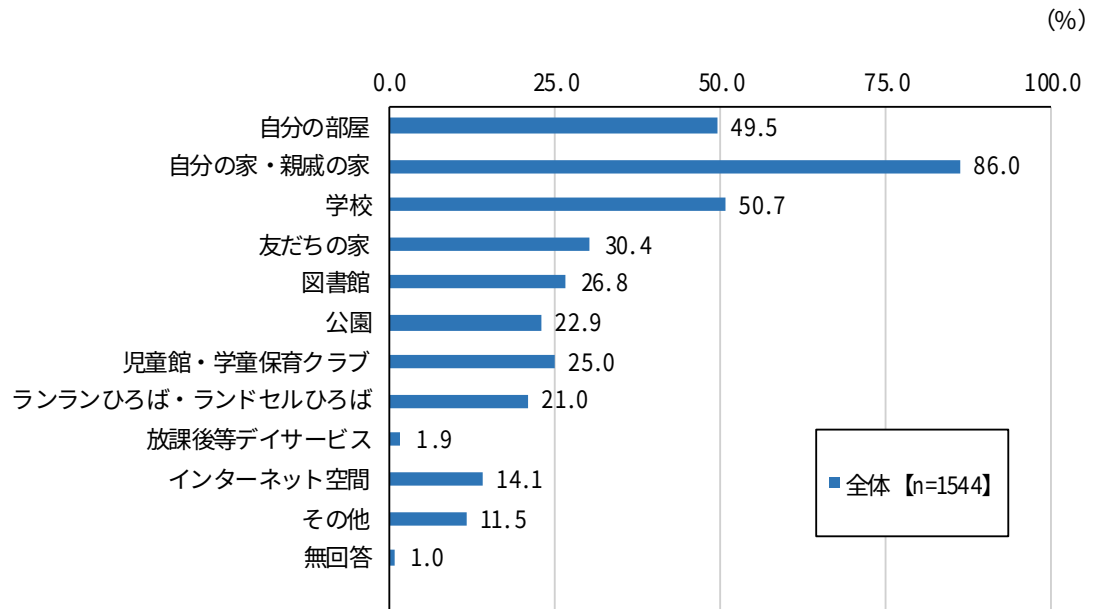
なお、「自分は役に立たないと強く感じる」では21.4%となっている。



(5) 自分が落ち着ける、安心していられる場所

問16 今のあなたにとって「ほっとできる」「あんしんできる」いばしょはどこですか。
(〇はあてはまるものすべて)

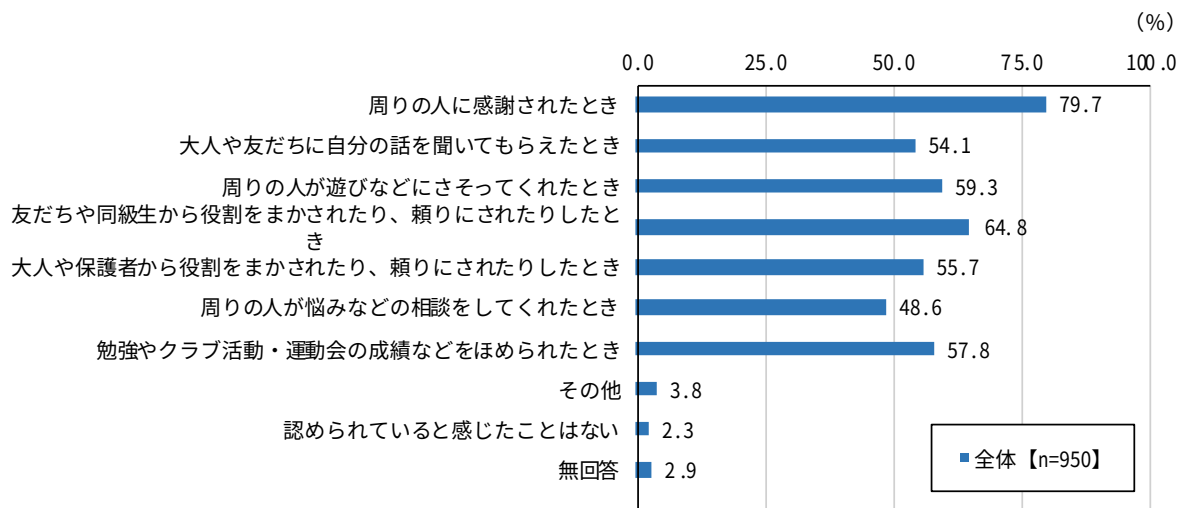
落ち着ける・安心していられる場所について、「自分の家・親戚の家」が86.0%と最も多く、次いで「学校」が50.7%となっている。



(6) 自分が人に認められていると感じるとき

問16 自分が人に認められていると感じるのはどんなときですか。
(〇はあてはまるものすべて)

自分が認められていると感じるときについて、「周りの人に感謝されたとき」が79.7%と最も多く、次いで「友だちや同級生から役割をまかされたり、頼りにされたりしたとき」が64.8%となっている。



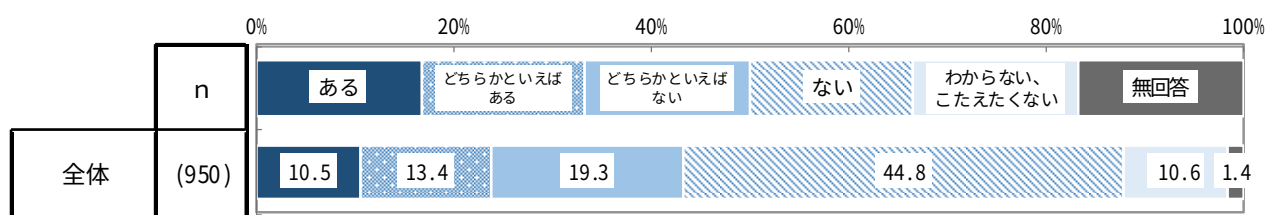
5. 不安や悩み

(1) 悩みや不安の有無

問19 あなたは今、ものごとがうまくいかず、落ち込んだり悩んでいたりと助けてほしいことがありますか。

(〇はひとつ)

悩みや不安の有無について、「ある」が10.5%、「どちらかといえばある」が13.4%、「どちらかといえばない」が19.3%、「ない」が44.8%となっている。



(2) 悩みの内容

問19-1 あなたが落ち込んでいることや悩んでいること、助けてほしいことについて、あなたが「教えてもいい」と思えることまででよいので、教えてください。

※問19で選択肢1または2を選んだ場合のみ（自由記述）

区 分	件数
友達・対人関係	41 件
勉強・成績について	37 件
学校について	25 件
家族について	16 件
習い事について	9 件
自分の生活について	8 件
自分の容姿や性格について	6 件
他人の目	4 件
体調が悪くなる	1 件
恋愛について	1 件
言いたくない	16 件
その他	9 件
特にない	8 件
全体	137 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
友達・対人関係	・苦手な人と関わるのがうまくいかない。 ・変なあだ名をつけられたり、からかわれる、やっている人は、ふざけているだけかもしれないけれど、心の中では傷ついているため、やめて欲しい。 ・5年生まで学校が楽しかったけど、6年になってから他のクラスと比べて担任の先生の独自のルールが厳しく、毎日先生とクラスメイトが対立していたり、イジメの話も聞いたり学校が辛い状況です。目黒区のこども条例は初めて知りました。安心して生活出来るよう助けてください。
勉強・成績について	・受験勉強があまり順調ではない。 ・受験勉強であまり偏差値が上がらないことやそれによる家族の喧嘩が増えてきたこと。
学校について	・学校で緊張するのが疲れる。 ・中学に行ったら部活をやれと親に言われているが、部活をやりたくない。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書

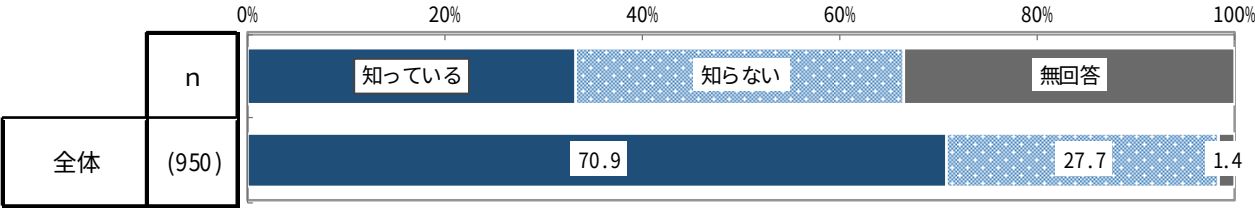
家族について	・父親が自分勝手に、授業参観などにくるのが恥ずかしい。 ・クラスで、いじめのことについて、もっと教師が積極的に気づこうとしたほうがいいと思う。あと個人で、家族の関係がこわれそうでこわい。
--------	---

(3) 悩みの相談先の認知

問 2 0 あなたは学校や家以外で、あなたの悩みやこまっていることを相談できるばしょや人がいることを知っていますか。

(○はひとつ)

悩みの相談先の認知度について、「知っている」が70.9%、「知らない」が27.7%となっている。



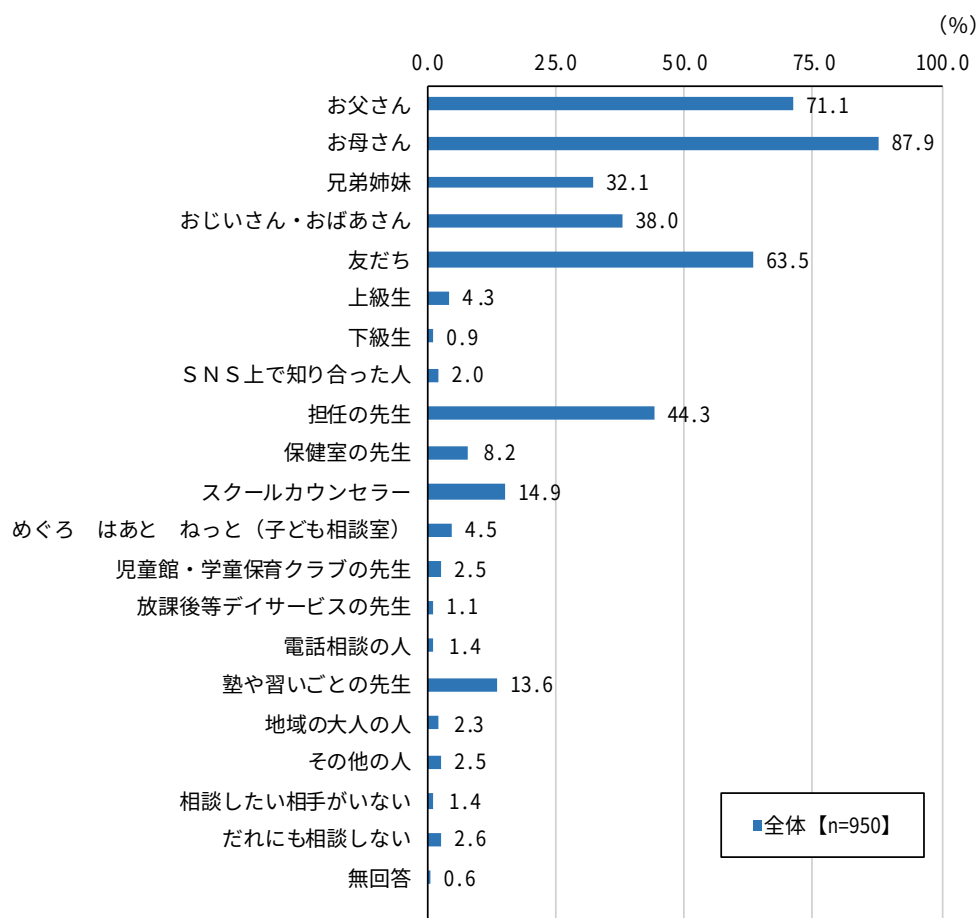
(4) 悩みを相談したら助けてくれそうな人・もの

問 2 1 あなたが落ち込んだり悩んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてくれると思いますか。

(○はあてはまるもの5つまで)

悩みや困りごとを助けてくれそうな人・ものについて、「お母さん」が87.9%と最も多く、次いで「お父さん」が71.1%となっている。

一方で、「相談したい相手がいない」は1.4%、「誰にも相談しない」は2.6%となっている。

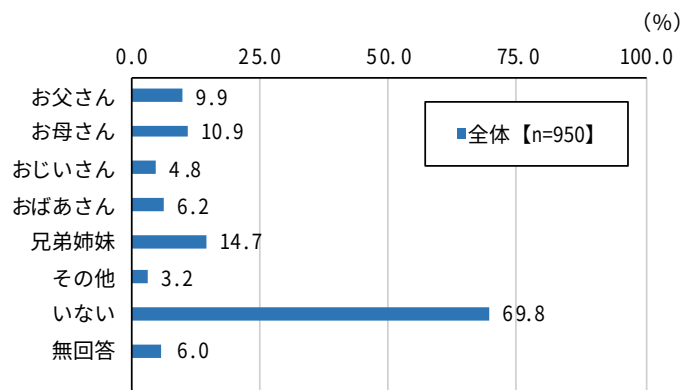


(5) 家族の中でお世話をしている人

問22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。**(○はあてはまるものすべて)**

家族の中でお世話をしている人について、「兄弟姉妹」が14.7%と最も多く、次いで「お母さん」が10.9%となっている。

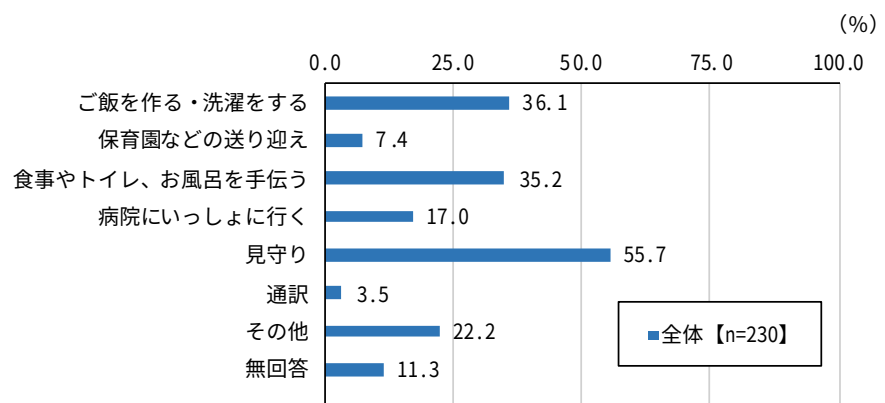
なお、「いない」は69.8%となっている。



(6) お世話の内容

問22-1 お世話の内容を教えてください。**※問22で選択肢1～6を選んだ場合のみ (○はあてはまるものすべて)**

お世話の内容について、「見守り」が55.7%と最も多く、次いで「ご飯を作る・洗濯をする」が36.1%となっている。



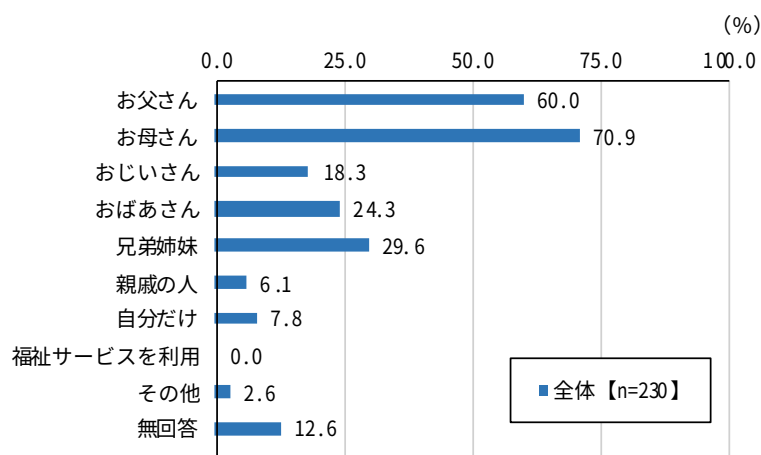
(7) お世話を一緒にしている人

問22-2 お世話はだれといっしょにしていますか。

※問22で選択肢1～6を選んだ場合のみ（〇はあてはまるものすべて）

お世話を一緒にしている人について、「お母さん」が70.9%と最も多く、次いで「お父さん」が60.0%となっている。

なお、「自分だけ」は7.8%となっている。

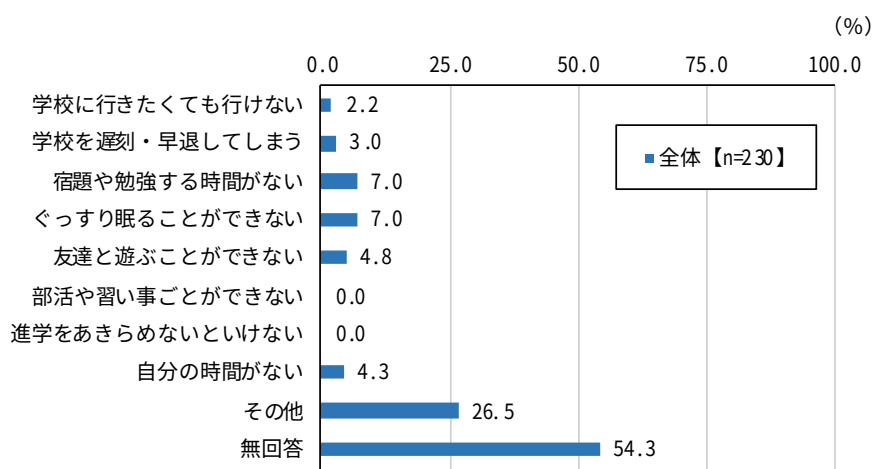


(8) 家族へのお世話で困っていること

問22-3 お世話をしていることで、こまっていることはありますか。

※問22で選択肢1～6を選んだ場合のみ（〇はあてはまるものすべて）

家族へのお世話で困っていることについて、「宿題や勉強する時間がない」「ぐっすり眠ることができない」が7.0%と最も多く、次いで「友達と遊ぶことができない」が4.8%となっている。



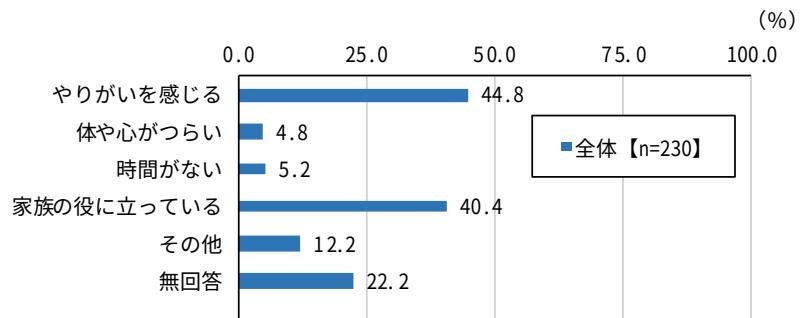
(9) 家族へのお世話を通して感じていること

問22-4 お世話をしていることをどのように感じていますか。

※問22で選択肢1～6を選んだ場合のみ（〇はあてはまるものすべて）

家族へのお世話を通して感じていることについて、「やりがいを感じる」が44.8%と最も多く、次いで「家族の役に立っている」が40.4%となっている。

なお、「時間がない」は5.2%、「体や心がつらい」は4.8%となっている。



6. 目黒区について

(1) 目黒区に期待すること

問23 目黒区にあったらいいと思う施設（ばしょ）や制度（しくみ）はありますか。

（自由記述）

区 分	件数
運動やアスレチックができる施設（公園、体育館、ジム、スタジオ）	173 件
球技・ボール遊びができる場所（野球、サッカー、バスケなど）	73 件
その他制度	47 件
児童館やプレーパークなどの自由に過ごせる場所	43 件
その他施設	39 件
テーマパーク・遊園地・アミューズメントパーク	37 件
商業施設・レストラン・ファストフード店	35 件
図書館・本屋・マンガが読める場所	26 件
屋内の遊べる場所	26 件
自然・動植物と触れ合える場所	19 件
ゲーム・e スポーツを自由にできる場所	17 件
くつろげる場所・フリースペース・安心できる場所・悩みを発散できる場所	16 件
学習スペース	16 件
文化施設（美術館、科学館、博物館、歴史館、城、プラネタリウムなど）	13 件
地域交流の場	10 件
放課後に過ごせる場所	10 件
設備の充実したプール	10 件
悩みを相談できる場所	10 件
交通に関するルールや道の整備等	9 件
ドッグラン	7 件
食事ができる居場所・こども食堂	7 件
体験・見学ができる場所	7 件
駄菓子屋	5 件
入浴施設	5 件
学校での ICT 利活に関する規定の見直し	5 件
不登校向け施設	5 件
スタジアム・ドーム・ホール	4 件
楽器を演奏できる場所	4 件
喫煙に関するルール	3 件
黙食廃止・時間延長など給食に関するルール変更	3 件
プログラミングができる場所	2 件
宿泊施設	2 件

文房具店	2 件
病院	2 件
公共トイレ	2 件
不明	12 件
特にない	88 件
全体	540 件

7. 将来について

(1) 将来なりたい姿

問24 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。あなたのまわりにいる大人を見ていて、「こんな大人になりたいな」と思うことがあれば、その理由を教えてください。

(自由記述)

区 分	件数
優しい大人	340 件
専門的な知識・技術を持った大人	241 件
頼りにされる大人	86 件
人の役に立つ大人	84 件
自立した大人	76 件
気遣いのできる大人	38 件
周りを笑顔にする大人	29 件
正しい大人	26 件
金銭的に裕福な大人	25 件
グローバルな大人	11 件
謙虚な大人	9 件
その他	123 件
わからない	26 件
特にない	33 件
全体	1,064 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
優しい大人	・ 優しくして生徒の話をちゃんと聞いてくれる先生になりたいです。私はよく先生に相談していたのですがしっかり聞いてくれてとても嬉しかったしとても温かい気持ちになったからです。今度は私が聞いてあげる番になりたいと思ったからです。 ・ 優しい、困ってる人を助ける大人になりたい。かっこよくて、気持ちがいいから。 ・ 思いやりのある優しい大人になりたい。
専門的な知識・技術を持った大人	・ 虫が好きだから世界一の虫博士になりたい。 ・ 科学者になりたい。好きなことを研究できるから。 ・ 私は、世の力になれる人になりたいです。国連や裁判官のような仕事になりたいです。私はとてもいい環境に、幸せに暮らしているのでそれを自分の子供にも繋ぎたいです。子供でもいたいけど、早く大人になりたいなあ～！

頼りにされる大人	・ 人の話や意見を尊重し、みんなに頼られる存在になりたい。 ・ 優しく、頼られ、感謝のできる大人になりたい。
人の役に立つ大人	・ 困っている人を助けるために活動したり募金活動している人になりたい。 ・ 世の中にやくに立つことを発明して、世界が平和になるようにしたい。 ・ 困っている人がいないかなど周りを見て行動する事ができる大人。そして、人の話に共感して聞くことができ、普段の日常生活から小さな幸せを見つけ、それを他の人にも共有できるすてきな大人になりたいです。
自立した大人	・ 自分の意見が言えて、明るくいつも笑顔の人。 ・ 健康な大人。 ・ ちゃんとお仕事を持って楽しくやりたい仕事をする。 ・ 幸せに暮らせて伸び伸びといけることができる人。
気遣いのできる大人	・ 人の話をよく聞く人になりたい。 ・ 人を思いやれて人のことをよく考えて行動できる人。
周りを笑顔にする大人	・ 誰からも愛されている大人。 ・ みんなを笑顔にできていろんな人を助けれる大人。
正しい大人	・ 子どものことをしっかり考えられる大人になりたいです。今の日本は子どものことを全く考えられていないと思います。そこで、大人になったら、子どもたちの問題を子どもたちの代わりに解決してあげたいです。 ・ 勇気がある大人になりたい。なぜならママがそうだから。 ・ 礼儀正しい大人。頭がよくても礼儀正しくなければダメだから。
金銭的に裕福な大人	・ お金持ちで、お金に困らない大人になる。そうしたら自由だから。ご飯をたくさん食べられるから。 ・ お金は幸せにつながるのでお金を稼げる大人。
グローバルな大人	・ 英語を喋れる大人になりたいです。父と祖母が英語を喋り海外で仕事をしているから。 ・ 私は、アフリカなどの貧困地域、紛争で苦しんでいる人を助ける仕事がしたい。

第5章

中高生世代の子ども調査

第5章 中高生世代の子ども調査

1. 子ども本人のことについて

(1) 学年等

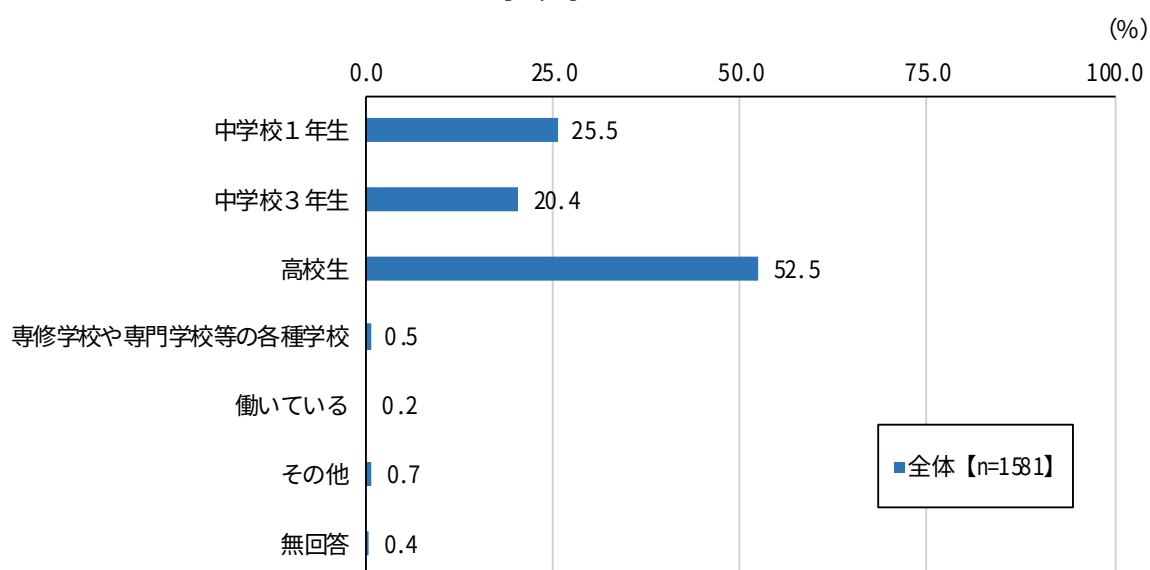
問1 次のうち、あなたにあてはまるものはどれですか。

(〇はいくつでも)

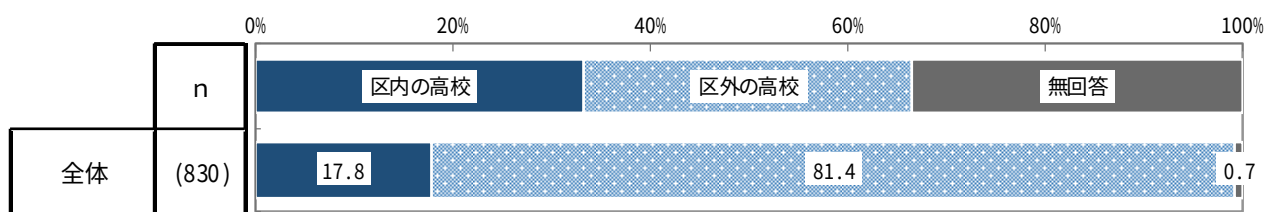
学年等について、「中学1年生」が25.5%、「中学3年生」が20.4%、「高校生」が52.5%となっている。

高校生の通学先について、「区内の高校」は17.8%、「区外の高校」は81.4%となっている。

<学年等>



<高校生の通学先>

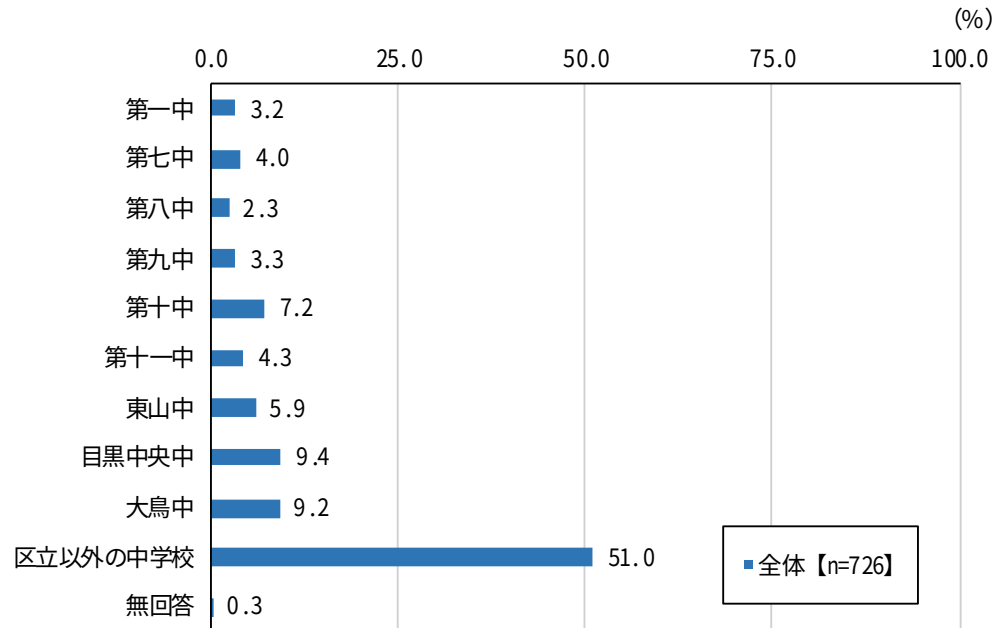


(2) 通っている中学校

問1-1 どの中学校に通っていますか。

※問1で選択肢1か2を選んだ場合のみ（〇はひとつ）

通っている中学校について、「目黒中央中」が9.4%、「大鳥中」が9.2%となっている。
 なお、「区立以外の中学校」は51.0%となっている。

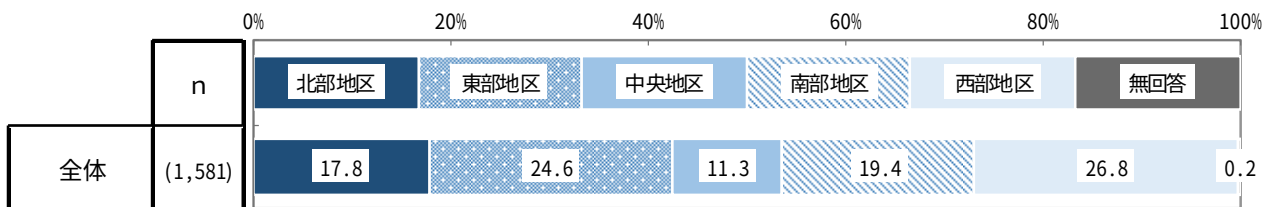


(3) お住いの地区

問2 あなたが住んでいるところはどこですか。

(〇はひとつ)

居住地域について、「西部地区」が26.8%、「東部地区」が24.6%となっている。



(4) 同居家族

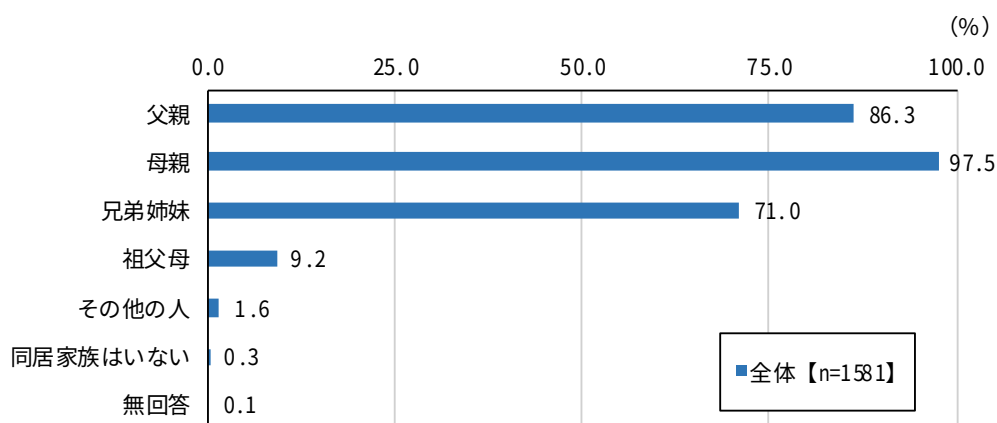
問3 あなたは誰と一緒に住んでいますか。

(○はあてはまるものすべて)

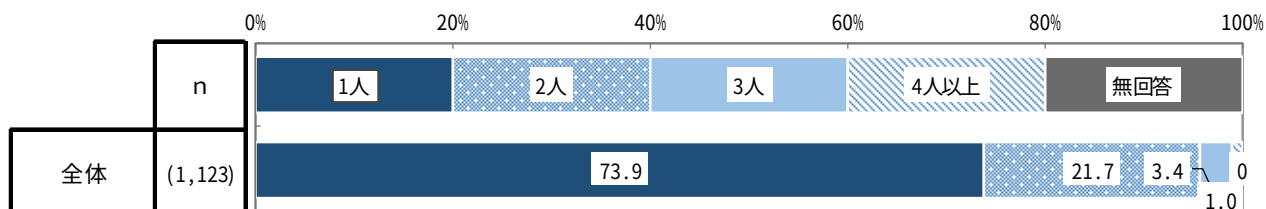
同居している家族について、「お母さん」が97.5%、「お父さん」が86.3%、「兄弟姉妹」が71.0%、「おじいさん・おばあさん」は9.2%となっている。

回答者以外の兄弟姉妹の人数について、「1人」(二人兄弟)が73.9%、「2人以上」(3人兄弟以上)が26.1%となっている。

<同居している家族>



<回答者以外の兄弟の人数>



2. 日常生活について

(1) 平日の放課後や休日にだれと過ごしているか

問4 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。

(○はあてはまるものすべて)

放課後等に過ごしている人について、平日の“16時から18時”では「友だち」が51.7%と最も多く、それ以外の時間帯では「親や祖父母」が最も多くなっている。

なお、「ひとりている」は平日の“20時以降”で25.7%、休日の“夜間”で23.8%となっている。

	n = 1,581	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
ひとりている		38.0	30.0	25.7	36.6	23.8
親や祖父母		29.1	65.3	77.4	61.7	82.7
兄弟姉妹		16.4	34.2	40.7	33.5	45.4
友だち		51.7	18.5	6.4	39.1	9.0
その他		11.8	10.8	6.5	6.6	3.1
無回答		1.2	0.8	0.8	0.9	0.6

(2) 平日の放課後や休日にどこで過ごしているか

問4 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。

(○はあてはまるものすべて)

放課後等を過ごす場所について、すべての時間帯で「自分の家」が最も多くなっている。

平日の“16時から18時”では次いで「学校」が多く、平日の“18時から20時”“20時以降”
休日の“夜間”では「塾や習い事」、休日の“昼間”では「目黒区以外の町」が多くなっている。

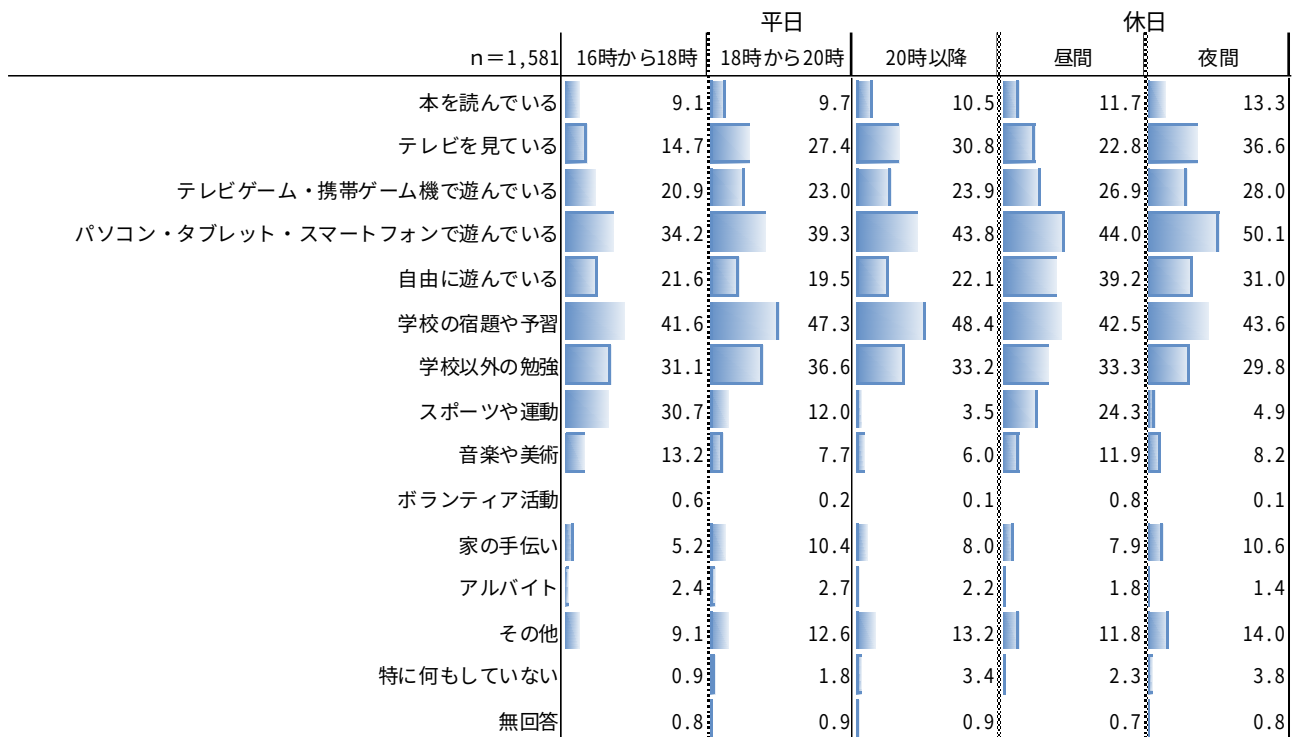
	n=1,581	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
自分の家		54.5	78.2	90.4	75.0	92.7
友だちの家		2.2	0.8	0.3	6.2	1.7
学校		53.6	10.6	1.0	16.6	0.9
塾や習い事		23.5	29.9	19.3	16.7	9.4
児童館		1.4	0.8	0.2	1.5	0.3
放課後等デイサービス		1.0	0.3	0.1	0.2	0.1
公園		3.0	1.5	0.6	6.5	1.2
図書館		2.0	1.2	0.4	4.4	0.5
コンビニやファミレスなどのお店		3.9	4.0	1.8	7.7	3.8
目黒区以外の町		7.8	5.9	2.6	19.8	5.2
その他		5.9	4.6	2.1	14.1	4.7
無回答		0.6	1.0	1.0	1.1	1.0

(3) 平日の放課後や休日に何をして過ごしているか

問4 あなたは、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。**(○はあてはまるものすべて)**

放課後等の過ごし方について、平日の全ての時間帯で「学校の宿題や予習」が最も多く、休日では「パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる」が最も多くなっている。

なお、「家の手伝い」は平日の“16時から18時”を除く時間帯で約1割を占めており、「アルバイト」は平日の全ての時間帯で約2%となっている。

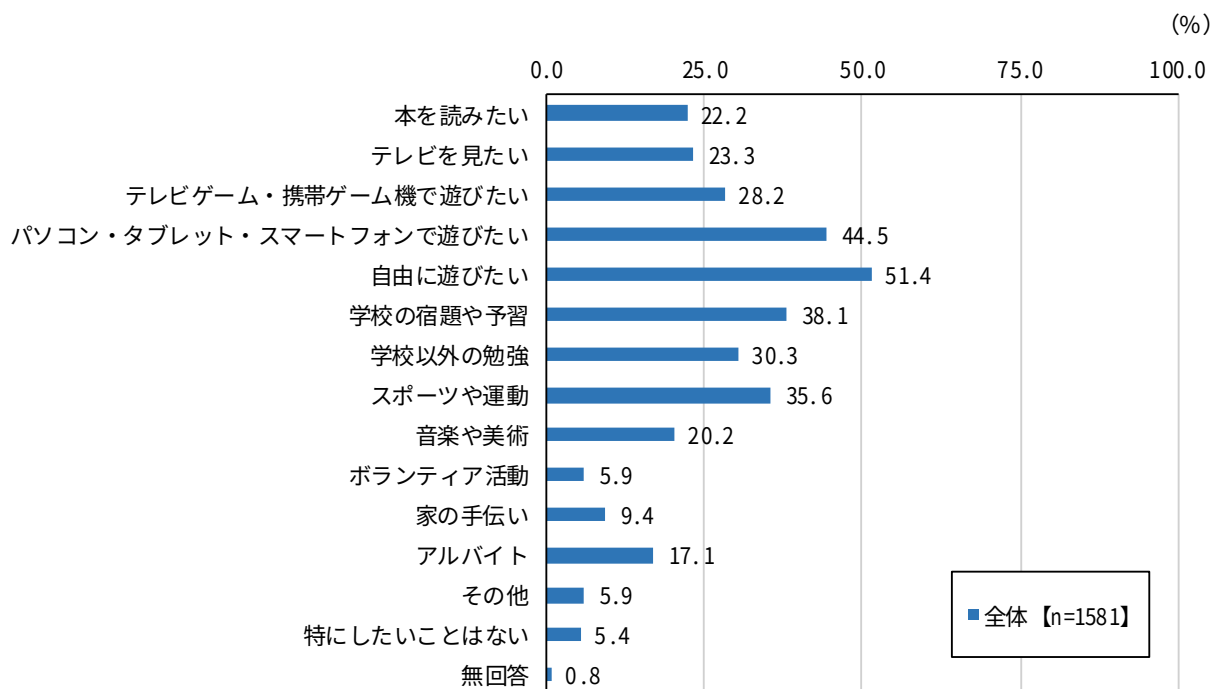


(4) 放課後に出来ること

問5 あなたは放課後、どんなことが出来るとよいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

放課後にできるとよいことについて、「自由に遊びたい」が51.4%と最も多く、次いで「パソコン・タブレット・スマートフォンで遊びたい」が44.5%となっている。

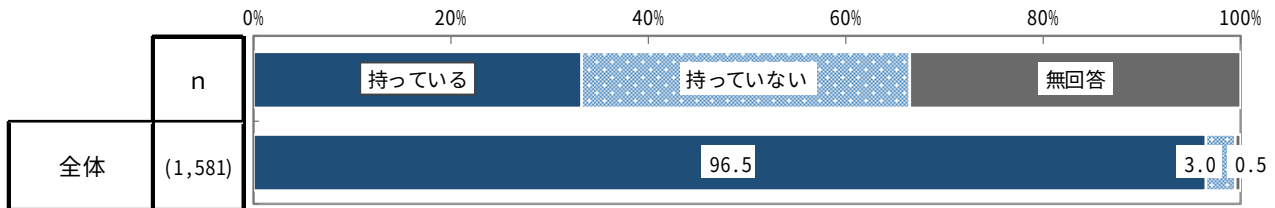


(5) 携帯電話・スマートフォンの所持状況

問6 あなたは携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。

(○はひとつ)

携帯電話やスマートフォンの保有状況について、「持っている」が96.5%、「持っていない」が3.0%となっている。



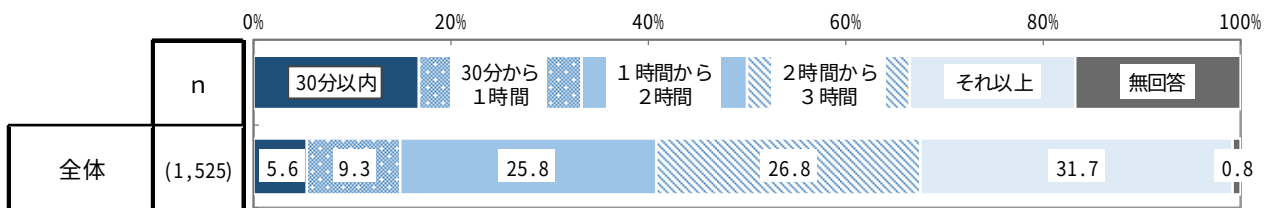
(6) 携帯電話・スマートフォンの使用状況

問6-1 1日におよそどのくらいの時間使いますか。

※問6で選択肢1を選んだ場合のみ (○はひとつ)

携帯電話やスマートフォンの使用時間について、「それ（3時間）以上」が31.7%と最も多く、次いで「2時間から3時間」が26.8%となっている。

なお『1時間以上』は84.3%となっている。



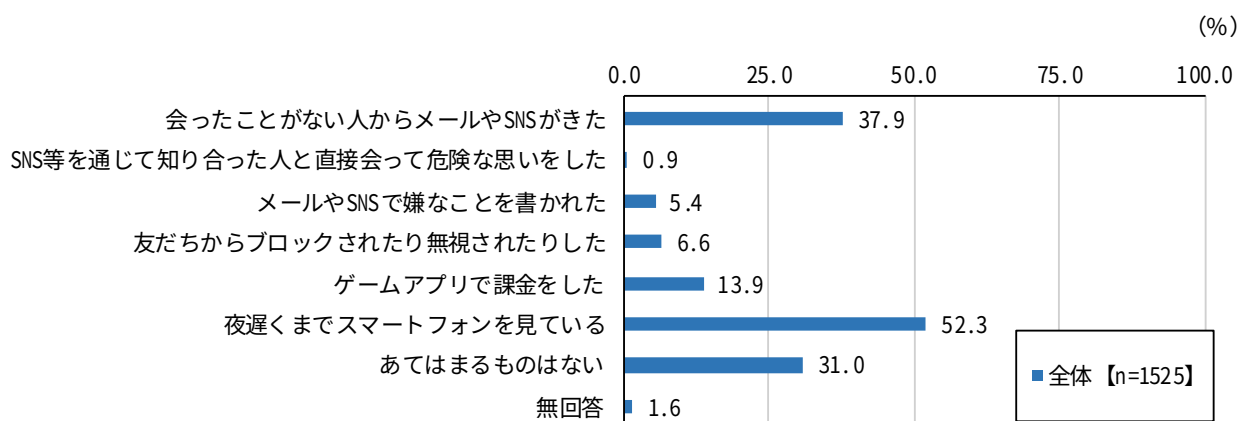
(7) 携帯電話・スマートフォンを利用して経験したこと

問6-2 これまでに携帯電話やスマートフォンを使っていて、つぎのようなことを経験したことはありますか。

※問6で選択肢1を選んだ場合のみ（あてはまるものすべてに○）

携帯電話やスマートフォンを使って経験したこととして、「夜遅くまでスマートフォンを見ている」が52.3%と最も多く、次いで「会ったことがない人からメールやSNSがきた」が37.9%となっている。

なお、「あてはまるものはない」は31.0%となっている。



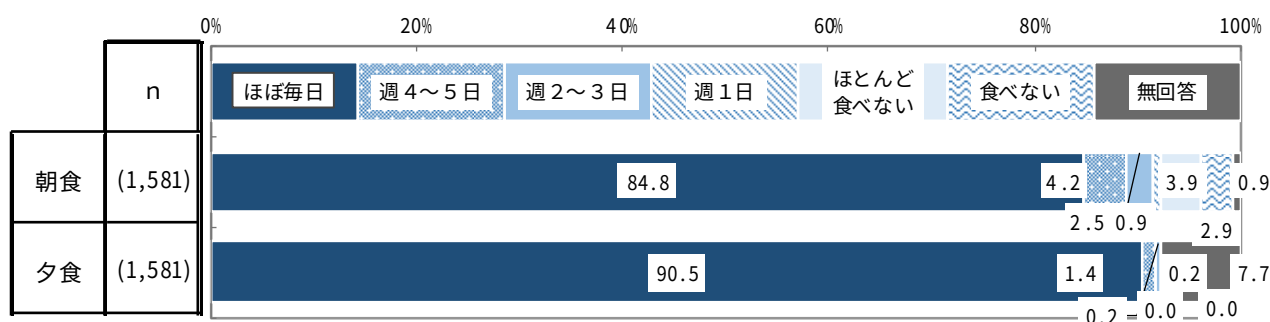
(8) 朝食・夕食の状況

問7 あなたは、朝食や夕食を食べていますか。

(○はそれぞれにひとつ)

朝食・夕食の摂取状況について、「ほぼ毎日」は“朝食”“夕食”ともに8割以上を占めている。

「ほとんど食べない」「食べない」の合計は、“朝食”では6.8%、“夕食”では0.2%となっている。

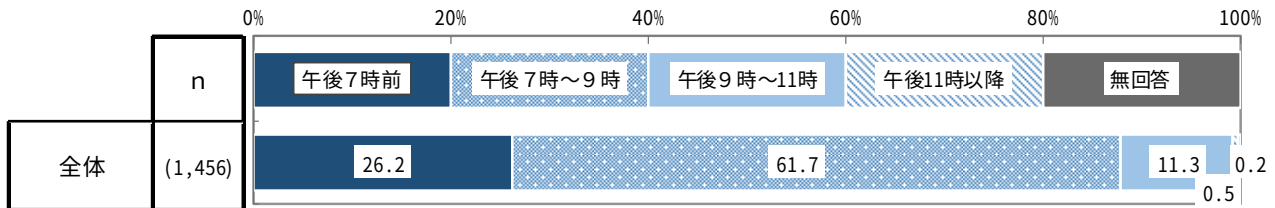


(9) 夕食を食べる時間

問7-1 あなたは夕食を何時頃食べますか。

※問7で夕食の選択肢1～4を選んだ場合のみ（○はひとつ）

夕食の時間について、「午後7時～9時」が61.7%と最も多く、『午後9時以降』は11.8%となっている。



(10) 朝食や夕食を食べない理由

問7-2 その理由は何ですか。

※問7で朝食と夕食で選択肢5か6を選んだ場合のみ（○はひとつ）

朝食・夕食を食べない理由について、“朝食”では「食事をする時間がないから」が45.4%と最も多く、次いで「食べたい気分じゃないから」が43.5%となっている。

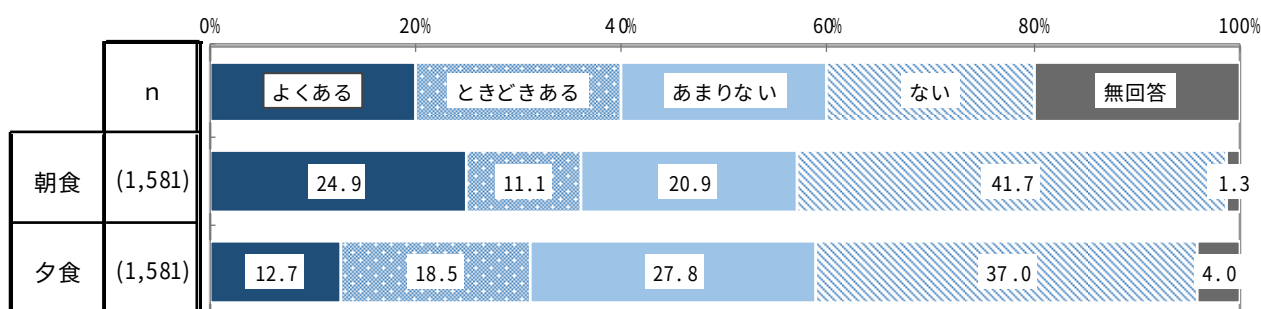
	n	食事をする時間がないから	食べたい気分じゃないから	嫌いな食べものがあるから	食事が用意されていないから	食べるものがないから	無回答	%
朝食	108	45.4	43.5	-	6.5	0.9	3.7	
夕食	3	-	100.0	-	-	-	-	

(11)子どもだけで食事をする頻度

問8 あなたは、自分の家で「ひとり」や「兄弟姉妹だけ」で、朝食や夕食を食べることがありますか。

(○はそれぞれにひとつ)

子どもだけで食事をする頻度について、「よくある」「ときどきある」の合計は、“朝食”では36.0%、“夕食”では31.2%となっている。

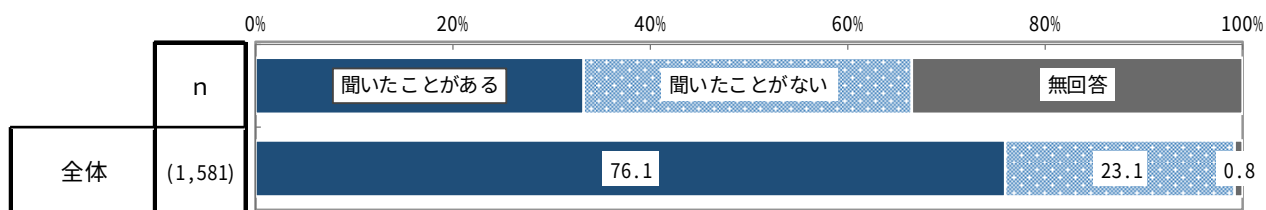


(12)子ども食堂の認知度

問9 あなたは、「子ども食堂」というものを聞いたことがありますか。

(○はひとつ)

子ども食堂の認知度について、「聞いたことがある」は76.1%、「聞いたことがない」は23.1%となっている。

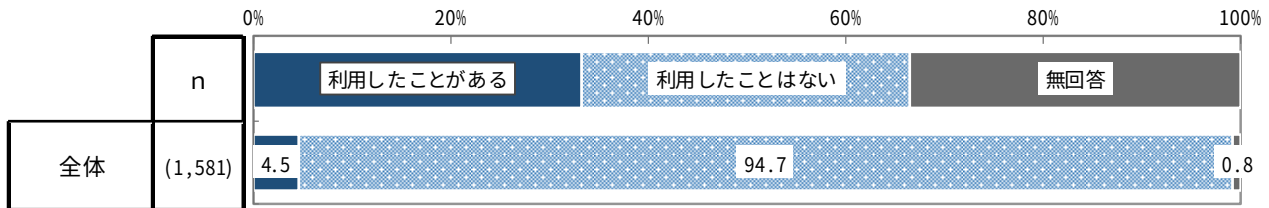


(13)子ども食堂の利用状況

問 10 あなたは、「子ども食堂」を利用したことがありますか。

(○はひとつ)

子ども食堂の利用状況について、「利用したことがある」は 4.5%、「利用したことはない」は 94.7%となっている。



(14)身の回りの環境について

問 11 あなたは家や学校、地域、ネット空間のそれぞれの場所についてどのように思っていますか。

(○はそれぞれにひとつ)

家について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、“何でも悩みを相談できる人がいる”では 82.0%、“こまったときは助けてくれる”では 87.6%、“他の人には言えない本音を話すことができる”では 71.3%となっている。

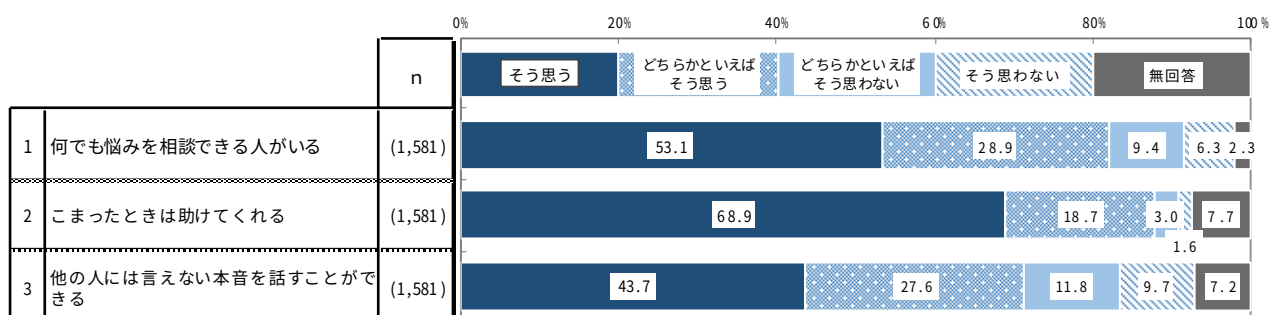
学校について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、“何でも悩みを相談できる人がいる”では 70.9%、“こまったときは助けてくれる”では 77.6%、“他の人には言えない本音を話すことができる”では 60.8%となっている。

地域について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、“何でも悩みを相談できる人がいる”では 28.0%、“こまったときは助けてくれる”では 43.7%、“他の人には言えない本音を話すことができる”では 21.6%となっている。

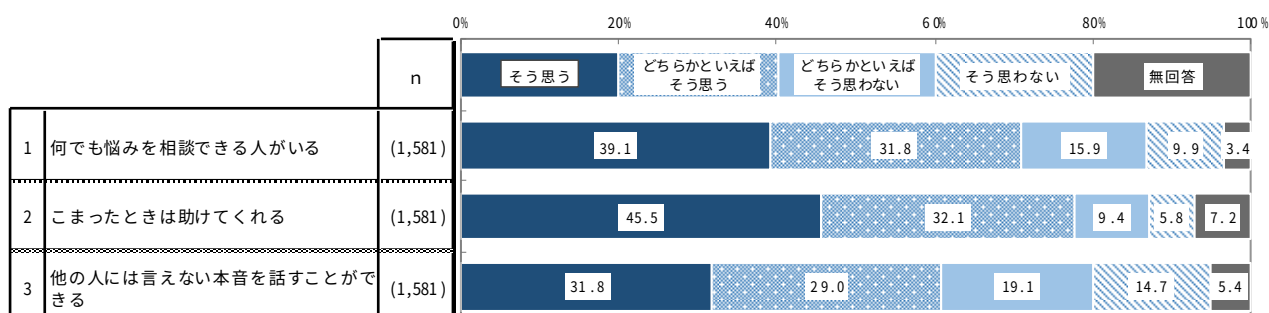
ネット空間について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、“何でも悩みを相談できる人がいる”では 26.4%、“こまったときは助けてくれる”では 23.5%、“他の人には言えない本音を話すことができる”では 30.3%となっている。

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査 調査結果報告書

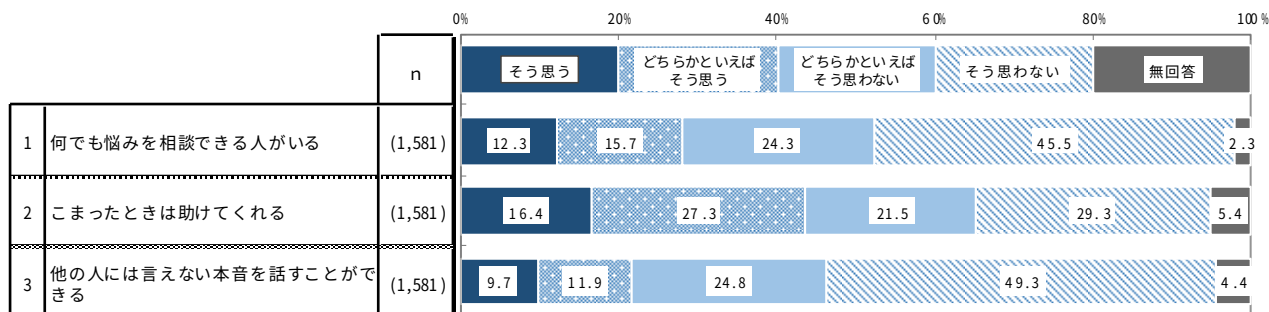
<家>



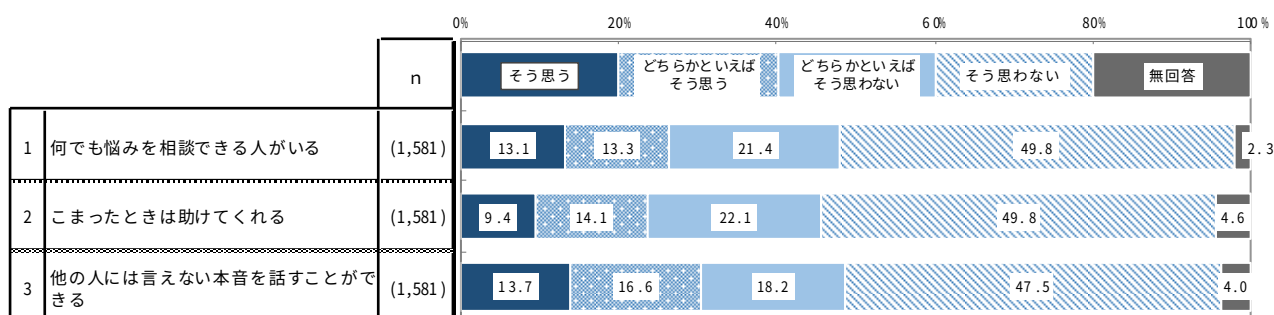
<学校>



<地域>



<ネット空間>



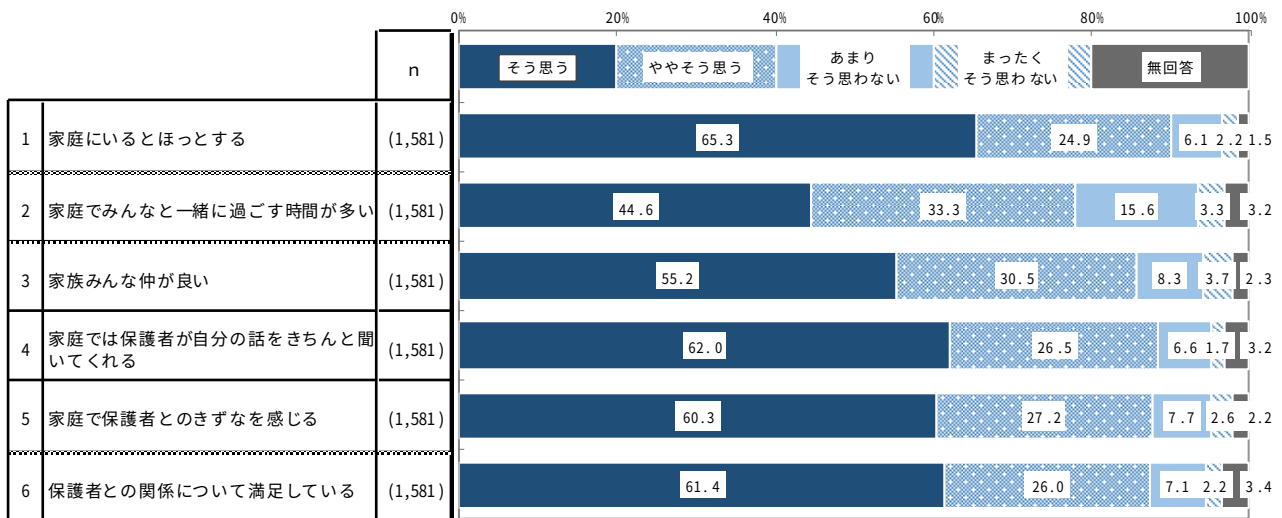
3. 家庭について

(1) 家での生活

問 12 あなたの家庭での生活についておたずねします。

(○はそれぞれにひとつ)

家での生活について、「そう思う」「ややそう思う」の合計は、“家庭にいとほっとする”で90.2%と最も多く、次いで“家庭では保護者が自分の話をきちんと聞いてくれる”で88.5%となっている。

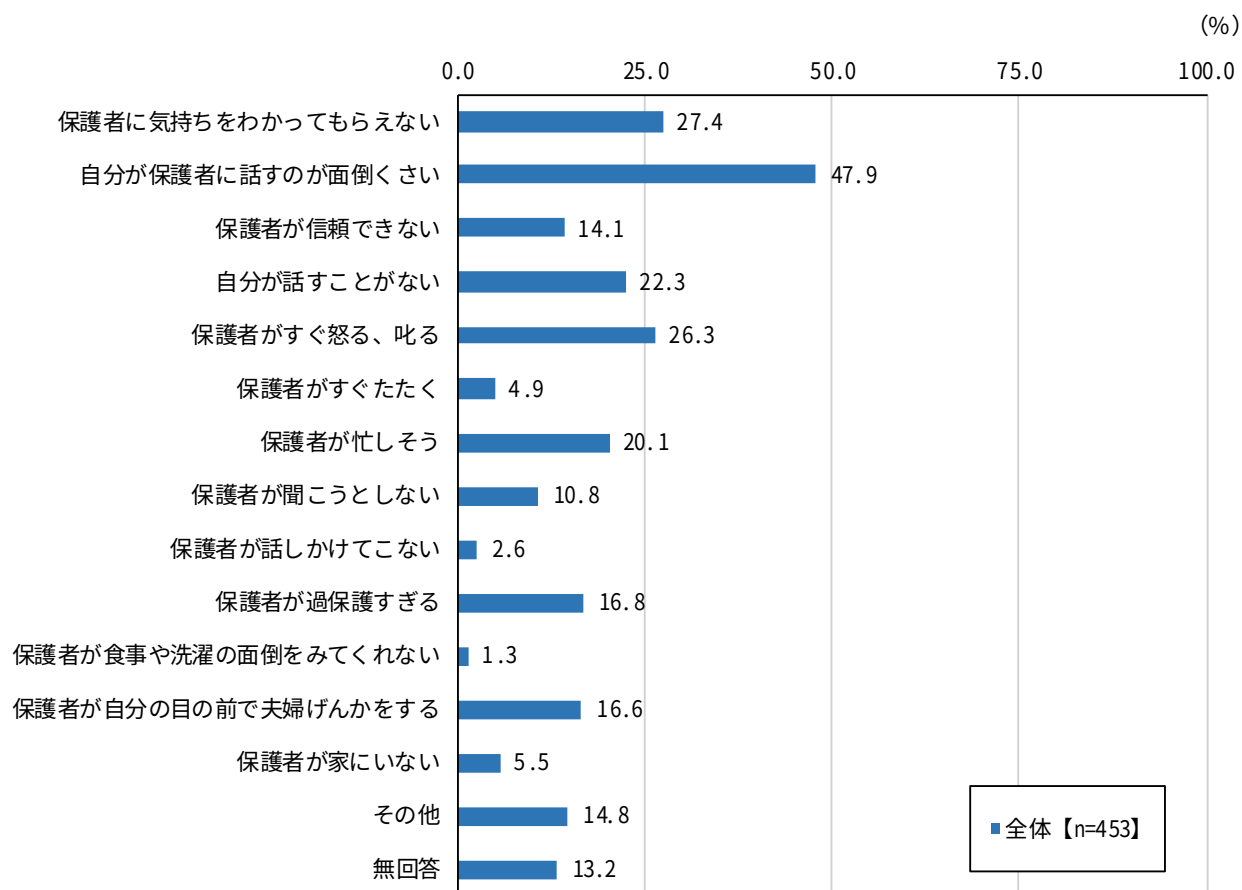


(2) 家庭を良く思わない理由

問 12-1 そう思わないのはなぜですか。

※問 12 で選択肢 3 か 4 を選んだ場合のみ（あてはまるものすべてに○）

家庭での生活を良く思わない理由について、「自分が保護者に話すのが面倒くさい」は 47.9%と最も多く、次いで「保護者に気持ちをわかってもらえない」が 27.4%となっている。



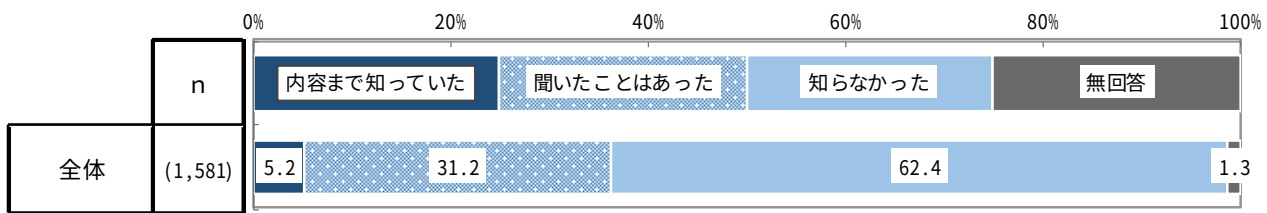
4. 人権について

(1) 目黒区子ども条例の認知度

問 13 あなたは、「目黒区子ども条例」を知っていましたか。

(○はひとつ)

目黒区子ども条例の認知度について、「内容まで知っていた」は 5.2%、「聞いたことはあった」は 31.2%、「知らなかった」は 62.4%となっている。



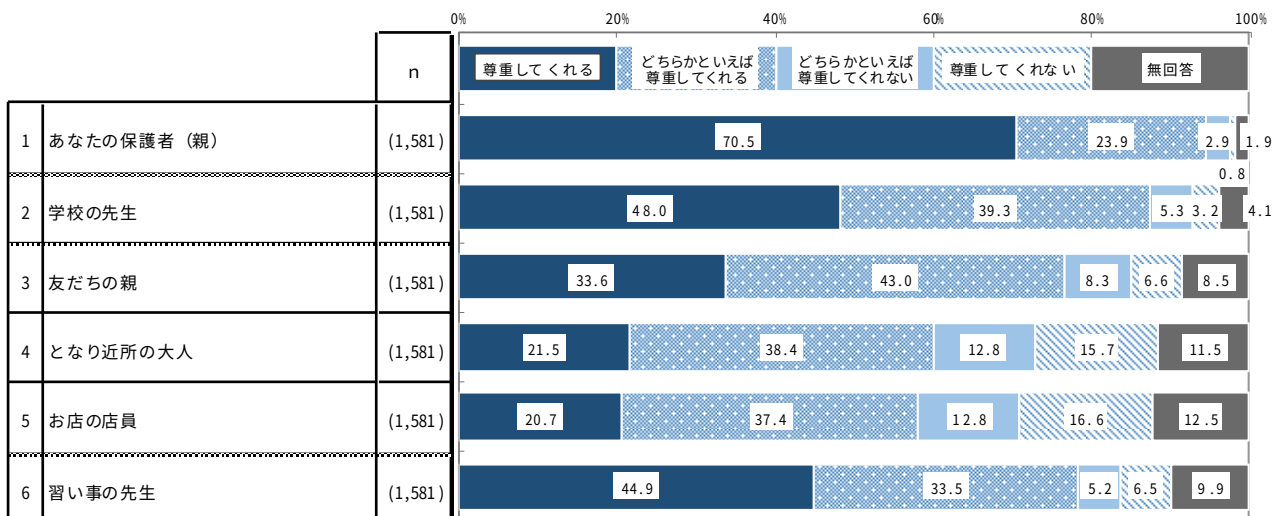
(2) まわりの大人が話を聞いてくれるか

問 14 あなたのまわりの大人は、あなたの話や考えを尊重してくれますか。

(○はそれぞれにひとつ)

まわりの大人が自分の話を聞いてくれるかについて、「聞いてくれる」「どちらかといえば聞いてくれる」の合計は、“あなたの保護者”で94.4%と最も多く、“学校の先生”“友だちの親”“習い事の先生”で約8割となっている。

一方で、“となり近所の大人”“お店の店員”では約6割となっている。



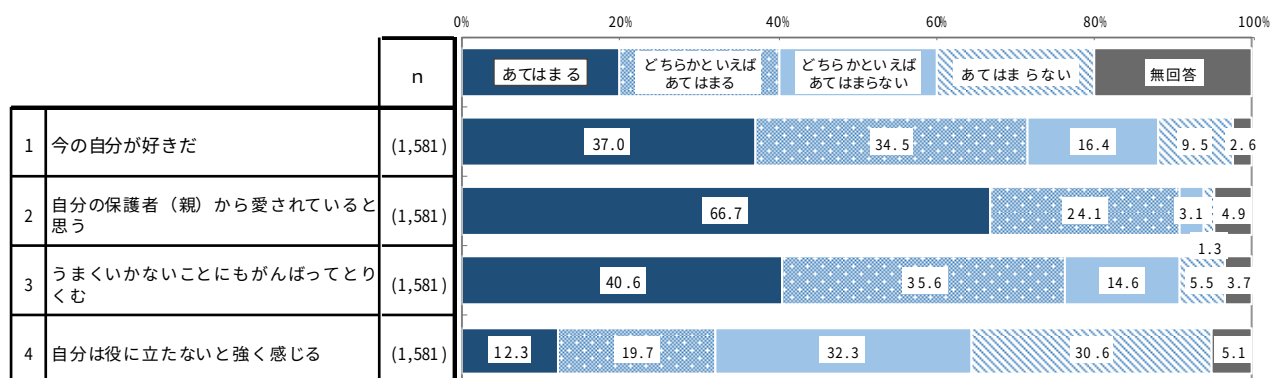
(3) 自分自身について

問 15 あなたの感じていることについて、おたずねします。

(○はそれぞれにひとつ)

自分自身について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計は、“自分の保護者から愛されていると思う”で90.8%と最も多く、次いで「うまくいかないことがあってもがんばってとりくむ」で76.2%となっている。

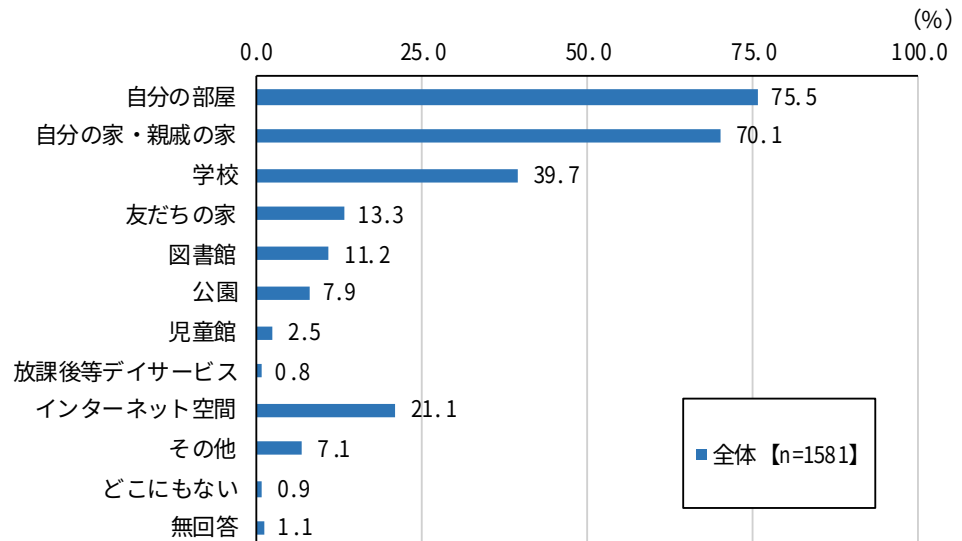
なお、「自分は役に立たないと強く感じる」では32.0%となっている。



(4) 自分が落ち着ける、安心していられる場所

問 16 今のあなたにとって「ほっとできる」「安心できる」居場所はどこですか。**(あてはまるものすべてに○)**

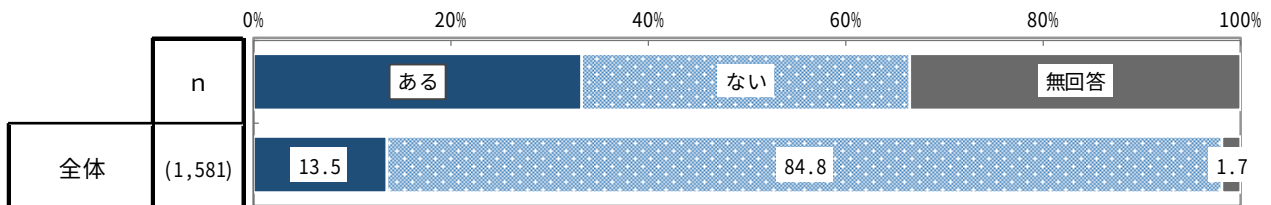
落ち着ける・安心していられる場所について、「自分の部屋」が75.5%と最も多く、次いで「自分の家・親戚の家」が70.1%となっている。



(5) 子どもの人権が大切にされていないと思った経験

問 17 あなたはこの1年間、目黒区で生活している中で、自分の周りで10代の人の人権が大切にされていないと思ったことがありますか。**(○はひとつ)**

子どもの人権が大切にされていないと思った経験について、「ある」は13.5%、「ない」は84.8%となっている。



(6) 子どもの人権が大切にされていないと思ったこと

問 17-1 10代の人権が大切にされていないと思ったことについて、どのようなことについて思ったのか、教えてください。

※問 17 で選択肢 1 を選んだ場合のみ（自由記述）

区 分	件数
先生が生徒の意見を尊重しない、職権乱用	38 件
誰にも相談できない	1 件
親からの愛を感じない	8 件
親から進路を決められる	13 件
親からの虐待	12 件
親に勝手に物を触ったり見られた	17 件
行政への不信感	4 件
経済的な理由によって権利が失われている	16 件
親から意見を否定される	5 件
大人全体に対する不信感	13 件
全体	144 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
先生が生徒の意見を尊重しない、職権乱用	・通っている中学校で先生が生徒の胸ぐらを掴もうとした。大声で怒鳴りつけてその人は悪くないのに冤罪をかけてかなり長くまで怒っている夜の 6 時ぐらいまで。生徒の意見を聞かず自分が正しいと錯覚している。 ・個人の主観で、成績をつけたり、筋の通らない評価をする先生がいる。
親から進路を決められる	・経済的負担を鑑みて高校を中退した 親の意向で早慶レベルの大学進学を強いられる。 ・進路決定に経済的観点も含まれ、経済的事情によって思うように進路を決めることが出来ないこと。
親からの虐待	・父にも母にも暴言を言われていて、誰にも相談できていない。 ・経済面、衣食住を与えているのだから、何を言ってもいいと思っている親が自分や周りの友人の親に何人かいて、精神面が傷ついている子が学校の友人にいます。
親に勝手に物を触ったり見られた	・親がなにか不都合があるとすぐ怒るし人の部屋に勝手に入って勝手に漁るから。 ・親に勝手に LINE を見られている スマホで見ている内容が全部親が親のスマホから見られる。

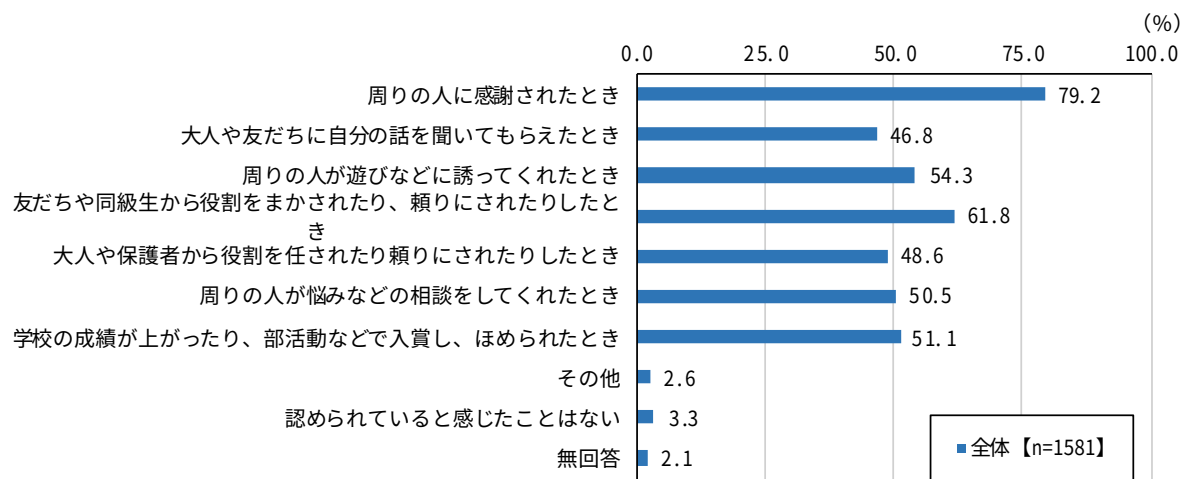
経済的な理由によって権利が失われている	・母子家庭のため塾に行けない。目黒区役所の塾に申し込んだのに落選した。 ・学費の面で格差がある。頭が良くてもいい学校に進むためにはいい塾に通わなくてはならなかったり、最終的にはいかに子供にお金がかけられるかで決まってしまう気がする。
大人全体に対する不信感	・逃げる場所や頼る場所がない。口先だけで実際に助けようと努力したり行動する大人を見たことがない。 ・選挙に関心を持てと言う割にはパンフレットなどを渡さず、投票権がないなら渡しても意味がないというように感じる。

(7) 自分が人に認められていると感じるとき

問 18 自分が人に認められていると感じるのはどんなときですか。

(あてはまるものすべてに○)

自分が認められていると感じるときについて、「周りの人に感謝されたとき」が79.2%と最も多く、次いで「友だちや同級生から役割をまかされたり、頼りにされたりしたとき」が61.8%となっている。



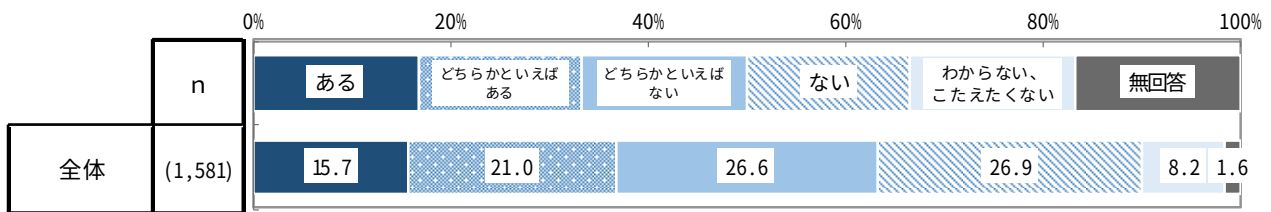
5. 不安や悩みについて

(1) 悩みや不安の有無

問 19 あなたは今、ものごとがうまくいかず、落ち込んだり悩んでいたりと助けてほしいことがありますか。

(○はひとつ)

悩みや不安の有無について、「ある」が15.7%、「どちらかといえばある」が21.0%、「どちらかといえばない」が26.6%、「ない」が26.9%となっている。



(2) 悩みの内容

問 19-1 あなたが落ち込んでいることや悩んでいること、助けてほしいことについて、あなたが「教えてもいい」と思えることまででよいので、教えてください。

※問 19 で選択肢 1 か 2 を選んだ場合のみ（自由記述）

区 分	件数
友達・対人関係	65 件
学校について	14 件
勉強・成績について	169 件
家族について	3 件
体調が悪くなる	4 件
自分の容姿や性格について	11 件
自分の生活について	6 件
恋愛について	11 件
自分の出来ないこと（勉強以外）について	26 件
将来について	55 件
部活について	23 件
親との関係について	10 件
精神的な不安・死にたくなる	6 件
全体	370 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
友達・対人関係	・自分に自信が全くない。成績も良くない。親に高い学費を払ってもらってるにも関わらずそれに対する成果を出せていない。自分の選択を自分でできない。友達にも嫌われている気がする。 ・学校に自分と似た価値観を持つ人間や同じ好きなことを話せる人間が一人もいなく、将来のために必要なことをするためのモチベーションが下がり続けている。
学校について	・学校に行きたくない。 ・学校で無くし物をしても見つからないし、先生が協力して探してくれない。
勉強・成績について	・時間が足りない 受験勉強が辛い 人と比べてしまう。 ・大学受験のための受験勉強が大変でしんどいです。 ・勉強しなければいけないけど努力をすれば良いと言われて自分なりに頑張ってもできなくて塾に行っているのですがお金がかかっているのに成績が上がらなくて辛い。

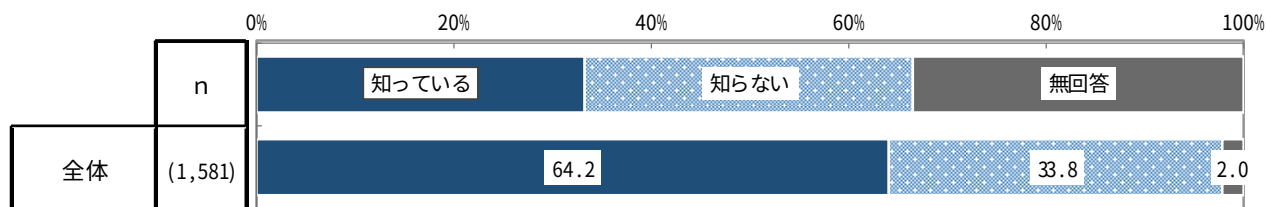
自分の容姿や性格について	・自分に自信がない。 ・妹のほうが可愛い 二重になりたい。
恋愛について	・恋愛のせいで、人間関係がうまくいかないし、恋愛もうまくいかない。 ・彼女は どう やった ら でき ます か？
自分の出来ないこと（勉強以外）について	・名前が覚えられない 忘れ物が多い 無くしものが多い うろろして しまう 集中力がない やる気がない。 ・勉強も運動も得意じゃないし、誰の役にも立てない うえに、尊重し合える友達も数人いるけど、クラスメイトからはハブられているように感じて辛い。家族には、相談しても「何してほしいのか分からない」「考えすぎ」「心は強いから大丈夫」など、同情してくれなくて、理解してくれているのか分からない。親は両働きなので、疲れているのもわかってるけど、ちょっとした事で怒鳴られるのが辛い。誰からも愛されていないんじゃないかと不安になるし、自分の存在自体を疑ってしまうことがある。結局一人でのいるのが一番楽。
将来について	・将来自分が働けて生活に困らないという確証がないという不安。 ・将来について漠然とした不安やぼんやりした絶望感がある。
部活について	・部活の LINE がずっと動いてて夜でも話し合わないといけなくて、見ていないと置いていかれること。 ・部活は好きだけど日数が多すぎて友達と遊べない でも休んで怒られるのは怖いです。
親との関係について	・母親とは仲がいいが、父親がすぐにカッとなる 父親から将来の進路や人間性を否定されることがしばしばある。 ・受験において親の縛りがきついこと。

(3) 悩みの相談先の認知

問 20 あなたは学校や家以外で、あなたの悩みやこまっていることを相談できる場所や人がいることを知っていますか。

(○はひとつ)

悩みの相談先の認知度について、「知っている」が64.2%、「知らない」が33.8%となっている。



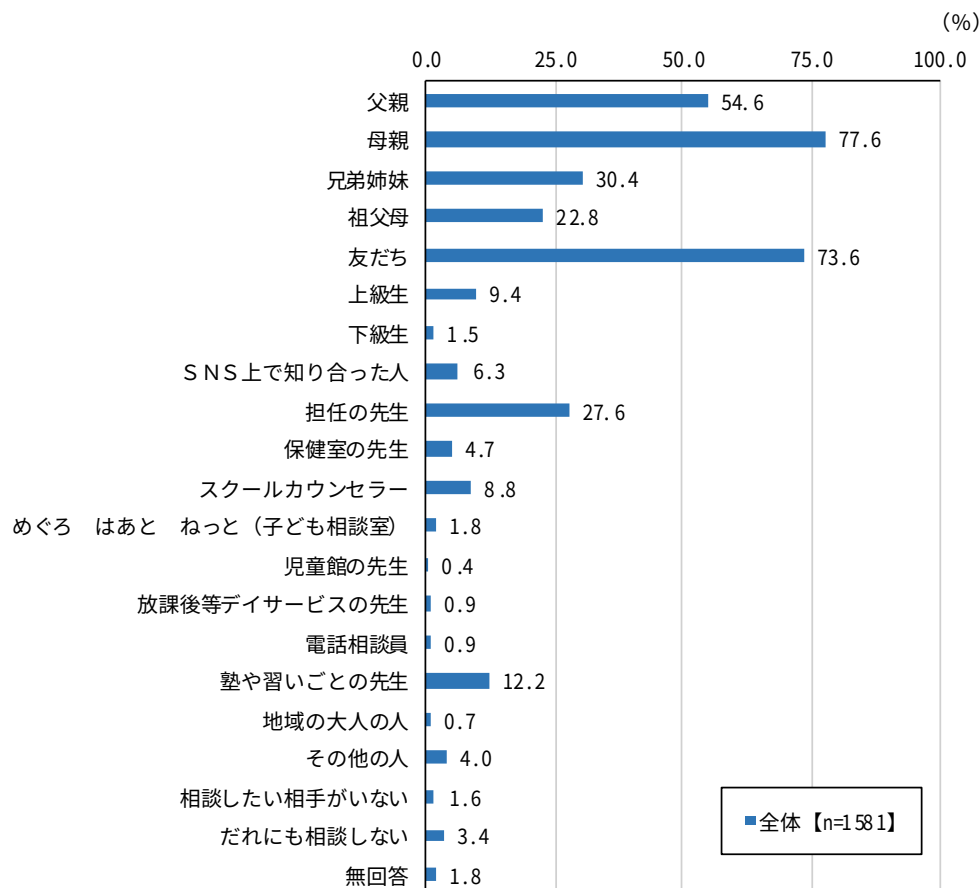
(4) 悩みを相談したら助けてくれそうな人・もの

問 21 あなたが落ち込んだり悩んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてくれると思いますか。

(あてはまるもの5つまで)

悩みや困りごとを助けてくれそうな人・ものについて、「母親」が77.6%と最も多く、次いで「友だち」が73.6%となっている。

一方で、「相談したい相手がいない」は1.6%、「誰にも相談しない」は3.4%となっている。

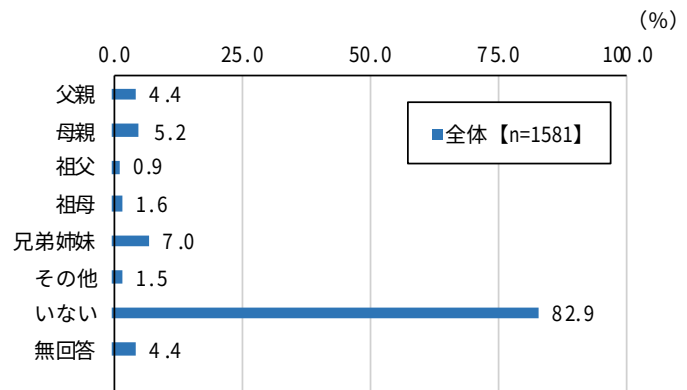


(5) 家族の中でお世話をしている人

問 22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。**(あてはまるものすべてに○)**

家族の中でお世話をしている人について、「兄弟姉妹」が7.0%と最も多く、次いで「母親」が5.2%となっている。

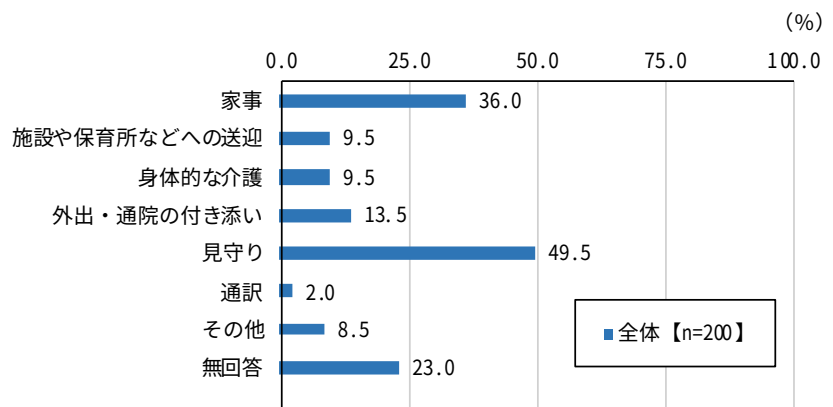
なお、「いない」は82.9%となっている。



(6) お世話の内容

問 22-1 お世話の内容を教えてください。**※問 22 で選択肢1～6のいずれかを選んだ場合のみ (あてはまるものすべてに○)**

お世話の内容について、「見守り」が49.5%と最も多く、次いで「家事」が36.0%となっている。



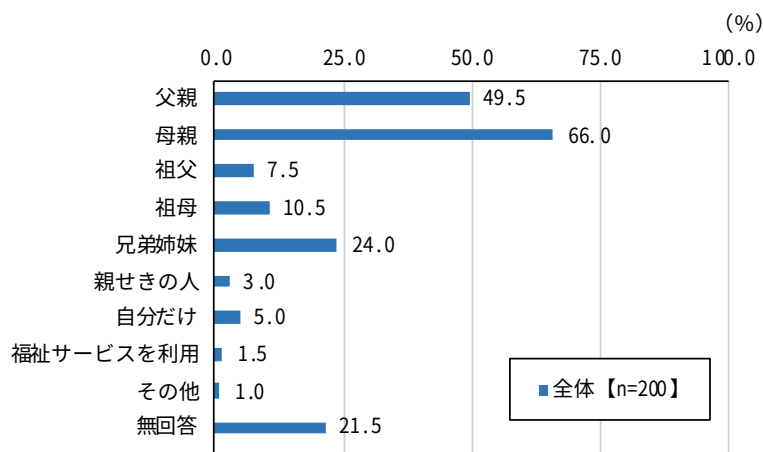
(7) お世話を一緒にしている人

問 22-2 お世話はだれとしていますか。

※問 22 で選択肢 1～6 のいずれかを選んだ場合のみ（あてはまるものすべてに○）

お世話を一緒にしている人について、「母親」が 66.0%と最も多く、次いで「父親」が 49.5%となっている。

なお、「自分だけ」は 5.0%となっている。

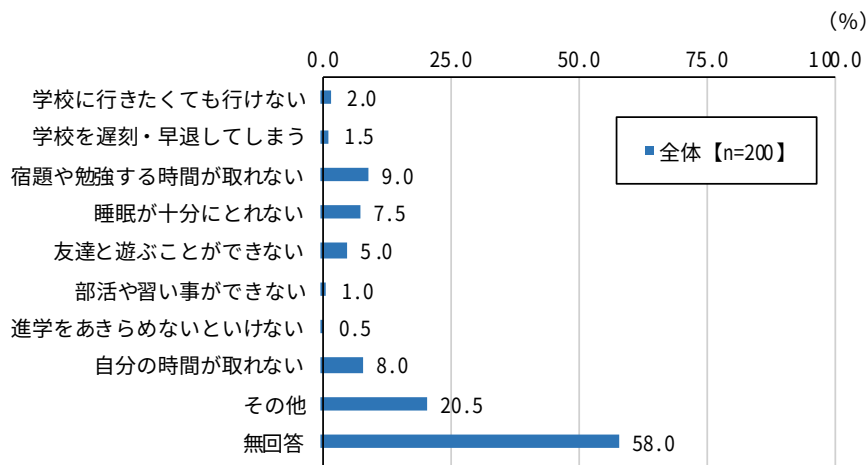


(8) 家族へのお世話で困っていること

問 22-3 お世話をしていることで、困っていることはありますか。

※問 22 で選択肢 1～6 のいずれかを選んだ場合のみ（あてはまるものすべてに○）

家族へのお世話で困っていることについて、「宿題や勉強する時間がない」が 9.0%と最も多く、次いで「睡眠が十分にとれない」が 7.5%となっている。

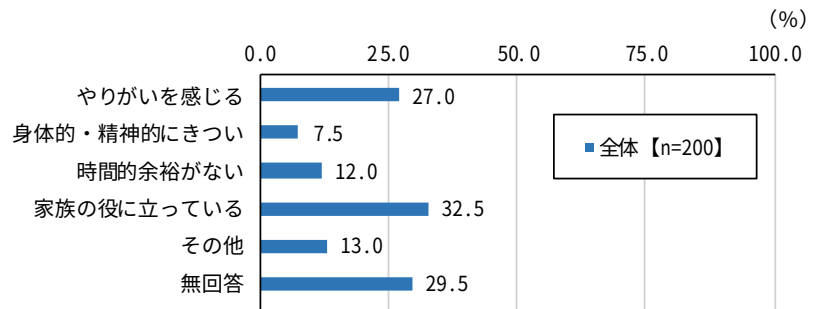


(9) 家族へのお世話を通して感じていること

問 22-4 お世話をしていることをどのように感じていますか。**※問 22 で選択肢 1～6 のいずれかを選んだ場合のみ（あてはまるものすべてに○）**

家族へのお世話を通して感じていることについて、「家族の役に立っている」が32.5%と最も多く、次いで「やりがいを感じる」が27.0%となっている。

なお、「時間的余裕がない」は12.0%、「身体的・精神的にきつい」は7.5%となっている。



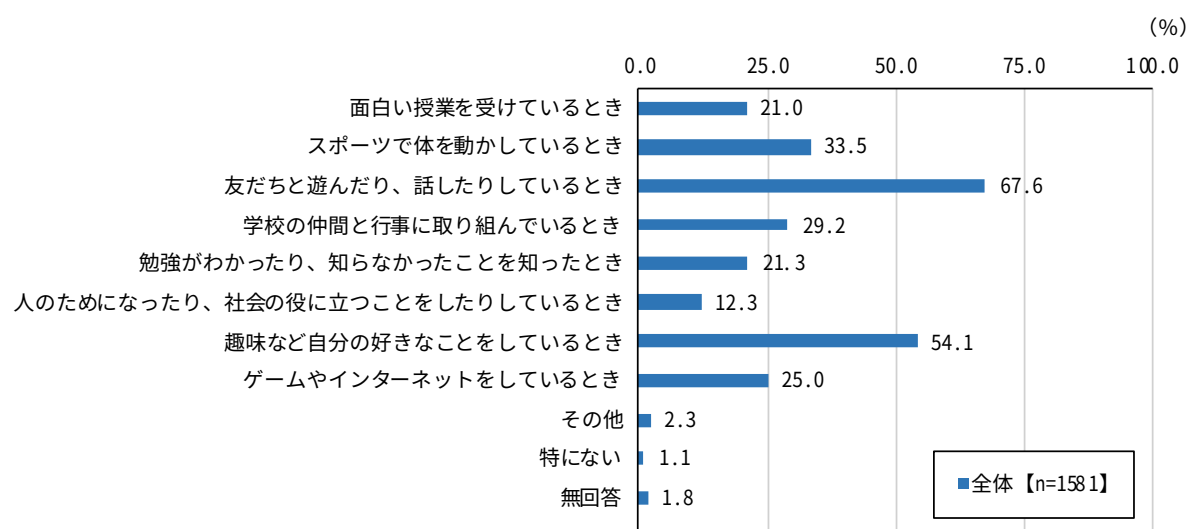
6. 活動について

(1) 夢中になれること

問 23 あなたが夢中になれたり、充実感を得ることができるのはどのようなときですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

夢中になれることについて、「友だちと遊んだり、話したりしているとき」が67.6%と最も多く、次いで「趣味など自分の好きなことをしているとき」が54.1%となっている。

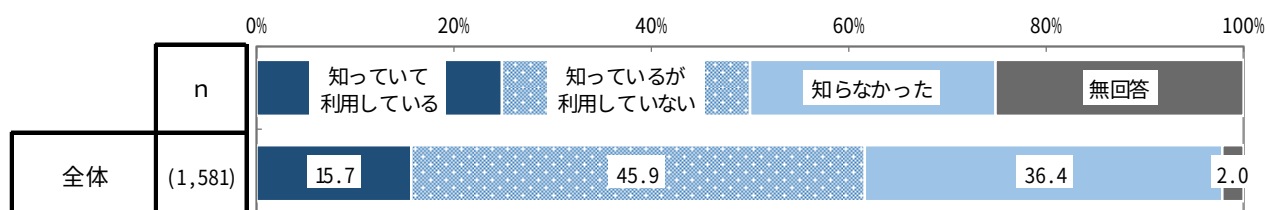
一方で、「特にない」は1.1%となっている。



(2) 児童館を利用できる年齢の認知度

問 24 目黒区の児童館は18歳未満の児童の方は利用ができます。このことを知っていましたか。
(○はひとつ)

児童館を利用できる年齢の認知度について、「知っていて利用している」は15.7%、「知っているが利用していない」は45.9%、「知らなかった」は36.4%となっている。



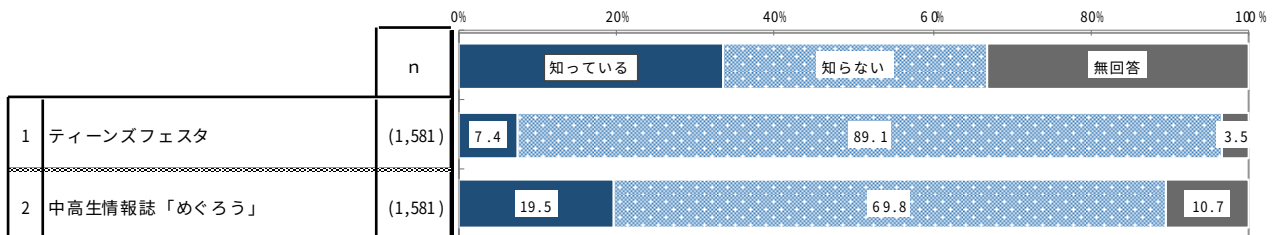
(3) 児童館で行われている活動の認知度

問 25 あなたは児童館が行っている次の活動について知っていますか。

(○はそれぞれにひとつ)

児童館で行われている活動の認知度について、“ティーンズフェスタ”では、「知っている」が7.4%、「知らない」が89.1%となっている。

“中高生情報誌「めぐろう」”では、「知っている」が19.5%、「知らない」が69.8%となっている。

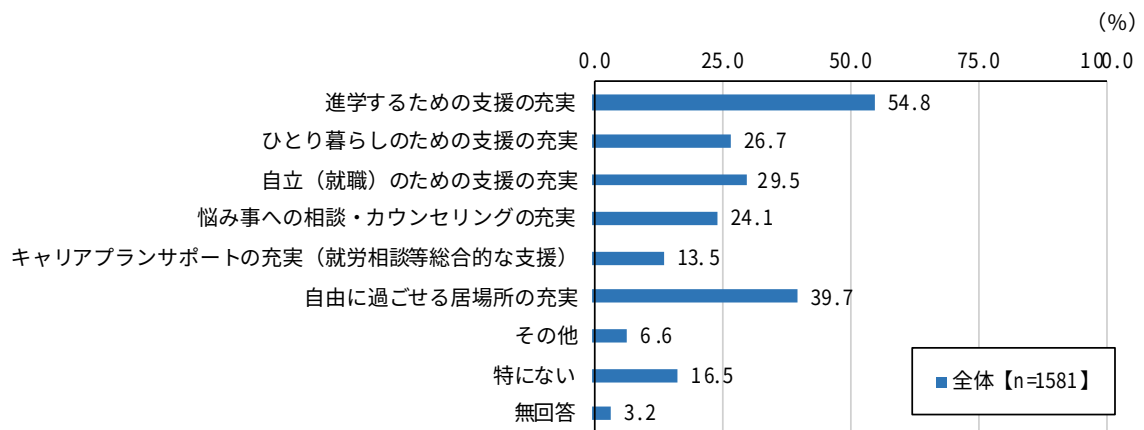


(4) 区が取り組むべきこと

問 26 中高生世代が希望を持てるようになるために、区が特に取り組むべきことは何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

区が取り組むべきことについて、「進学するための支援の充実」が54.8%と最も多く、次いで「自由に過ごせる居場所の充実」が39.7%となっている。



(5) 区が取り組むべきことの理由

問 26-1 その理由を教えてください。

(自由記述)

<進学するための支援の充実>を選択した人の意見の抜粋

計 425 件

意見
・勉強ができたり成績が良くても親の収入や家庭内の事情で進学を諦めない様、国や市町村自治体が積極的に予算を出して欲しい。
・親の経済状況によって学力が変わってしまう事は、才能がある人を潰してしまったりする事があるため支援した方が良い。
・経済的な面で進学が難しかったり、自分の居場所がないと感じていたりする人が少なからず存在していると思うから。
・中高生世代は勉強ができ能力があっても、お金がないなどの理由で、中高生やその周りの人ではどうにもできないことを区が取り組んでほしいから。
・経済的な事情で塾に行けず、勉強ができない人もいる。勉強が分からない人がいる。
・学校で先生にわからない事を質問できる時がない。通塾するしかない。
・いま日本で学ぶことだけでは将来世界を舞台に活躍するには力不足なので海外大学への進学は視野に入れるべきだが、留学費用の面で夢を断念せざるを得ない人がいる。目黒区に住みながらもグローバルサラリーを稼ぐ人を増やさないと日本も目黒区も収入が激減する時代が近く訪れる。現在の方針では立ち行かなくなる時が来ることを危惧しています。

<ひとり暮らしのための支援の充実>を選択した人の意見の抜粋

計 219 件

意見
・将来の進学や就職に関する不安を可能な限り取り除くことで、自立する事に肯定的になれると考えているから。
・学術的なことは教われる場所がしっかりあるが、生活面をきちんと教えてくれる場所がないから。
・一度高校を辞めてしまうと社会との関わりが殆ど途絶え、金銭が伴う関係性しか得ることができないから。
・みんな悩みを相談できずに引きこもってしまう。
・1人暮らしの支援をしてくれると不安な時にいつでも相談出来るから。
・自立したての時に区の支援があればひとり暮らしも楽になるから。
・家庭の環境が良くない人がいるから。

＜自立（就職）するための支援の充実＞を選択した人の意見の抜粋

計 236 件

意見
・困っている人が多いから仕事を紹介したりした方がいいから。
・進学から就職まで幅広く支援し、いろいろな進路を考えられるようにするため。
・沢山体験をして何をしたいかを決めたいから。
・中高生にとって将来を考えることは難しいから。
・何事にもやっぱりお金は必要なので支援して欲しい。 仕事しなきゃ生きていけないのでこれも支援して欲しい。
・自分の将来が不安だという中高生は多いと思うから。
・就職が、難しいと聞いたことがあるから、また高校などに受験する時どんな学校があるかなどを知りたいから就職や進学の支援をして欲しい。

＜悩みごとへの相談・カウンセリングの充実＞を選択した人の意見の抜粋

計 208 件

意見
・学校は人数が多く、先生と合う合わないがあり、将来へのぼんやりとした不安を吐き出せないこともあるから。
・相談にのってくれる大人が少ないから。信用できる大人が少ないから。
・不安なことが多くまったく将来に希望がもてないため、不安を取り除ける環境があればいいから。
・小学校、中学校とどっちでも虐められてきたので、気軽に相談ができる場所を提供して欲しいです。
・周りには悩みがないように接していても、その人がなにか悩んでいる可能性があって、相談したり、安心できる環境が必要だと感じているから。
・進学などいろんなことに追われていてゆっくりする時間がない。ゆっくりしながら相談できればいい。
・誰かに相談したい悩み事がある人はかなりこの世代には多くいると感じたため、カウンセリングの充実が重要だと思います。一人では行きにくい場所でもいろいろな人が行っているから、そんなに重い話でなくてもいいから、誰かに「なんで行ったの？」と聞かれる必要がないほどにみんなの一般的な場所だから、と思えるような気軽に行けるカウンセリングであれば必要としている人はたくさんくると思います。また、カウンセリングの話し相手は大人でなくても、その人の年齢に近い子供でもいいのではないかと思います。その方が話しやすく、共感性も得られ、アドバイスもたくさんできるのではと私は思いました。

**目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書**

＜キャリアプランサポートの充実（就労相談等総合的な支援）＞を選択した人の意見の抜粋

計 107 件

意見
・将来の仕事が何をすればいいかわからない。
・将来への心配が少しでも軽減されるだけで、自分に自信が持てたり、進路が決めやすくなったりすると考えたからです。
・中高生は特に将来に不安を感じやすい時期であるため、進学や就職、キャリアプランの面で支援が充実しているととても安心できるから。
・障害があるので心配なことも多く、将来のことを相談して支援してもらいたい。
・将来怖い 未来やだあ ああああああああああああああ。
・知的障害があるので、就労支援が必要なため。
・夢を刺激してくれる後押ししてくれるような自由な雰囲気の場所があったらいい。

＜自由に過ごせる居場所の充実＞を選択した人の意見の抜粋

計 338 件

意見
・子どもの自由に過ごせる場所があまり無いと感じます。公園は遊具も減って一方でしたし、机はおばさん達かホームレスの人が占領してて使えない事が多いです。児童館自体は素晴らしいですが、どうやって利用するかなどが分かりにくく行きづらかったです。だから利用方法についてもっと分かりやすくしてほしいです。
・集団行動が苦手な子や、疲れを癒したい人に利用して欲しいから。
・自由に学習できるスペースをもっと増やした方がいいと思ったから。
・1人で自由に過ごしたい時、家に家族がいたりカラオケのフリータイムはお金がかかったり行く場所がわからない。
・家に居場所がない子どもの逃げ場を作るべきだと思うから。
・受験などのストレスがあるため自由に過ごせる場所を提供して、楽しく過ごしてもらうため。
・図書館は大人の利用者も多く高校生が入りづらかったり、席が少なく勉強できるスペースが少なかったりするので、自習できる場所が欲しいです。

＜その他＞を選択した人の意見の抜粋

計 88 件

意見
・あんまり具体的なものがない気がする（知名度がない）気がするから。
・学校の友達はいたい区外から通っているから。
・通学路の車の往来が激しく、歩道と車道の境界が分かりにくくなっている道もあるため、安全に歩きにくいから。
・規制が細かすぎる。
・子どもの意見はあまり聞かれないから。 アンケートではなく自分の思っていることを自由に書ける場所があったらいいと思ったから。

7. 目黒区について

(1) 子どもの意見を聴くための仕組み

問 27 どのような仕組みがあれば、自分の意見を区が聞いてくれると思いますか。

(自由記述)

区 分	件数
アンケートや意見箱	242 件
ネットや SNS での意見	203 件
気軽に話せる場所・人	26 件
回答へのインセンティブ	1 件
子どもが意見を言える仕組みや制度	61 件
大人と直接会って話す機会	48 件
学校を活用	42 件
大人の意識・行動の変容	39 件
全体	769 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
アンケートや意見箱	・定期的にアンケートや意見箱を作る。 ・いまやっているようなアンケートで回答を部類分けして、各部類から代表のように数人選びその人にまた別の意見をもっと述べるアンケートをする。
ネットや SNS での意見	・インターネットで区政への意見を書き込める仕組み。 ・区のウェブサイトで意見を出せる場を設けて、出した意見を必要に応じて匿名で公開し、その意見を他の人が同意できるようにする。上記同様区のウェブサイトで意見を交換し合える場を設ける。
気軽に話せる場所・人	・電話で話せる進路カウンセラーがいると、自分からは見えない別の角度から見た自分の様子が分かるかもしれないので、良いと思います。 ・目黒区職員の勤務状況をホワイトにして、魅力ある職場と環境の改善を行い、人員を増やす 職員が増えると仕事量の負担が軽減されるので、対応に余裕が出て相談しやすくなる。
子どもが意見を言える仕組みや制度	・子どもが集まって話し合いをしたり大人に意見を言える場を設ける。 ・選挙は 18 歳からしかできないが、18 歳未満の中高生は政治に対して思うことがそれぞれあると思う。選挙のタイミングで中高生の意見を聞く機会を設けるべきだと思う。
大人と直接会って話す機会	・区長と直接話せる機会を設けてほしい。

**目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書**

	・区議員と区民が話し合える場を設ける仕組み。
学校を活用	・区立の学校と区役所とが連携して、自分の意見がしっかりと区議会議員の方々に届くバイパスを作る。 ・学校ごとに生徒からの要望書をまとめて提出する。
大人の意識・行動の変容	・こういったアンケートが活かされているという実感がなくて、意見を取り入れてもらっているという実感がまずほしい。答えても意味がないのではないかって思って回答している。 ・どうせ聞いてくれない。 ・何やったって建前のくせに変なこと質問しないでほしい。

(2) 目黒区にあるとよい施設や制度

問 28 目黒区にあったらいいと思う施設や制度はありますか。

(自由記述)

区 分	件数
図書館・本屋・マンガが読める場所	42 件
文化施設（美術館、科学館、博物館、歴史館、城、プラネタリウムなど）	15 件
喫煙に関するルール	1 件
自然・動植物と触れ合える場所	8 件
地域交流・国際交流の場	29 件
ドッグラン	2 件
食事ができる居場所・こども食堂	10 件
プログラミングができる場所	1 件
体験・見学ができる場所	11 件
ゲーム・e スポーツを自由にできる場所	17 件
放課後に過ごせる場所	2 件
屋内の遊べる場所	5 件
球技・ボール遊びができる場所（野球、サッカー、バスケなど）	81 件
運動やアスレチックができる施設（公園、体育館、ジム、スタジオ）	69 件
宿泊施設	8 件
設備の充実したプール	9 件
児童館やプレーパークなどの自由に過ごせる場所	25 件
悩みを相談できる場所	19 件
文房具店	1 件
駄菓子屋	1 件
テーマパーク・遊園地・アミューズメントパーク	13 件
商業施設・レストラン・ファストフード店	44 件
くつろげる場所・フリースペース・安心できる場所・悩みを発散できる場所	62 件
学習スペース	118 件
楽器を演奏できる場所	20 件
その他施設	31 件
交通に関するルールや道の整備等	15 件
学校や学校教育に関する制度・ルール	22 件
不登校向け施設	9 件
その他制度	65 件
全体	836 件

(3) 将来なりたい大人のイメージ

問 29 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。あなたのまわりにいる大人を見ていて、「こんな大人になりたいな」と思うことがあれば、その理由を教えてください。

(自由記述)

区 分	件数
自立した大人	295 件
人の役に立つ大人	129 件
優しい大人	108 件
正しい大人	99 件
頼りにされる大人	79 件
気遣いのできる大人	67 件
専門的な知識を持った大人	56 件
周りを笑顔にする大人	49 件
金銭的に裕福な大人	36 件
グローバルな大人	21 件
謙虚な大人	9 件
全体	901 件

<代表的な意見の抜粋>

区分	意見
自立した大人	・相手の意見を尊重しながらも、自分の意見も言える人。 ・自立し、自らの意見を突き通し、全てのことに全力で取り組める大人。 ・日常に当たり前のようにある「仕事」を楽しめる大人になりたいです。 ・こじんまりと暮らし趣味を大事にできる大人。 ・企業に勤めて家族で楽しく生活できる、お金持ちの大人。人生が楽しそうだから。 ・きちんと働いて社会の役に立って、たまに旅行とか行けるような収入を得たい。
人の役に立つ大人	・自分が得意で好きなことで世の中の役に立てる人。 ・社会や人の役に立ち、しかも自分自身も幸福感を感じられる大人。 ・自分の芯を持ちつつ、他人と協力しながら社会を良い方向に動かす人になりたい。
優しい大人	・人に幸せを感じてもらえる大人。自分より年下の人に親身に寄り添ってあげる大人になりたい。

	・誰にでも優しく、周りに迷惑をかけないけど自分が楽しいと思えることを沢山できる大人。 ・頼りになり、誰に対しても優しさを持ち、みんなから憧れられるような、大人になりたい。周りにいる大人はこのようなことを多く持ってるから。
正しい大人	・正しいことを言える人間。人を安心させられる人間。人が幸せに暮らせるようにできる人間。 ・正しいことを言える人間。人を安心させられる人間。人が幸せに暮らせるようにできる人間。 ・人と争わない、競争しない大人
頼りにされる大人	・尊敬されていて、愛される様な大人になりたい。 ・芯があり、周りの人達から尊敬されるような大人になりたいと思う。自分の意見に自信を持って生きている人が身近におり、その人を見るととても憧れを感じるためである。 ・人々に尊敬されるような人、努力し続ける人。
気遣いのできる大人	・仕事ができる大人。人の気持ちや立場を想像できる人。 ・人の意見を尊重して、思いやりのある大人。 ・自律していて、自分のことだけではなく周りのことまで気を配れるひとになりたいです。
専門的な知識を持った大人	・将来は学校の先生になりたい。理由は人員不足や自分の得意なことを生かした仕事をしたいから。 ・人や社会のために役立てる仕事。 医師を目指しています。
周りを笑顔にする大人	・見てくれている人を自然と笑顔にさせることができて、様々な人のあこがれになれる人。 ・自分が充実していると感じ、幸せを追求できる大人。また、そのとき周りにも幸せをもたらせる人。
金銭的に裕福な大人	・どんな人にも優しくお金を稼いでいる人。 ・イケメンでやさしくて金持ちの人 困っていた時に助けてくれる人。
グローバルな大人	・いま高校で英語を学んでおり、大学でも英語を学びながら留学もしたいと考えています。学んだ英語力を活かしたいと考えているので、英語のみで会話できるようなコミュニケーション力を身につけ、他国の文化を学んだり、海外の方が安心して、日本で楽しめるような環境づくりに励みたいと考えています。 ・国際的に活躍できるような人になりたい。自分はカナダに5年以上住んでいたため、色々な文化の人との交流をしてきた。そのためにも、その経験を十分に発揮できるような大人になりたい。

資料編

1. 入学前児童の保護者調査票

**「目黒区子ども総合計画改定に係る基礎調査
(小学校入学前児童保護者用)」**

日頃から区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

区では、目黒区子ども条例に基づき、「目黒区子ども総合計画」を策定し、さまざまな子育てサービスを行っております。この計画は令和6年度までとなっており、令和7年度のスタートを目指して現在計画改定に向けての作業をすすめています。この調査は、さまざまな地域の子ども・子育て支援事業や学童保育クラブの充実等のため、区民の皆さんに現在の子育て支援サービス等の利用状況や今後の利用希望をおうかがいし、子育て支援の充実を計画的に行うためのものです。

そこで、子育ての現状や子育てサービスのニーズを把握し、目黒区子ども総合計画改定に向けた基礎資料とするため、約2万2千人の区民の方（小学校就学前のお子さんを持つ保護者のかた3,000人、小学生のお子さんを持つ保護者のかた3,000人、小学校2・4・6年生、中学校1・3年生、令和6年4月1日時点で16歳から18歳の方全員）を対象に調査を実施いたします。同一世帯に対象者の違う調査票が送られる場合がありますが、趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

質問事項が多岐にわたるうえ、複雑なものになっていることから大変お手数をおかけしますが、重ねてご協力をお願いいたします。なお、調査にあたっては、個人情報の保護に徹し、調査結果につきましては、数字で表示し、個人を特定することはありません。

令和5年10月 目黒区長 青木 英二

【ご記入に当たってのお願い】

- 本調査のため、9月1日時点の住民基本台帳から、3,000人を無作為に選ばせていただきました。この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- 現在、目黒区外に居住している方は、回答の必要はありません。
- 調査票に記載の各事業については、別冊「目黒区の子育て支援施策の紹介」をご参照ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者のみお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと、枠内に記入（入力）するものがあります。また、設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿ってお答えください。
- 回答方法について、詳しくは裏面をご参照ください。

回答期限 11月1日（水）まで

お問い合わせ先

【調査の趣旨】

目黒区子育て支援部子育て支援課 子育て支援推進係

電 話：03-5722-8723

FAX：03-5722-9328

メール：kosodate08@city.meguro.tokyo.jp

受付時間（電話）：月曜日～金曜日（平日）8時30分～17時15分

1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんがお住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 北部地区（駒場・青葉台・東山・大橋・上目黒） |
| 2 | 東部地区（中目黒・三田・目黒・下目黒） |
| 3 | 中央地区（中町・五本木・祐天寺・中央町・鷹番） |
| 4 | 南部地区（目黒本町・原町・洗足・南・碑文谷） |
| 5 | 西部地区（中根・平町・大岡山・緑が丘・自由が丘・柿の木坂・八雲・東が丘） |

問2 宛名のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください。

西暦					年			月	生まれ
----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数		人	末子の生年月	西暦					年			月	生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|------|-------------------------------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他（ <input type="text"/> ） |
|------|------|-------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者はいない |
|----------|-----------|

問5で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問5-1 配偶者の方との現在の同居の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------------|----------|
| 1 一緒に住んでいる | 2 単身赴任等で別に住んでいる | 3 別居している |
|------------|-----------------|----------|

すべての方にうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-------------------------------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他（ <input type="text"/> ） |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

2. 子育てをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育てや教育に、もっとも影響すると思われるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------|-------------------|
| 1 家庭 | 3 保育園や幼稚園、療育などの施設 |
| 2 地域 | 4 その他（ ） |

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない |

問9 子育てについて、あなたのお住まいの地域の①～⑧について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない	全く 当てはまらない
① 同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる	1	2	3	4
② 年齢の違う子が、一緒になって遊ぶことができると感じる	1	2	3	4
③ 子育てについて、気軽に相談できる人がいる	1	2	3	4
④ 子どもが参加できる行事が、たくさん行われている	1	2	3	4
⑤ 地域の人々が、子育てを温かく見守ってくれていると感じる	1	2	3	4
⑥ 地域の人に、子育て家庭についての理解があると感じる	1	2	3	4
⑦ 子どものいる家庭同士の交流が豊かであると感じる	1	2	3	4
⑧ 子ども同士の交流が、豊かであると感じる	1	2	3	4

3. 宛名のお子さんのご両親の就労状況について

※ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

問10 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）うかがいます。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

就労状況	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6 これまで就労したことがない	6	6

問10で「1」から「4」（就労している）を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 週の「就労日数」と「就労時間（残業がある場合はその時間も含む）」などを口内に数字でご記入ください。通常の時間を超えた残業がある場合は、月にどのくらいあるか時間をご記入ください。また、休日出勤がある場合は、月に何日くらいあるかをご記入ください。

	母親	父親
就労日数と就労時間	週に 日 1日あたり 時間	週に 日 1日あたり 時間
残業	1 ない 2 ある ⇒月に 時間くらい	1 ない 2 ある ⇒月に 時間くらい
休日出勤	1 ない 2 ある ⇒ 月に 日くらい	1 ない 2 ある ⇒ 月に 日くらい

問10で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 自宅から主たる勤務先までの通勤時間について当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 自宅が主たる勤務先	1	1
2 15分未満	2	2
3 15分以上30分未満	3	3
4 30分以上1時間未満	4	4
5 1時間以上2時間未満	5	5
6 2時間以上	6	6

問10で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)を選ばれた方にうかがいます。

問11 フルタイムへの転換希望等がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)を続けることを希望	3	3
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問10で「5」または「6」(現在就労していない)を選ばれた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 子育てや家事などに専念したいので就労は希望しない	1	1
2 1年より先、一番年少の子どもが特定の年齢になったところに就労したい	2	2
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

問12で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問12-1 就労を希望するときのお子さんの年齢をご記入ください。

回答欄	
母親	父親
歳	歳

問12で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問12-2 希望する就労形態に当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	1
2 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	2	2

問12-2で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問12-2-1 希望する就労日数と時間を口内に数字でご記入ください。

	回答欄	
	母親	父親
1 1週あたり	日	日
2 1日あたり	時間	時間

すべての方にうかがいます。

4. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問13-1に示した事業のことです。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 1 利用している 2 利用していない ⇒ 問13-6へ

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業の番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1 幼稚園 | 8 小規模保育施設 |
| 2 幼稚園の預かり保育 | 9 その他の認可外保育施設（3から8以外の保育施設） |
| 3 認可保育園 | 10 認定こども園 |
| 4 東京都認証保育所 | 11 ベビーシッター |
| 5 家庭福祉員（保育ママ） | 12 ファミリー・サポート・センター |
| 6 事業所内保育施設 | 13 児童発達支援事業所 |
| 7 定期利用保育 | 14 その他（ ） |

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-2 問13-1で選ばれた事業や施設について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(1)(2)それぞれについて、口内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。複数利用している場合には、通算した時間でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり		日	1日当たり		時間	(		時～		時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

(2) 希望

1週当たり		日	1日当たり		時間	(		時～		時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-3 現在、利用している問13-1で選ばれた事業や施設はどこにありますか。どちらか1つに○をつけてください。

1 目黒区内 ⇒ 問13-4へ	2 目黒区外
-----------------	--------

問13-3で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-3-1 目黒区外の施設を利用している理由として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 目黒区の認可保育園に入れなかったから |
| 2 現在利用の施設しか空いていなくて入れなかったから |
| 3 保護者の通勤などの理由から |
| 4 教育や保育、療育に対する考え方などに共感したから |
| 5 祖父母等親族の家の近くにあるから |
| 6 その他 () |

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-4 平日に定期的に利用されている主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 子どもの教育や発達のため |
| 2 子育てや教育をしている方が現在就労している |
| 3 子育てや教育をしている方が就労予定/求職中である |
| 4 子育てや教育をしている方が家族・親族などを介護している |
| 5 子育てや教育をしている方が病気や障害がある |
| 6 子育てや教育をしている方が学生である |
| 7 その他 () |

問13-1で「3 認可保育園」を選ばれた方にうかがいます。

問13-5 認可保育園の利用を開始した年月を口内に数字でご記入ください。

西暦				年			月から利用を開始した
----	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------------

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-6 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|--|--|
| 1 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの保護者が就労していないなど） | | |
| 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている | | |
| 3 近所の人や父母の友人・知人がみている | | |
| 4 利用したいが、教育・保育・療育の事業に空きがない | | |
| 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない | | |
| 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない | | |
| 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない | | |
| 8 子どもがまだ小さいため（ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 歳くらいになったら利用しようと考えている） | | |
| | | |
| 9 その他（ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 100px; height: 20px;"></td></tr></table> ） | | |
| | | |

すべての方にうかがいます。

問14 現在の利用の状況にかかわらず、宛名のお子さんのために利用したいと希望する事業について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、現在一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。詳しくは区のホームページをご覧ください。

- | | | |
|---------------|---|--|
| 1 幼稚園 | 9 週1～2回の定期的な預かり保育 | |
| 2 幼稚園の預かり保育 | 10 その他の認可外保育施設（3から8以外の保育施設） | |
| 3 認可保育園 | 11 認定こども園 | |
| 4 東京都認証保育所 | 12 ベビーシッター | |
| 5 家庭福祉員（保育ママ） | 13 ファミリー・サポート・センター | |
| 6 事業所内保育施設 | 14 児童発達支援事業所 | |
| 7 定期利用保育 | 15 その他（ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 100px; height: 20px;"></td></tr></table> ） | |
| | | |
| 8 小規模保育施設 | | |

問15 教育・保育・療育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------------|
| 1 目黒区内 | 2 目黒区外 | 3 どちらでもよい（こだわらない） |
|--------|--------|-------------------|

問14で「1 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～14にも○をつけた方にうかがいます。

問16 特に幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

すべての方にうかがいます。

5. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 下記のサービス等について知っているもののすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 目黒区子ども条例 | 15. めぐろ子育てホッ！とナビ |
| 2. めぐろ はあと ネット | 16. 区の子育て支援情報誌(めぐろ子育てホッ！とブック) |
| 3. ほ・ねっと ひろば | 17. 家事育児サポーター(産後ドゥーラ) |
| 4. 子育てふれあいひろば | 18. 家事育児支援ヘルパー |
| 5. 乳幼児クラブ | 19. 乳幼児・子どもショートステイ |
| 6. ベビー活動 | 20. ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 |
| 7. 乳幼児のつどい | 21. 出産準備教室(旧：ババママの育児教室)
はじめての子育ての集い |
| 8. ファミリー・サポート・センター | 22. 保健センターの情報・相談サービス |
| 9. 児童発達支援センターつどい事業 | 23. 家庭教育に関する講座 |
| 10. 保育園や幼稚園の園庭等の開放 | 24. めぐろ学校サポートセンター教育相談室 |
| 11. 区立保育園の遊ぼう会・講座等 | 25. 子ども食堂 |
| 12. 区立幼稚園や区立認定こども園の
子育て支援事業 | 26. 地域の子育て支援団体やサロン・サークル |
| 13. 児童館(一般利用) | 27. 知っているものは特になし |
| 14. ランランひろば・ランドセルひろば | |

問17で主要な地域の子育て支援事業である「3」「4」「8」「9」を選択した方にうかがいます。

問18 現在、利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、利用している場合は週もしくは月の利用回数を口内に数字でご記入ください。

1 利用している	③ ほ・ねっと ひろば	週 回	もしくは 月 回
	④ 子育てふれあいひろば	週 回	もしくは 月 回
	⑧ ファミリー・サポート・センター	週 回	もしくは 月 回
	⑨ 児童発達支援センターつどい事業	週 回	もしくは 月 回
2 利用していない ⇒ 問18-3へ			

問18で「1」を選択した方にうかがいます。

問18-1 問18にある地域の子育て事業について、今後利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 利用日数を増やしたい | 2 利用日数を増やしたいと思わない |
|--------------|-------------------|

問18で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問18-2 希望するおおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

③ ほ・ねっとひろば	週 回 もしくは 月 回
④ 子育てふれあいひろば	週 回 もしくは 月 回
⑧ ファミリー・サポート・センター	週 回 もしくは 月 回
⑨ 児童発達支援センター つどい事業	週 回 もしくは 月 回

問18で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問18-3 その理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 子どもが保育園や幼稚園に通っているから | 5 内容が合わないから |
| 2 利用の手続きがわからないから | 6 利用する必要がないから |
| 3 家から遠いから | 7 その他（ <input type="text"/> ） |
| 4 ひとりで参加するのは不安だから | |

すべての方にうかがいます。

6. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

- | | |
|----------------|---|
| 1 現在すでに利用している | } → 利用したい時間帯
(<input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時) |
| 2 利用する必要はない | |
| 3 ほぼ毎週利用したい | |
| 4 月に1～2回は利用したい | |

（2）日曜・祝日

- | | |
|----------------|---|
| 1 利用する必要はない | } → 利用したい時間帯
(<input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時) |
| 2 ほぼ毎週利用したい | |
| 3 月に1～2回は利用したい | |

問19(1)で「4」もしくは(2)で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問19-1 毎週ではなく、月に1~2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 月に数回仕事が入るため | 5 兄弟姉妹の世話をするため |
| 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | 6 リフレッシュするため |
| 3 通院のため | 7 その他 |
| 4 親族の介護や手伝いが必要なため | () |

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、現在一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|--------------------|---|
| 1 利用する必要はない | 利用したい時間帯 |
| 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい |  (<input type="text"/> <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時) |
| 3 休みの期間中、週に数日利用したい | |

問20で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問20-1 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 週に数回仕事が入るため | 5 親等親族の介護や手伝いが必要なため |
| 2 求職活動等のため | 6 兄弟姉妹の世話をするため |
| 3 通院のため | 7 リフレッシュするため |
| 4 買い物等の用事をまとめて済ませるため | 8 その他 () |

7. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えになった方(問13で「1」に○をつけた方)にうかがいます。

問21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|---------------|
| 1 あった | 2 なかった ⇒ 問22へ |
|-------|---------------|

問21で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問21-1 その際どのように対応しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間における、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1	父親・母親とも休んだ	→			日
2	父親のみが休んだ	→			日
3	母親のみが休んだ	→			日
4	就労していない父親または母親が子どもをみた	→			日
5	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	→			日
6	病児・病後児の保育を利用した	→			日
7	ベビーシッターを利用した	→			日
8	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	→			日
9	その他 ()	→			日

問21-1で「1」から「3」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問21-1-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。どちらか1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 病児保育施設			日
	病後児保育施設			日
2	利用したいとは思わない			

問21-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問21-1-1-1 病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1	幼稚園や保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3	区民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター、地域のNPO等)
4	ベビーシッター事業
5	その他 ()

問21-1-1で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問21-1-1-2 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2 地域の事業の質に不安がある
- 3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 利用の方法がわからない
- 8 その他（ ）

問21-1で「5」から「9」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問21-1-2 その理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2 自営業なので休めない
- 3 休暇日数が足りないので休めない
- 4 仕事を調整してまで休むほどではなかった
- 5 その他（ ）

すべての方にうかがいます。

8. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のために不定期で利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も口内に数字でご記入ください。

1 一時保育				日
2 幼稚園の預かり保育				日
3 ファミリー・サポート・センター				日
4 乳幼児・子どもショートステイ				日
5 ベビーシッター				日
6 その他（ ）				日
7 利用していない				

問22で「7」を選ばれた方にうかがいます。

問22-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 特に利用する必要がない
- 2 利用したい事業が地域にない
- 3 地域の事業の質に不安がある
- 4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
- 5 利用料がかかる・高い
- 6 利用料がわからない
- 7 自分が事業の対象者になるのかわからない
- 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
- 9 その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等のために、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を口内に数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、現在一定の利用料がかかります。

1 利用したい		計				日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的						日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等						日
ウ 不特定の就労						日
エ その他（ ）						日
2 利用する必要はない ⇒ 問24へ						

問23で「1 利用したい」の「ア」から「エ」を選ばれた方にうかがいます。

問23-1 問23のためにお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 幼稚園や保育園などで子どもを保育する事業
- 2 保育ママなど小規模に子どもを保育する事業
- 3 区民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター、地域のNPO等）
- 4 その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時、お子さんを泊りがけで預けることができる子どもショートステイを利用したいと思いましたか。利用したい日数について、保護者の理由別の日数も含めて□内に数字でご記入ください。

1 利用したい	ア 冠婚葬祭			泊
	イ 保護者や家族の病気			泊
	ウ 保護者や家族の育児疲れ・不安			泊
	エ その他（ ）			泊
2 利用する必要はない				

問24で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問24-1 利用する必要がなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 （同居人を含む）親族・知人にみてもらった
- 2 子どもショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した
- 3 仕方なく、子どもを保護者の用事に同行させた
- 4 子どもだけで留守番をさせた
- 5 子どもを泊りがけでみて貰わなければいけないことが発生しなかった

すべての方にうかがいます。

9. お子さんの普段の過ごし方について

問25 宛名のお子さんは平日どこで過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 自宅 | 7 ほ・ねっと ひろば |
| 2 親戚・親類の家 | 8 子育てふれあいひろば |
| 3 宛名のお子さんの友達の家 | 9 塾や習い事 |
| 4 児童館 | 10 目黒区以外の町 |
| 5 公園 | 11 その他（ ） |
| 6 図書館 | 12 特になし |

問26 宛名のお子さんは平日何をして過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 絵本を読む | 7 塾や習い事の宿題や準備 |
| 2 テレビを見る | 8 勉強 |
| 3 テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊ぶ | 9 スポーツや運動 |
| 4 パソコン・タブレット・スマートフォンで遊ぶ | 10 音楽や造形美術（工作やお絵描き） |
| 5 室内で自由に遊ぶ | 11 その他（ ） |
| 6 屋外で自由に遊ぶ | |

問27 宛名のお子さんは休日どこで過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 自宅 | 7 ほ・ねっと ひろば |
| 2 親戚・親類の家 | 8 子育てふれあいひろば |
| 3 宛名のお子さんの友達の家 | 9 塾や習い事 |
| 4 児童館 | 10 目黒区以外の町 |
| 5 公園 | 11 その他（ ） |
| 6 図書館 | 12 特になし |

問28 宛名のお子さんは休日何をして過ごすことが好きですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 絵本を読む | 7 塾や習い事の宿題や準備 |
| 2 テレビを見る | 8 勉強 |
| 3 テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊ぶ | 9 スポーツや運動 |
| 4 パソコン・タブレット・スマートフォンで遊ぶ | 10 音楽や造形美術（工作やお絵描き） |
| 5 室内で自由に遊ぶ | 11 その他（ ） |
| 6 屋外で自由に遊ぶ | |

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問29 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」、「ランランひろば・ランドセルひろば」、「ランドセル来館」には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1 自宅	週 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4 児童館	週 日くらい
5 子ども教室（放課後フリークラブ事業）	週 日くらい
6 学童保育クラブ	週 日くらい → 下校時から 時まで
7 ランランひろば ランドセルひろば	週 日くらい → 下校時から 時まで
8 ランドセル来館	週 日くらい → 下校時から 時まで
9 ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
10 放課後等デイサービス	週 日くらい
11 図書館	週 日くらい
12 公園	週 日くらい
13 その他（住区センター、社会教育館、体育館などの公共施設）	週 日くらい

問30 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」、「ランランひろば・ランドセルひろば」、「ランドセル来館」には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※宛名のお子さんにとっては、だいふ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	週		日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい
4 児童館	週		日くらい
5 子ども教室（放課後フリークラブ事業）	週		日くらい
6 学童保育クラブ	週		日くらい → 下校時から 時まで
7 ランランひろば ランドセルひろば	週		日くらい → 下校時から 時まで
8 ランドセル来館	週		日くらい → 下校時から 時まで
9 ファミリー・サポート・センター	週		日くらい
10 放課後等デイサービス	週		日くらい
11 図書館	週		日くらい
12 公園	週		日くらい
13 その他（住区センター、社会教育館、体育館などの公共施設）	週		日くらい

問 29 または問 30 で「6」を選ばれた方にうかがいます。

問30-1 宛名のお子さんが小学生になった時、どのように働き方を変えたいですか。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 時短勤務からフルタイムに戻したい | 3 変えるつもりはない |
| 2 専業主婦（夫）から就労したい | |

問 29 または問 30 で「6」を選ばれた方にうかがいます。

問 30-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 土曜日

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 3 利用する必要はない |
| 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい | |

(2) 日曜・祝日

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 3 利用する必要はない |
| 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい | |

問 29 または問 30 で「6」を選ばれた方にうかがいます。

問31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1 低学年(1～3年生)の間は利用したい | 3 利用する必要はない |
| 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい | |

すべての方にうかがいます。

11. 育児休業や短時間勤務制度など子育てと職場の両立支援制度について

問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 働いていなかった	1	1
2 取得した(取得中である)	2	2
3 取得していない	3	3

問32で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問32-1 育児休業を取得していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
2 仕事が忙しかった	2	2
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
4 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
7 保育園などに預けることができた	7	7
8 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
10 子育てや家事に専念するため退職した	10	10
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	11
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
13 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
14 出産前に退職した	14	14
15 その他	15	15

問32で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
2 現在も育児休業中である	2	2
3 育児休業中に離職した	3	3

問32-2で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1」を選択してください。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」としてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1	1
2 それ以外だった	2	2

問32-2で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-2 育児休業から職場復帰したのは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときですか？
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」として何歳何ヶ月のときまで
取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

母親				父親					
実際	□	歳	□□	ヶ月	実際	□	歳	□□	ヶ月
希望	□	歳	□□	ヶ月	希望	□	歳	□□	ヶ月

問32-2-2で「希望」より早く復帰した方にうかがいます。

問32-2-2-1 希望の時期に職場復帰しなかった理由について、次の当てはまる番号すべてに
○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 希望する保育園に入るため	1	1
2 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3	3
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5 その他	5	5

問32-2で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。どちらか1つに
○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 短時間勤務制度を利用した	1	1
2 短時間勤務制度を利用しなかった	2	2

問32-2-3で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-3-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由について、当てはまる番号すべてに○を
つけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
2 仕事が忙しかった	2	2
3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3	3
4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4	4
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった	6	6
7 職場に短時間勤務制度がなかった	7	7
8 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	8
9 その他	9	9

問32-2で「2」を選ばれた方で、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。

問32-2-4 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
2 1歳になる前に復帰したい	2	2
3 わからない	3	3

問32-2-4で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-4-1 宛名のお子さんが1歳になる前に復帰したい理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 早く復職したい/働きたい	1	1
2 希望している保育園に確実に入園させたい	2	2
3 経済的な理由	3	3
4 その他	4	4

問32-2で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問32-2-5 現時点で宛名のお子さんが何歳何ヶ月になるまで育児休業を取得する予定ですか。□内に数字でご記入ください。

母親	父親
歳 ヶ月	歳 ヶ月

すべての方にうかがいます。

問33 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最大2歳）になるまで育児休業給付金が支給される制度と、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる制度があります。この2つの制度をご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 育児休業給付金制度、保険料免除制度のいずれも知っていた

2 育児休業給付金制度のみ知っていた

3 保険料免除制度のみ知っていた

4 育児休業給付制度、保険料免除制度のいずれも知らなかった

問34 改正された育児休業制度のうち、子育て家庭への支援になると思う育児休業の取り方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもの出生後8週間以内に、4週間の「産後パパ育休」を育児休業とは別途取得可能

2 育児休業制度を分割して2回まで取得可能（原則、子が1歳になるまでの取得）

3 特に子育て支援になると思わない

12. 子育てについて

問35 あなたは子育てが楽しいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 楽しいと感じることが多い | 3 どちらともいえない |
| 2 楽しいと感じることが少ない | 4 その他（ ） |

問36 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|------|---------------|
| 1 ある | 2 特にない ⇒ 問37へ |
|------|---------------|

問36で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問36-1 宛名のお子さんを育てている間に、どのようなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりすることがありますか。①～⑬の事柄について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

	とてもある	ややある	あまりない	全くない
① 子どもの生活習慣のこと	1	2	3	4
② 子どもの発育・健康のこと	1	2	3	4
③ 子どもの友人関係のこと	1	2	3	4
④ 住居が子育てに十分な広さがないこと	1	2	3	4
⑤ 近所に子どもを安心して遊ばせる場所がないこと	1	2	3	4
⑥ 自分自身の体力や健康などに自信がないこと	1	2	3	4
⑦ 家庭内で子育て・家事の協力が得られないこと	1	2	3	4
⑧ 子育てをしている親同士の仲間が身近にいないまたは仲間に入ることができないこと	1	2	3	4
⑨ 子育てに関する情報が不足していること	1	2	3	4
⑩ 子育てに関して自信が持てないこと	1	2	3	4
⑪ 子育て中に自分のやりたいことができなくなる	1	2	3	4
⑫ 親など親族の介護のこと	1	2	3	4
⑬ 子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人や場所がないこと	1	2	3	4

問36で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問36-2 悩みなどを解決するために、どのような支援・対策があるとよいですか。当てはまる番号の上位3つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 子育てに関する相談体制の充実 | 7 各種手当などの経済的支援の充実 |
| 2 地域社会による子育て支援の充実 | 8 生活困窮世帯への支援策の充実 |
| 3 幼児教育・教育支援の充実 | 9 多子世帯への支援策の充実 |
| 4 保育サービスの充実 | 10 ひとり親世帯への支援策の充実 |
| 5 出産・子育てに関する医療体制の充実 | 11 その他（ ） |
| 6 子どもにとって安心安全なまちづくり | |

問36で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問36-3 悩みなどを解決するために、どの相談窓口等に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 10 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど |
| 2 祖父母等の親族 | 11 NPOなどの子育て支援団体・子育てサークル |
| 3 友人や知人 | 12 区役所の子育て相談担当窓口 |
| 4 近所の人 | 13 かかりつけの医師 |
| 5 児童館の職員 | 14 民生委員・児童委員・主任児童委員 |
| 6 ほ・ねっと ひろば | 15 発達障害支援拠点ぽると |
| 7 保健所・保健センター | 16 児童発達支援事業所の職員・児童発達支援センター |
| 8 学童保育クラブの職員 | 17 相談はしない |
| 9 子ども家庭支援センター | 18 相談できない・相談先がわからない |

すべての方にうかがいます。

問37 あなたは宛名のお子さんのことについて決めるときに、子ども自身の意見や考えをどれくらい尊重していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 常に意見を尊重している | 3 保護者の考えのみの時が多い |
| 2 内容によっては保護者の考えのみの時がある | |

問38 あなたは子育てでストレスを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 ストレスを感じることがある | 3 どちらともいえない |
| 2 ストレスを感じることはない | 4 その他 () |

問38で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問38-1 どのような方法で解消していますか。具体的にご記入ください。

すべての方にうかがいます。

問39 宛名のお子さんの発育について気になることがありますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|------|-------------|
| 1 ある | 2 ない ⇒ 問40へ |
|------|-------------|

問39で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問39-1 お子さんの発育について、あなたが、安心して相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|------|--------------|
| 1 ある | 2 ない | 3 あるかないか知らない |
|------|------|--------------|

問39-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問39-1-1 それはどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 児童発達支援センター・すくすくのびのび園 | 7 幼稚園 |
| 2 心身障害者センターあいアイ館 | 8 認定こども園 |
| 3 保健センター | 9 子ども家庭支援センター |
| 4 発達障害支援拠点ぽると | 10 児童相談所 |
| 5 かかりつけ医・専門医療機関 | 11 めぐろ学校サポートセンター教育相談室 |
| 6 保育園 | 12 その他 () |

問39-1で「2」または「3」を選ばれた方にうかがいます。

問39-1-2 どのような窓口があるとよいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 総合的な相談窓口
- 2 専門性の高い相談窓口
- 3 (保育園や幼稚園など) 身近な施設での相談窓口
- 4 電話や電子メールによる相談窓口
- 5 同じ悩みや障害がある人や、その家族による相談窓口
- 6 その他 ()

すべての方にうかがいます。

問40 宛名のお子さんは発達の遅れや障害がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

問40で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問40-1 発達の遅れや障害があるお子さんを育てている保護者への子育て支援として、充実してほしいと思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 特別支援教育や、学校でのインクルージョン教育といった教育施策の充実
- 2 子どもの送迎支援のような福祉施策の充実
- 3 放課後等デイサービスといった保護者・介護者の負担軽減策の充実
- 4 地域での親のネットワークや交流支援といった地域による子育ての充実
- 5 その他 ()

すべての方にうかがいます。

問41 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3 聞いたことはない

問42 家族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

問42で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問42-1 ヤングケアラーと思われる子どもの年代をお答えください(複数名いる場合は、ご自身に最も関係性が近い方についてお答えください)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 小学校入学前
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 学校には所属していない
- 6 その他 ()

問42で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 42-2 ヤングケアラーと思われる子どもからのお世話を必要としている方を、子どもから見た続柄でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------|----------|
| 1 母親 | 4 祖父 |
| 2 父親 | 5 兄弟 |
| 3 祖母 | 6 その他（ ） |

問42で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 42-3 お世話の内容を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------|
| 1 家事 | 5 見守り |
| 2 施設や保育所等への送迎 | 6 通訳 |
| 3 身体的な介護 | 7 その他（ ） |
| 4 外出・通院の付き添い | |

すべての方にうかがいます。

問43 あなたは、区の子育てに関する情報やお知らせをどのように入手していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1 めぐろ区報 |
| 2 目黒区ホームページ |
| 3 めぐろ子育てホッ！とナビ |
| 4 チラシやポスター |
| 5 めぐろ子育てホッ！とブック（冊子） |
| 6 その他（ ） |

問43で「2」「3」と回答した方にお尋ねします。

問43-1 ホームページやめぐろ子育てホッ！とナビで情報を検索する時に使用しているものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 パソコン | 4 タブレット端末 |
| 2 スマートフォン | 5 その他（ ） |
| 3 スマートフォン以外の携帯電話 | |

すべての方にうかがいます。

問44 子育てする上で、知りたい情報は何か。当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 幼稚園や保育園など、子どもの教育・保育事業や施設 |
| 2 子育て支援の事業やサービス |
| 3 子育てや子どもの発育、健康などについて相談できる機関 |
| 4 子どもや病気、けがをしたときや休日等に受診できる医療機関 |
| 5 児童館や子育てふれあいひろばなどの遊び場や公園 |
| 6 子どもと一緒に参加できるイベント |
| 7 子育てをする仲間づくりのサークル |
| 8 子どもの習い事や塾 |
| 9 その他（ ） |

問 45 しつけと虐待の違いについてお聞きします。次の項目のうち、あなたが虐待だと思う番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもに勉強をするように言ってもやらないと、いつもたたく
- 2 子どもが保護者との約束を破ると、その都度、大きな声をあげる
- 3 子どもを自立させるために、日常的に子どもの衣食の世話をしない
- 4 子どもが保護者の気に入らないことをするので、いつも無視したり、子どもの心を傷つける言葉を繰り返し言う
- 5 子どもが甘えてくると、日常的に拒否的な態度を示す
- 6 子どもの目の前で夫婦喧嘩をする

問46 あなたは、すべての人に、子どもを虐待しているのを発見したときは「通告の義務」があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らなかった

問 47 児童虐待を未然に防ぐために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 児童相談所の保育園・学校・警察との連携強化
- 2 地域の見守りなど子育て環境の充実に対する支援
- 3 相談窓口等の周知・啓発の推進
- 4 利用者支援事業や一時預かり事業といった在宅支援サービスの充実
- 5 里親養育支援体制の構築
- 6 その他（ ）

問 48 目黒区は、国の動向を踏まえて、子どもの権利を尊重し、子育て子育てが安全・安心にできるまちを目指して、令和4年12月に「総合的な子ども家庭支援体制の構築と環境整備」の考え方をまとめました。その第一段階として、令和7年度中に妊娠期から思春期・青年期にわたる切れ目のない相談支援の拠点として、鷹番保育園跡地に「こども家庭センター」が設立されることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らなかった

問 49 令和13年度を目途に第三ひもんや保育園跡地と碑文谷保健センター跡地に総合相談支援拠点を整備する計画があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 知らなかった

問50 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(スペースが不足する場合は、別紙にご記入ください)

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

2. 小学生児童の保護者調査票

「目黒区子ども総合計画改定に係る基礎調査 (小学生保護者用)」

日頃から区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

区では、目黒区子ども条例に基づき、「目黒区子ども総合計画」を策定し、さまざまな子育てサービスを行っております。この計画は令和6年度までとなっており、令和7年度のスタートを目指して現在計画改定に向けての作業をすすめています。この調査は、さまざまな地域の子ども・子育て支援事業や学童保育クラブの充実等のため、区民の皆さんに現在の子育て支援サービス等の利用状況や今後の利用希望をおうかがいし、子育て支援の充実を計画的に行うためのものです。

そこで、子育ての現状や子育てサービスのニーズを把握し、目黒区子ども総合計画改定に向けた基礎資料とするため、約2万2千人の区民の方（小学校就学前のお子さんを持つ保護者のかた3,000人、小学生のお子さんを持つ保護者のかた3,000人、小学校2・4・6年生、中学校1・3年生、令和6年4月1日時点で16歳から18歳の方全員）を対象に調査を実施いたします。同一世帯に対象者の違う調査票が送られる場合がありますが、趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

質問事項が多岐にわたるうえ、複雑なものになっていることから大変お手数をおかけしますが、重ねてご協力をお願いいたします。なお、調査にあたっては、個人情報の保護に徹し、調査結果につきましては、数字で表示し、個人を特定することはありません。

令和5年10月 目黒区長 青木 英二

【ご記入に当たってのお願い】

- 本調査のため、9月1日時点の住民基本台帳から、3,000人を無作為に選ばせていただきました。この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- 現在、目黒区外に居住している方は、回答の必要はありません。
- 調査票に記載の各事業については、別冊「目黒区の子育て支援施策の紹介」をご参照ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者のみお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと、枠内に記入（入力）するものがあります。また、設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿ってお答えください。
- 回答方法について、詳しくは裏面をご参照ください。

回答期限 11月1日（水）まで

お問い合わせ先

【調査の趣旨】

目黒区子育て支援部子育て支援課 子育て支援推進係

電話：03-5722-8723

FAX：03-5722-9328

メール：kosodate08@city.meguro.tokyo.jp

受付時間（電話）：月曜日～金曜日（平日）8時30分～17時15分

1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんがお住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 北部地区（駒場・青葉台・東山・大橋・上目黒）
- 2 東部地区（中目黒・三田・目黒・下目黒）
- 3 中央地区（中町・五本木・祐天寺・中央町・鷹番）
- 4 南部地区（目黒本町・原町・洗足・南・碑文谷）
- 5 西部地区（中根・平町・大岡山・緑が丘・自由が丘・柿の木坂・八雲・東が丘）

問2 宛名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。

西暦		年		月		生まれ
----	---	---	---	---	---	-----

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数		人	末子の生年月	西暦		年		月		生まれ
--------	---	---	--------	----	---	---	---	---	---	-----

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他（ ）
------	------	--

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 配偶者がいる	2 配偶者はいない
----------	-----------

問5で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問5-1 配偶者の方との現在の同居の有無について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 一緒に住んでいる	2 単身赴任等で別に住んでいる	3 別居している
------------	-----------------	----------

すべての方にうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 父母ともに	3 主に父親	5 その他（ ）
2 主に母親	4 主に祖父母	

2. 子育てをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育てや教育に、もっとも影響すると思われるもの1つに○をつけてください。

1 家庭	2 地域	3 学校	4 その他 ()
------	------	------	-----------

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない |

問9 子育てについて、あなたのお住まいの地域の①～⑧について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

	当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない	全く 当てはまらない
① 同じくらいの年齢の子どもを育てている友達がいる	1	2	3	4
② 年齢の違う子が、一緒になって遊ぶことができると感じる	1	2	3	4
③ 子育てについて、気軽に相談できる人がいる	1	2	3	4
④ 子どもが参加できる行事が、たくさん行われている	1	2	3	4
⑤ 地域の人々が、子育てを温かく見守ってくれていると感じる	1	2	3	4
⑥ 地域の人に、子育て家庭についての理解があると感じる	1	2	3	4
⑦ 子どものいる家庭同士の交流が豊かであると感じる	1	2	3	4
⑧ 子ども同士の交流が、豊かであると感じる	1	2	3	4

3. 宛名のお子さんのご両親の就労状況について

※ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

問10 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）うかがいます。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

就労状況	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6 これまで就労したことがない	6	6

問10で「1」から「4」（就労している）を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 週の「就労日数」と「就労時間（残業がある場合はその時間も含む）」などを口内に数字でご記入ください。通常の時間を超えた残業がある場合は、月にどのくらいあるか時間をご記入ください。また、休日出勤がある場合は、月に何日くらいあるかをご記入ください。

	母親	父親
就労日数 と 就労時間	週に 日 1日あたり 時間	週に 日 1日あたり 時間
残業	1 ない 2 ある ⇒ 月に 時間くらい	1 ない 2 ある ⇒ 月に 時間くらい
休日出勤	1 ない 2 ある ⇒ 月に 日くらい	1 ない 2 ある ⇒ 月に 日くらい

問10で「1」から「4」(就労している)を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 自宅から主たる勤務先までの通勤時間について当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 自宅が主たる勤務先	1	1
2 15分未満	2	2
3 15分以上30分未満	3	3
4 30分以上1時間未満	4	4
5 1時間以上2時間未満	5	5
6 2時間以上	6	6

問10で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)を選ばれた方にうかがいます。

問11 フルタイムへの転換希望等がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)を続けることを希望	3	3
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問10で「5」または「6」(現在就労していない)を選ばれた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 子育てや家事などに専念したいので就労は希望しない	1	1
2 1年より先、一番年少の子どもが特定の年齢になったときに就労したい	2	2
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

問12で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問12-1 就労を希望するときのお子さんの年齢をご記入ください。

回答欄	
母親	父親
歳	歳

問12-2 希望する就労形態に当てはまる番号1つに○をつけてください。

	回答欄	
	母親	父親
1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	1
2 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	2	2

問12-2-1 希望する就労日数と時間を口内に数字でご記入ください。

		回答欄	
		母親	父親
1	1週あたり	日	日
2	1日あたり	時間	時間

4. 公設学童保育クラブの利用について

問13 宛名のお子さんについて、現在、公設学童保育クラブを利用していますか。どちらか1つに○をつけてください。

1 利用している 2 利用していない ⇒ 問13-4へ

問13-1 宛名のお子さんについて、公設学童保育クラブの利用日数はどれくらいですか。□内に数字でご記入ください。また、土曜日の利用について、どちらか1つに○をつけてください。

週 日くらい → うち土曜日の利用： 1 ある 2 ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1 現在就労している	4 病気や障害がある
2 就労予定がある／求職中である	5 学生である
3 家族・親族などを介護しなければならない	6 その他()

問13で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-3 宛名のお子さまの公設学童保育クラブの利用について、何年生までの利用を予定していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|------------|
| 1 1年生まで | 4 4年生まで |
| 2 2年生まで | 5 5年生まで |
| 3 3年生まで | 6 小学校の卒業まで |

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-4 利用していない理由についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- | |
|---------------------------------------|
| 1 現在就労していないから |
| 2 就労しているが、公設学童保育クラブを知らなかったから |
| 3 就労しているが、近くに公設学童保育クラブがないから |
| 4 就労しているが、公設学童保育クラブに空きがないから |
| 5 就労しているが、公設学童保育クラブの開所時間が短いから |
| 6 就労しているが、利用料がかかるから |
| 7 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから |
| 8 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから |
| 9 就労しているが、他の施設に預けているから |
| 10 就労しているが、児童館等の他の居場所があるから |
| 11 その他（ ） |

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-5 宛名のお子さんについて、今後、公設学童保育クラブを利用したいとお考えですか。どちらか1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は利用したい日数はどれくらいですか。口内に数字でご記入ください。土・日の利用希望についてもお答えください。

- | | |
|------------|--|
| 1 利用したい | → 週 <input type="text"/> 日くらい
→ うち土・日の利用希望： 1 ある / 2 ない |
| 2 今後も利用しない | |

問13-5で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問13-5-1 今後公設学童保育クラブを利用したい理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 現在就労している | 5 家族・親族などを介護しなければならない |
| 2 就労予定がある／求職中である | 6 病気や障害がある |
| 3 そのうち就労したいと考えている | 7 学生である／就学したい |
| 4 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい | 8 その他（ ） |

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-6 目黒区の公設学童保育クラブには「学童保育クラブ短期入所」という制度がありますが
 知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

※学童保育クラブ短期入所は、学校の夏休み等の長期休業日や、保護者の出産や入院等の理由により、通年ではなく短期の利用ができる制度で、入所要件を満たし、2週間以上の利用が条件となります。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問13で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問13-7 宛名のお子さんについて、今後、公設学童保育クラブ短期入所を利用したいとお考えですか。どちらか1つに○をつけてください。また、利用希望がある方は利用したい日数はどれくらいですか。□内に数字でご記入ください。土・日の利用希望についてもお答えください。

1 利用したい	→ 週 日くらい
2 今後利用しない	
→ うち土・日の利用希望： 1 ある 2 ない	

すべての方にうかがいます。

5. お子さんの放課後の過ごし方について

問14 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、各時間ごとに当てはまるものを点線枠内からそれぞれ1つずつ選んで下の表に番号をご記入ください。

16時以前	16時から17時	17時から18時	18時から20時	20時以降

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 学校にいる（ランランひろば・ランドセルひろば・子ども教室など） | 10 友達の家にいる |
| 2 公設学童保育クラブで過ごす | 11 公園などで友達と遊ぶ |
| 3 民間学童保育クラブで過ごす | 12 児童館にいる |
| 4 放課後等デイサービスで過ごす | 13 図書館などの公共施設にいる |
| 5 保護者や祖父母等の家族・親族と過ごす | 14 クラブ活動をする |
| 6 ベビーシッターなどと過ごす | 15 学習塾や習い事に行く |
| 7 ファミリー・サポート・センター事業を利用する | 16 コンビニエンスストアやスーパーマーケットに行く |
| 8 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす | 17 ゲームセンターで遊ぶ |
| 9 家でひとりで過ごす | 18 その他（ ） |

問15 区では放課後対策として次の事業を実施しています。これらの事業についてうかがいます。（1）～（3）それぞれの項目について当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）ランドセル来館（下校後自宅に帰宅しないで、ランドセルを背負ったまま児童館に来館できる事業）

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 聞いたことがない | 4 子どもに利用させたいと思わない |
| 2 子どもが利用したことがある | 5 わからない |
| 3 子どもが利用したことはないが、今後、子どもに利用させたい | |

(2) ランランひろば・ランドセルひろば

※ランドセルを学校に置いたまま学校で放課後を過ごせる事業

- 1 聞いたことがない
2 子どもが利用したことがある
3 子どもが利用したことはないが、今後、
子どもに利用させたい
4 子どもに利用させたいと思わない
5 わからない

(3) 子ども教室

※地域の人材を活用し、放課後や学校休業日などに、子どもたちに地域との交流、文化芸術活動、スポーツ活動の機会を提供する事業

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 聞いたことがない | 4 子どもに利用させたいと思わない |
| 2 子どもが利用したことがある | 5 子どもの学校区域でやっていない |
| 3 子どもが利用したことはないが、今後、
子どもに利用させたい | 6 子どもの学校区域での実施の有無は
わからない |

同16 宛名のお子さんについてうかがいます。放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 「ランドセル来館」の時間の延長
- 2 「子ども教室」の日数増と充実
- 3 児童館の利用時間の延長・事業の充実
- 4 ランランひろば・ランドセルひろばを利用したい
- 5 放課後等デイサービスの充実
- 6 その他（
- 7 現状のままでよい

6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 1 あった 2 なかった ⇒ 問18へ

問17で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問17-1 その際、どのように対応しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間におけるそれぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の場合も1日としてカウントしてください)

1 父親・母親とも休んだ	→			日
2 父親のみが休んだ	→			日
3 母親のみが休んだ	→			日
4 就労していない父親または母親が子どもをみた	→			日
5 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	→			日
6 病児・病後児の保育を利用した	→			日
7 ベビーシッターを利用した	→			日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	→			日
9 その他 ()	→			日

問17-1で「1」から「3」のいずれかを選ばれた方にうかがいます。

問17-1-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒	病児保育施設			日
	病後児保育施設			日
2 利用したいとは思わない				

問17-1-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問17-1-1-1 病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター、地域のNPO等)
4 その他 ()

問17-1-1-2 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2 地域の事業の質に不安がある
- 3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよいくない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 利用の方法がわからない
- 8 その他（

問17-1-2 その理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 子どもの看護を理由に休みがとれない | 4 仕事を調整してまで休むほどではなかった |
| 2 自営業なので休めない | 5 その他 |
| 3 休暇日数が足りないので休めない | () |

7. 宛名のお子さんの不定期な一時預かり等の利用について

1	ファミリー・サポート・センター				日
2	子どもショートステイ				日
3	ベビーシッター				日
4	その他 ()				日
5	利用していない				

問18-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 特に利用する必要がない
- 2 利用したい事業が地域にない
- 3 地域の事業の質に不安がある
- 4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
- 5 利用料がかかる・高い
- 6 利用料がわからない
- 7 自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない
- 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
- 9 その他（

同19 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等のために、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を□内に数字でご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 利用したい	計			日
ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的				日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等				日
ウ 不定期の就労				日
エ その他（ ）				日
2 利用する必要はない ⇒ 問20へ				

問19-1 問19のためにお子さんを預ける場合、どのような事業を利用したいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業で、区からの委託で目黒区社会福祉協議会が実施）
- 2 子どもショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）
- 3 ベビーシッター
- 4 その他（

すべての方にうかがいます。

問20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時、お子さんを泊りがけで預けることができる子どもショートステイを利用したいと思いましたか。利用したい日数について、保護者の理由別の日数も含めて口内に数字でご記入ください。

1 利用したい	ア 冠婚葬祭			泊
	イ 保護者や家族の病気			泊
	ウ 保護者や家族の育児疲れ・不安			泊
	エ その他（ ）			泊
2 利用する必要はない				

問20で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問20-1 利用する必要がなかった理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 （同居人を含む）親族・知人にみてもらった
- 2 子どもショートステイ以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した
- 3 仕方なく、子どもを保護者の用事に同行させた
- 4 子どもだけで留守番をさせた
- 5 子どもを泊りがけでみて貰わなければいけないことが発生しなかった

すべての方にうかがいます。

8. 地域の子育て支援事業について

問21 下記のサービス等について知っているもののすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| 1. 目黒区子ども条例 | 15. めぐろ子育てホッ！とナビ |
| 2. めぐろ はあと ネット | 16. 区の子育て支援情報誌（めぐろ子育てホッ！とブック） |
| 3. ほ・ねっと ひろば | 17. 家事育児サポーター（産後ドゥーラ） |
| 4. 子育てふれあいひろば | 18. 家事育児支援ヘルパー |
| 5. 乳幼児クラブ | 19. 乳幼児・子どもショートステイ |
| 6. ベビー活動 | 20. ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 |
| 7. 乳幼児のつどい | 21. 出産準備教室（旧：ババママの育児教室）はじめての子育ての集い |
| 8. ファミリー・サポート・センター | 22. 保健センターの情報・相談サービス |
| 9. 児童発達支援センターつどい事業 | 23. 家庭教育に関する講座 |
| 10. 保育園や幼稚園の園庭等の開放 | 24. めぐろ学校サポートセンター教育相談室 |
| 11. 区立保育園の遊ぼう会・講座等 | 25. 子ども食堂 |
| 12. 区立幼稚園や区立認定こども園の子育て支援事業 | 26. 地域の子育て支援団体やサロン・サークル |
| 13. 児童館（一般利用） | 27. 知っているものは特になし |
| 14. ランランひろば・ランドセルひろば | |

問21-1 上記のサービス等についての意見・要望があれば記入してください

9. 子育てについて

問22 あなたは子育てが楽しいと感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 楽しいと感じることが多い | 3 どちらともいえない |
| 2 楽しいと感じることが少ない | 4 その他（ ） |

問23 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはありますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|------|---------------|
| 1 ある | 2 特になし ⇒ 問24へ |
|------|---------------|

問23で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問23-1 宛名のお子さんを育てている間に、どのようなことに悩んだり、不安に感じたり、困ったりすることがありますか。①～⑬の事柄について、それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。

	とてもある	ややある	あまりない	全くない
① 子どもの生活習慣のこと	1	2	3	4
② 子どもの発育・健康のこと	1	2	3	4
③ 子どもの友人関係のこと	1	2	3	4
④ 住居が子育てに十分な広さがないこと	1	2	3	4
⑤ 近所に子どもを安心して遊ばせる場所がないこと	1	2	3	4
⑥ 自分自身の体力や健康などに自信がないこと	1	2	3	4
⑦ 家庭内で子育て・家事の協力が得られないこと	1	2	3	4
⑧ 子育てをしている親同士の仲間が身近にいないまたは仲間に入ることができないこと	1	2	3	4
⑨ 子育てに関する情報が不足していること	1	2	3	4
⑩ 子育てに関して自信が持てないこと	1	2	3	4
⑪ 子育て中に自分のやりたいことができなくなること	1	2	3	4
⑫ 親など親族の介護のこと	1	2	3	4
⑬ 子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人や場所がないこと	1	2	3	4

問23で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問23-2 悩みなどを解決するために、どのような支援・対策があるとよいですか。当てはまるもの上位3つに○をつけてください。

1 子育てに関する相談体制の充実	7 各種手当などの経済的支援の充実
2 地域社会による子育て支援の充実	8 生活困窮世帯への支援策の充実
3 学校教育・教育支援の充実	9 多子世帯への支援策の充実
4 保育サービスの充実	10 ひとり親世帯への支援策の充実
5 出産・子育てに関する医療体制の充実	11 その他（ ）
6 子どもにとって安心安全なまちづくり	

問23で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問23-3 悩みなどを解決するために、どの相談窓口等に相談しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 12 区役所の子育て相談担当窓口 |
| 2 祖父母等の親族 | 13 かかりつけの医師 |
| 3 友人や知人 | 14 民生委員・児童委員・主任児童委員 |
| 4 近所の人 | 15 発達障害支援拠点ぼると |
| 5 児童館の職員 | 16 児童発達支援事業所の職員・児童発達支援センター |
| 6 ほ・ねっと ひろば | 17 障害児相談支援事業所 |
| 7 保健所・保健センター | 18 放課後等デイサービスの職員 |
| 8 学童保育クラブの職員 | 19 めぐろ学校サポートセンター・教育相談室 |
| 9 子ども家庭支援センター | 20 相談はしない |
| 10 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど | 21 相談できない・相談先がわからない |
| 11 NPOなどの子育て支援団体・子育てサークル | |

すべての方にうかがいます。

問24 あなたは宛名のお子さんのことについて決めるときに、子ども自身の意見や考えをどれくらい尊重していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 常に意見を尊重している | 3 保護者の考えのみの時が多い |
| 2 内容によっては保護者の考えのみの時がある | |

問25 あなたは子育てでストレスを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 ストレスを感じることもある | 3 どちらともいえない |
| 2 ストレスを感じることはない | 4 その他（ ） |

問25で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問25-1 どのような方法で解消していますか。具体的にご記入ください。

すべての方にうかがいます。

問26 宛名のお子さんには発達の遅れや障害がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問26で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問26-1 発達の遅れや障害があるお子さんを育てている保護者への子育て支援として、充実してほしいと思うサービスは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 特別支援教育や、学校でのインクルージョン教育といった教育施策の充実 |
| 2 子どもの送迎支援のような福祉施策の充実 |
| 3 放課後等デイサービスといった保護者・介護者の負担軽減策の充実 |
| 4 地域での親のネットワークや交流支援といった地域による子育ての充実 |
| 5 その他（ ） |

問26で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問26-2 放課後はどのように過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 自宅で家族と過ごす | 4 放課後等デイサービスを利用する |
| 2 ヘルパーと外出する | 5 その他 |
| 3 児童館・学童保育クラブ | () |

問26で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問26-3 障害のあるお子さんの放課後の過ごし方として、どのようなサービスがあるとよいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 放課後の居場所の提供（放課後等デイサービス） |
| 2 保護者の緊急時や病気の際など一時的な預かり |
| 3 医療的ケアの体制が整備された施設での預かり |
| 4 児童館・学童保育クラブなど身近な施設での預かり |
| 5 ヘルパー等派遣 |
| 6 その他 () |

すべての方にうかがいます。

問27 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 聞いたことがあり、内容も知っている | 3 聞いたことはない |
| 2 聞いたことはあるが、よく知らない | |

問28 家族に「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問28で1を選んだ方にうかがいます。

問28-1 ヤングケアラーと思われる子どもの年代をお答えください（複数名いる場合は、ご自身に最も関係性が近い方についてお答えください）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 小学校入学前 | 4 高校生 |
| 2 小学生 | 5 学校には所属していない |
| 3 中学生 | 6 その他 () |

問28で1を選んだ方にうかがいます。

問28-2 ヤングケアラーと思われる子どもからのお世話を必要としている方を、子どもから見た続柄でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------|-----------|
| 1 母親 | 5 兄弟 |
| 2 父親 | 6 その他 () |
| 3 祖母 | 7 いない |
| 4 祖父 | |

問28で1を選んだ方にうかがいます。

問28-3 お世話の内容を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------|
| 1 家事 | 5 見守り |
| 2 施設や保育所等への送迎 | 6 通訳 |
| 3 身体的な介護 | 7 その他（ ） |
| 4 外出・通院の付き添い | |

すべての方にうかがいます。

問29 あなたは子育てに関する情報やお知らせをどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1 めぐろ区報 |
| 2 目黒区ホームページ |
| 3 めぐろ子育てホッ！とナビ |
| 4 チラシやポスター |
| 5 めぐろ子育てホッ！とブック（冊子） |
| 6 その他（ ） |

問29で「2」「3」と回答した方にお尋ねします。

問29-1 ホームページやめぐろ子育てホッ！とナビで情報を検索する時に使用しているものは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 パソコン | 4 タブレット端末 |
| 2 スマートフォン | 5 その他（ ） |
| 3 スマートフォン以外の携帯電話 | |

すべての方にうかがいます。

問30 あなたは、子育てする上で、知りたい情報は何か。当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 学校や児童館・学童保育クラブなど、子どもの教育・保育事業や施設 |
| 2 子育て支援の事業やサービス |
| 3 子育てや子どもの発育、健康などについて相談できる機関 |
| 4 子どもや病気、けがをしたときや休日等に受診できる医療機関 |
| 5 児童館や子育てふれあいひろばなどの遊び場や公園 |
| 6 子どもと一緒に参加できるイベント |
| 7 子育てをする仲間づくりのサークル |
| 8 子どもの習い事や塾 |
| 9 その他（ ） |

問31 しつけと虐待の違いについてお聞きします。次の項目のうちあなたが虐待だと思う番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どもに勉強をするように言ってもやらないと、いつもたたく
- 2 子どもが保護者との約束を破ると、その都度、大きな声をあげる
- 3 子どもを自立させるために、日常的に子どもの衣食の世話をしない
- 4 子どもが保護者の気に入らないことをするので、いつも無視したり、子どもの心を傷つける言葉を繰り返し言う
- 5 子どもが甘えてくると、日常的に拒否的な態度を示す
- 6 子どもの目の前で夫婦喧嘩をする

問32 あなたは、すべての人に子どもを虐待しているのを発見したときは、「通告の義務」があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問33 児童虐待を未然に防ぐために必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 児童相談所の保育園・学校・警察との連携強化
- 2 地域の見守りなど子育て環境の充実に対する支援
- 3 相談窓口等の周知・啓発の推進
- 4 利用者支援事業や一時預かり事業といった在宅支援サービスの充実
- 5 里親養育支援体制の構築
- 6 その他（ ）

問34 目黒区は、国の動向を踏まえて、子どもの権利を尊重し、子育て子育てが安全・安心にできるまちを目指して、令和4年12月に「総合的な子ども家庭支援体制の構築と環境整備」の考え方をまとめました。その第一段階として、令和7年度中に妊娠期から思春期・青年期にわたる切れ目のない相談支援の拠点として、鷹番保育園跡地に「こども家庭センター」が設立されることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問35 令和13年度を目途に第三ひもんや保育園跡地と碑文谷保健センター跡地に総合相談支援拠点を整備する計画があることを知っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問36 目黒区の子育て支援について、ご意見・ご要望などございましたらご記入ください。(スペースが不足する場合は、別紙にご記入ください)

_____ _____ _____

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

3. 小学生調査票

目黒での生活についてのアンケートのおねがい ～小学生のみなさま～

- ・目黒区では、子どもで、子どもの生活をおうえんしています。
- ・今回、区のとりのくみを考えるために、小学生のみなさんのいけんを聞くためのアンケートをじっしすることになりました。
- ・あなたのふだんの生活や、目黒区にこうなしてほしいといういけんが、これからのくらしやすい目黒区をつくるためにひつようです。
- ・あなたのいけんを、アンケートで聞かせてください。

かいとう
回答ほうほう

アンケートの回答は、オンラインでの回答のみです。

①このプリントのURL にアクセス



パソコンやスマートフォン、タブレット
でアクセスしてください。



②回答のていしゅつほうほう

さいごの回答がめん
「送信」ボタンを
クリックしてください。

送信



回答のしめきりは、令和5年11月1日（水）まで

回答がめんのURL（右のQRコードもりようできます）

<https://rdc.dstyleweb.com/x4x8/pa8chp/>



アンケートの回答にはあなただけのIDばんごうがひつようです。

あなたのIDばんごうは _____ です。

<おねがい>

- ・ログイン画面では、IDとパスワードの入力からそれぞれの「IDばんごう」を入力してください。
- ・IDばんごうはあなただけのものです。（IDばんごうからあなたとわかることはありません）
- ・IDばんごうをほかの人に教えたり、ほかの人のIDばんごうでアンケートに回答しないでください。
- ・アンケートに回答するかは、あなたがじゆうにきめてください。
- ・アンケートに回答しないときは、このお手紙はゴミ箱にすててください。

<といあわせさき>

目黒区 子育て支援部 子育て支援課 担当：竹田、与那覇

〒153-8573 東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

でんわ：03（5722）8723

ファックス：03（5722）9328

メール：kosodate08@city.meguro.tokyo.jp

アンケートのよくあるしつもん

しつもん	どうして自分がアンケートに選ばれたの？
答え	このアンケートは、目黒区に住んでいる小学生（2年生・4年生・6年生）と、中学生（1年生・3年生）、高校生（1年生～3年生）の子どもぜんいんをたいしょうとしています。
しつもん	アンケートに回答しないといけないの？
答え	アンケートに回答するかは、あなたがじゆうに決めてください。 アンケートに回答しないことで、あなたがおこられたり、ばつをうけることはありません。
しつもん	アンケートにはだれが回答すればいいの？
答え	ふうとうのラベルに書かれてあるお子さまの回答をおねがいします。 字がわからない、パソコンやタブレットのつかい方がわからない時は、お父さんやお母さんに手つだってもらいながら回答してください。
しつもん	学校でつかっているタブレット（がくしゅうたんまつ）で回答していいの？
答え	目黒区立の小学校に通っている人は、学校でくばられているタブレット（がくしゅうたんまつ）をつかって回答してもいいです。
しつもん	答えがわからないときはどうすればいいの？
答え	わからないしつもんには回答しなくてだいじょうぶです。 せんたくしに「わからない」があるときは、「わからない」をえらんでください。 「わからない」がせんたくしにないときは、つぎのしつもんにすすんでください。
しつもん	家ぞくや友だち、学校の先生に回答を見られたくない
答え	アンケートの回答をほかの人に見せることはぜったいにありません。 あんしんして、あなたの本当の気持ちで回答してください。
しつもん	回答のとちゅうでアンケートをちゅうだんしたい
答え	回答のとちゅうでがめんをとじて、さいかいする時に、IDばんごうを入力すると、ちゅうだん前からさいかいします。
しつもん	アンケートの回答しめきりはいつまで？
答え	令和5年11月1日（水）の24時までに「送信」ボタンをクリックしてください。
しつもん	アンケートの回答しめきりをすぎてしまった。どうすればいい？
答え	WEB回答のみのため、今回は回答しなくてだいじょうぶです。

そのほか、わからないことがあれば、
プリントおもての「おといあわせさき」にそうだんしてください。

問1 あなたの学年を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 小学2年生 | 2 小学4年生 | 3 小学6年生 |
|---------|---------|---------|

問2 あなたはどの小学校に通っていますか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|--------|--------|-------------|--------|---------|
| 1 八雲小 | 2 菅刈小 | 3 下目黒小 | 4 碑小 | 5 中目黒小 |
| 6 油面小 | 7 大岡山小 | 8 烏森小 | 9 向原小 | 10 五本木小 |
| 11 鷹番小 | 12 田道小 | 13 月光原小 | 14 駒場小 | 15 緑ヶ丘小 |
| 16 原町小 | 17 不動小 | 18 上目黒小 | 19 東根小 | 20 中根小 |
| 21 宮前小 | 22 東山小 | 23 区立以外の小学校 | | |

問2-1 区立以外の小学校に通っているひとに聞きます。あなたが住んでいるところはどこですか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 北部地区(駒場・青葉台・東山・大橋・上目黒) |
| 2 東部地区(中目黒・三田・目黒・下目黒) |
| 3 中央地区(中町・五本木・祐天寺・中央町・鷹番) |
| 4 南部地区(目黒本町・原町・洗足・南・碑文谷) |
| 5 西部地区(中根・平町・大岡山・緑が丘・自由が丘・柿の木坂・八雲・東が丘) |

問3 あなたはだれと一緒に住んでいますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 1 お父さん | 3 兄弟姉妹 → () 人 | 5 その他の人 |
| 2 お母さん | 4 おじいさん・おばあさん | |

【日常生活】

問4ー1 あなたは平日の午後4時から午後6時までの間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	7. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	8. 公園
	3. 学校	9. 図書館
	4. 塾や習い事	10. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	11. 目黒区以外の町
	6. 学童保育クラブ	12. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	7. 学校以外の勉強
	2. テレビを見ている	8. スポーツや運動
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	9. 音楽や美術
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	10. ボランティア活動
	5. 自由に遊んでいる	11. 家の手伝い
	6. 学校の宿題や予習	12. その他
		13. 特に何もしていない

問4ー2 あなたは平日の午後6時から午後8時までの間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

※小学2年生は対象外

(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	7. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	8. 公園
	3. 学校	9. 図書館
	4. 塾や習い事	10. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	11. 目黒区以外の町
	6. 学童保育クラブ	12. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	7. 学校以外の勉強
	2. テレビを見ている	8. スポーツや運動
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	9. 音楽や美術
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	10. ボランティア活動
	5. 自由に遊んでいる	11. 家の手伝い
	6. 学校の宿題や予習	12. その他
		13. 特に何もしていない

問4ー3 あなたは平日の午後8時以降、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○をつけてください。

※小学2年生は対象外

(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	7. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	8. 公園
	3. 学校	9. 図書館
	4. 塾や習い事	10. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	11. 目黒区以外の町
	6. 学童保育クラブ	12. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	7. 学校以外の勉強
	2. テレビを見ている	8. スポーツや運動
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	9. 音楽や美術
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	10. ボランティア活動
	5. 自由に遊んでいる	11. 家の手伝い
	6. 学校の宿題や予習	12. その他
		13. 特に何もしていない

問4ー4 あなたは休日の昼間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。
あてはまるものに○をつけてください。

(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりである	4. 友だち
	2. お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	7. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	8. 公園
	3. 学校	9. 図書館
	4. 塾や習い事	10. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	11. 目黒区以外の町
	6. 学童保育クラブ	12. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	7. 学校以外の勉強
	2. テレビを見ている	8. スポーツや運動
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	9. 音楽や美術
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	10. ボランティア活動
	5. 自由に遊んでいる	11. 家の手伝い
	6. 学校の宿題や予習	12. その他
		13. 特に何もしていない

問4—5 あなたは休日の夜、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。
あてはまるものに○をつけてください。

※小学2年生は対象外

(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	7. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	8. 公園
	3. 学校	9. 図書館
	4. 塾や習い事	10. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	11. 目黒区以外の町
	6. 学童保育クラブ	12. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	7. 学校以外の勉強
	2. テレビを見ている	8. スポーツや運動
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	9. 音楽や美術
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	10. ボランティア活動
	5. 自由に遊んでいる	11. 家の手伝い
	6. 学校の宿題や予習	12. その他
		13. 特に何もしていない

問5 あなたは放課後、学校の校庭の他に体育館、図書室などで過ごすことができるとよいと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 思う | 3 どちらでもない |
| 2 思わない | |

問6 あなたは放課後、どんなことができるとよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 本を読みたい | 7. 学校以外の勉強 |
| 2. テレビを見たい | 8. スポーツや運動 |
| 3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊びたい | 9. 音楽や美術 |
| 4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊びたい | 10. ボランティア活動 |
| 5. 自由に遊びたい | 11. 家の手伝い |
| 6. 学校の宿題や予習 | 12. その他 |
| | 13. 特にしたいことはない |

問7 あなたは携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

(「1」を選ばれた方)

問7-1 1日におよそどのくらいの時間使いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 30分以内 | 4 2時間から3時間 |
| 2 30分から1時間 | 5 それ以上 |
| 3 1時間から2時間 | |

問7-2 これまでに携帯電話やスマートフォンを使っていて、つぎのようなことを経験したことはありますか。

※小学2年生は対象外

(〇はあてはまるものすべて)

- | |
|--------------------------|
| 1. 会ったことがない人からメールやSNSがきた |
| 2. メールやSNSで嫌なことを書かれた |
| 3. 友だちからブロックされたり無視されたりした |
| 4. ゲームアプリで課金をした |
| 5. 夜遅くまでスマートフォンを見ている |
| 6. あてはまるものはない |

問8 ふだん、あなたが寝る時間は何時ですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|----------|
| 1 午後9時前 | 3 午後10時～11時 | 5 午前0時以降 |
| 2 午後9時～10時 | 4 午後11時～午前0時 | |

問9 あなたは、朝食や夕食を食べていますか。(〇はそれぞれ1つだけ)

〈朝食〉

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週2～3日 | 5 ほとんど食べない |
| 2 週4～5日 | 4 週1日 | 6 朝食は食べない |

〈夕食〉

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週2～3日 | 5 ほとんど食べない |
| 2 週4～5日 | 4 週1日 | 6 夕食は食べない |

(夕食の「1」から「4」を選ばれた方)

問9-1 あなたは夕食を何時頃食べますか。

※小学2年生は対象外(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 午後7時前 | 3 午後9時～11時 |
| 2 午後7時～9時 | 4 午後11時以降 |

(朝食と夕食で「5」か「6」を選ばれた方)

問9-2 その理由は何ですか。

※小学2年生は対象外(○はそれぞれ1つだけ)

＜朝食＞

- | |
|------------------|
| 1. 食事をする時間がないから |
| 2. 食べたい気分じゃないから |
| 3. 嫌いな食べものがでるから |
| 4. 食事が用意されていないから |
| 5. 食べるものがないから |

＜夕食＞

- | |
|------------------|
| 1. 食事をする時間がないから |
| 2. 食べたい気分じゃないから |
| 3. 嫌いな食べものがでるから |
| 4. 食事が用意されていないから |
| 5. 食べるものがないから |

問10 あなたは、自分の家で「ひとり」や「兄弟姉妹だけ」で、朝食や夕食を食べることがありますか。(○はそれぞれ1つだけ)

＜朝食＞

- | |
|-----------|
| 1. よくある |
| 2. ときどきある |
| 3. あまりない |
| 4. ない |

＜夕食＞

- | |
|-----------|
| 1. よくある |
| 2. ときどきある |
| 3. あまりない |
| 4. ない |

問11 あなたは、「子ども食堂」を聞いたことがありますか。

※小学2年生は対象外(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 聞いたことがある | 2 聞いたことがない |
|------------|------------|

問12 あなたは、「子ども食堂」を利用したことがありますか。

※小学2年生は対象外(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 利用したことがある | 2 利用したことはない |
|-------------|-------------|

【 家庭 】

問13 あなたの家での生活についておたずねします。次のア～カについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 家にいるとほっとする	1	2	3	4
イ 家でみんなと一緒に過ごす 時間が多い	1	2	3	4
ウ 家でお手伝いをよくする	1	2	3	4
エ 家ではみんな仲が良い	1	2	3	4
オ 家では保護者（親）が自分の 話をきちんと聞いてくれる	1	2	3	4
カ 家で保護者（親）とのきずな （つながり）を感じる	1	2	3	4

【 人権 】

では、『ども』をめており、において、されなければならないものとして「からをけてきる」「してきる」「する」「らしくきる」をけています。

問14 あなたは、「目黒区子ども条例」を知っていましたか。

※小学2年生は対象外（○は1つだけ）

1 内容まで知っていた 2 聞いたことはあった 3 知らなかった

問15 あなたのまわりの大人は、あなたの話を聞いてくれますか。次のア～カについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	聞いてくれる	どちらかといえ ば聞いてくれる	どちらかといえ ば聞いてくれない	聞いてくれない
☆ このように答えてください	1	②	3	4
ア あなたの保護者（親）	1	2	3	4
イ 学校の先生	1	2	3	4
ウ 友だちの親	1	2	3	4
エ とおり近所の大人	1	2	3	4
オ お店の店員	1	2	3	4
カ 習い事の先生	1	2	3	4

※小学2年生は対象外

--

	あてはまる	どちらかとい えばあて はまる	どちらかとい えばあて はまらない	あてはまら ない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 今の自分が好きだ	1	2	3	4
イ 自分の保護者（親）から愛されていると思う	1	2	3	4
ウ うまいかかないことにもがんばってとりくむ	1	2	3	4
エ 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4
オ 家で自分がみとめられていると思う	1	2	3	4

- 1 自分の部屋
- 2 自分の家・親戚の家
- 3 学校
- 4 友だちの家
- 5 図書館
- 6 公園
- 7 児童館・学童保育クラブ
- 8 ランランひろば・ランドセルひろば
- 9 放課後等デイサービス
- 10 インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）
- 11 その他（具体的に：

問18 自分が人に認められていると感じるのはどんなときですか。

※小学2年生は対象外（〇はあてはまるものすべて）

- 1 周りの人に感謝されたとき
- 2 大人や友だちに自分の話を聞いてもらえたとき
- 3 周りの人が遊びなどにさそってくれたとき
- 4 友だちや同級生から役割をまかされたり、頼りにされたりしたとき
- 5 大人や保護者から役割をまかされたり、頼りにされたりしたとき
- 6 周りの人が悩みなどの相談をしてくれたとき
- 7 勉強やクラブ活動・運動会の成績などをほめられたとき
- 8 その他（具体的に：_____）
- 9 認められていると感じたことはない

【不寝也悩み】

問 19 あなたは今、ものごとがうまくいかず、落ち込んだり悩んでいたりと助けてほしいことがありますか。※小学2年生は対象外（○は1つだけ）

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえない
4. ない
5. わからない、こたえたくない

(「1」「2」のいずれかを選ばれた方)

問19-1 あなたが落ち込んでいることや悩んでいること、助けてほしいことについて、あなたが「教えてもいい」と思えることまででよいので、教えてください。

※小学2年生は対象外

[illegible]

問20 あなたは学校や家以外で、あなたの悩みやこまっていることを相談できるばしょや人がいることを知っていますか。※小学2年生は対象外（○は1つだけ）

1. 知っている 2. 知らない

問 21 あなたが落ち込んだり悩んだときに、こういった人なら、相談したり、助けてくれると思いますか。※小学2年生は対象外（〇はあてはまるもの5つまで）

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 お父さん | 12 めぐろ はあと ねっと（子ども相談室） |
| 2 お母さん | 13 児童館・学童保育クラブの先生 |
| 3 兄弟姉妹 | 14 放課後等デイサービスの先生 |
| 4 おじいさん・おばあさん | 15 電話相談の人 |
| 5 友だち | 16 塾や習いごとの先生 |
| 6 上級生 | 17 地域の大人の人 |
| 7 下級生 | 18 その他の人 |
| 8 SNS上で知り合った人 | （具体的に： ） |
| 9 担任の先生 | 19 相談したい相手がいない |
| 10 保健室の先生 | 20 だれにも相談しない |
| 11 スクールカウンセラー | |

問 22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

※小学2年生は対象外（〇はあてはまるものすべて）

- | | | | |
|--------|---------|----------|-------|
| 1 お父さん | 3 おじいさん | 5 兄弟姉妹 | 7 いない |
| 2 お母さん | 4 おばあさん | 6 その他（ ） | |

問 22-1 問 22 で1から6を選んだ人に聞きます。お世話の内容を教えてください。

※小学2年生は対象外（〇はあてはまるものすべて）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 ご飯を作る・洗濯をする | 5 見守り |
| 2 保育園などの送り迎え | 6 通訳 |
| 3 食事やトイレ、お風呂を手伝う | 7 その他（ ） |
| 4 病院にいっしょに行く | |

問 22-2 問 22 で1から6を選んだ人に聞きます。お世話はだれといっしょにしていますか。※小学2年生は対象外（〇はあてはまるものすべて）。

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1 お父さん | 4 おばあさん | 7 自分だけ |
| 2 お母さん | 5 兄弟姉妹 | 8 福祉サービスを利用 |
| 3 おじいさん | 6 親戚の人 | 9 その他（ ） |

問 22-3 問 22 で1から6を選んだ人に聞きます。お世話をしていることで、こまっていることはありますか。※小学2年生は対象外（〇はあてはまるものすべて）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 学校に行きたくても行けない | 6 部活や習い事ができない |
| 2 学校を遅刻・早退してしまう | 7 進学をあきらめないといけない |
| 3 宿題や勉強する時間がない | 8 自分の時間がない |
| 4 ぐっすり眠ることができない | 9 その他（ ） |
| 5 友達と遊ぶことができない | |

1 やりがいを感じる 3 時間がない 5 その他 ()
2 体や心がつらい 4 家族の役に立っている

※小学2年生は対象外

--

★問24 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。あなたのまわりにいる大人を見ていて、「こんな大人になりたいな」と思うことがあれば、その理由を教えてください。



4. 中高生調査票

目黒区での生活についてのアンケート協力をお願い ～中学生・高校生世代の皆様～

- ・目黒区では、区の子育てや、子どもの生活を応援するための取組を行っています。
- ・今回、区の子育てを考えるために、中高生のみなさんの意見を聞くためのアンケートを実施することになりました。
- ・あなたの普段の生活の様子や、目黒区にこうなってほしいという意見が、これからの暮らしやすい目黒区をつくるために必要です。
- ・あなたの意見を、アンケートで聞かせてください。

回答の流れ

回答方法は、オンライン上での回答のみです。

①本紙記載の URL にアクセス



パソコンやスマートフォン、タブレット
等でアクセスしてください。



②回答結果の提出方法

最後の回答画面で
「送信」ボタンを
クリックしてください。

送信



回答の締切は、令和5年11月1日（水）まで

調査回答サイトのURL（右のQRコードからも参加できます）

<https://rdc.dstyleweb.com/3ytt/gycyam/>



アンケートの回答にはあなただけのID番号が必要です。

あなたのID番号は _____ です。

<お願い>

- ・ログイン画面では、IDとパスワードの入力欄のそれぞれに「ID番号」を入力してください。
- ・ID番号はあなただけのものです。（ID番号から個人を特定することはできません）
- ・ID番号を他の人に教えたり、他人のID番号を使ってアンケートに回答しないでください。
- ・アンケートに協力するかは、あなたが自由に決めてください。
- ・アンケートに協力しない場合は、このお手紙はゴミ箱に捨ててください。

<問合せ先>

目黒区 子育て支援部 子育て支援課 担当：竹田、与那覇

〒153-8573 東京都目黒区上目黒2丁目19番15号

電話：03（5722）8723

ファックス：03（5722）9328

メール：kosodate08@city.meguro.tokyo.jp

アンケートのよくある質問

質問	どうして自分がアンケートに選ばれたの？
回答	このアンケートは、目黒区に住んでいる小学生（2年生・4年生・6年生）と、中学生（1年生・3年生）、高校生（1年生～3年生）の年齢に該当する子ども全員を対象としています。
質問	アンケートに回答しないといけないの？
回答	アンケートに回答するかは、あなたが自由に決めて大丈夫です。 アンケートに回答しないことで、あなたが怒られたり、罰をうけることはありません。
質問	アンケートには誰が回答すればいいの？
回答	封筒の宛名ラベルに記載されているお子さまによる回答をお願いします。 字がわからない、パソコンやタブレットの使い方がわからない時は、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら回答しても良いです。
質問	学校で使っているタブレット（学習端末）で回答していいの？
回答	目黒区立の中学校に通っている人は、学校で配られているタブレット（学習端末）を使って回答しても良いです。
質問	答えがわからないときはどうすればいいの？
回答	わからないときは無理に回答しなくて大丈夫です。 選択肢に「わからない」があるときは、「わからない」を選択してください。 「わからない」が選択肢にないときは、何も選ばず、次の問に進んでください。
質問	家族や友達、学校の先生に回答を見られたくない
回答	アンケートの回答を他人に見せることは絶対にありません。 安心して、あなたの本当の気持ちで回答してください。
質問	回答の途中でアンケートを中断したい
回答	回答の途中で画面を閉じた場合でも、再度ID番号を入力することで、中断前から回答を再開できます。
質問	アンケートの回答締切はいつまで？
回答	令和5年11月1日（水）の24時までにご送信してください。
質問	アンケートの回答締切を過ぎてしまった。どうすればいい？
回答	WEB回答のみのため、今回は回答しなくて大丈夫です。

その他、わからないことがあれば、表面の「お問合せ先」に相談してください。

問1 次のうち、あなたにあてはまるものはどれですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 中学校1年生
2 中学校3年生
3 高校生 [1 区内の高校 2 区外の高校]
4 専修学校や専門学校等の各種学校に通っている
5 働いている
6 その他()

問1-1 問1で1か2を選んだかたに聞きます。どの中学校に通っていますか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|--------|-------|---------|-------|-------------|
| 1 第一中 | 2 第七中 | 3 第八中 | 4 第九中 | 5 第十中 |
| 6 第十一中 | 7 栗山中 | 8 目黒中央中 | 9 大島中 | 10 区立以外の中学校 |

問2 あなたが住んでいるところはどこですか。(○は1つだけ)

- 1 北部地区(駒場・青葉台・東山・大橋・上目黒)
- 2 東部地区(中目黒・三田・目黒・下目黒)
- 3 中央地区(中町・五本木・祐天寺・中央町・麩番)
- 4 南部地区(目黒本町・原町・洗足・南・碑文谷)
- 5 西部地区(中根・平町・大岡山・緑が丘・自由が丘・柿の木坂・八雲・東が丘)

問3 あなたは誰と一緒に住んでいますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 父親 3 兄弟姉妹 → () 人 5 その他の人
2 母親 4 祖父母 6 同居家族はいない

【日常生活】

問4-1 あなたは平日の午後4時から午後6時までの間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○を付けてください。(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. 親や祖父母	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	6. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	7. 公園
	3. 学校	8. 図書館
	4. 塾や習い事	9. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	10. 目黒区以外の町
		11. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	8. スポーツや運動
	2. テレビを見ている	9. 音楽や美術
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	10. ボランティア活動
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	11. 家の手伝い
	5. 自由に遊んでいる	12. アルバイト
	6. 学校の宿題や予習	13. その他
	7. 学校以外の勉強	14. 特に何もしていない

問4-2 あなたは平日の午後6時から午後8時までの間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○を付けてください。(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりている	4. 友だち
	2. 親や祖父母	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	6. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	7. 公園
	3. 学校	8. 図書館
	4. 塾や習い事	9. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	10. 目黒区以外の町
		11. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	8. スポーツや運動
	2. テレビを見ている	9. 音楽や美術
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	10. ボランティア活動
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	11. 家の手伝い
	5. 自由に遊んでいる	12. アルバイト
	6. 学校の宿題や予習	13. その他
	7. 学校以外の勉強	14. 特に何もしていない

問4-3 あなたは平日の午後8時以降、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○を付けてください。(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりである	4. 友だち
	2. 親や祖父母	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	6. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	7. 公園
	3. 学校	8. 図書館
	4. 塾や習い事	9. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	10. 目黒区以外の町
		11. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	8. スポーツや運動
	2. テレビを見ている	9. 音楽や美術
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	10. ボランティア活動
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	11. 家の手伝い
	5. 自由に遊んでいる	12. アルバイト
	6. 学校の宿題や予習	13. その他
	7. 学校以外の勉強	14. 特に何もしていない

問4-4 あなたは休日の昼間、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○を付けてください。(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりである	4. 友だち
	2. 親や祖父母	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	6. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	7. 公園
	3. 学校	8. 図書館
	4. 塾や習い事	9. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	10. 目黒区以外の町
		11. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	8. スポーツや運動
	2. テレビを見ている	9. 音楽や美術
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	10. ボランティア活動
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	11. 家の手伝い
	5. 自由に遊んでいる	12. アルバイト
	6. 学校の宿題や予習	13. その他
	7. 学校以外の勉強	14. 特に何もしていない

問4-5 あなたは休日の夜、「だれ」と「どこ」で「なに」をしていることが多いですか。あてはまるものに○を付けてください。(○はあてはまるものすべて)

<だれと>

	1. ひとりである	4. 友だち
	2. 親や祖父母	5. その他
	3. 兄弟姉妹	

<どこで>

	1. 自分の家	6. 放課後等デイサービス
	2. 友だちの家	7. 公園
	3. 学校	8. 図書館
	4. 塾や習い事	9. コンビニやファミレスなどのお店
	5. 児童館	10. 目黒区以外の町
		11. その他

<なにをしている>

	1. 本を読んでいる	8. スポーツや運動
	2. テレビを見ている	9. 音楽や美術
	3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊んでいる	10. ボランティア活動
	4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる	11. 家の手伝い
	5. 自由に遊んでいる	12. アルバイト
	6. 学校の宿題や予習	13. その他
	7. 学校以外の勉強	14. 特に何もしていない

問5 あなたは放課後、どんなことが出来るとよいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 本を読みたい	8. スポーツや運動
2. テレビを見たい	9. 音楽や美術
3. テレビゲーム・携帯ゲーム機で遊びたい	10. ボランティア活動
4. パソコン・タブレット・スマートフォンで遊びたい	11. 家の手伝い
5. 自由に遊びたい	12. アルバイト
6. 学校の宿題や予習	13. その他
7. 学校以外の勉強	14. 特にしたいことはない

問6 あなたは携帯電話またはスマートフォンを持っていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(「1」を選ばれた方)

問6-1 1日におよそどのくらいの時間使いますか。(○は1つだけ)

1. 30分以内	4. 2時間から3時間
2. 30分から1時間	5. それ以上
3. 1時間から2時間	

問6-2 これまでに携帯電話やスマートフォンを使っていて、つぎのようなことを経験したことはありますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 会ったことがない人からメールやSNSがきた |
| 2. SNS等を通して知り合った人と直接会って危険な思いをした |
| 3. メールやSNSで嫌なことを書かれた |
| 4. 友だちからブロックされたり無視されたりした |
| 5. ゲームアプリで課金をした |
| 6. 夜遅くまでスマートフォンを見ている |
| 7. あてはまるものはない |

問7 あなたは、朝食や夕食を食べていますか。(○はそれぞれ1つだけ)

＜朝食＞

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週2～3日 | 5 ほとんど食べない |
| 2 週4～5日 | 4 週1日 | 6 朝食は食べない |

＜夕食＞

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週2～3日 | 5 ほとんど食べない |
| 2 週4～5日 | 4 週1日 | 6 夕食は食べない |

(夕食で「1」から「4」を選ばれた方)

問7-1 あなたは夕食を何時頃食べますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 午後7時前 | 3 午後9時～11時 |
| 2 午後7時～9時 | 4 午後11時以降 |

(朝食と夕食で「5」か「6」を選ばれた方)

問7-2 その理由は何ですか。(○はそれぞれ1つだけ)

＜朝食＞

- | |
|------------------|
| 1. 食事をする時間がないから |
| 2. 食べたい気分じゃないから |
| 3. 嫌いな食べものがでるから |
| 4. 食事が用意されていないから |
| 5. 食べるものがないから |

＜夕食＞

- | |
|------------------|
| 1. 食事をする時間がないから |
| 2. 食べたい気分じゃないから |
| 3. 嫌いな食べものがでるから |
| 4. 食事が用意されていないから |
| 5. 食べるものがないから |

問8 あなたは、自分の家で「ひとり」や「兄弟姉妹だけ」で、朝食や夕食を食べることがありますか。(〇はそれぞれ1つだけ)

〈朝食〉

- | |
|---|
| 1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ない |
|---|

〈夕食〉

- | |
|---|
| 1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ない |
|---|

問9 あなたは、「子ども食堂」というものを聞いたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 聞いたことがある | 2 聞いたことがない |
|------------|------------|

※「子ども食堂」とは、地域の大人が子どもやその保護者に無料または低額で食事を提供する取り組みのことです。

問10 あなたは、「子ども食堂」を利用したことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 利用したことがある | 2 利用したことはない |
|-------------|-------------|

問11 あなたは家や学校、地域、ネット空間のそれぞれの場所についてどのように思っていますか。それぞれ1つずつ○をつけてください。

＜家について＞	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ 他の人には言えない本音を話すことができる	1	2	3	4

＜学校について＞	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ 他の人には言えない本音を話すことができる	1	2	3	4

＜地域について＞	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ 他の人には言えない本音を話すことができる	1	2	3	4

＜インターネット空間について＞	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 何でも悩みを相談できる人がいる	1	2	3	4
イ こまったときは助けてくれる	1	2	3	4
ウ 他の人には言えない本音を話すことができる	1	2	3	4

【 家庭 】

問12 あなたの家庭での生活についておたずねします。次のア～カまで、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 家庭にいるとほっとする	1	2	3	4
イ 家庭でみんなと一緒に過ごす時間が多い	1	2	3	4
ウ 家族みんな仲が良い	1	2	3	4
エ 家庭では保護者が自分の話をきちんと聞いてくれる	1	2	3	4
オ 家庭で保護者とのきずなを感じる	1	2	3	4
カ 保護者との関係について満足している	1	2	3	4

（「3」または「4」を選ばれた方）

問12-1 そう思わないのはなぜですか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 保護者に気持ちをわかってもらえない | 8 保護者が聞こうとしない |
| 2 自分が保護者に話すのが面倒くさい | 9 保護者が話しかけてこない |
| 3 保護者が信頼できない | 10 保護者が過保護すぎる |
| 4 自分が話すことがない | 11 保護者が食事や洗濯の面倒をみてくれない |
| 5 保護者がすぐ怒る、叱る | 12 保護者が自分の目の前で夫婦げんかをする |
| 6 保護者がすぐたたく | 13 保護者が家にいない |
| 7 保護者が忙しそう | 14 その他（具体的に： ） |

【人権など】

目黒区では、『目黒区子ども条例』を定めており、条例において、尊重されなければならない子どもの権利として「保護者から愛情を受けて生きる権利」「安心して生きる権利」「参加する権利」「自分らしく生きる権利」を掲げています。

問13 あなたは、「目黒区子ども条例」を知っていましたか。（○は1つだけ）

- 1 内容まで知っていた 2 聞いたことはあった 3 知らなかった

問14 あなたのまわりの大人は、あなたの話や考えを尊重してくれますか。次のア～カについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	尊重してく れる	どちらか といえば尊重 してくれる	どちらか といえば 尊重してく れない	尊重してく れない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア あなたの保護者（親）	1	2	3	4
イ 学校の先生	1	2	3	4
ウ 友だちの親	1	2	3	4
エ となり近所の大人	1	2	3	4
オ お店の店員	1	2	3	4
カ 習い事の先生	1	2	3	4

問15 あなたの感じていることについて、おたずねします。次のア～エについて、それぞれ1つずつ○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
☆ このように答えてください	①	2	3	4
ア 今の自分が好きだ	1	2	3	4
イ 自分の保護者(親)から愛されていると思う	1	2	3	4
ウ うまくいかないことにもがんばってとりくむ	1	2	3	4
エ 自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4

問16 今のあなたにとって「ほっとできる」「安心できる」居場所はどこですか。あてはまるもの全てに○をつけてください

- 1 自分の部屋
- 2 自分の家・親戚の家
- 3 学校
- 4 友だちの家
- 5 図書館
- 6 公園
- 7 児童館
- 8 放課後等デイサービス
- 9 インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)
- 10 その他(具体的に: _____)
- 11 どこにもない

問17 あなたはこの1年間、目黒区で生活している中で、自分の周りで10代の人の人権が大切にされていないと思ったことがありますか。

人権が大切にされていない例

- ・保護者や教師など大人がしつけや教育などを理由に、子どもや生徒を殴る、暴言を吐くこと
- ・保護者や教師が子どもや生徒のメールやかばんの中を勝手に見ること
- ・暴力的なテレビゲームやアニメなどを、容易に見たり、入手したりできること
- ・経済的な事情などにより、希望通りの進路を選べなかったり学べなかったりすること

(○は1つだけ)

1. ある

2. ない

(「1」を選ばれた方)

問17-1 10代の人権が大切にされていないと思ったことについて、どのようなことについて思ったのか、教えてください。(自由記述)

問18 自分が人に認められていると感じるのはどんなときですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 周りの人に感謝されたとき
- 2 大人や友だちに自分の話を聞いてもらえたとき
- 3 周りの人が遊びなどに誘ってくれたとき
- 4 友だちや同級生から役割をまかされたり、頼りにされたりしたとき
- 5 大人や保護者から役割を任されたり頼りにされたりしたとき
- 6 周りの人が悩みなどの相談をしてくれたとき
- 7 学校の成績が上がったり、部活動などで入賞し、ほめられたとき
- 8 その他(具体的に:)
- 9 認められていると感じたことはない

【 不安や悩み 】

問 19 あなたは今、ものがうまいいかず、落ち込んだり悩んでいたり助けてほしいことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある

3. どちらかといえばない

2. どちらかといえばある

4. ない

5. わからない、こたえたくない

(「1」「2」のいずれかを選ばれた方)

問19-1 あなたが落ち込んでいることや悩んでいること、助けてほしいことについて、あなたが「教えてもいい」と思えることまででよいので、教えてください。(自由記述)

問20 あなたは学校や家以外で、あなたの悩みやこまっていることを相談できる場所や人がいることを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問21 あなたが落ち込んだり悩んだときに、こういった人なら、相談したり、助けてくれると思いますか。(○はあてはまるもの5つまで)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 父親 | 12 めぐろ はあと ネット(子ども相談室) |
| 2 母親 | 13 児童館の先生 |
| 3 兄弟姉妹 | 14 放課後等デイサービスの先生 |
| 4 祖父母 | 15 電話相談員 |
| 5 友だち | 16 塾や習いごとの先生 |
| 6 上級生 | 17 地域の大人のひと |
| 7 下級生 | 18 その他の人 |
| 8 SNS上で知り合った人 | (具体的に:) |
| 9 担任の先生 | 19 相談したい相手がいない |
| 10 保健室の先生 | 20 だれにも相談しない |
| 11 スクールカウンセラー | |

問22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | | |
|------|------|----------|-------|
| 1 父親 | 3 祖父 | 5 兄弟姉妹 | 7 いない |
| 2 母親 | 4 祖母 | 6 その他() | |

問22-1 問22で1から6を選んだ人にお聞きします。お世話の内容を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------|----------|
| 1 家事 | 5 見守り |
| 2 施設や保育所などへの送迎 | 6 通訳 |
| 3 身体的な介護 | 7 その他() |
| 4 外出・通院の付き添い | |

問 22-2 問 22 で1から6を選んだ人にお聞きします。お世話はだれとしていますか。(〇はあてはまるものすべて)

1 父親	4 祖母	7 自分だけ
2 母親	5 兄弟姉妹	8 福祉サービスを利用
3 祖父	6 親せきの人	9 その他()

問 22-3 問 22 で1から6を選んだ人にお聞きします。お世話をしていることで、困っていることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

1 学校に行きたくても行けない	6 部活や習い事ができない
2 学校を遅刻・早退してしまう	7 進学をあきらめないといけない
3 宿題や勉強する時間が取れない	8 自分の時間が取れない
4 睡眠が十分にとれない	9 その他()
5 友達と遊ぶことができない	

問 22-4 問 22 で1から6を選んだ人にお聞きします。お世話をしていることをどのように感じていますか。(〇はあてはまるものすべて)

1 やりがいを感じる	3 時間的余裕がない	5 その他()
2 身体的・精神的にきつい	4 家族の役に立っている	

【活動】

問23 あなたが夢中になれたり、充実感を得ることができるのはどのようなときですか。(〇はあてはまるもの3つまで)

1 面白い授業を受けているとき
2 スポーツで体を動かしているとき
3 友達と遊んだり、話したりしているとき
4 学校の仲間と行事に取り組んでいるとき
5 勉強がわかったり、知らなかったことを知ったとき
6 人のためになったり、社会の役に立つことをしたりしているとき
7 趣味など自分の好きなことをしているとき
8 ゲームやインターネットをしているとき
9 その他(具体的に:)
10 特にない

問24 目黒区の児童館は18歳未満の児童の方は利用ができます。このことを知っていましたか。(〇は1つだけ)

1 知っていて利用している	2 知っているが利用していない	3 知らなかった
---------------	-----------------	----------

問25 あなたは児童館が行っている次のアとイについて知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

	知っている	知らない
ア ティーンズフェスタ	1	2
イ 中高生情報誌「めぐろう」	1	2

問26 中高生世代が希望を持てるようになるために、区が特に取り組むべきことは何だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------------------------|
| 1 進学するための支援の充実 | 5 キャリアプランサポートの充実
(就労相談等総合的な支援) |
| 2 ひとり暮らしのための支援の充実 | 6 自由に過ごせる居場所の充実 |
| 3 自立(就職)のための支援の充実 | 7 その他() |
| 4 悩み事への相談・カウンセリングの充実 | 8 特になし |

問26-1 その理由を教えてください(自由記述)

【目黒区について】

問27 どのような仕組みがあれば、自分の意見を区が聞いてくれると思いますか。(自由記述)

問28 目黒区にあったらいいと思う施設や制度はありますか。(自由記述)

【自由記入】

問29 あなたは、将来どんな大人になりたいですか。あなたのまわりにいる大人を見ていて、「こんな大人になりたいな」と思うことがあれば、その理由を教えてください。(自由記述)